平成30年度事業報告書

（長野エリア）

1. 法人本部 … P1～46
2. 親愛の里松川 … P47～61
3. ほっとハート親愛 … P63～75
4. 親愛の里夢工房 … P77～91
5. 親愛の里シンフォニー … P93～105
6. 親愛の里紙ふうせん … P107～127
7. 松川町地域活動支援センターあすなろ … P129～138
8. 飯島町障がい者地域活動支援センターやすらぎ … P139～147
9. コーポヘルメス … P149～159
10. 障がい者サポートセンター親愛 … P161～169
11. エコール親愛 … P171～184
12. 松川障がい者相談支援センター … P185～191
13. 親愛の里そよかぜ
14. ハートランド森
15. クオーレ
16. ジョブサポートフォルテ
17. ぱれっとハウス
18. 中村区障害者基幹相談支援センター
19. 熱田区障害者基幹相談支援センター
20. 南区障害者基幹相談支援センター
21. 運営改善委員会
22. 防災委員会
23. 親愛の里保育園

社会福祉法人親愛の里

平成30年度事業報告書

社会福祉法人　　親愛の里

住所：下伊那郡松川町元大島1593-1

電話：0265-34-7120　FAX：0265-34-7121

E-mail：shin-ai@shin-ai1996.org

平成 30 年度事業報告書

1. 種別・名称：社会福祉法人親愛の里本部
2. 概要

(1) 概況

平成 8 年 7 月に法人として認可され、平成 9 年 10 月の親愛の里松川開所からは 22 年目を迎えた。本年度も社会福祉法人制度改革の趣旨に基づき、①地域における公益的事業の実施、②事業運営の透明性の向上、③経営組織のガバナンスの強化、④財務規律の強化等を基本に取り組んだ。

施設等の組織については、長野エリアにおいて従来の 1 施設長複数事業所担当体制から原則 1 所長(管理者)1 事業所体制に変更し、併せて権限の委譲を通じて次世代育成に取り組んだ。所長とサービス管理責任者の兼務体制であり業務的には緊張感のある体制であったが、所長としての職務意識、経営感覚の醸成等一定の効果を上げることができた。

人事の面では、職員処遇の改善や規程等の改定を通じて働き易い環境づくりに取り組んだが、運営上の職員配置は満たされているものの、新規事業職員の確保や退職者に対する補充等で慢性的な職員不足状態が続いた。また、コンプライアンスの面では、ハラスメントや虐待と思われる事案を通報するケースもあり、より一層の理念等の浸透と人権意識の醸成に努める必要がある。

福祉サービスの整備については、行政からの要望を受け日中活動系事業所(分場)を 2 か所整備し、利用者のニーズ、選択に応える整備を行った。また、法人本部に工賃 up を目的に事業所横断的に支援する企画・推進室を配置し、農福連携等による工賃倍増プロジェクトに取り組んだ。

収入について、法人全体の事業活動計算書では、1,074,250 千円(前年比▲3.4%)であった。報酬改定等の影響があった障害福祉サービスについては 871,251 千円（同 0.1%増）と前年度とほぼ同額であったが、保育事業収入は、170,479 千円(同 8.0%増)と、園児数の増加等により大幅な伸びとなった。

一方、支出では処遇改善に係る人件費の大幅な増加(同 4.9%増)に加え緊急の施設・設備整備等により、当期活動増減差額は▲27,603 千円(同▲72,790 千円)、当期資金収支差額では▲37,699 千円であった。次年度に向けて収支の改善が喫緊の課題となっている。

なお、第 3 期 5 か年計画の初年度としての主な取組については、以下のとおりであった。

《人材の確保、定着、育成制度の構築》

ｱ.大手人材広告企業の活用継続、学校訪問、親愛ツアーの充実、各種面接会等へ積極参加

ｲ.分かりやすい HP にリニューアル

ｳ.給与規程の改定…給料表改善、資格手当の新設及び各種手当の改善（正規・パート職員）

ｴ.パート職員の無期転換ルールの適用

ｵ.育児・介護休業等に関する規程の改定…看護休暇、介護休暇等を見直し、働き易い環境づくりに改善

ｶ.研修体制や内容の見直し（人材育成・公益的事業部）

ｷ.国家資格取得希望者への貸付制度の整備

ｸ.1 所長 1 事業所を原則に経営感覚の醸成と施設運営を通じた次世代育成への取り組み

《福祉サービスの充実、整備》

ｱ. 日中活動系事業所(分場)2 か所（10 名×2）…生活介護事業、就労継続支援 B 型事業
ｲ. 親愛の里松川の日中活動の場(いちばん星)の移転整備（対象：自閉症）
《経営継続資金の確保及び適正管理》
ｱ. 資金運用規程に基づく資金の有効活用（有価証券の購入）
《法人機能の強化》
ｱ. 業務執行理事等による業務報告（経営全般、財務、人材育成）
ｲ. 事業運営の透明性確保（HP のリニューアル）
ｳ. 第三者評価受審準備（ジョブサポートフォルテ）
ｴ. 運営協議会の開催
ｵ. 各種学習会及び役員等視察研修の実施
ｶ. 公益的事業の充実…新規事業として「つなぐ事業」（飯田市主催、対象：高校生）の実施
ｷ. 本部に企画・推進室を設置し、法人内事業所横断的に支援する農福連携による工賃倍増プロジェクトの実施
※　5 か年計画の評価　…　別紙 1

(2) 課題等
① 人材確保・定着・育成制度の構築
A) 法人理念の周知、定着、実践
B) コンプライアンス意識の醸成
C) 適正な労務管理
D) キャリアパスとリンクした給与体系、研修体系の整備
E) 多様な人材の確保に向けた積極的な広報活動と雇用形態
② 福祉サービスの充実・整備
A) 生活の場と活動の場等の充実、統廃合
B) 第三者評価の受審施設・事業所の拡大
③ 経営継続資金の確保及び適正管理
A) 事業所単位の経営分析と収支の改善のための具体的な取組の継続
B) 月次計算書等の期限内提出
C) 資金の効率的かつ安全な運用
④ 法人機能強化
A) 法人のビジョン等の明確化
B) 法人関係会議への出席率の向上
C) 各種研修等の開催
D) 公益的事業の充実

3. 職員配置(事務局)　(H31.3.31)

職名＼雇用形態等	正規総合	嘱託職員	計	役職・国家資格等
業務執行理事	0	2	2	常務理事 1(エリアマネージャー兼務、社会福祉士) 財務担当理事 1(総務部長兼務)
事務局員	4	0	4	課長 1(総務課長兼務、社会福祉士) 係長 1、事務員 2
合　計	4	2	6	

4. 主な施設整備等

期　日	内　容	備　考
平成 30 年 4 月 1 日	就労継続支援 B 型事業　喬木村さくらの園開所(喬木村)　定員 10 名	多機能型事業所 ほっとハート親愛分場 (喬木村指定管理事業所)
平成 30 年 4 月 1 日	ジョブサポートフォルテとワークショップ虹の統合・移転　定員 55 名 • 就労移行支援事業　10 名 • 就労継続支援 B 型事業　39 名 • 自立訓練(生活訓練)事業　6 名	多機能型事業所 ジョブサポートフォルテ
平成 30 年 7 月 1 日	生活介護事業所　紙ふうせんスマイル開所(飯田市) 定員 10 名	多機能型事業所 親愛の里紙ふうせん分場
平成 31 年 2 月 28 日	親愛の里松川　生活介護事業所　いちばん星 定員 10 名　対象：自閉症等	親愛の里松川の分場

5. 会議の開催

(1) 理事会

① 第 111 回理事会　平成 30 年 5 月 28 日(月)　於　松川町中央公民館
② 第 112 回理事会　平成 30 年 6 月 13 日(水)　於　松川町中央公民館
③ 第 113 回理事会　平成 30 年 8 月 8 日(水)　於　松川町地域活動支援センター
④ 第 114 回理事会　平成 30 年 10 月 26 日(金)　於　松川町地域活動支援センター
⑤ 第 115 回理事会　平成 30 年 11 月 15 日(木)　於　松川町中央公民館
⑥ 第 116 回理事会　平成 31 年 1 月 26 日(土)　於　いずぎん・寿司
⑦ 第 117 回理事会　平成 31 年 3 月 13 日(水)　於　松川町中央公民館
⑧ 第 118 回理事会　平成 31 年 3 月 29 日(金)　於　松川町中央公民館

(2) 評議員会

① 第 61 回(定時)評議員会　平成 30 年 6 月 17 日(日)　於　松川町中央公民館
② 第 62 回評議員会　平成 30 年 9 月 2 日(日)　於　松川町中央公民館
③ 第 63 回評議員会　平成 30 年 11 月 25 日(日)　於　松川町中央公民館
④ 第 64 回評議員会　平成 31 年 1 月 26 日(土)　於　いずぎん・寿司
⑤ 第 65 回評議員会　平成 31 年 3 月 24 日(日)　於　松川町中央公民館

(3) 評議員選任・解任委員会

① 平成 30 年 6 月 4 日(月)　2 名の退任に伴う後任選任　　於　本部

(4) 小委員会

① 運営・建設委員会　…　開催なし
② 人事委員会　…　正規職員採用試験実施（随時）

(5) 運営協議会

① 平成 30 年 9 月 16 日(日)　於　本部　(長野エリア)　出席者　3 名
② 平成 31 年 3 月 23 日(土)　於　本部　　出席者　2 名

(6) 経営会議　…　月例会議

① 参集範囲：理事長、常務理事（業務執行理事）、財務担当業務執行理事、人材育成担当理事、エリアマネージャー、事務局課長等

(7) エリア運営会議　…　月例会議

① 参集範囲：常務理事（業務執行理事）、財務担当業務執行理事、エリアマネージャー、

所長・課長、事務局課長等

(8) 法人事務局会議　…　月例会

① 参集範囲：理事長、常務理事（業務執行理事）、財務担当業務執行理事、事務局員等

(9) 虐待防止委員会　…　3回

① 参集範囲：(理事長)、常務理事、エリアマネージャー、部長等

6. 規程の改定関係

(1) 運営協議会運営要項制定（5/28 理事会、6/17 評議員会）

(2) 定款変更

① 理事の定数変更…7名以内から9名以内に変更（5/28 理事会、6/17 評議員会）

② 業務執行理事の規定等の変更（常務理事1名及び2名以上を業務執行理事にすることができる規定に変更）（3/13 理事会、3/24 評議員会）

(3) 役員及び評議員等の報酬等並びに費用弁償に関する規程の改定　(8/7 理事会、9/2 評議員会)

(4) 社会福祉法人親愛の里役員等旅費規程改定　(8/7 理事会、9/2 評議員会)

(5) 就業規則改定　…　パワーハラスメント規定の追加（8/7 理事会、9/2 評議員会）

(6) パワーハラスメントの防止に関する規程　(8/7 理事会、9/2 評議員会)

(7) 経理規程の改定　…　全面改定　(10/26 理事会、11/25 評議員会)

(8) 給与規程の改定

① パート職員の処遇改善等　(10/26 理事会、11/25 評議員会)

② 看護職員の初任給の格付け改定、前歴換算規定の整備（3/13 理事会、3/24 評議員会）

(9) 虐待防止対応規程の改定（11/15 理事会、11/25　評議員会）

(10) 虐待防止委員会規程の改定（11/15 理事会、11/25　評議員会）

(11) 理事の職務権限規程の制定（3/13 理事会、3/24 評議員会）

7. 公益的事業

(1) あおぞら教室　…　別紙2

(2) まつかわ子ども福祉教室“あいむ”　…　別紙3

(3) 第10回親愛の里福祉大会　…　No.9 参照

(4) つなぐ事業　…　別紙4

8. 法人研修関係

(1) 長野エリア　…　別紙5

(2) 名古屋エリア　…　別紙6

9. 第10回親愛の里福祉大会(公益的事業)

(1) テーマ：「私らしく生きる」～あなたらしさ、私らしさが誰かの希望になっている～

(2) 日時：平成30年11月11日(日)　午前9時45分～午後3時40分

(3) 会場：松川町中央公民館　えみりあ

(4) 参加者：215名

(5) 内容

- 式典：法人現況報告、永年勤続表彰、笑顔で挨拶日本一活動報告ほか
- 特別講演

- 演題：調子わるいくらいがちょうどいい～うつ病の闘病と家族～
- 講師：細川　貂々（てんてん）　氏　、望月　昭（ツレ）　氏

○ 分科会

第１分科会　支援者の立ち位置、利用者とのかかわり
第２分科会　元気回復行動プラン WRAP
第３分科会　難病当事者の生活を考える～架け橋の上から見える景色～
第４分科会　ポスター発表

○ バザー(自主製品の販売)、書籍販売等

10. 研修(役員・管理職を対象とした主な研修)
(1) 法人役員等の視察研修（6/6）　…　名古屋・刈谷エリア(親愛の里保育園)　13 名
(2) コンプライアンス研修（8/3）　於　松川町中央公民館
(3) 福祉サービスに係る第三者評価受研修会
① 公開講座（5/17）　福祉サービスに係る第三者評価受審のための研修会　於　松川町中央公民館
② 第三者評価受審研修（8/31）　於　松川町中央公民館
(4) 障害年金研修（オープン学習会）（10/22）　於　松川町中央公民館
(5) コミュニケーション研修(メンタルヘルス研修)（12/18）於　松川町中央公民館

11. 人事
(1) 8/19　H31 年度職員採用試験及び内部昇格試験の実施　　於　松川町中央公民館
→　以降、随時採用試験を実施(人事委委員会)
(2) 職員のヒアリングの実施（8 月~）
(3) ハラスメント：3 件
① セクシャルハラスメント：1 件　…　懲戒処分
② パワーハラスメント：2 件　…　口頭注意 2 件
(4) 虐待通報関係　2 件
① 不適切な行為 1 件　…　懲戒処分等
② ネグレクトと思われる事案 1 件　…　継続中

12. 労務管理上の取り組み
(1) 休憩時間の確保
(2) 超過勤務伺いの事前決裁の徹底
(3) 勤務時間の把握、管理等

13. 企画・推進室報告
(1) 工賃倍増プロジェクトの概要について　…　別紙 7

14. 特記事項
- 4 月　平成 30 年度障害福祉サービス等報酬改定
- 5 月　農福連携による工賃倍増 PT の設置

- 5/28　評議員２名の退任に伴う後任の選任について（理事会）
- ６月　法人ソフトウエアの変更→財務ソフトを福祉の森から TKC に変更
- 6/17　新規２名の理事選任（評議員会）
- 8/7　法人設立記念日（設立 23 周年）
- 9/2　法人監事１名の退任に伴う後任選任(評議員会)
- 10/1　農福連携 PT を総務部に事業所横断的な課題に取り組む企画・推進室として配置
- 10/3、10/9　H30 指定障がい福祉サービス事業者等集団指導
- 12/21　松川町元気センター（仮称）へのエコール親愛運営参画プレゼンテーション
  → 12/25　運営参画特定通知（H32 年度同センターに移転予定）
- H31.1/17　飯島町地域活動支援センターやすらぎ（Ⅲ型）及び飯島町介護予防等拠点施設コスモス園の指定管理更新のためのプレゼンテーション
  → 3/20　更新決定通知（H31 年度から３年間）
- H31.3/28　松川町地域活動支援センターあすなろ　支援事業者指定通知
  → H31 年度は機能強化Ⅲ型に移行（１年間の業務委託）
- H31.3/31　業務の見直しに伴い親愛の里紙ふうせん加工所閉所

15. 主な改修工事、設備整備等

(円)

事　業　名	事業費総額	補助団体等	概　要　等	備　　考
フェンス工事 （親愛の里松川）	604,800	—	敷地北側フェンス増設	【施工業者】生田木材技建㈱ 平成 30 年 6 月 25 日完了
記録用カメラ設置 （親愛の里松川）	4,406,400	—	記録用カメラ、サーバー	【施工業者】日本連合警備㈱ 平成 30 年 6 月 27 日設置
自立棟追加工事 （親愛の里松川）	540,000	—	ドアストッパー増減 木製金具増減 洗面所暖房器具	【施工業者】㈱林材木店 平成 30 年 8 月完了
スチームコンベクションオーブン （親愛の里松川）	1,540,300	—	調理用	ホシザキ北信越㈱ 平成 30 年 11 月 29 日設置
居室用エアコン （親愛の里松川）	2,187,000	—	エアコン 10 台増設	【施工業者】日幸設備㈱ 平成 30 年 12 月完了
いちばん星建設工事 （親愛の里松川）	11,800,000	—	木造平屋建て 延べ面積 66.24 ㎡	【施工業者】㈱林材木店 H31.2.28 竣工
6 事業	21,078,500	—		

16. 公用車等の整備等

(円)

車　種　等	事業費総額	補助団体等	備　　考
トヨタ　プリウス(4WD)(5 人乗り)	3,070,000	—	配置先：本部 納車：H30.3.4
トヨタ　ハイエース（4WD） (10 人乗り)	3,540,000	—	配置先：親愛の里シンフォニー 納車：H30.6.11
スズキキャリー （軽トラック）	567,640	—	配置先：法人本部 （H31 から紙ふうせん） 納車：H30.7.31
トヨタ　ノア　(8 人乗り)	1,589,390	—	配置先：あすなろ 納車：H30.12.27

ホンダ　フリード（車イス仕様） （5 人乗り）	2,650,000	—	配置先：親愛の里松川 納車：H31.1.22
合　　計	11,417,030	—	

17. 添付資料

(1) 障害福祉サービス施設・事業所一覧

(2) 体系別福祉サービス数及び定員等一覧

(3) 法人、施設・事業所運営図

(4) 法人の沿革

(5) 基本理念

(6) 職員の使命

(7) 人事ポリシー

(8) 職員倫理綱領

5カ年計画(平成30年度～平成34年度)≫

人材確保、定着、育成制度の構築

【評価】A：目標以上　B：ほぼ目標達成　C：達成していない

項　　目	取組内容、年度等	評価
確保：人材確保の窓口の多様化と多様な人材の確保	・HPの改善、多様な就職斡旋機関の活用（ハローワーク、マイナビ、職業安定協会、県社協等）、学校訪問、職員紹介等（H30～） ・採用者に対するアンケート調査（H30～）	C+
定着、育成：自分の成長を感じ、働き易い、健全な職場	・法人研修センターの設置・運営（H30～）　…　人材育成部による各種研修の整理・統合 ・キャリアパスとリンクした研修制度への改善（H31～） ・職員処遇の改善（H29～H30）　…　給与等の改善 ・国家資格取得への支援制度の改善（H30）　…　学費等貸付制度等 ・人事考課制度の改善（H31）　…　人事考課表の見直し等 ・多様な働き方の制度化の検討（H31～） ・男性育児休業の取得率アップ（H31～）　…　達成率の設定 ・有給休暇の取得率アップ　50%→60%（H31～） ・適切な労働時間の管理と業務の見直しによる超過勤務時間の削減（H31～）　…　削減目標の設定 ・職員表彰制度の検討（H31～）　…　5年、20年表彰制度等	C+
その他必要な事項		

コンプライアンス意識の醸成　…　人材育成部

福祉サービスの充実、整備

【評価】A：目標以上　B：ほぼ目標達成　C：達成していない

項　　目	取組内容、年度等	評価
中・長期計画等の作成	・財務の裏付けによる整備計画等の作成（H31～）	C

日中活動系事業所の整備	・高木村さくらの園（H30）、紙ふうせんスマイル（H30）、ほっとハート親愛改修等（～H34）	B
グループホームの統合、改修	・財源の裏付けによるユニット化等の改修計画の作成（H31～）　…　コーポヘルメス、コーポ原町、コーポ宮坂等	C
事業拡大の検討	・人材の確保の下での新規事業計画（H31～）	C
既存事業所の継続の可否の検討	・人材の確保状況を踏まえた事業の見直し（H31～）	C
その他必要な事項		

経営継続資金の確保及び適正管理

【評価】A：目標以上　B：ほぼ目標達成　C：達成していない

項　　目	取組内容、年度等	
適正な内部留保の確保	・計画的な内部留保計画作成（H31）	C
適正、効率的な資金運用	・資金運用規程による効率的な資金運用（H30～）	B
中長期設備投資計画管理（予算管理体制の実施）	・施設等の建て替えと資金手当計画の作成（H31～）	C
P.L診断の実施	・TKC会計システム導入（H30）及び（独法）福祉医療機構の経営診断の受診の検討（H31～）	C+
その他必要な事項		

法人機能強化

【評価】A：目標以上　B：ほぼ目標達成　C：達成していない

項　　目	取組内容、年度等	評価
経営組織のガバナンス	・理事（会）、評議員（会）、監事等の責任、役割の明確化、出席率のアップへの取組（80%へ）（H31～）	C
公益的事業の充実	・あおぞら教室、まつかわ子ども福祉教室、親愛の里福祉大会、各種セミナー開催等（H30～）、法人後見制度の検討（H32～）	B
事業運営の透明性の向上	・HPの充実（H30）	B
財務規律の強化	・月次計算書等の期限内提出、内部牽制の強化、資金移動等の内規等の整備（H31～）	C
第三者評価の受審	・ジョブサポートフォルテ受審（H31）、長野エリア事業所（H32）…　受審計画作成（H31）	C+
当事者参加による法人経営	・運営協議会の設置等（H30～）	B
その他必要な事項		

別紙2-1

公益的事業
平成30年度あおぞら教室実施状況一覧

社会福祉法人　親愛の里

通算回数	実施日 (曜日)	内　　容	場　　所	当事者	講師等	スタッフ	ボランティア	合計	備考 (応援職員等)
第240回	4月28日 (土)	大西公園でお花見ランチ	大鹿村　大西公園	11	0	7	0	18	
第241回	5月26日 (土)	群読カバー作り、群読	松川町地域活動支援センター あすなろ	5	0	4	0	9	
第242回	6月23日 (土)	カラオケ大会	デビュー(高森町)	9	0	4	0	13	1等級研修1名
第243回	7月28日 (土)	ふれあい祭り（流しそうめん）	飯島町地域活動支援センター やすらぎ	27	0	12	5	44	付添ヘルパー2名含む
第244回	8月25日 (土)	バーベキュー	飯島町　与田切公園	11	0	5	0	16	ヘルパー2名含む
第245回	9月22日 (土)	群読カバー＆コサージュ作り	松川町地域活動支援センター あすなろ	9	0	5	0	14	1等級研修2名
第246回	10月27日 (土)	ハロウィンパーティー	松川町地域活動支援センター あすなろ	10	0	6	0	16	1等級研修2名
第247回	11月24日 (土)	あおぞら映画祭	松川町老人福祉センター	7	0	3	0	10	1等級研修1名
第248回	12月22日 (土)	クリスマス会	松川町地域活動支援センター あすなろ	16	0	7	2	25	ヘルパー1名含む
第249回	1月26日 (土)	調理実習	ふれあい工房	8	1	7	0	16	ヘルパー1名含む
第250回	2月23日 (土)	みんなで体を動かすぞ！	松川町北名子体育館	8	0	7	0	15	ヘルパー1名 1等級研修1名
第251回	3月23日 (土)	あおぞら座談会	松川町地域活動支援センターあすなろ	6	0	6	0	12	ヘルパー1名含む
計		12事業		127	1	73	7	208	

○実施状況
法人内のグループホームや地域活動支援センターの利用者中心に参加があり、30年度は新しい企画も増やした。移動支援を利用しての参加が始まった。（GH）

○課題
ほぼ毎回、参加者が決まってきているので、今まで参加のなかったご利用者にも参加してもらえるように職員配置や企画内容を含め、検討していきたい。

別紙2-2

平成30年度
あおぞら教室決算報告書

収入金額	200,868	円
支出金額	200,868	円
差引残額	0	円

≪収入≫

単位：円

項　　目	金　　額	備　　考
親愛の里補助金	114,668	公益的事業（本部）
参加費	86,200	
合　　計	200,868	

≪支出≫

単位：円

項　　目	金　　額	備　　考
4月：お花見ランチ	20,070	弁当代等
5月：群読カバー作り、群読	12,592	消耗品、弁当代等
6月：カラオケ大会	13,290	利用料、飲み物等
7月：ふれあい祭り（流しソーメン）	30,847	材料費等
8月：バーベキュー	31,924	材料費、利用料等
9月：群読カバー&コサージュ作り	9,100	材料費、弁当代等
10月：ハロウィンパーティー	23,953	材料費、消耗品等
11月：あおぞら映画祭	5,180	飲み物等
12月：クリスマス会	30,530	消耗品、弁当代等
1月：調理実習	16,562	お礼、材料費等
2月：みんなで体を動かすぞ	2,991	飲み物等
3月：あおぞら座談会	3,829	飲み物等
合　　計	200,868	

公益的事業
平成 30 年度まつかわこども福祉教室“あいむ”事業報告書

社会福祉法人　親愛の里

期　日	事　業　名	内　容　等	参加者				備　考
			児童	Vr.等	スタッフ	計	
5/19(土)	・開講式 ・物作り 『キラキラ☆ドキドキ大作戦』	・今年の児童、スタッフ等の顔合わせ ・日頃お世話になっている父、母に向けて感謝の気持ちを込めて手作りのプレゼントを作りましょう。 （ネックレス、ブローチ、ストラップ他） 講師：田村氏（松川町民生委員）	17	1	10	28	於　松川町社会福祉協議会 企画：唐澤めぐみ(親愛の里)
7/22(日)	・宮田村聴導犬協会訪問 『音を運ぶよ！聴導犬』	・聴覚障がいへの理解（障がい特性や、生活上の困難さがどこにあるかを知る） ・聴導犬の役割の理解	18	0	7	25	於　宮田村聴導犬協会 企画：宮下風香(松川町社協)
10/21(日)	・松川町ふれあい広場参加	・地域共生社会に向けた町のイベントへの参加を通じて、地域の理解や課題、支え合い等を体験する。 ・松川町のイベントで焼きそば、フランクフルトを調理して販売する。 ・みんなで協力してお客さんにおいしく食べてもらう。	12	0	10	22	於　名子原体育館
11/3(土)	・ボランティア体験ツアー (東京ディズニーランド)	・TDL の障がいがあっても楽しめる工夫や接客、サービスを体験する。 ・車いす利用者等とグループで行動し、車イス操作体験	15	6	15	36	於　東京ディズニーランド

		や交通機関を利用する上でのパーキングやトイレ等になされている配慮、工夫等を理解する。 ・当事者の視点に立った道案内を体験する。 ・当事者 6 名参加 ※つなぐ事業・高校生スタッフ参加（8 名）					
2/10（日）	・もちつき大会	・地域の方との交流を通して季節行事を体験する。（アンサンブルとの交流会も企画していたが、インフルエンザ流行の為、今年度は不参加だった。）	6	3	7	16	於　松川町社会福祉協議会
3/3（日）	・車イスバスケ ・閉講式	・車イスバスケついて体験、学習する。 ・車イスバスケ体験 講師：前田大介氏（松川町） ・1 年のまとめ	13	0	6	19	於　松川町社会福祉協議会、名子原体育館 企画：米山和樹（松川町社協）
	6 事業		57	18	53	128	

主管事業所：松川町地域活動支援センター　あすなろ

〇実施状況

・今年度は 18 名の登録があり、年 6 回実施した。地域の社会資源やボランティアを活用して障がいのある方との交流から、障がい福祉や松川町を学ぶ場とした。

・高校生と地元事業を「つなぐ」事業で募集した高校生にスタッフとして、東京ディズニーランドボランティア体験ツアーへ参加をしてもらった。

〇課題等

・事業内容が固定化している部分もあり、地域に目を向けた展開が必要となる。

・地域行事と日程が重なってしまう事があったため、なるべく多くの生徒が参加出来るように調整が必要。

平成30年度まつかわこども福祉教室“あいむ”
参加児童・生徒数及びスタッフの状況

【児童、生徒等】

（人）

区分	小学生				中学生			合計
学年	3年	4年	5年	6年	1年	2年	3年	
人数	3	3	6	5	1	0	0	18

区分	小学生	中学生
人数	17	1

※　対象児童：小学校3年生～中学3年生

【スタッフ】

（人）

区分	主婦	当事者	親愛の里	松川社協	合計
人数	1	1	3	4	9

※1　当事者：障がいのあるスタッフ

※2　講師：2名

別紙3-3

平成30年度
まつかわこども福祉教室決算報告書

収入金額　765,155　円

収入金額　583,681　円

差引残額　181,474　円

≪収入≫

単位：円

項　　目	金　　額	備　　考
Ⅰ 補助金収入	275,000	公益的事業（本部）
親愛の里	140,000	
松川町社会福祉協議会	130,000	
ボランティア連絡協議会	5,000	グループ助成金
Ⅱ 参加費	263,100	
年間負担金	18,000	@1,000×18人
きらきらドキドキ大作戦（5月行事）	3,400	@200×17人
ディズニーランド（11月行事）	240,500	@大人　7,700×13人 @中人　6,800×8人 @小人　5,300×15人 キャンセル分返金　6,500
Ⅲ 雑収入	101,600	ふれあい広場模擬店収入（焼きそば、フランクフルト）
Ⅳ 前期繰越金	125,455	
合　　計	765,155	

≪支出≫

単位：円

項　　目	金　　額	備　　考
5/19：開講式、キラキラ☆ドキドキ大作	10,262	保険代、講師謝礼、材料費他
7/22：音を運ぶよ！聴導犬	14,284	保険代、運転手謝礼、募金他
10/22：松川町ふれあい広場	47,501	材料費
11/3：ボランティア体験ツアー	477,273	保険代、チケット代、旅行会社依頼料他
2/10：餅つき大会	9,211	保険代、もち米、もち加工代金他
3/3：閉講式、車イスバスケ	11,150	保険代、講師謝礼他
雑費	14,000	スタッフ会議費
合　　計	583,681	

平成 30 年度飯田市「つなぐ事業」の実施報告書

社会福祉法人　親愛の里

1. 経過

平成 30 年 4 月 12 日(木)　飯田市「つなぐ事業」募集

平成 30 年 5 月 11 日(金)　飯田市あて申出

平成 30 年 6 月 8 日(金)　飯田市ヒアリング

平成 30 年 6 月 18 日(月)　事業決定　…　16 社

平成 30 年 7 月 10 日(火)　募集　…　13 名応募

（飯田女子高等学校 9 名、阿南高等学校 3 名、飯田風越高等学校 1 名）

平成 30 年 8 月 7 日(火)・11 日(土)　事前学習会開催①

平成 30 年 8 月 27 日(月)　視察研修

研修先：ホテルニューシルク(飯田市)　…　フリースペースの運営等について

平成 30 年 8 月 30 日(木)　視察研修　…　フリースペースの運営等について

- 裏山(うらやま)しいちゃん（飯田市）
- 桜咲創(さくらさくぞう)（飯田市）

平成 30 年 10 月 13 日(土)・14 日(日)　事前学習会開催②

平成 30 年 11 月 3 日(土・祝)　TDL ボランティア体験ツアー実施　…　8 名参加

平成 30 年 11 月 29 日(月)　つなぐ事業報告会＆談義　於　シルクホテル（飯田市主催）

平成 30 年 12 月 1 日(土)　座談会開催(参加者)

2. 学習会等開催状況

(1) 平成 30 年 8 月 7 日(火)・11 日(土)　…　13 名出席　於　松川町地域活動支援センター

① 社会福祉法人　親愛の里及び法人事業の概要について

② まつかわ子ども福祉教室"あいむ"の概要について

③ 参加者の意向の確認　…　アンケート実施

④ その他

(2) 平成 30 年 10 月 13 日(土)・14 日(日)　…　8 名出席　於　松川町社会福祉協議会

（飯田女子高等学校 5 名、阿南高等学校 3 名）

① ボランティアについて

② 車いすの操作法について　…　屋外散歩

③ 障がいについて

④ 事前学習会についてアンケート実施

⑤ その他

(3) 平成 30 年 11 月 3 日(土・祝日)

① TDL ボランティア体験ツアー … 別紙

② 参加者 36 名（児童 15 名、高校生ボランティア 8 名、当事者 6 名、スタッフ 7 名）

③ 生徒の役割：学習課題への取り組み、グループ児童の見守り等

(4) 平成 30 年 11 月 30 日(土) 座談会 … 3 名出席 於 松川町地域活動支援センター

別紙

まつかわ子ども福祉教室“あいむ”

ボランティア体験ツアー計画書

1. 期日：平成 30 年 11 月 3 日(土・祝)
2. 場所：東京ディズニーランド（千葉県浦安市舞浜 1 - 1　電話 0570 - 00 - 8632）
3. 目的
   (1) 当事者の皆さん(車いす利用者等の障がいのある人)が安全で安心して楽しく旅行ができるようにお手伝いをする。
   (2) 当事者の皆さんの社会参加活動支援を通じて、私たちが生活する社会について当事者の視点で体験学習をする。
   (3) 障がいがあっても楽しめる TDL の設備、配慮、サービス等を学ぶ。
   (4) 車いす利用者等の障がいのある人の社会参加を促進するために、高速道路の SA や PA でどのような設備や配慮がされているか学ぶ。
   (5) 車いす操作や道案内の仕方などを当事者の視点で体験学習する。
4. 参加予定者
   (1) 児童：15 名　…　松川中央小学校、松川中学校等の児童・生徒
   (2) 当事者(障がいのある人)：6 名(内 1 名はスタッフ)
   (3) 高校生ボランティア：8 名　…　飯田女子高等学校：5 名、阿南高等学校：3 名
   (4) スタッフ：7(8)名（親愛の里：5 名、松川町社会福祉協議会：2 名、(当事者：1 名)）
   (5) 合計 36 名
5. グループ表　…　別紙
6. 交通機関
   - 大型バス　1 台
   - 旅行業者：旅ねっと飯田（飯田市東中央通 3254 - 5　電話 0265 - 52 - 6615）
7. 日程等：別紙旅程表
   - 4:40　集合（名子原体育館：松川町元大島 2930-1　松川町社会福祉協議会北隣り）
   - 5:00　出発
   - 9:45　TDL 到着（現地：9:45～14:30）
   - 15:00　TDL 出発
   - 19:30　到着（名子原体育館/解散）
8. その他
   (1) 高校生ボランティアの皆さん個々の学習課題への取り組みについてお手伝いしますので、何でも質問してください。
   (2) 行事保険に加入していますので、ケガなどの場合は運営委員にお知らせください。
   (3) 緊急連絡先（責任者）：大澤孝史（携帯　080 - 6998 - 6225）

【楽しい旅になるために一人ひとりが守ってほしいこと 】

1. 話しは、しっかり聞きましょう。
2. 時間は守りましょう。
3. 分からないことや困ったときは、何でも聞きましょう。

社会福祉法人　親愛の里
基本理念：人権の保障と幸福（しあわせ）を共に創る
～　笑顔で挨拶日本一　～

平成30年度長野エリア研修会実施報告

別紙5

＜職域共通研修＞

研修名	月　日	目　的（内　容）	企画担当者	講　師	参加者数	経　費
虐待防止研修	①9月5日（木） ②9月20日（金） ③9月21日（土）	障がい者虐待防止法の趣旨を理解し、権利擁護や人権保障についての意識を高める。また、具体的事例を交え対応や考え方を学ぶ	島崎課長 （親愛の里松川） 畔上M （ヘルメス）	(社福)信濃友愛会 臼井尚子氏	110名	会場費：600円 講師謝礼
感染症対策研修	各事業所にて実施	感染症の傾向、感染症の発症予防、発生時の対策を学ぶ	各事業所看護師等	各事業所の担当者	全職員	なし
メンタルヘルス研修	①管理者向け 12月18日(水) ②職員向け 12月～1月	職場での離職率が最も高いのは、対人関係からのストレスによる原因である。法人内においてもストレスを抱える職員が増加傾向にあるため、コミュニケーションカードを用いた研修を実施し、互いを尊重しあえる職場環境づくりを目指す。	青木理事 大澤M 畔上M	①㈱ウェルケアーズ 皆本昌尚氏 ②青木理事	全職員	講師謝礼

＜職域研修＞

研修名	月　日	目　的（内　容）	担当者	講　師	参加者数	経　費
所長等研修	各月1回	①各事業所の現状や課題を理解する ②運営や経営、人材育成を学ぶ ③課長の意見を集約し法人に提言する。	伊藤理課長 （シンフォニー） 伊藤明課長 （夢工房） 吉川課長 （紙ふうせん）	参加者	各回9名程度	なし
２、３等級研修	①5月17日（木） ②8月3日（金） ③9月6日（木） ④11月15日(木) ⑤1月17日（木）	２，３等級職員としての必要な知識や技術を身に着けることで自己実現に向けたモチベーションを高める。また、自分たちに何ができるのか課題を挙げて話し合う	大原支援員 （エコール） 吉川所長 （紙ふうせん）	①大原 ②野上、中村、宮島 ③田中，田中(佑)，米沢 ④宮下、佐藤、大原 ⑤小山、中原、大澤	各回８名程度	なし
１等級研修	①6月29日(金) ②8月9日（木） ③11月6日（火） ④12月5日（水）	1等級職員としての自覚を持ちコミュニケーションを取りながら、また情報交換をしながら、地域福祉にも目を向ける。公益的事業を学ぶ。また、自分たちの仕事を振り返る	瀬川、和田支援員 （親愛の里松川） 熊谷支援員 （ほっとハート） 西尾所長 （ヘルメス）	①参加者 ②大澤M、関所長 ③青木理事 ④青木理事	各回20名程度	なし
新任職員研修	①２月17日（土） ②3月3日（土）	新任職員を対象に法人、就業規則、福祉の職場、障がい特性など職員の基礎となることを学ぶ	畔上施設長 （ヘルメス） 島崎課長 熊谷支援員 （親愛の里松川）	宮下常務理事 事務局 各所長・課長	10名	なし
事業所見学研修	①7月12日（木） ②7月24日（火）	他事業所の見学を通してサービスの工夫や支援の視点を学び広い視野で職務に生かせるようにする	中村事務員 （事務局） 藤田支援員 （親愛の里松川） 畔上M	各事業所の担当者	16名	なし

H30 年度名古屋支援事業所学習会一覧

名　　称	担当	概　　要	対　象	開催日程
親愛の里学習会	今井	・難病の方の支援 実態と課題 ・企業から見た福祉について ・すぐに使えるSST ・児童の施設 （母子支援施設について）等	法人職員 関係機関 当事者・家族等	月１回
若葉学習会 (研究サークル)	石川 (主任)	・ICF の視点を入れた支援 ・相談援助技術の理論　　等	全職員	月１～２回
フラワー学習会		・職場のコミュニケーション ・なんでも相談　等	新任職員 （１～３年目）	適宜 （年度途中から一時中止）
新人研修	総務	・法人の概要 ・各事業所見学 ・事務諸規定　　等	新人職員	４月 （H30 年度対象職員なし：実施なし）
長野研修	総務	・長野支援事業所見学 （１泊２日）	新人職員	年１回 <6月ごろ> （H30 年度対象職員なし：実施なし）
事例検討会	各所長	・各事業部での事例検討会 （ヒヤリハットなどをもとに個別の支援、対応も検討）	事業所の職員	月１回 （適宜必要に応じて実施）

別紙7

2019.5.14

H30事業報告　　企画推進室　　鳴澤

1 種別、名称 工賃倍増PJ

2 概要

国の政策に沿い　平均賃金の向上を図る。対象を紙ふうせんの農業において
市田柿の生産の着手し初めて販売にまで至った。農業の内容も整理し
他の項目についても新たに着手した。

(1) 重点目標、評価

重点目標：市田柿の生産において次年度も生産できる環境つくり

評価：途中からの参加、知見無しからのｽﾀｰﾄとすれば　高評価とみる。　→表1

次年度も生産できる環境作りはできた　あとは紙ふうせんの頑張りである。

(2) 現状（平均工賃）

	H29年度分		H30年度分	
対象者人（人/年）	386		381	
工賃総額（万円）	誤 557	正 450	496	
平均工賃（円/人月）	14440	11668 →	13030	1362円/人月up 12%UP

当初の値には　H28年度分の100万が
加えられており正しくない

正しくはこれだけup

(3) 課題と対応

市田柿のような新規のﾃｰﾏを進めるにあたってのｼｽﾃﾑが未整備である為に進めていく
上で多くの困難があった。従って　対応としては　紙ふうせんが独自で容易に進めて
いけるよう　システムの構築といった切り口で今後もｻﾎﾟｰﾄしていきたい

3 実績　　→表2

市田柿以外に８つのﾃｰﾏにつき検討した。実際に手が付いたのが４項目（4/8）
いづれも魅力的なテーマと思われるが　紙ふうせんの現状を考慮し　無理なく
進めたい

4 主な施設、設備等

市田柿：柿加工所、柿むき機、柿畑等

5 苦情等

市田柿：製品出荷としての苦情はゼロ

6 他

表1

干し柿生産損益計算書

単位 円

売上高合計	2,475,560	100.0%
JA出荷手数料	318,592	12.9%
業務委託費	798,250	32.2%
肥料費	69,890	
農薬費	50,969	
包材費	126,583	
消耗品費	181,179	
動力光熱費	15,147	
修繕費	150,890	
地代 家賃	295,583	11.9%
車両費	31,835	
保険料	38,400	
作業衣料費	40,713	
厚生費	23,407	
減価償却費	55,823	
販売管理費計	2,197,261	88.8%
営業利益	278,299	11.2%

平成３０年度　　*1

工賃倍増PJ　取り扱いテーマ進捗一覧　新：新規テーマ　旧：旧テーマ　○：手がついたもの　×：手つかず

区分*1	項目	実績、現状	今後の進め方
重要 新○	①柿関連 澤柳畑柿生産	'30初出荷済　外部人件費80万円　JA納金32万円下で利益28万円は合格 （こぶし園は５年かかった）	外部人件費を押さえるが最大のﾎﾟｲﾝﾄ H31利益目標70万円
新○	領法寺畑生産	剪定、１回目消毒済、外観も整えた　土地交渉済(1.1万円/年5年借上) 契約済(1.1万円/年で５年借り上げ)	生柿としての出荷を予定する H31利益目標30万円
旧	柿取り	例年通り行った	澤柳畑柿生産を優先する
新○	②ﾔｸﾓﾉｳ	本年度収穫予定　福岡同等以上38万円を目論む	30Rの作付けを目指す 次年度利益目標114万円
新○	（施設外就労） ③七久里農園 ﾄﾏﾄ、ﾈｷﾞ	利益目標　５６万円/年　実績２８万円/６ヶ月 紙ふうせん一七久里（阿智）間では就労可500円/H 紙ふうせん近郊での就労を検討	←継続
旧	④五光ﾄﾏﾄ	紙ふうせんにてﾄﾗｲするも結果は得られていない	←継続
新×	⑤JNC	（電子）部品の処理の　前、後の準備←できそう 最終的に　中作業に取り込める可能性あり	・試験的に作業を行っていく ・中作業の柱になる可能性あり
新○	（施設内就労） ⑥天竜産業 ﾆﾝﾆｸ	中作業として取り入れたが賃金が安い	廃止も検討する
新×	（製品化） ⑦中平農園 ｼﾞｭｰｽ	企画まで 150円で仕入れ　弊社でｼｰﾙを貼り名古屋で250で売る 仕入れ値につき了承済	ﾌｫﾙﾃでの販売をｽﾀｰﾄする。
新×	⑧メンマの製造	竜丘自治振興C、と曽根原氏（ｷｰﾏﾝ）の協力を取り付けた 国内98％が中国製であり　食の安全性という事から差別化を計る 環境対策、社会性、工賃倍増の一石三鳥の案件とみる	Ｈ31年度試作 結果を受け来季以降の方法を決める
新×	⑨墓掃除	領法寺より依頼を受けたが　紙ふうせんの事情によりｽﾄｯﾌﾟ	

表2

添　付　資　料

社会福祉法人 親愛の里 障がい福祉サービス施設・事業所一覧

平成 31 年 3 月

《長野支援事業所》

※ 居住系サービス

種 別 等	名 称	事業及び定員等	役割・説明
障害者支援施設	親愛の里松川 （松川町）	定員：40 名／ショートステイ：4 名 施設入所支援：40 名 生活介護事業：40 名	H9.10.1 開所 H21.10.1 新体系移行 3 障がい対象 重度障がい者支援／高齢知的障がい者支援／地域生活移行支援／在宅支援等 H29.6 定員削減(50→40 名)
共同生活援助事業所	コーポヘルメス	定員：38 名・サテライト：2 名 ／ショートステイ：1 名	住まいの場の提供
	コーポヘルメス （松川町） コーポ原町 （高森町） コーポ宮坂 （松川町）＋サテライト…コーポ松上 コーポ宮田 （宮田村） コーポ宗源原 （松川町） コーポ新井 （松川町）	7 名 6 名 7 名（＋サテライト 2 名） 4 名 7 名 5 名 （＋ショートステイ 1 名）	H13.10.1 開所 H19.5.1 開所 H20.4.1 開所（サテライト：H29.2） H24.4.1 開所 H25.7.1 開所 H29.5.1 開所

※ 日中活動系サービス

多機能型事業所	ほっとハート親愛 （松川町）	定員：30 名 生活介護事業 20 名 就労継続支援 B 型事業 10 名 （分場：喬木村さくらの園）	H13.10.1 開所 日中活動の場の提供 H30.4.1 就労継続支援 B 型事業

就労継続支援 B 型事業所	親愛の里シンフォニー　（宮田村）	定員：20 名	平成 13.4.1 開所 日中活動の場の提供
多機能型事業所	親愛の里紙ふうせん （高森町）	定員：40 名 就労移行支援事業　6 名 就労継続支援 B 型事業　24 名 生活介護事業　10 名 （分場：紙ふうせんスマイル）	H16.10.1 開所 日中活動の場の提供 H30.7　生活介護事業
多機能型事業所	親愛の里夢工房 （宮田村）	生活介護事業　14 名 自立訓練（生活訓練）事業　6 名	H25.10.1 開所 日中活動の提供
地域活動支援センター	松川町地域活動支援センター　あすなろ（松川町）	Ⅲ型	H22.4.1 松川町委託事業 日中活動の場の提供
地域活動支援センター	飯島町障がい者地域活動支援センター やすらぎ（飯島町）	Ⅲ型	H26.4.1 飯島町指定管理事業 日中活動の場の提供

※　障害児通所支援(児童福祉法)

放課後等デイサービス	エコール親愛（松川町）	定員：10 名	H23.5.1 開所 発達障がい児等の放課後支援等

※　訪問系サービス

居宅介護事業所	障がい者サポートセンター親愛（松川町）	行動援護事業	H21.8.1 開所

※　特定相談支援事業

相談支援事業所	松川障がい者相談支援センター （松川町）	特定相談支援・障害児相談支援事業	H24.12.8 指定

《名古屋支援事業所》

※　居住系サービス

種　別　等	名　　称	事業及び定員等	役割・説明
共同生活援助事業所	ぱれっとハウス	定員：14 名	住まいの場の提供
	ぱれっとハウス　（中村区） アウェエテ　（中村区） コーポ本陣（中村区）	6 名 6 名 2 名	H17.7.1 開所 H17.11.1 開所 H26.8.1 開所

※　日中活動系サービス

多機能型事業所	ジョブサポートフォルテ　（中村区）	定員：55 名 就労移行支援事業　10 名 就労継続支援 B 型事業　39 名 自立訓練(生活訓練)　6 名 就労定着支援事業	H17.10.1 開所 日中活動の場の提供 H30.4.1 ワークショップ虹と 統合・移転 H30.12.1(就労定着支援事業開始)
地域活動支援センター	親愛の里そよかぜ　（中村区）	Ⅰ型	H15.10.1 開所 日中活動の場の提供
地域活動支援センター	ハートランド森　（熱田区）	Ⅰ型	H18.10.1 経営移管 日中活動の場の提供
地域活動支援センター	クオーレ　（南区）	Ⅰ型	H26.4.1 開所 日中活動の場の提供

※　一般相談支援事業

相談支援事業	中村区障害者基幹相談支援センター　（中村区）	一般／特定／障害児相談支援事業	H15.10.1 開所 H26.4 月変更（共同事業体）

相談支援事業	熱田区障害者基幹相談支援センター（熱田区）	一般／特定／障害児相談支援事業	H18.10.1 開所 H26.4 月変更（共同事業体）
相談支援事業	南区障害者基幹相談支援センター （南区）	一般／特定／障害児相談支援事業	H26.4.1 開所（コンソーシアム事業）

《刈谷支援事業所》

種　別　等	名　　称	事業及び定員等	役割・説明
保育所	親愛の里保育園（刈谷市） 一時保育事業 病児・病後児保育事業 子育て支援センター	定員：135 名 定員：10 名 定員：4 名 ―	H22.10.1 開所(経営移管) H26.4.1 開所 H26.8.1 開所 H26.8.1 開所

P.31

《公益的事業》

業	名　　称	概　　要	備　　考
生涯学習事業	あおぞら教室（松川町）	障害のある人の社会参加、仲間づくり、体験学習等を通じて社会生活力の向上を図る。	H7.5 開始（毎月）
福祉等体験事業	まつかわ子ども福祉教室“あいむ”（松川町）	①高齢者や障がいのある人、外国の人等とのふれあいを通じて、思いやりの心を育てる。 ②様々な活動を通じて、私たちの生活する地域について学ぶ。 ③H30　つなぐ事業の実施（飯田市主催）…　高校生対象	H7.4 開始（松川町社会福祉協議会、運営ボランティア等と協働で実施）
学習・啓発事業	・親愛の里福祉大会（松川町等） ・オープン学習会（松川町、名古屋市等）	①講演会の開催 ②各種学習会の開催	

平成30年度体系別福祉サービス数及び定員等一覧

平成31年3月31日

区分	福祉サービス	長野支援事業所	定員等	名古屋支援事業所	定員等	刈谷支援事業所	定員	合計	
								サービス数	定員
居住系サービス	障害者支援施設	1	40	0		0		1	40
	共同生活援助事業（グループホーム）	6	38	3	14	0		9	52
	ショートステイ	2	5	0		0		2	5
	（小　計）	9	83	3	14	0	0	12	97
日中活動系サービス	生活介護事業	3	44	0		0		3	44
	就労継続支援B型事業	3	54	1	39	0		4	93
	就労移行支援事業	1	6	1	10	0		2	16
	生活訓練事業	1	6	1	6	0		2	12
	就労定着支援事業	0	0	1	0	0		1	0
	地域活動支援センター（Ⅰ型）	0		3	60	0		3	60
	地域活動支援センター（Ⅲ型）	2	20	0	0	0		2	20
	（小　計）	10	130	7	115	0	0	17	245
訪問系サービス	居宅介護事業（行動援護事業）	1	15	0		0		1	15
	（小　計）	1	15	0	0	0	0	1	15
障害児通所支援	放課後等デイサービス	1	10	0		0		1	10
	タイムケア	1		0		0		1	0
	（小　計）	2	10	0	0	0	0	2	10
相談支援事業	障害者基幹相談支援センター	0		3		0		3	0
	特定相談支援センター	1		0		0		1	0
	（小　計）	1	0	3	0	0	0	4	0
保育所等	保育所	0		0		1	135	1	135
	一時保育事業	0		0		1	10	1	10
	病児・病後児保育	0		0		1	4	1	4
	子育て支援センター	0		0		1		1	0
	（小　計）	0	0	0	0	4	149	4	149
合　計		23	238	13	129	4	149	40	516

※　公益的事業(法人)：あおぞら教室、まつかわこども福祉教室、親愛の里福祉大会ほか

平成30年度社会福祉法人 親愛の里
法人、施設・事業所運営図

平成31年3月

法 人 の 沿 革

《運営の経過及び主な施設整備の状況》

期　日	内　容
平成７年５月	在宅障害児・者の生涯学習の場として、下伊那郡松川町で「あおぞら教室」を開始する。(毎月開催)
平成８年４月１日	自主運営：在宅障害者への援助・支援試行(1 年間)
平成８年７月１日	社会福祉法人　親愛の里設立認可
平成９年６月30日	知的障害者更生施設　親愛の里松川竣工
平成９年10月１日	下伊那郡松川町に知的障害者更生施設　親愛の里松川開所 (定員 30 名　ショートステイ４名)
平成10年４月１日	社会福祉法人　親愛の里倫理綱領制定
平成12年10月１日	知的障害者更生施設　親愛の里松川増設　(定員 50 名)
平成12年10月１日	自動車総連・盟和産業労働組合より、親愛の里松川に車両寄贈 (ハイエース 10 人乗り)
平成13年４月１日	名古屋市中村区に精神障害者小規模作業所　ワークショップ虹開所 (定員 15 名)
平成13年４月１日	上伊那郡宮田村に障害者等共同作業所　宮田村福祉作業所開所 (宮田村委託事業)
平成13年10月１日	下伊那郡松川町に知的障害者デイサービス事業　松川町障害者デイサービスセンター親愛開所　(定員８名)　(松川町委託事業)
平成13年10月１日	下伊那郡松川町に知的障害者地域援助事業(グループホーム)　コーポ ヘルメス開所　(定員７名)
平成14年10月５日	松川町障害者デイサービスセンター親愛及びコーポ ヘルメス開所 1 周年記念式典開催
平成15年４月１日	措置制度から支援費制度への変更に伴い、指定施設事業者及び指定居宅支援事業者の指定を受ける。
平成15年４月１日	措置費制度から支援費制度への変更に伴い、コーポ ヘルメスの定員変更(6 名)
平成15年10月１日	名古屋市中村区に精神障害者地域生活支援センター 親愛の里そよかぜ開所
平成15年11月１日	あおぞら教室が通算 100 回となる。
平成16年10月１日	下伊那郡高森町に精神障害者通所授産施設 親愛の里紙ふうせん開所(定員 20 名)
平成16年10月１日	強度行動障害特別支援加算事業開始(親愛の里松川)
平成16年10月31日	あおぞら教室 100 回記念事業開催 中国大黄河雑技団及び JUZO 太鼓公演
平成16年３月31日	日本財団福祉車両助成による車両整備 親愛の里松川：リフト付ハイエース(10 人乗り)
平成17年７月１日	名古屋市中村区に精神障害者小規模作業所　ジョブサポート f(フォルテ)開所 (定員 15 名)

平成17年7月1日	名古屋市中村区に精神障害者地域生活援助事業(グループホーム)　ぱれっとハウス開所　(定員　5名)
平成17年11月1日	名古屋市中村区に精神障害者地域生活援助事業(グループホーム)　アウェエテ開所　(定員　4名)
平成17年12月1日	松川町内に自活訓練用家屋(3DK)を1棟借用
平成18年4月1日	障害者自立支援法施行
平成18年6月14日	宮田村に次世代育成支援事業として、宮田村つどいの広場を開所 (宮田村委託事業)
平成18年10月1日	松川町障害者デイサービスセンター親愛が経過的デイサービスとして継続運営
平成18年10月1日	名古屋市熱田区家族会経営の、精神障害者小規模作業所 ハートランド森の経営受託に伴い、新たに熱田区に同作業所を設置
平成18年10月1日	精神障害者地域生活支援センター 親愛の里そよかぜが、中村・中川障害者地域生活支援センター(指定相談支援事業)及び精神障害者地域活動支援センター 親愛の里そよかぜ(Ⅰ型)として継続運営
平成18年10月1日	精神障害者小規模作業所　ジョブサポートf(フォルテ)及びワークショップ虹が、多機能型事業所 ジョブサポートフォルテとして継続運営 (定員：就労移行支援6名／就労継続支援(B型)18名／自立訓練(生活訓練)6名) 主たる事業所：ジョブサポート フォルテ　従たる事業所：ワークショップ虹
平成18年10月1日	グループホーム ぱれっとハウス及びアウェエテが、共同生活援助・共同生活介護事業所 ぱれっとハウスとして事業運営 (共同住居：ぱれっとハウス・アウェエテ)
平成18年10月1日	熱田・港障害者地域生活支援センター(指定相談事業)を開始
平成19年4月1日	経過的デイサービス 松川町障害者デイサービスセンター親愛が多機能型事業所ほっとハート親愛として継続運営(定員：生活介護6名／自立訓練(生活訓練)14名)
平成19年4月1日	グループホーム コーポヘルメスが共同生活援助・共同生活介護事業所 コーポヘルメスとして事業継続
平成19年4月1日	精神障害者小規模作業所 ハートランド森が、作業所型地域活動支援センター ハートランド森(Ⅱ型)として事業継続
平成19年4月1日	障害者等共同作業所 宮田村福祉作業所が、地域活動支援センター(Ⅲ型)として継続運営
平成19年5月1日	共同生活援助・共同生活介護事業所　コーポ原町を高森町下市田に開所　(定員3名)
平成19年11月13日	共同生活援助・共同生活介護事業所　コーポ原町改修工事竣工（12月から定員3名→6名に変更）
平成20年1月31日	多機能型事業所　ほっとハート親愛増改築工事竣工 障害者自立支援対策特別対策事業：基盤整備事業　18,596,340円 （特例交付金：18,000,000円）
平成20年1月31日	コーポ宮坂及び障がい者サポートセンター親愛整備事業竣工 障害者自立支援対策特別対策事業：基盤整備事業　25,230,500円 （県単補助金：5,000,000円　特例交付金：4,500,000円　日本財団助成金：6,100,000円）
平成21年3月31日	日本財団福祉車両助成による車両整備 親愛の里松川：セレナ(8人乗り)
平成20年4月1日	共同生活援助・共同生活介護事業所　コーポ宮坂を松川町元大島に開所　(定員7名)

平成20年4月1日	地域活動支援センター 宮田村福祉作業所(Ⅲ型)が自立訓練（生活訓練）事業所に移行し、名称が親愛の里シンフォニーとなる
平成20年7月19日	親愛の里松川設立10周年記念式典及び記念映画上映会を松川町中央公民館にて開催　映画：筆子・その愛～天使のピアノ～
平成20年7月19日	法人のマスコットキャラクター「親愛ちゃん」制定
平成21年2月27日	親愛の里松川新居住棟(自立訓練棟)竣工 障害者自立支援対策特別対策事業(基盤整備事業)　37,485,000円 （特例交付金：18,000,000円） 定員：7名　建築面積：225.66㎡(床面積：216.13㎡) 構造：木造平屋造
平成21年2月27日	親愛の里紙ふうせん増築工事竣工 障害者自立支援対策特別対策事業(基盤整備事業)　17,430,000円 （特例交付金：17,430,000円） 増築面積：78.96㎡ 構造：鉄骨平屋造
平成21年2月27日	親愛の里シンフォニー改修工事竣工 障害者自立支援対策特別対策事業(基盤整備事業)　19,282,500円 （特例交付金：18,000,000円） 内容：喫茶店、台所、トイレ、外壁、作業室等の改修
平成21年2月27日	コーポヘルメス改修工事竣工 障害者自立支援対策特別対策事業(基盤整備事業)　1,800,000円 （特例交付金：1,800,000円） 内容：浴室の改修ほか
平成21年4月1日	精神障害者通所授産施設　親愛の里紙ふうせんが多機能型事業所に移行すると共に、多機能型事業所　ほっとハート親愛との事業統合を行い、新たに多機能型事業所　親愛の里紙ふうせん(定員24名)として継続運営 （主たる事業所　親愛の里紙ふうせん　定員：就労継続支援事業6名／就労継続支援(B型)18名／従たる事業所　ほっとハート親愛　定員：自立訓練(生活訓練)10名／生活介護10名）
平成21年5月24日	親愛の里「輝いて生きよう」制定 作詞：加藤　孝正（理事長）　作・編曲：小寺　富士雄 うた：末岡　小百合　スミス紀美代
平成21年8月1日	下伊那郡松川町のコーポ宮坂内に行動援護事業所　障がい者サポートセンター親愛を併設開所
平成21年10月1日	多機能型事業所　親愛の里紙ふうせんが、多機能型事業所　親愛の里紙ふうせんと同ほっとハート親愛とに分かれ継続運営 多機能型事業所　親愛の里紙ふうせん　定員24名(就労継続支援事業6名／就労継続支援(B型)18名) 多機能型事業所　ほっとハート親愛　定員20名(自立訓練(生活訓練)10名／生活介護10名)
平成21年10月1日	上伊那郡宮田村に親愛の里シンフォニーの従たる事業所として親愛の里夢工房を開所し、併せて自立訓練(生活訓練)事業所　親愛の里シンフォニーを多機能型事業所　親愛の里シンフォニー(定員20)として継続運営
平成21年10月1日	知的障害者更生施設　親愛の里松川が新体系へ移行し、障害者支援施設　親愛の里松川として継続運営(生活介護事業50名)
平成22年7月19日	親愛の里音頭制定 作詞：関　潤子(職員)　作曲：小山　富弘 うた：利用者、職員有志　振付・太鼓：戸田　澄男
平成22年9月30日	親愛の里松川スプリンクラー設置工事 工事費総額：33,390,000円　…　松田・南信株式会社　飯田支店 設計監理費：997,500円　…　鈴木建築設計事務所 (社会福祉施設等耐震化等特別対策事業補助金　25,042,000円)

平成22年10月1日	愛知県刈谷市に親愛の里保育園を開所　(定員90名) (宗教法人 大悟寺経営の庭松保育園を当法人に経営移管)
平成23年3月27日	親愛の里保育園歌　「希望に燃えて」制定 作詞：加藤　孝正　　作曲・ピアノ：水村　さおり
平成23年3月31日	24時間テレビチャリティー委員会による車両整備 親愛の里松川：リフト付エブリ(4人乗り)
平成23年4月1日	松川町南大柏団地内の自活訓練用家屋(3DK)を、ほっとハート親愛の活動場所に変更
平成23年4月1日	宮田村地域活動支援センターの施設長業務を宮田村から受託
平成23年5月1日	児童デイサービス　エコール親愛を松川町に開所　(定員10名)
平成24年3月1日	松川町宗源原自治会内に、親愛の里松川利用者向け自活訓練用家屋(8LDK)1棟を借用
平成24年3月31日	コーポ宮田改修工事 工事総額：8,988,000　円　(補助金：4,490,000円（長野県） 施工業者：石田建設株式会社 設計管理：鈴木建築線形事務所
平成24年3月31日	親愛の里松川厨房増築･改修工事 工事総額：13,020,000　円　(配分金：5,000,000円（長野県共同募金会） 施工業者：株式会社　林材木店 設計管理：鈴木建築線形事務所
平成24年3月31日	日本財団福祉車両助成による車両整備 親愛の里松川：ステップワゴン(8人乗り) 親愛の里シンフォニー：ミニキャブ(2人乗り) 名古屋支援事業所：キャラバン(6人乗り)
平成24年5月1日	共同生活援助・共同生活介護事業所　コーポ宮田を上伊那郡宮田村に開所 (定員4名)
平成24年9月21日	障害者就労支援センター親愛竣工 施工業者：沢木建築 工事総額：23,625,000円 補助金：7,500,000円　(名古屋市)
平成24年10月1日	障害者就労支援センター　障害者就労支援センター親愛を名古屋市中村区に開所
平成24年12月8日	相談支援事業所　松川障がい者相談支援センターを松川町元大島に開所 (特定相談支援・障害児相談支援)
平成24年12月21日	中村・中川障害者地域生活支援センター(指定相談支援事業)及び精神障害者地域活動支援センター 親愛の里そよかぜ(Ⅰ型)が中村区豊国通へ移転。障害者就労支援センター親愛と併せて、名古屋支援事業所本部を開所。
平成25年3月28日	日本財団福祉車両助成による車両整備 親愛の里紙ふうせん：セレナ(8人乗り) ほっとハート親愛：キャラバン(車いす対応車(8人乗り)
平成25年3月31日	共同生活援助・共同生活介護事業所　コーポ宗源原竣工(定員7名) 施工業者：林材木店株式会社 設計管理：鈴木建築設計事務所 工事総額：14,154,000円 補助金：5,000,000円　(長野県)
平成25年4月1日	児童デイサービス　エコール親愛が児童福祉法の放課後等デイサービスに事業変更

平成25年7月22日	親愛の里設立発起人会から車両の寄贈 親愛の里松川　ハイエース（10人乗り）
平成25年8月1日	多機能型事業所　親愛の里シンフォニー定員変更(就労継続支援B型12名、自立訓練(生活訓練)8名。合計20名)
平成25年10月1日	多機能型事業所　ほっとハート親愛が自立訓練(生活訓練)を廃止し、生活介護事業所として継続運営(定員20名)
平成25年10月1日	多機能型事業所　親愛の里シンフォニーが就労継続支援B型事業所として継続運営（定員20名） 多機能型事業所　親愛の里夢工房を開設。生活介護事業14名、自立訓練(生活訓練)6名、定員20名
平成26年4月1日	飯島町地域活動支援センターやすらぎ開所（指定管理）
平成26年4月1日	中村区障害者基幹相談支援センター開所 (名古屋市身体障害者福祉連合会と共同事業体による)
平成26年4月1日	熱田区障害者基幹相談支援センター開所 (名古屋市身体障害者福祉連合会と共同事業体による)
平成26年4月1日	南区障害者基幹相談支援センター開所 ((福)名古屋キリスト教社会館、(福)ニコニハウスとコンソーシアムによる)
平成26年4月1日	名古屋市南区に地域活動支援センタークオーレ（Ⅰ型）開所
平成26年4月1日	親愛の里保育園一時保育事業開始　定員10名
平成26年8月1日	親愛の里保育園が寺横町から熊野町に移転改築開所 定員90名から120名に変更 一時保育事業　定員10名 病児・病後児保育事業　定員4名 子育て支援センター
平成26年9月5日	共同住居 ぱれっとハウス(共同生活援助)が中村区小鴨町へ移転、定員を4名に変更。併せて、共同住居 コーポ本陣を開設（定員2名）
平成27年3月17日	公益財団法人　日本財団福祉車両助成による車両整備 親愛の里シンフォニー：ステップワゴン（8人乗り)4WD
平成27年4月1日	松川町地域活動支援センターあすなろ再開（業務委託）
平成27年4月1日	親愛の里保育園定員変更 120名から135名に変更
平成27年4月1日	共同生活援助事業所　コーポヘルメス定員変更 31名から30名に変更
平成27年4月1日	法人独自の公益事業開始 障がい者生涯学習　あおぞら教室 まつかわこども福祉教室“あいむ”

平成27年6月1日	熱田区障害者基幹相談支援センター・地域活動支援センター ハートランド森が熱田区横田に移転する。
平成28年2月17日	公益財団法人　日本財団福祉車両助成による車両整備 親愛の里紙ふうせん：ステップワゴン（8人乗り)2WD
平成28年6月1日	親愛の里紙ふうせんの加工所(分場)を高森町に開所
平成28年12月18日	法人設立20周年記念式典等開催 ～地域とともに20年、未来に向けて思いをつなぐ～　於　松川町中央公民館
平成28年12月22日	公益財団法人　日本財団福祉車両助成による車両整備 クオーレ：ホンダN-BOX（4人乗り)
平成29年2月23日	共同生活援助事業　コーポヘルメス コーポ宮坂のサテライト型を松川町に開所　1名
平成29年3月31日	共同生活援助事業所　コーポ新井竣工(定員5名、ショートステイ1名) 施工業者：林材木店株式会社 設計監理：株式会社　鈴木建築設計事務所 本体工事総額：53,892,000円(建築面積:215.71㎡、延べ床面積:195.85㎡) 国庫補助金：24,221,000円
平成29年4月1日	松川町から自殺対策事業を受託
平成29年5月1日	共同生活援助事業所　コーポ新井を松川町元大島に開所 （定員5名・ショートステイ1名）　入居対象者：重症心身障がい者
平成29年6月1日	障害者支援施設　親愛の里松川定員削減 ● 施設入所支援　50名→40名 ● 生活介護事業　50名→40名
平成29年6月13日	長野県共同募金会配分金による車両整備 ほっとハート親愛：ステップワゴン4WD車イス仕様（7人乗り）
平成29年10月15日	初代理事長故加藤孝正儀偲ぶ会開催 於　松川町中央公民館　えみりあホール
平成29年10月20日	親愛の里松川屋根補修工事 施工業者：信州建装株式会社 工事総額：3,985,200円(補修面積:3,285.6㎡)
平成29年11月30日	親愛の里松川フェンス設置工事 施行業者：生田木材技研株式会社 工事総額：1,344,000円(建築面積:2,009.83㎡、延べ床面積:2,001.33㎡) 県費補助金：1,008,000円
平成29年12月15日	親愛の里松川自立訓練棟増改築工事 施工業者：林材木店株式会社 設計監理：株式会社　鈴木建築設計事務所 工事総額：30,024,000円(建築面積:65.52㎡、延べ床面積:65.03㎡)
平成30年3月28日	公益財団法人　日本財団福祉車両助成による車両整備 エコール親愛：セレナステップタイプ　4WD（8人乗り）
平成30年3月30日	コーポヘルメス(コーポヘルメス、コーポ原町、コーポ宗源原)消防設備整備工事 施工業者：新井電気工事㈱ 工事総額：8,748,000円」

平成30年3月31日	多機能型事業所ジョブサポートフォルテ・ワークショップ虹を統合移転 （移転後定員　移行10名　継続B型39名　自立訓練（生活訓練）6名） 施工業者：株式会社　インテリアすゞき 設計監理：企業組合　建築環境システム 本体工事総額：34,020,000円(建物延べ床面積:662.99㎡)
平成30年3月31日	障害者就労支援センター（名古屋市中村区）の受託期間満了
平成30年4月1日	ほっとハート親愛の分場として就労継続支援B型事業　喬木村さくらの園を高木村に開所　定員10名　（喬木村指定管理事業所） （ほっとハート親愛は、生活介護事業との多機能型事業所となる）
平成30年4月1日	ジョブサポートフォルテとワークショップ虹が移転・統合する（定員55名） ・就労移行支援事業　10名 ・就労継続支援B型事業　39名 ・自立訓練（生活訓練）事業　6名
平成30年7月1日	親愛の里紙ふうせんの分場として生活介護事業　紙ふうせんスマイルを飯田市に開所　定員10名
平成31年2月28日	親愛の里松川利用者の活動先として　いちばん星を松川町に整備　定員10名 （利用対象：自閉症等） 本体工事総額：11,800,000円（建物延べ床面積：66.24㎡）

基本理念：人権の保障と幸福を共に創る

基本理念

しあわせ
人権の保障と幸福を共に創る

社会福祉法人 親愛の里は、社会福祉法及び創設された障害者自立支援法の理念に従い、法人の理念を定め実践する。

職員の使命

1. 私たちは、人として尊ぶ。

2. 私たちは、私たち自身の人間性の向上に努め、健康で豊かな生活を創る。

3. 私たちは、利用者が地域等において、その人らしい生活を送ることができるよう支援する。

4. 私たちは、地域の社会資源として、地域とともに歩む。

5. 私たちは、福祉の未来を創る。

職員の使命の内容

1 私たちは、人として尊ぶ。

(1) 利用者の自己選択と自己決定を最大限に尊重します。
(2) 親子・兄弟等の「きずな」を大切にします。

2 私たちは、私たち自身の人間性の向上に努め、健康で豊かな生活を創る。

(1) 研修・研究等を通じ絶えず研鑽を積みます。
(2) 心身ともに健康で豊かな生活を創ります。

3　私たちは、利用者が地域等において、その人らしい生活を送ることができるよう支援する。

(1) 利用者の生活の安心・安全を保障します。
(2)　利用者が地域等において可能な限り自立(自律)した暮らしができるよう支援します。

4　私たちは、地域の社会資源として、地域とともに歩む。

(1)　福祉臨床の考え方のもと、サテライト方式により、いつでも、どこでも必要なサービスを提供することをめざします。
(2)　関係機関、他の法人・団体、個人等とネットワークを創り、地域の住民が豊かな

5　私たちは、福祉の未来を創る。

(1) 進取の精神の下、この地域に合った福祉を創ります。
(2) 利用者、家族、そして地域から学び、必要な福祉サービスを創ります。

人事ポリシー

社会福祉法人 親愛の里は、法人の理念の下に、法人が求めている職員像及び組織風土を明示するとともに、職員育成及び人事考課制度等について以下のとおり定め実践する。

1.　職員像

(1) 人権意識の下に利用者のしあわせを共に見出すことのできる人
(2) 創造力と問題意識を持ちそれを行動に移せる人
(3) 地域に向かって利用者の自立(自律)支援ができる人
(4) 倫理観を持ち、法人の倫理綱領を遵守できる人
(5) 自己研鑽ができる人
(6) 笑顔とあいさつが自然にできる人

2.　組織風土

(1) 人権意識を基本とした言動のある組織風土
(2) お互いに認め合い、チームワークの良い組織風土
(3) 進取の気風を大切にし、お互いに研鑽を積み、職員が育つ組織風土
(4) 地域福祉の視点に立つことのできる組織風土
(5) 利用者の輝きが私たちの輝きと感じられる組織風土

3.　職員育成

(1)　法人は、理念に沿った職員を育成するために、別に定める職員研修･助成要綱により研修等を行う。
(2) 法人は、職員の育成を目的に、別に定める公正かつ適切な人事考課制度を導入する。

4. 安全衛生

(1) 法人は、職員の疾病等の予防及び業務上の事故の防止に努める。

(2) 法人は、心身ともに安心・安全な職場環境づくりに努める。

5. 職員の福利厚生

(1) 法人は、働きやすい職場づくりに努める。

(2) 法人は、豊かでそして安心できる福利厚生の充実に努める。

平成 18 年 7 月 17 日制定

社会福祉法人　親愛の里職員倫理綱領

私たちは、採用時に社会福祉法人親愛の里の職員としてその設立の精神を重んじ、障害者の処遇に心を払い、誠実に職務を遂行し、進取の気風を忘れることなく福祉臨床の実践と研究に邁進し、豊かな施設福祉を創り上げることを誓った。

しかし、福祉施設では人権擁護に留意してもなお、その組織機構、建物構造、職員などから、人権侵害が行われ得ることが指摘されている。

日本国憲法には、世界の人権思想や歴史的な潮流を反映して基本的人権がうたわれており、近年では自由権や社会権に加え新しい人権の概念をも包含されるようになってきた。また、国民の人権や権利擁護への関心も近ごろとみに高まってきている。

障害福祉の分野に働く私たちが人権感覚をさらに豊かにしていくことは、地域社会と相互に密接な関係を持ちながら社会福祉事業を運営、発展させていくという法人設立の理念からも大切なことと考えられる。

私たちは、障害者の権利を特権として意味付ける考えとは一線を画し、施設として起こりがちとされる閉鎖的な姿勢、独善的な方針や支配的な援助、非科学的な態度などを排除することを確認する。

また、障害者は、障害について正しい理解を求める権利と必要な支援を受ける権利を持つことを改めて認識する。

全ての人は、人としての尊厳を有し、何人もそれが侵害されたり、軽んじられることのない施設福祉の実現に向けて、私たちは不断の努力を続ける必要がある。

ここに倫理綱領を定めて、私たちの規範とする。

1. 私たちは、管理的な立場からの行き過ぎた安全配慮や危険防止策で、利用者の自由を束縛しません。
2. 私たちは、性別を配慮して介護を行ないます。また、人の目のあるところで排泄などの介助をしません。食事、着衣など日常生活は、社会的常識を踏まえた援助をします。
3. 私たちは、いついかなる場合でも、肉体的な苦痛を処罰として与えません。また、無視、侮蔑、嘲笑、蔑称、放置などの精神的苦痛を与える言動をしません。
4. 私たちは、福祉臨床の立場から事例検討を重視し、強制的、画一的で安易な処置や対応を避け、個人の可能性や主体性を保障したサービスを提供します。
5. 私たちは、絶えず研鑽を積み、援助が学問的理論的な評価に耐え得るようにします。
6. 私たちは、安寧で豊かな生活を追及することからQOLの向上に努めます。
7. 私たち自身も、健康で豊かな充実した人生を共に創ります。

《マスコットキャラクター》

私の名前は「親愛ちゃん」です。
2 つのハートは、私とあなたの心を表し、顔と体は親愛のイニシャル「S」で形作られ、前進しようとする姿は、自立への願いと希望を表しています。

（平成21年7月19日制定）

《親愛の里の歌》

親愛の里　輝いて生きよう

作詞：加藤　孝正（初代理事長）　作・編曲：小寺　富士雄　うた：末岡　小百合　スミス紀美代

1. 国に名だたる　南アルプス
青く色なす　親愛の里
親の思いを　あの峰に見て
幸せ灯す　住みかあり

2. 西に開けき　松川の里
恵を分かつ　天竜の流れ
君の涙を　大地にかえし
親愛やどす　住みかあり

3. はるけき尾張の　沃野につづく
歴史連なる　美濃の山々
君の希望は　峠を越えて
喜び合える　住みかあり

4. あおぞらのもと　清らかに
友の中で　友とであい
自立の道を　共に進まん
夢を育てる　住みかあり

5. 大地に生まれ　大地に立って
地域と共に　地域に暮らし
親の人々の　愛をはぐくみ
共に福祉を　創らん

親愛の里「輝いて生きよう」の制作にあたり

このたびの作詞は、突然に思いつき筆をとったものではない。長野・松川の地に私の意を深く受け止めていただいたハンディをもつ子の親の熱き心の大きな支えがあり、松川の地に社会福祉法人の親愛の里の設立、そのあと平成 9 年 10 月に松川町生田の地に親愛の里松川の知的に重度・重複障害者の施設が開設できたのも、その親の皆様の力の結集に負うところが大である。

子の幸せを願う親の心は世界の東西を問わないが、こうした熱き心が結集し障害者福祉の具現化と発展に対して、それを記念して作詞にこめた。

さらに多くの人々の愛と支えのもとハンディがあっても友の中で、地域と共に自立への道を進んでいってほしいと願うものである。

平成 21 年 6 月
理事長　加藤　孝正

（平成21年5月24日制定）

基本理念：人権の保障と幸福を共に創る

親愛の里音頭

作詞：関　潤子(職員)　　作曲：小山　富弘　　太鼓：戸田　澄雄(職員)　　振付：戸田　澄雄(職員)

1　朝の光を身に受けて　心のままに踏み出そう
ぐるり周りを見渡せば　仲間の顔が揃ってる
親愛音頭　みんなで踊ろ　歌って踊れば
パッと笑顔の　花が咲く

2　スカッと晴れた青い空　あの雲綿菓子みたいだな
緑を渡るそよ風を　胸一杯に吸いこんで
親愛音頭　みんなで踊ろ　歌って踊れば
パッと笑顔の　花が咲く

3　仕事の手止め一休み　あなたもコーヒーいかがです
ほんわり湯気の向こう側　仲間の顔が笑っている
親愛音頭　みんなで踊ろ　歌って踊れば
パッと笑顔の　花が咲く

4　あなたはとっても力持ち　元気な君も光ってる
みんなそれぞれ違うから　仲間と一緒に生きて行く
親愛音頭　みんなで踊ろ　歌って踊れば
パッと笑顔の　花が咲く

（平成22年7月19日制定）

親愛の里保育園歌　希望に燃えて

作詞：加藤　孝正(初代理事長)　　作曲：水村　さおり

1.　父さん　母さん　真ん中に
明るい　毎日　わたしたち
みんな　元気で　朗らかに
楽しい　園へ　うれしいな
ラーン　ラーン　ラン　ラン　ラン
親愛の里保育園

2.　みんなで　楽しく　輪になって
仲良し　毎日　わたしたち
お話　お歌　かけっこに
興味　いっぱい　楽しいな
ターン　ターン　タン　タン　タン
親愛の里保育園

3.　青空　むけて　元気よく
心も　体も　わたしたち
希望に　燃えて　すくすくと
みんな　大きく　愉快だな
ズーン　ズーン　ズン　ズン　ズン
親愛の里保育園

(平成23年3月27日制定)

基本理念：人権の保障と幸福を共に創る

平成30年度事業報告書

障害者支援施設　親愛の里松川

住所：長野県下伊那郡松川町生田5015

電話：0265 - 36 - 4058

FAX：0265 - 36 - 4925

E-mail：matukawa@shin-ai1996.org

平成 30 年度事業報告書

1. 種別・名称：障害者支援施設　親愛の里松川

⑴ 事業区分及び定員・現員数

施設入所支援：定員４０名／生活介護：定員４０名／短期入所：定員４名

2. 概要等

(1)運営の概要

ご利用者同士の相性や障がい特性等に合わせ（猛暑の影響もあり）、本棟の食事場所を 3 箇所に変更した。当初は戸惑いもあったが経験を積むにつれ落ち着いて食事をとれるようになってきている。このスタイルを取り入れることにより新たに目指す生活のあり方等が見えてきた。

また、自閉症ご利用者に対する作業的活動（自立課題の提供）の場として、町内に新たな建物を 31 年 2 月に完成させた。併せて、ゆめG、かめGのご利用者の活動の成果として、地域公共の場にて「親愛の里松川作品展」を開催したり、独自のカレンダーの作成を行った。次年度も創作活動にも力を入れながら、「ねこねこ倉庫」「工房ぴあ」を活用しての活動を模索していく。

(2)課題と対応等

①安心安全の確保

（対策）あり方検討委員会での施設のあり方を検討していく。

②日中活動（生活介護）の充実

（対策）各グループでの「ねこねこ倉庫」「工房ぴあ」「いちばん星」等を活用しての活動の検討

3. 重点目標・5 ヵ年計画及び評価

※重点目標

目　　標	具体的な取り組み・課題等	評価
(1) 人権に配慮した、安心と安全な生活を提供する。	・強度行動障がいご利用者棟では、定員数を超えた環境であったが、新たに女性棟を増築したことにより、増築前より穏やかな時間が流れるようになってきている。 ・本棟においては全ご利用者での食事スタイルから各棟に分かれての食事スタイルに変更した。ご利用者にとって刺激が減り落ち着いて過ごせることがわかってきた。 ・記録用防犯カメラを設置し、3 件の事故を確認し対策をたてることに役立てた。	C
(2) 日中活動の充実を図り、地域ご利用者の受入れ体制をつくる。	・自閉症ご利用者に対する作業的活動（自立課題の提供）の場として、活用してきた「いちばん星作業所」だが、建物の老朽化もあり新たな移転先を検討してきていた。そのような中で、松川町	B

	内に新たに「いちばん星作業所」を建設する運びとなり、31 年2月に建物が完成となった。併せて、ゆめG、かめGのご利用者の活動の成果として、公共施設にて「親愛の里松川作品展」を開催した。今年度も創作活動にも力を入れながら、「ねこねこ倉庫」「工房ぴあ」を活用しての活動を模索していく。	
(3) 人材の確保・育成を図る。	・人材の確保にあたり新人育成係りを置いたが、具体的な取り組みにまでいたれなかった。 ・研修に出た職員からの復命研修を行うなどし、職員の育成、支援の質の向上に取り組んだ。	C
(4) 地域生活移行に向けた支援を強化する。	・相談支援専門員と連携を図り、ニーズに沿いながら、地域の他事業所やGH等の見学、体験を行った。GH での生活を選ばれた方、他地域での生活を選ばれた方とそれぞれに生活移行をされたご利用者の支援を行った。	B

※第 3 期 5 カ年計画（H30 年度～R4 年度）の進捗状況

目　　標	具体的な取り組み・課題等	評価
生活場面と日中活動場面の分離（メリハリのある生活の提供） ➢ 施設外での活動の場の確保（旧生東保育園に変わる耐震性のある施設）	・重点目標（2）と同様	B
生活介護の充実 ➢ 利用者が一人ひとり主体となれる活動の提供 ➢ 地域ご利用者（高齢の地域住民も含む）の受入れ	・重点目標（2）と同様	C
地域生活移行の促進 ➢ 自閉症のある利用者のグループホームの法人への新設要請	・法人運営会議等でニーズをあげているが、特に進捗なし	C
ショートステイ受け入れの促進（受入れの為の整備）	・本棟の空き部屋にて、現体制で受け入れられるご利用者に利用いただく。 ・県外等からの強度行動障がい利用者のニーズには答えられる状況ではない。	C

※1　評価：A：目標以上　　B：目標をほぼ達成　　C：達成していない

3. 利用実績

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
利用者数	41	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40

4. 職員配置状況

（H31.3.31 現在）

職種＼雇用形態等	正規総合	正規一般	パート	計	国家資格等
施設長	1			1	社会福祉士・精神保健福祉士　1
サービス管理責任者	1			1	社会福祉士・精神保健福祉士　1
生活支援員 （生活補助員）	5	12	18（14）	35（31）	精神保健福祉士　1 介護福祉士　2
看護職員	1		2（1.6）	3（2.6）	看護師 2　社会福祉士 1　准看 1
栄養士		1		1	管理栄養士　1
事務員	1		1	2	
合　　計	9	13	21 （16·6）	43 （38.6）	

5. その他（添付資料）

（1）実習、ボランティア等の受け入れ状況　…　別紙

（2）職員研修参加状況　…　別紙

（3）苦情等の状況　…　別紙

（4）体制状況等一覧　…　別紙

（5）利用者数実績表　…　別紙

(1) ボランティア・実習生の受入れ

内　　容（回数）	備考	内　　容（回数）	備考
塩澤さん裁縫ボラ（4）	保護者	短大生ボラ	豊南短期（1）
小倉さん・橋場さんレクボラ（14）	元職員・職員	施設実習（短大生）	県短期大等（4）
赤十字奉仕団（5）	環境整備ボラ	中学生ボラ	
カンタービレ shiori（1）	合唱ボラ	林木材店	修繕ボラ
アーティクルナイン（1）	演奏ボラ	大澤さん環境整備ボラ（2）	保護者

(2)研修、会議等（回数）

研修・会議名	研修・会議名
新入社員研修（法人内・外含む）	代表者会
明星学園療育研究会	日中活動支援部会
施設長研修	南信支部施設長会
障がい基礎年金研修	全国自閉症施設協議会総会
権利擁護研修	労務関係会議
法人内研修（等級別研修・ｺﾝﾌﾟﾗｲｱﾝｽ・虐待防止等）	地域福祉連絡会
法人外施設研修	全国施設長会議
相談従事者初任者講義＜演習含む＞（3）	知的障害福祉関係職員研究大会
精神科領域セミナー	知障協食事支援部会（2）
感染症・食中毒対策研修	地域支援部会
自閉症支援セミナー（1）	法人大会
福祉施設栄養士研修会（栄養士研修含む）	代表者会＜総会含む＞（4）
てんかん講座	知的障害福祉大会
相談支援専門員養成研修	南信支部職員交流研修会
強度行動障がい支援者養成基礎研修（2）	松川町福祉を考える集会
障がい者虐待防止研修	福祉施設栄養士研修会
施設長現任研修	くらし部会（6）
リスクマネジメント研修	リニア対策会議（2）
理念経営研修	地域でくらそうフォーラム
救命救急講習	
サービス管理責任者研修（2）	

(3)保護者、地域の行事等

内　容	備考	内　容	備考
生木祭	販売	保護者環境整備(総会・交流会含)	２回開催
新井の祇園まつり	販売	ご利用者旅行（山梨）	ご利用者12名・保護者10名
生東地区夏祭り		ご利用者旅行（名古屋）	ご利用者15名・保護者6名
キクスイ芋植え・芋ほり	（敷地内畑提供）	ご利用者旅行（岐阜）	ご利用者11名・保護者6名
SO（飯田女子短）	３回参加	愛和病院より寄付	
どんど焼き	中山４区	活動報告会	
ピアノ発表会	１名参加	保護者会他事業所研修	名古屋
エクスプレッション	飯田女子短大開催	飯田合庁販売	２回

別紙2

平成30年度苦情受付一覧表

No.	期　　日	苦情申出者氏名	苦情の種類		苦情のレベル	原因	内　　容	対　　応	第三者委員立会い
1	平成30年4月16日	近隣住民	7	その他（施設敷地外でのご利用者のポイ捨て）	1	4	フルーツバスを利用しているＳＳご利用者が、溝沢バス停においてタバコのポイ捨てをしている。（連絡をくれた近隣住民より）注意をするが聞いてもらえない。他のバス停でもやっているのでは。職員からも注意をしてほしい。	・施設長、サビ管による溝沢、丸ぼっきバス停のゴミの確認。ゴミがあることを確認。ゴミを回収し、ご本人に見せ確認をとる。ご本人は否定されたが、地域の人が見ているよと伝える。	無
2	平成30年4月17日	保護者	2 4	サービス内容 事業所運営	1	3	預かり金について、医療費等、高いのではないか。内容もわかりづらい。買い物の中身についても説明がほしい。	・面接時に回答書を用意して、事務より保護者様に回答させていただく。	無
3	平成30年11月1日	地域住民（匿名）	7	その他（公道での公用車の運転が危険）	1	4	法人の名前の入った車が、施設へ続く道で車線関係なくど真ん中をはいっており、ぶつかりそうになった。今後、徹底していってほしい。	・各グループ会議、業務連絡等にて全職員に苦情内容を周知し安全運転について徹底を促す。	無
4	平成30年12月19日	保護者	1 2	職員の対応 サービス内容	1	3	保護者様が施設食事を摂っていただいた後、食費の支払いについて、生活支援員に伝えたが、（事務職員に伝わっておらず）再度、事務職員から支払いの請求の確認の電話がきた。失礼である。	・苦情内容を全職員に周知。報連相の徹底を図る。	無

※苦情の種類
1　サービス内容(職員の接遇)　…1件
2　サービス内容(質・量)　…　2件
3　事故、被害、損害　…　0件
4　事業所運営　…　1件
5　契約内容　…　0件
6　建物の構造　…　0件
7　その他　…　2件

※苦情のレベル
1　要望(本人の意向、意見、主張など)　…　4件
2　請求（法的責任に基づく権利の主張など）　…　0件
3　責任追及レベル(契約不履行に伴う責任追及など)　…　0件
4　その他　…　0件

※苦情の発生原因
1　説明・情報不足　…　0件
2　職員の態度・言動　…　0件
3　サービス内容　…　2件
4　その他　…　2件

実績総数	4件
苦情受付	4件

介護給付費等の算定に係る体制等状況一覧表

提供サービス	定員数	定員規模	多機能型等定員区分（※1）	人員配置区分（※2）	その他該当する体制等		適用開始日
生活介護		(1.) 21人以上40人以下 2. 41人以上60人以下 3. 61人以上80人以下 4. 81人以上 5. 20人以下	1. 21人以上40人以下 2. 41人以上60人以下 3. 61人以上80人以下 4. 81人以上 5. 20人以下	(1.) Ⅰ型(1.7:1) 2. Ⅱ型(2:1) 3. Ⅲ型(2.5:1) 4. Ⅳ型(3:1) 5. Ⅴ型(3.5:1) 6. Ⅵ型(4:1) 7. Ⅶ型(4.5:1) 8. Ⅷ型(5:1) 9. Ⅸ型(5.5:1) 10. Ⅹ型(6:1)	施設区分	(1.) 一般　2. 小規模多機能	
					定員超過	(1.) なし　2. あり	
					職員欠如	(1.) なし　2. あり	
					サービス管理責任者欠如	(1.) なし　2. あり	
					開所時間減算	(1.) なし　2. あり	
					開所時間減算区分（※5）	1. 4時間未満　2. 4時間以上6時間未満	
					短時間利用減算	1. なし　2. あり	
					大規模事業所	(1.) なし　5. 定員81人以上	
					医師配置	(1.) なし　2. あり	
					人員配置体制	1. なし　(2.) あり	
					福祉専門職員配置等	1. なし　3. Ⅱ　(4.) Ⅲ　5. Ⅰ	
					常勤看護職員等配置	1. なし　(2.) Ⅰ　3. Ⅱ	
					視覚・聴覚等支援体制	(1.) なし　2. あり	
					重度障害者支援体制	(1.) なし　2. あり	
					リハビリテーション加算	(1.) なし　2. あり	
					食事提供体制	(1.) なし　2. あり	
					延長支援体制	(1.) なし　2. あり	
					送迎体制	(1.) なし　3. Ⅰ　4. Ⅱ	
					送迎体制（重度）	(1.) なし　2. あり	
					就労移行支援体制	(1.) なし　2. あり	
					就労移行支援体制（就労定着者数）	就労定着者数（　）	
					福祉・介護職員処遇改善加算対象	1. なし　(2.) あり	
					福祉・介護職員処遇改善特別加算対象	(1.) なし　2. あり	
					キャリアパス区分（※3）	1. Ⅲ（キャリアパス要件（Ⅰ又はⅡ）及び職場環境等要件のいずれも満たす） 2. Ⅴ（キャリアパス要件及び職場環境等要件のいずれも満たさない） 3. Ⅳ（キャリアパス要件を満たさない） 4. Ⅳ（職場環境等要件を満たさない） (5.) Ⅱ（キャリアパス要件（Ⅰ及びⅡ）及び職場環境等要件のいずれも満たす） 6. Ⅰ（キャリアパス要件（Ⅰ及びⅡ及びⅢ）及び職場環境等要件のいずれも満たす）	

提供サービス	定員数	定員規模	多機能型等 定員区分（※1）	人員配置区分 （※2）	その他該当する体制等		適用開始日
					主たる事業所サービス種類１（※6）	サービス種類コード（32）	
					指定管理者制度適用区分	(1.)非該当　2．該当	
					共生型サービス対象区分	(1.)非該当　2．該当	
					サービス管理責任者配置等（※7）	(1.)なし　2．あり	
					地域生活支援拠点等	(1.)非該当　2．該当	
短期入所					施設区分	(1.)福祉型　2．医療型　3．福祉型（強化）	
					定員超過	(1.)なし　2．あり	
					職員欠如	(1.)なし　2．あり	
					大規模減算	(1.)なし　2．あり	
					常勤看護職員等配置	1．なし　(2.)あり	
					重度障害者支援加算（強度行動障害）	(1.)なし　2．あり	
					単独型加算	(1.)なし　2．あり	
					医療連携体制加算（Ⅴ）	(1.)なし　2．あり	
					栄養士配置	1．なし　2．その他栄養士　3．常勤栄養士　(4.)常勤管理栄養士	
					食事提供体制	1．なし　(2.)あり	
					送迎体制	1．なし　(2.)あり	
					福祉・介護職員処遇改善加算対象	1．なし　(2.)あり	
					福祉・介護職員処遇改善特別加算対象	1．なし　(2.)あり	
					キャリアパス区分（※3）	1．Ⅲ（キャリアパス要件（Ⅰ又はⅡ）及び職場環境等要件のいずれも満たす） 2．Ⅴ（キャリアパス要件及び職場環境等要件のいずれも満たさない） 3．Ⅳ（キャリアパス要件を満たさない） 4．Ⅳ（職場環境等要件を満たさない） (5.)Ⅱ（キャリアパス要件（Ⅰ及びⅡ）及び職場環境等要件のいずれも満たす） 6．Ⅰ（キャリアパス要件（Ⅰ及びⅡ及びⅢ）及び職場環境等要件のいずれも満たす）	
					主たる事業所サービス種類１（※6）	サービス種類コード（32）	
					主たる事業所施設区分(※8)	1. 介護サービス包括型　2. 外部サービス利用型　3. 日中サービス支援型	
					指定管理者制度適用区分	(1.)非該当　2．該当	
					共生型サービス対象区分	(1.)非該当　2．該当	
					福祉専門職員配置等（※7）	(1.)なし　2．Ⅰ　3．Ⅱ	
					地域生活支援拠点等	(1.)非該当　2．該当	

提供サービス	定員数	定員規模	多機能型等 定員区分（※1）	人員配置区分 （※2）	その他該当する体制等		適用開始日
施設入所支援		1．40人以下 2．41人以上60人以下 3．61人以上80人以下 4．81人以上	1．40人以下 2．41人以上60人以下 3．61人以上80人以下 4．81人以上		定員超過	1．なし　2．あり	
					職員欠如	1．なし　2．あり	
					栄養士配置減算対象	1．なし　2．非常勤栄養士　3．栄養士未配置	
					夜勤職員配置体制	1．なし　2．あり	
					重度障害者支援Ⅰ体制	1．なし　2．あり	
					重度障害者支援Ⅰ体制（重度）	1．なし　2．あり	
					重度障害者支援Ⅱ体制	1．なし　2．あり	
					視覚・聴覚等支援体制	1．なし　2．あり	
					夜間看護体制	1．なし　2．あり	
					地域生活移行個別支援	1．なし　2．あり	
					福祉・介護職員処遇改善加算対象	1．なし　2．あり	
					福祉・介護職員処遇改善特別加算対象	1．なし　2．あり	
					キャリアパス区分（※3）	1．Ⅲ（キャリアパス要件（Ⅰ又はⅡ）及び職場環境等要件のいずれも満たす） 2．Ⅴ（キャリアパス要件及び職場環境等要件のいずれも満たさない） 3．Ⅳ（キャリアパス要件を満たさない） 4．Ⅳ（職場環境等要件を満たさない） 5．Ⅱ（キャリアパス要件（Ⅰ及びⅡ）及び職場環境等要件のいずれも満たす） 6．Ⅰ（キャリアパス要件（Ⅰ及びⅡ及びⅢ）及び職場環境等要件のいずれも満たす）	
					指定管理者制度適用区分	1．非該当　2．該当	
					地域生活支援拠点等	1．非該当　2．該当	

（参考様式11-1）

生活介護・施設入所支援、療養介護用

＊着色セル全てに入力してください。

利用者数実績確認表（前年度の平均値）

事業区分	施設入所支援	事業所名	親愛の里松川

	平成29年度（前々年度）			平成30年度（前年度）														
障害支援区分 A	延べ利用者数（人）（各月欄へは、月ごとに1人の利用者につき、本体報酬が算定された日数を積算し、当該月の利用者全員についてのその総和を入力）															計 B（4～3月）	A×B	
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
2																0	0	
3																0	0	
4	60	56	62	60	62	60	62	62	60	31	30	31	31	28	31	548	2,192	
5	315	303	329	307	297	295	284	293	291	334	318	330	320	274	334	3,677	18,385	13,720 E(区分5・6の人数)
6	832	764	858	831	848	828	820	853	830	858	831	849	837	800	858	10,043	60,258	10,043 G(区分6の人数)
計	1,207	1,123	1,249	1,198	1,207	1,183	1,166	1,208	1,181	1,223	1,179	1,210	1,188	1,102	1,223	C 14,268	D 80,835	
開所日数（日）	31	28	31	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365	F	
定員（人）	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40			
月平均利用者数（人）	39	40	40	40	39	39	38	39	39	39	39	39	38	39	39			
超過減算非該当利用者数（人）																		
過去３ヶ月間延利用者数				3,579	3,570	3,654	3,588	3,556	3,557	3,555	3,612	3,583	3,612	3,577	3,500			
過去３ヶ月間受入可能者数				3,780	3,738	3,864	3,822	3,864	3,864	3,864	3,864	3,822	3,864	3,864	3,780			
定員超過判定（減算月）																		

＊ 延べ利用者数については障害者自立支援法附則第22条第1項（経過措置による生活介護）の利用者、障害支援区分の認定がない自立訓練等の利用者を除いてください。
＊ 算定期間の実績には、入所等した日を含み、退所等した日は含みません。
＊ 超過減算非該当利用者数は延べ利用者数のうち、①市町村による措置者②地域移行困難者又は離職者（平成18年４月３日付け障障発第0403004号）③災害等やむを得ない理由による入所者について各月の延べ数を記入してください。
＊ 定員超過判定で○が表示された場合、過去３ヶ月間の利用実績による定員超過減算となります。

平均障害支援区分(D／C)	5.7 （小数点第2位四捨五入）
区分5・6の者の割合(平均区分5.0未満の場合)(E／C)	96 %（小数点第1位四捨五入）
区分6の者の割合(平均区分5.0以上の場合)(G／C)	70 %（小数点第1位四捨五入）
1日当たりの平均利用者数(C／F)	39.1 人（小数点第2位以下切上）
常勤換算後の従業者人数	35.9 人（小数点第2位以下切捨）
サービス提供職員配置	1.1 : 1

夜勤職員(施設入所支援のみ)
3 人

親愛の里松川ご利用者の状況 （平成31年3月31日現在）

1 年齢別構成

(名)

性別／年齢	～19	20～24	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～	計	平均年齢
男　性	0	5	2	5	2	5	1	0	1	4	25	40
女　性	0	0	2	3	3	3	0	1	0	3	15	43
計	0	5	4	8	5	8	1	1	1	7	40	41
割　合	0%	22.5%		32.5%		22.5%		5.0%		17.5%	100%	

2 障害の程度

(名)

性別／程度	軽度（B2）	中度（B1）	重度（A1,A2）	計	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6
男　性	0	2	23	25	0	0	1	6	18
女　性	0	1	14	15	0	0	0	4	11
計	0	3	37	40	0	0	1	10	29
割　合	0.0%	7.5%	92.5%	100%	0.0%	0.0%	2.5%	25.0%	72.5%

3 地域別利用状況

(名)

飯田市・下伊那郡					37.5%	伊那市・駒ヶ根市・上伊那郡							32.5%
飯田市	松川町	高森町	喬木村	平谷村	泰阜村	伊那市	駒ヶ根市	辰野町	箕輪町		宮田村	中川村	飯島町
7	5	2		1		3	2	3	2		1	1	1

そ　の　他											30.0%
長野市	松本市	上田市	千曲市	諏訪市	茅野市	岡谷市	塩尻市	木曽町	木祖村	上松町	東村山市
1	5		0	1	2	0		1	1	1	1

4 利用前の状況
（重複記載有り）

(名)　合計

福祉施設		病　院		学　校		在宅等		合計
入所施設	8	精神病院	7	養護学校	15	在宅	8	
授産施設等	2	その他の病院	1	その他学校	0	その他	0	
精神障害者施設	5							
合計	15		8		15		8	
割　合	38%	割合	20%	割合	38%	割合	20%	115%

きぼんりねん：じんけんのほしょうとしあわせをともにつくる
基本理念：人権の保障と幸福を共に創る

縮尺 1:150

年月日	作成	鈴木建築設計事務所	工事	図	
			浦愛の里（松川）スプリンクラー設置工事	平面図 1/150	5

系 2 21 L0265 22 6501 0265 2 1 建築本所 下 1 011 1 建築 1

居室A・B 11.03㎡
必要採光面積：11.03×1/7=1.58
有効採光面積：1.1H×1.6W=1.76 OK
無窓居室の判定
必要換気面積：11.03×1/20=0.55
有効換気面積：1.1H×1.6W×1/2=1.04 OK
必要排煙面積：11.03×1/50=0.22
有効排煙面積：0.4H×1.6W×1/2=0.32 OK

食堂 15.17㎡
必要採光面積：15.17×1/7=2.16
有効採光面積：2.0H×1.6W=3.2 OK
無窓居室の判定
必要換気面積：15.17×1/20=0.76
有効換気面積：2.0H×1.6W×1/2=1.6 OK
必要排煙面積：15.17×1/50=0.30
有効排煙面積：0.4H×1.6W=0.64 OK

居室A 11.03㎡
必要採光面積：11.03×1/7=1.58
有効採光面積：1.3H×1.6W=2.08 OK
無窓居室の判定
必要換気面積：11.03×1/20=0.55
有効換気面積：1.3H×1.6W×1/2=1.04 OK
必要排煙面積：11.03×1/50=0.22
有効排煙面積：0.4H×1.6W×1/2=0.32 OK

支援員室 10.78㎡
無窓居室の判定
必要採光・換気面積：10.78×1/20=0.54
有効採光・換気面積：1.3H×1.6W×1/2=1.04 OK
必要排煙面積：10.78×1/50=0.22
有効排煙面積：0.4H×1.6W×1/2=0.32 OK

LDK 25.66㎡
必要採光面積：25.66×1/7=3.66
有効採光面積：2.2H×3.4W=7.48 OK
無窓居室の判定
必要換気面積：25.66×1/20=1.28
有効換気面積：2.2H×3.4W×1/2=3.74 OK
必要排煙面積：25.66×1/50=0.51
有効排煙面積：0.4H×3.4W×1/2=0.68 OK

行動改善室 13.25㎡
必要採光面積：13.25×1/7=1.89
有効採光面積：2.2H×1.6W=3.52 OK
無窓居室の判定
必要換気面積：13.25×1/20=0.66
有効換気面積：2.2H×1.6W×1/2=1.76 OK
必要排煙面積：13.25×1/50=0.26
有効排煙面積：0.4H×1.6W×1/2=0.32 OK

親室室 6.62㎡
必要採光面積：6.62×1/10=0.66
有効採光面積：1.3H×1.6W=2.08 OK
無窓居室の判定
必要換気面積：6.62×1/20=0.33
有効換気面積：1.3H×1.6W×1/2=1.04 OK
必要排煙面積：6.62×1/50=0.13
有効排煙面積：0.4H×1.6W×1/2=0.32 OK

居室B 10.77㎡
必要採光面積：10.77×1/7=1.53
有効採光面積：1.3H×1.6W=2.08 OK
無窓居室の判定
必要換気面積：10.77×1/20=0.54
有効換気面積：1.3H×1.6W×1/2=1.04 OK
必要排煙面積：10.77×1/50=0.22
有効排煙面積：0.4H×1.6W×1/2=0.32 OK

平面図 1/100

△ 一耐力壁を示す

年月日		製図	特記
		城田	9.7 変更一覧 3箇所追加

鈴木建築設計事務所
1級建築士事務所登録 (下伊)J第1Z011号 1級建築士登録 第177977号 塩沢 廣

工事名：親愛の里松川 自立棟増築工事
〒395-0012長野県飯田市大王路2-21 TEL0265-22-6501 FAX0265-24-9974

図名：平面図
縮尺 A2版 1/50 A4版 1/100

No. A-10

平成30年度事業報告書

多機能型事業所　　ほっとハート親愛
（生活介護・就労継続支援B型）

住所：下伊那郡松川町上片桐4595番地40
電話：0265-34-7151　FAX：0265-36-7105
E-mail：hotheart@shin-ai1996.org

平成30年度事業報告書

1. 種別・名称：多機能型事業所　ほっとハート親愛

(1) 事業区分及び定員・契約者数

ほっとハート親愛：生活介護事業：定員20名　契約者数34名

喬木村さくらの園(分場)：就労継続B型事業：定員10名　契約者数6名

2. 概要

(1) 運営の概況

① 平成30年度より「喬木村さくらの園」の指定管理を受け、運営を担うこととなった。多機能型事業所として両事業の交流を図り、ご利用者の多様なニーズに応えられる形を模索する1年間であった。

② 定員増による報酬単価の減額で生活介護事業の収入減が見込まれていたが、30年度より新設された重度障がい者支援加算を取得することで、大きな減収にはつながらなかった。一方人員配置上の課題により、前年度取得してきた人員配置体制加算Ⅰ（1.7：1）をⅡ（2：1）に変更することとなった。

③ 喬木村さくらの園ではご利用者増を目指し、養護学校実習生の積極的な受け入れや、自主生産品の開発に力を入れた。その中で前期の平均工賃が10,000円を超え、年度途中で報酬単価増の見直しを行うことができた。

④ 7月上旬の大雨で、松川町、喬木村両地区に避難準備情報が出された。実際の避難には至らなかったが、このことをきっかけとしてご家族に対し「ご利用者の受け入れや避難に関する判断の根拠」を検討し、明確に示すことができた。また、法人全体の協力体制を協議するきっかけを作ることができた。

⑤ 10月に実地指導を受けたが、指摘事項はなかった。

(2) 課題と対応等

① ほっとハートではご利用者の増加及び重度化、多様な障がい特性やライフスタイルの違い等に伴い、居場所の確保が課題となっている。また施設自体も老朽化しており、必要な改築を計画的に行う必要がある。

② 喬木村さくらの園は事業所が狭いこともあり、ご利用者の受け入れ人数が限られている。今後の利用者増を見越しての移転も視野に、喬木村との話し合いを継続している。定員２０名の就労継続B型事業所として独立して運営できることで、両事業所の経営の安定化を目指していく。

3. 利用実績（別紙1）

4. 職員配置状況

（H31.3.31 現在）

職種＼雇用形態等	正規総合	パート	嘱託職員	計	国家資格等
施設長（管理者）	1(1)			1(1)	社会福祉士 1
サービス管理責任者					
生活支援員	4(4)	5(4.3)		9(8.3)	精神保健福祉士 1　介護福祉士 2 保育士 1
看護職員	1(1)			1(1)	准看護師 1
事務員		1(0.5)		1(0.5)	
合　計	6(6)	6(4.8)		12(10.8)	

5. 安全防災対策

(1) 防災訓練 6 月：地震想定（避難訓練、防災頭巾のかぶり方練習、非常食試食）

(2) 防災訓練 10 月：火災想定（消防署職員講話、難訓練、消火訓練）

(3) 防災訓練 3 月：地震火災想定（避難訓練、けが人搬送訓練、応急処置講習）

6. 公益的取り組みの状況

(1) 松川町図書館 中川村図書館の掲示板飾りつけ：ほっとハートでは毎月季節ごとのテーマに沿った貼り絵作品を制作している。この作品を図書館の掲示板に展示させていただいているが、作品展示と併せ掲示板全体を飾り付けることで、来館者の目を楽しませる空間づくりを目指している。

(2) 災害発生時における福祉避難所の設置運営を行う事業所として、平成 28 年度より松川町と協定を締結している。

(3) さくらの園では喬木村社協デイサービスセンターのシーツ交換ボランティア、産業廃棄物のリサイクル活動に、ご利用者の活動の一環として取り組んでいる。
事業所としては喬木村見守りネットワーク事業への登録、小学生のエコキャップ運動窓口としての活動を通して、地域とのつながりを大切にしている。

7. 主な施設整備等

改修、固定資産物品　・・・なし

8. 添付資料

(1) 利用実績　…　別紙 1

(2) 重点目標及び第 2 期 3 か年計画の評価及び達成状況　…　別紙 1

(3) H30.3 介護給付費等の算定に係る体制等の状況　…　別紙 2

(4) 利用者数等　…　別紙 3

(5) 実習、ボランティア等の受け入れ状況　…　別紙 4

(6) 職員研修参加状況　…　別紙 4

(7) 苦情等の状況　…　なし

1. 利用実績

ほっとハート親愛

【平成 30 年度】

事業名	生活介護				定員	20							
月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
開所日数	20	21	21	21	21	18	23	21	19	19	19	20	243
延べ利用者数	357	382	393	391	388	334	402	354	319	329	332	356	4337
利用率(%)	89.2	91.0	93.6	93.1	92.0	92.9	87.4	84.3	83.9	86.6	87.4	89.0	89.2
3ヶ月平均(%)	88	90	91.3	92.8	92.9	92.7	90.8	88.2	85.2	85.0	86.0	87.7	89.2

【平成 29 年度】

事業名	生活介護				定員	20							
月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
開所日数	20	21	22	20	21	20	21	20	21	20	19	21	246
延べ利用者数	338	389	421	393	418	386	385	370	396	273	323	377	4469
利用率(%)	84.5	92.6	95.7	98.3	99.5	96.5	91.7	92.5	94.3	68.2	85.0	89.8	90.7
3ヶ月平均(%)	79.3	83.2	86.1	95.5	97.8	98.1	95.9	93.6	92.8	85.0	82.5	81.0	89.2

喬木村さくらの園

【平成 30 年度】

事業名	生活介護				定員	20							
月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
開所日数	20	21	21	21	20	18	23	21	19	19	19	20	242
延べ利用者数	101	119	115	120	113	100	123	114	97	101	98	111	1312
利用率(%)	50.5	56.7	55.0	57.0	57.0	55.6	53.5	54.3	51.0	53.2	51.6	55.5	54.2
3ヶ月平均(%)			54.1	56.2	56.3	56.5	55.4	54.5	52.9	52.9	51.9	53.4	54.4

【コメント】

(1) 平成 30 年度は平成 29 年度と比較して開所日が3日少なかった。

(2) ほっとハートご利用者 2 名が年度途中で亡くなられ、延べ利用者数が減少した。

(3) 喬木村さくらの園については、当初の予定通りの受け入れとなった。

2. 重点目標及び評価

(1) 重点目標

目　　標	具体的な取り組み・課題等	評価
①地域の中で「重度障がい者の社会参加の場」としての役割を担い、グループワークやご利用者全員の生活の中での役割分担を大切にした支援に取り組む。	・掃除や挨拶など、ご利用者全員が集団活動の中で役割を担えるよう支援している。役割分担により、個々が「ほっとハート」という集団への帰属感を感じていただけることを願っている。 ・スポーツ、音楽、創作などの日中活動の場面には、グループワークの手法を取り入れている。グループワークを重ねることで、一人ひとりの個性が明確になり、意外な一面や能力が発揮される場面が増えている。 ・役割分担やグループワークを通し、集団の中で認められている実感を持つことで初めて、安心して自分を表現することができると考え支援を継続している。	B
②個別支援計画に基づき、ご利用者の希望や一人ひとりの障がい特性に合わせて支援を提供する。 また個別支援計画策定会議等を通じて個人のケースや具体的な支援方法の共有を図る。	・「ご利用者一人ひとりの人生、生活の中で、ほっとハートが担う役割は何か」について面談を通して明確にしながら、個別支援計画につなげている。 ・通所者全員の振り返りを毎日のミーティングで行い、情報の共有と記録の積み重ねを行っている。ケース会議にスーパーバイザーが同席し、専門的かつ客観的な視点からのアドバイスを得ている。 ・ケース記録の記入、保存、回覧の方法などを工夫することで、職員間で共通の支援が継続してできるよう努めている。	B
③ 人材育成を実施する	・職員の計画的な資格取得、職場内研修を実施している。	B
④ 防災システム、個人の緊急連絡カードの整備や備蓄食料の見直しを行う。	・緊急連絡カードの内容、使用方法の見直しを行い、年一度の更新が定着している。 ・備蓄食料については養護学校の事例を参考に、1食分を整えている。今後法人全体の災害時協力体制を検討する中で、備蓄食料の量については検討する必要がある。	B
⑤ 相談支援事業所や関係機関との連携を強化し、サービスの質の向上に努める。	・個々のご利用者支援の中でほっとハートが担うべき役割を意識しながら、相談支援専門員を中心に複数の法人・事業所との連携を深めることができている。個々のご利用者支援の中でほっとハートが担うべき役割を意識しながら、相談支援専門員を中心に複数の法人・事業所との連携を深めることができている。	B

（2）５か年計画（H30 年度～H34 年度）の進捗状況

目　　標	具体的な取り組み・課題等	評価
①　施設の老朽化に伴い必要な改築を目指す。重度化、高齢化等に伴う冷暖房設備等の改善、個人のスペースを大切にできるような環境を整える。	・改築に向け、保護者の理解を求めた。 ・最小限度の施設改修を行った。	C
②午後の活動を充実させ、希望者には内職などの作業を提供できるよう工夫する。	・午前中の活動をグループに分けたり、午後に作業や運動の活動を取り入れるなど、活動の充実を図ることができた。	B
③職員の資格取得を進めることで、支援の質を上げ、加算取得につなげる。	・重度障がい者支援加算を取得。取得のために必要な資格の取得を進めている。	B
④ボランティアを積極的に依頼することで、活動の充実を図ると共に地域とのつながりを強める。	・有償ボランティアシステムを作ることで、多くの方々にボランティアとして関わっていただくことができ、ご利用者の活動の幅を広げることができた。	B
⑤公益的事業に取り組むことで、地域社会に貢献する。	・ほっとハートでは、月１回の図書館掲示板飾りつけを継続して行っている。 ・さくらの園は、デイサービスセンターのシーツ交換、エコキャップ運動、リサイクル活動などを行った。	B
⑥　防災システムの構築。地域の福祉避難所としての役割を、町と共に検討する。	・両事業所とも非常食や避難場所の見直しなど、具体的な場面を想像しながらの防災計画見直しを行った。しかし町との検討には至らなかった。	C

※1　評価：A：目標以上　　B：目標をほぼ達成　　C：達成していない

介護給付費等の算定に係る体制等状況一覧表

提供サービス	定員数	定員規模	多機能型等定員区分（※1）	人員配置区分（※2）	その他該当する体制等		適用開始日
各サービス共通					地域区分	1．一級地　2．二級地　3．三級地　4．四級地　5．五級地 6．六級地　7．七級地　(20)　その他	
生活介護		(1)．21人以上40人以下 2．41人以上60人以下 3．61人以上80人以下 4．81人以上 5．20人以下	1．21人以上40人以下 2．41人以上60人以下 3．61人以上80人以下 4．81人以上 (5)．20人以下	1．Ⅰ型(1.7:1) (2)．Ⅱ型(2:1) 3．Ⅲ型(2.5:1) 4．Ⅳ型(3:1) 5．Ⅴ型(3.5:1) 6．Ⅵ型(4:1) 7．Ⅶ型(4.5:1) 8．Ⅷ型(5:1) 9．Ⅸ型(5.5:1) 10．Ⅹ型(6:1)	施設区分	(1)．一般　2．小規模多機能	
					定員超過	(1)．なし　2．あり	
					職員欠如	(1)．なし　2．あり	
					サービス管理責任者欠如	(1)．なし　2．あり	
					開所時間減算	(1)．なし　2．あり	
					開所時間減算区分（※5）	1．4時間未満　2．4時間以上6時間未満	
					短時間利用減算	(1)．なし　2．あり	
					大規模事業所	(1)．なし　5．定員81人以上	
					医師配置	(1)．なし　2．あり	
					人員配置体制	1．なし　(2)．あり	
					福祉専門職員配置等	1．なし　3．Ⅱ　4．Ⅲ　(5)．Ⅰ	
					常勤看護職員等配置	1．なし　(2)．Ⅰ　3．Ⅱ	
					視覚・聴覚等支援体制	(1)．なし　2．あり	
					重度障害者支援体制	1．なし　(2)．あり	
					リハビリテーション加算	(1)．なし　2．あり	
					食事提供体制	1．なし　(2)．あり	
					延長支援体制	(1)．なし　2．あり	
					送迎体制	1．なし　(3)．Ⅰ　4．Ⅱ	
					送迎体制（重度）	1．なし　(2)．あり	
					就労移行支援体制	(1)．なし　2．あり	
					就労移行支援体制（就労定着者数）	就労定着者数（　）	
					福祉・介護職員処遇改善加算対象	1．なし　(2)．あり	
					福祉・介護職員処遇改善特別加算対象	(1)．なし　2．あり	
					キャリアパス区分（※3）	1．Ⅲ（キャリアパス要件（Ⅰ又はⅡ）及び職場環境等要件のいずれも満たす） 2．Ⅴ（キャリアパス要件及び職場環境等要件のいずれも満たさない） 3．Ⅳ（キャリアパス要件を満たさない） 4．Ⅳ（職場環境等要件を満たさない） (5)．Ⅱ（キャリアパス要件（Ⅰ及びⅡ）及び職場環境等要件のいずれも満たす） 6．Ⅰ（キャリアパス要件（Ⅰ及びⅡ及びⅢ）及び職場環境等要件のいずれも満たす）	

提供サービス	定員数	定員規模	多機能型等定員区分（※1）	人員配置区分（※2）	その他該当する体制等		適用開始日
就労継続支援Ｂ型		(1.) 21人以上40人以下 2. 41人以上60人以下 3. 61人以上80人以下 4. 81人以上 5. 20人以下	1. 21人以上40人以下 2. 41人以上60人以下 3. 61人以上80人以下 4. 81人以上 (5.) 20人以下	(1.) Ⅰ型(7.5:1) 2. Ⅱ型(10:1)	平均工賃月額区分（※9）	1. 平均工賃月額が４万５千円以上 2. 平均工賃月額が３万円以上４万５千円未満 3. 平均工賃月額が２万５千円以上３万円未満 4. 平均工賃月額が２万円以上２万５千円未満 (5.) 平均工賃月額が１万円以上２万円未満 6. 平均工賃月額が５千円以上１万円未満 7. 平均工賃月額が５千円未満 8. なし（経過措置対象）	
					定員超過	(1.) なし　2. あり	
					職員欠如	(1.) なし　2. あり	
					サービス管理責任者欠如	(1.) なし　2. あり	
					福祉専門職員配置等	1. なし　3. Ⅱ　4. Ⅲ　(5.) Ⅰ	
					視覚・聴覚等支援体制	(1.) なし　2. あり	
					重度者支援体制	(1.) なし　2. Ⅰ　3. Ⅱ	
					就労移行支援体制	(1.) なし　2. あり	
					就労移行支援体制（就労定着者数）	就労定着者数（　）	
					目標工賃達成指導員配置	1. なし　(2.) あり	
					送迎体制	(1.) なし　3. Ⅰ　4. Ⅱ	
					食事提供体制	(1.) なし　2. あり	
					社会生活支援	(1.) なし　2. あり	
					福祉・介護職員処遇改善加算対象	1. なし　(2.) あり	
					福祉・介護職員処遇改善特別加算対象	(1.) なし　2. あり	
					キャリアパス区分（※3）	1. Ⅲ（キャリアパス要件（Ⅰ又はⅡ）及び職場環境等要件のいずれも満たす） 2. Ⅴ（キャリアパス要件及び職場環境等要件のいずれも満たさない） 3. Ⅳ（キャリアパス要件を満たさない） 4. Ⅳ（職場環境等要件を満たさない） (5.) Ⅱ（キャリアパス要件（Ⅰ及びⅡ）及び職場環境等要件のいずれも満たす） 6. Ⅰ（キャリアパス要件（Ⅰ及びⅡ及びⅢ）及び職場環境等要件のいずれも満たす）	
					主たる事業所サービス種類１（※6）	サービス種類コード（　）	
					指定管理者制度適用区分	1. 非該当　(2.) 該当	
					地域生活支援拠点等	(1.) 非該当　2. 該当	

（参考様式11-1）

生活介護・施設入所支援、療養介護用

＊着色セル全てに入力してください。

利用者数実績確認表（前年度の平均値）

事業区分	生活介護	事業所名	ほっとハート親愛

	平成 29年度（前々年度）			平成 30 年度（前年度）														
障害支援区分 A	延べ利用者数（人）（各月欄へは、月ごとに1人の利用者につき、本体報酬が算定された日数を積算し、当該月の利用者全員についてのその総和を入力）															計 B（4～3月）	A×B	
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
2																0	0	
3	29	32	38	35	34	37	37	36	31	37	38	33	23	24	24	389	1,167	
4	59	66	75	71	75	81	83	84	66	72	68	63	72	73	76	884	3,536	
5	80	97	116	110	115	116	112	121	108	133	125	114	114	121	128	1,417	7,085	3,062 E(区分5・6の人数)
6	106	128	148	141	158	159	158	147	129	160	123	109	119	114	128	1,645	9,870	1,645 G(区分6の人数)
計	274	323	377	357	382	393	390	388	334	402	354	319	328	332	356	C 4,335	D 21,658	
開所日数（日）	21	19	21	20	21	21	21	21	18	23	21	19	19	19	20	243	F	
定員（人）	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20			
月平均利用者数（人）	13	17	18	18	18	19	19	18	19	17	20	17	17	17	18			
超過減算非該当利用者数（人）																		
過去３ヶ月間延利用者数				974	1,057	1,116	1,132	1,165	1,171	1,112	1,124	1,090	1,075	1,001	979			
過去３ヶ月間受入可能者数				1,525	1,500	1,550	1,550	1,575	1,575	1,500	1,550	1,550	1,575	1,475	1,425			
定員超過判定（減算月）																		

＊ 延べ利用者数については障害者自立支援法附則第22条第1項（経過措置による生活介護）の利用者、障害支援区分の認定がない自立訓練等の利用者を除いてください。
＊ 算定期間の実績には、入所等した日を含み、退所等した日は含みません。
＊ 超過減算非該当利用者数は延べ利用者数のうち、①市町村による措置者②地域移行困難者又は離職者（平成18年４月３日付け障障発第0403004号）③災害等やむを得ない理由による入所者について各月の延べ数を記入してください。
＊ 定員超過判定で○が表示された場合、過去３ヶ月間の利用実績による定員超過減算となります。

平均障害支援区分(D／C)	5.0 （小数点第2位四捨五入）
区分5・6の者の割合(平均区分5.0未満の場合)(E／C)	71 %（小数点第1位四捨五入）
区分6の者の割合(平均区分5.0以上の場合)(G／C)	38 %（小数点第1位四捨五入）
1日当たりの平均利用者数(C／F)	17.9 人（小数点第2位以下切上）
常勤換算後の従業者人数	11.3 人（小数点第2位以下切捨）
サービス提供職員配置	1.6 : 1

夜勤職員(施設入所支援のみ)
人

（参考様式11-2）

生活介護・施設入所支援、療養介護以外用

＊着色セル全てに入力してください。

利用者数実績確認表（前年度の平均値）

事業区分	就労継続B型	事業所名	ほっとハート親愛（高木村さくらの園）

	平成　年度（前々年度）			平成　30　年度（前年度）											
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
延べ利用者数（人）				101	119	115	120	113	100	123	114	98	103	98	111
（就労B型のみ）Aのうち、障害基礎年金１級受給延利用者数（人）															
Aのうち、施設外就労延べ利用者数（人）															
開所日数（日）				20	21	21	21	21	18	23	21	19	19	19	20
定員（人）				10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
月平均利用者数（人）	######	######	######	5	6	5	6	5	6	5	5	5	5	5	6
超過減算非該当利用者数（人）															
過去３ヶ月間延利用者数				0	101	220	335	354	348	333	336	337	335	315	299
過去３ヶ月間受入可能者数				0	260	533	806	819	819	780	806	806	819	767	741
定員超過判定（減算月）															

＊「延べ利用者数」
各月欄へは、月ごとに１人の利用者につき、本体報酬が算定された日数を積算し、当該月の利用者全員についてのその総和を入力

＋ A（４～３月）	1,315
＋ B（４～３月）	0
＋ C（４～３月）	0
＋ D（４～３月）	243

のない20歳未満の利用者延人数　E　＊ Aの内数（4月から3月）（人）	

（就労Ｂ型のみ）障害者基礎年金１級受給者である利用者の延利用者数割合　F　［B／(A-E)］	0.0%

＊　延べ利用者数については障害者自立支援法附則第22条第1項（経過措置による生活介護）の利用者、障害支援区分の認定がない自立訓練等の利用者を除いてください。
＊　算定期間の実績には、入所等した日を含み、退所等した日は含みません。
＊　超過減算非該当利用者数は延べ利用者数のうち、①市町村による措置者②地域移行困難者又は離職者（平成18年４月３日付け障障発第0403004号）③災害等やむを得ない理由による入所者④就労継続支援Ｂ型利用のためのアセスメント（就労移行支援のみ）について各月の延べ数を記入してください。
＊　定員超過判定で○が表示された場合、過去３ヶ月間の利用実績による定員超過減算となります。

1日当たりの平均利用者数(A／D)	5.5 人（小数点第2位以下切上）

別紙４

１．視察、実習等の受け入れ状況

期日	団体名・内容等	延べ人数
４月	採用希望実習	２
５月	採用希望施設見学	２
６月	飯田養護学校体験実習	１８
７月	法人施設見学 コンプライアンス研修 くらし部会 利用希望者施設見学 飯田養護学校保護者施設見学 高等部３年生実習 喬木中学校職場体験	58
８月	親愛ツアー 飯田養護学校職員施設見学	１５
９月	他法人 GH 利用者体験 施設見学	８
10月	他法人 GH 利用者体験 施設見学	８
11月	実習生施設見学 飯田養護学校利用実習	２８
１２月	飯田養護学校利用実習	４
２月	他法人デイサービスセンター職員実習 親愛ツアー 施設見学	８
３月	親愛ツアー 学生施設見学	３

２．ボランティア受け入れ状況

期日	団体名	内容	延べ人数
毎月１回	丸山氏・浦野氏	紙すき	２４
毎月１回	高野氏	手芸	１２
毎月	鈴木氏	カレンダー原案制作	１２
７月・12月	ハーモ32	ハーモニカコンサート	20
７月	田口氏	大道芸	１
８月	加瀬氏	納涼会調理	１
10月	飯田マジッククラブ	マジックショー	２
２月	平栗氏・常盤氏	茶道教室	２

３．職員研修参加状況

期日	研修名	延べ人数
5月	くらし部会・仕事部会 中堅職員研修（法人） 第三者評価研修（法人）	7
6月	名古屋事業所見学（法人） 新任職員研修（法人） くらし部会・仕事部会 事例検討会（法人） 商品衛生委員会 工賃向上計画セミナー	１７
7月	コンプライアンス研修 くらし部会 法人事業所見学	14
8月	マイナビ参加 コンプライアンス研修（法人） くらし部会 相談支援従事者研修 事例検討会	9
9月	くらし部会 虐待防止研修	１７
10月	集団指導 パート職員賃金改正についての説明会 くらし部会 オープン学習会「障害年金について」7	16
１１月	くらし部会合同学習会 感染症予防研修 虐待防止、権利擁護研修の伝達研修 自立支援協議会調整会議 事業所内研修（リスクマネジメント）	14
１２月	くらし部会 食品営業車講習会 パン教室（全１８回）	２０
1月	くらし部会 メンタルヘルス研修 サービス管理責任者研修 加工食品に関する研修 運動習慣定着のための研修	１８
2月	サービス管理責任者研修 くらし部会 事例検討会（法人）	9

平成30年度事業報告書

多機能型事業所　　親愛の里夢工房
（生活訓練・生活介護）

住所：上伊那郡宮田村3180-4
電話/Fax：0265-85-6464／0265-85-6465
E-mail：yumekoubou@shin-ai1996.org

平成30年度事業報告書

1. 種別・名称：多機能型事業所　親愛の里夢工房

(1) 事業区分及び定員・契約者(登録者)数

① 生活介護事業：定員14名　契約者数20名

② 生活訓練事業：定員6名　契約者数4名

2. 概要

(1) 運営の概要

＜生活介護事業＞

① 地域の利用ニーズが高く、年度を通じてほぼ定員に近い利用実績があり、新規利用者の受け入れについては利用を見合わせている。

② 今年度も継続課題とし、ご利用者のニーズを個別支援計画にて具体化し、支援者が共通の支援目標を持って活動の組み立てが出来るよう力を入れた。支援会議あるいは日々の業務の中で支援のポイントや手順、KY（危険予知）の視点も取り入れた共有が出来るよう実施した。

＜生活訓練事業＞

① ４月より新規利用者を受け入れ、契約数が４名となった。うち２名は生活訓練事業の利用が２年目となり、希望される移行先（就労継続支援B型等）への移行支援が課題となり、個別支援計画を通じて丁寧に計画を実施することが重点的な支援内容となった。

(2) 課題と対応策等

① 生活訓練事業：サービス終了後、移行に向けた支援の充実

＊対応⇒４名のご利用者のうち、２名がサービス利用から２年目となり、希望される事業所へのスムーズな移行支援の実施が課題となった。ご本人の希望と現状の個別ニーズ、課題に沿って個別支援計画を３か月ごと見直して目標を決め、ご本人、相談支援専門員とサービス終了後の方向性を調整しながら進めた。年度前半は移行先の事業所に関する学習や見学先でのマナー等を確認し準備期間とした。後半部分は、相談支援専門員と連携し、具体的な移行先の選定と見学・体験への同行や振り返り面談、移行先事業所への引き継ぎ等を行った。３か月ごとにご本人と目標を共有することで、移行に向けた準備を段階的に進めることが出来た。移行プログラムについては、就労に向けた学習内容や移行先の事業所（社会資源）に関する情報をより的確に提供できるように改善する。移行の実績をもとに、来年度以降新規利用者の確保やプログラムの充実に努めたい。

② 支援者のスキルアップ・危険予知KY活動の実施

＊対応⇒昨年度より継続課題として、個別支援計画に基づいた個別活動、個別支援の

充実と職員の役割分担と連携を目標に取り組んだ。危険予知 KY の観点から、特に外出支援時の安全管理においては見直しを行い、事前に職員会議を設け、外出時の留意点の共有や職員配置、外出先での危険予知（予測）も含めた支援内容を確認することで事故防止に努めた。

③ 利用者増加により個室の確保が難しくなってきており、活動スペースの拡張が継続的な課題である。

＊対応⇒来年度以降の５か年計画にて検討を進めていく。

3. 利用実績

●平成30年度●

事業名　自立訓練　定員　6

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
開所日数	20	21	21	21	20	18	22	21	19	19	19	21	242
述べ利用者数	80	84	84	83	78	69	87	81	75	76	56	60	913
利用率(%)	66.7	66.7	66.7	65.9	65.0	63.9	65.9	64.3	65.8	66.7	49.1	47.6	62.8
3ヶ月平均(%)	41.1	54.5	66.7	66.4	65.8	64.9	64.9	64.7	65.3	65.6	60.5	54.5	61.2

事業名　生活介護　定員　14

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
開所日数	20	21	21	21	20	18	22	21	19	19	19	21	242
述べ利用者数	287	323	310	309	293	258	330	304	279	269	277	282	3521
利用率(%)	102.5	109.9	105.4	105.1	104.6	102.4	107.1	103.4	104.9	101.1	104.1	95.9	103.9
3ヶ月平均(%)	100.1	104.7	105.9	106.8	105.1	104.0	104.7	104.3	105.1	103.1	103.4	100.4	104.0

事業名　自立・介護 合計　定員　20

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
開所日数	20	21	21	21	20	18	22	21	19	19	19	21	242
述べ利用者数	367	407	394	392	371	327	417	385	354	345	333	342	4434
利用率(%)	91.8	96.9	93.8	93.3	92.8	90.8	94.8	91.7	93.2	90.8	87.6	81.4	91.6
3ヶ月平均(%)	71.9	75.9	94.2	94.7	93.3	92.3	92.8	92.4	93.2	91.9	90.5	86.6	89.1

4. 職員配置状況

（H31.3.31 現在）

職種＼雇用形態等	正規総合	正規一般	パート	計	国家資格等
管理者・ サービス管理責任者	1			1	社会福祉士1
生活支援員		2	3（2.5）	5	保育士1
看護職員			1	1	准看護師1
合　計	1	2	4	7	

5.　安全防災対策

・年２回の避難訓練を９月(火災想定)、３月(地震想定)に実施。

6.　公益的取り組みの状況…なし

7.　主な施設整備等

(1)　改修等…なし

(2)　固定資産物品…なし

8.　その他(添付資料…別紙)

(1)　重点目標及び第２期３か年計画の評価及び達成状況　別紙１

(2)　H30 介護給付費等の算定に係る体制等の状況　別紙２

(3)　利用者数等実績一覧表　別紙３－１・３－２

(4)　工賃支給状況　別紙４

(5)　実習、見学、視察等の受け入れ状況　別紙５

(6)　職員研修等参加状況　別紙５

(7)　苦情等の状況　別紙５

(8)　平面図　別紙６

(1)　重点目標の評価及び達成状況

目　　標	具体的な取り組み・課題等	評価
個別支援計画に基づいた支援を実施する。（生活介護・生活訓練共通目標）	・ご利用者のニーズに沿った個別支援計画の具体化と実行を目標に、どの職員でも共通の支援目標に沿った日々の支援が出来るよう努めた。その為に支援者側の具体的な支援方法、１日の支援業務の中での役割分担と情報共有に特に留意し取り組んだ。	B
各種活動を通じ、生活の質の向上や仲間・地域の方との交流・連携・社会参加を目指す。（共通）	・地域におけるアート作品展の実施やスポーツ大会への参加、大道芸公演等により、ご利用者が地域で活躍できる機会を提供出来た。	B
相談支援事業所や関係機関とのネットワークを生かした支援を実施すると共に地域に開かれた事業所を目指す。（共通）	・サービス管理責任者を中心として自立支援協議会への参加やサービス担当者会議での関係機関とのネットワークを強化した。 ・生活訓練事業では、サービス終了後の移行に向けた支援を相談支援専門員と連携して施設見学や体験、面談等を実施した。	介護 B 訓練 B
人材育成を実施する。（共通）	・個別プログラムの充実と職員の役割分担と連携支援に力を入れた。KY（危険予知）の観点から、外出支援等において、事前の役割分担や危険予知を含めた行動予測を実施し、支援内容を事前に確認、周知するなど改善に取り組んだ。	B
ご利用者の希望や一人ひとりの障がい特性に合わせたプログラムを提供する。（生活介護）	・年度を通じて職員の補充が進まない状況があり、現状の職員数の中でいかに個別対応や個別活動を実施していくかが課題となった。職員の役割の見直しや「いつ・誰が・どんな支援をするのか」といった事前のスケジュール調整に留意し取り組んでいる。来年度も引き続き課題としていく。	C
ご利用者の希望や生活の状況に合わせた支援の実施と就労事業所等へのステップアップ(移行)を目指したプログラムを提供する。（生活訓練）	・ご本人の希望と現状の個別ニーズ、課題に沿って個別支援計画を３か月ごと見直し、目標を決め、ご本人、相談支援専門員とサービス終了後の移行イメージを調整しながら進めた。年度前半は移行先の事業所に関する学習や見学先でのマナー等を確認し準備期間とした。後半部分は、相談支援専門員と連携し、具体的な移行先の選定と見学、体験への同行や振り返り面談、移行先事業所への引き継ぎ等を行った。３か月ごとにご本人と目標を共有することで、移行に向けた準備を段階的に進めることが出来た。	B
ご利用者のニーズに応じた訪問支援を実施する。（生活訓練）	・今年度はご利用者の希望がなかったため実施していない。	C

(2)5 ヵ年計画（H30 年度～令和 4 年度）の進捗状況

目　　標	具体的な取り組み・課題等	評価
人材育成の推進：OJT、研修等を通じて職員のレベルアップを図る	・昨年度より継続課題として、個別支援計画に基づいた個別活動、個別支援の充実と職員の役割分担と連携を目標に取り組んだ。危険予知 KY の観点から、特に外出支援時の安全管理においては見直しを行い、事前に職員会議を設け、外出時の留意点の共有や職員配置、外出先での危険予知（予測）も含めた支援内容を確認することで事故防止に努めた。	B
事業所の活動スペースの拡張：ご利用者数増加に伴い、個室等を増設、拡張する	・行政との協議により、現状では施設の拡張は難しいとの回答がある。	C
地域ニーズに応じた新規事業所（生活介護事業）開設を検討する	・上伊那圏域においては、生活介護のニーズはあるが、現状では新規事業開設について検討していない。	C
公益的事業に取り組むことで、地域社会に貢献する	・事業所単独での公益的事業の実施はしていない。	C

※1　評価：A：目標以上　　B：目標をほぼ達成　　C：達成していない

別紙 2

介護給付費等の算定に係る体制等状況一覧表

提供サービス	定員数	定員規模	多機能型等 定員区分（※1）	人員配置区分 （※2）	その他該当する体制等		適用開始日
ービス共通					地域区分	1．一級地　2．二級地　3．三級地　4．四級地　5．五級地 6．六級地　7．七級地　(8)．その他	
					施設区分	(1)．一般　2．小規模多機能	
					定員超過	(1)．なし　2．あり	
					職員欠如	(1)．なし　2．あり	
					サービス管理責任者欠如	(1)．なし　2．あり	
					開所時間減算	(1)．なし　2．あり	
					開所時間減算区分（※5）	1．４時間未満　2．４時間以上６時間未満	
					短時間利用減算	(1)．なし　2．あり	
					大規模事業所	(1)．なし　5．定員81人以上	
					医師配置	(1)．なし　2．あり	
					人員配置体制	(1)．なし　2．あり	
					福祉専門職員配置等	1．なし　3．Ⅱ　(4)．Ⅲ　5．Ⅰ	
					常勤看護職員等配置	1．なし　(2)．Ⅰ　3．Ⅱ	
					視覚・聴覚等支援体制	(1)．なし　2．あり	
					重度障害者支援体制	(1)．なし　2．あり	
					リハビリテーション加算	(1)．なし　2．あり	
					食事提供体制	(1)．なし　2．あり	
					延長支援体制	(1)．なし　2．あり	
					送迎体制	1．なし　(3)．Ⅰ　4．Ⅱ	
					送迎体制（重度）	(1)．なし　2．あり	
					就労移行支援体制	(1)．なし　2．あり	
					就労移行支援体制（就労定着者数）	就労定着者数（　）	
					福祉・介護職員処遇改善加算対象	1．なし　(2)．あり	
					福祉・介護職員処遇改善特別加算対象	(1)．なし　2．あり	
					キャリアパス区分（※3）	1．Ⅲ（キャリアパス要件（Ⅰ又はⅡ）及び職場環境等要件のいずれも満たす） 2．Ⅴ（キャリアパス要件及び職場環境等要件のいずれも満たさない） 3．Ⅳ（キャリアパス要件を満たさない） 4．Ⅳ（職場環境等要件を満たさない） (5)．Ⅱ（キャリアパス要件（Ⅰ及びⅡ）及び職場環境等要件のいずれも満たす） 6．Ⅰ（キャリアパス要件（Ⅰ及びⅡ及びⅢ）及び職場環境等要件のいずれも満たす）	
					主たる事業所サービス種類１（※6）	サービス種類コード（　）	
					指定管理者制度適用区分	(1)．非該当　2．該当	
					共生型サービス対象区分	(1)．非該当　2．該当	
					サービス管理責任者配置等（※7）	1．なし　2．あり	
					地域生活支援拠点等	(1)．非該当　2．該当	
P.84 活介護		1．21人以上40人以下 2．41人以上60人以下 3．61人以上80人以下 4．81人以上 (5)．20人以下	1．21人以上40人以下 2．41人以上60人以下 3．61人以上80人以下 4．81人以上 (5)．20人以下	1．Ⅰ型(1.7:1) 2．Ⅱ型(2:1) 3．Ⅲ型(2.5:1) 4．Ⅳ型(3:1) 5．Ⅴ型(3.5:1) 6．Ⅵ型(4:1) (7)．Ⅶ型(4.5:1) 8．Ⅷ型(5:1) 9．Ⅸ型(5.5:1) 10．Ⅹ型(6:1)			

提供サービス	定員数	定員規模	多機能型等 定員区分（※1）	人員配置区分 （※2）	その他該当する体制等		適用開始日
練			1．21人以上40人以下 2．41人以上60人以下 3．61人以上80人以下 4．81人以上 ⑤．20人以下		施設区分	1．機能訓練　②．生活訓練　3．生活訓練（宿泊型）	
					訪問訓練	1．なし　②．あり	
					視覚障害機能訓練専門職員配置	①．なし　2．あり	
					定員超過	①．なし　2．あり	
					職員欠如	①．なし　2．あり	
					サービス管理責任者欠如	①．なし　2．あり	
					標準期間超過	①　なし　2　あり	
					福祉専門職員配置等	1．なし　3．Ⅱ　④．Ⅲ　5．Ⅰ	
					視覚・聴覚等支援体制	①　なし　2．あり	
					地域移行支援体制強化	①　なし　2．あり	
					リハビリテーション加算	①．なし　2．あり	
					個別計画訓練支援加算	①　なし　2．あり	
					短期滞在	①．なし　2．宿直体制　3．夜勤体制	
		1．21人以上40人以下 2．41人以上60人以下 3．61人以上80人以下 4．81人以上 ⑤．20人以下			精神障害者退院支援施設	①．なし　2．宿直体制　3．夜勤体制	
					通勤者生活支援	①　なし　2．あり	
					地域生活移行個別支援	①．なし　2．あり	
					精神障害者地域移行体制	①　なし　2．あり	
					強度行動障害者地域移行体制	①　なし　2．あり	
					食事提供体制	①．なし　2．あり	
					看護職員配置	①．なし　2．あり	
					送迎体制	1．なし　③．Ⅰ　4．Ⅱ	
					夜間支援等体制	①．なし　2．Ⅰ　3．Ⅱ　4．Ⅲ　5．Ⅰ・Ⅱ　6．Ⅰ・Ⅲ 7．Ⅱ・Ⅲ　8．Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	
					社会生活支援	①　なし　2．あり	
					就労移行支援体制	①．なし　2．あり	
					就労移行支援体制（就労定着者数）	就労定着者数（　）	
					福祉・介護職員処遇改善加算対象	1．なし　②．あり	
					福祉・介護職員処遇改善特別加算対象	①．なし　2．あり	
					キャリアパス区分（※3）	1．Ⅲ（キャリアパス要件（Ⅰ又はⅡ）及び職場環境等要件のいずれも満たす） 2．Ⅴ（キャリアパス要件及び職場環境等要件のいずれも満たさない） 3．Ⅳ（キャリアパス要件を満たさない） 4．Ⅳ（職場環境等要件を満たさない） ⑤．Ⅱ（キャリアパス要件（Ⅰ及びⅡ）及び職場環境等要件のいずれも満たす） 6．Ⅰ（キャリアパス要件（Ⅰ及びⅡ及びⅢ）及び職場環境等要件のいずれも満たす）	
					主たる事業所サービス種類１（※6）	サービス種類コード（　）	
					指定管理者制度適用区分	①　非該当　2．該当	
					共生型サービス対象区分	①　非該当　2．該当	
					サービス管理責任者配置等（※7）	1．なし　2．あり	
					地域生活支援拠点等	①．非該当　2．該当	

別紙３－２

利用者数実績確認表（H30年度の平均値）

事業区分	生活訓練	事業所名	親愛の里夢工房

	平成 29年度			平成 30年度（前年度）												
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
延べ利用者数（人）	37	30	38	80	84	84	83	78	69	87	81	75	76	56	60	913
開所日数（日）	19	19	21	20	21	21	21	20	18	22	21	19	19	19	21	242
定員（人）	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	
月平均利用者数（人）	2	2	2	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	3	3	
超過減算非該当利用者数（人）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
過去３ヶ月間延利用者数				105	148	202	248	251	245	230	234	237	243	232	207	
過去３ヶ月間受入可能者数				531	540	558	558	567	558	531	540	549	558	531	513	
定員超過判定（減算月）																

1日当たりの平均利用者数(A／D)	3.8 人（小数点第2位以下切上）

H30年度 親愛の里夢工房 就労収支資料

●収入●

項目/月			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
受託事業		合庁掃除		5,680	8,084		9,992		9,972		8,696		8,912	4,240	55,576
		プラム掃除	8,000	8,000	10,000	8,000	10,000	8,000	8,000	10,000	8,000	8,000	2,000	4,000	92,000
		月刊かみいな配布	1,312	1,312	1,312	1,312	1,312	1,312	1,312	2,132	1,312	1,312	1,312	1,312	16,564
		公民館文書回収	11,976	11,976	11,976	11,976	14,970	11,976	11,976	14,970	11,976	11,976	11,976	11,976	149,700
		広報配達	1,781	1,781	1,781	1,781	1,781	1,781	1,781	1,781	1,781	1,781	1,781	1,781	21,372
		リサイクル	5,292	5,158	6,014	7,682	4,581	5,454	5,486	5,400	5,831	5,227	2,813	2,985	61,923
		チラシ折り	4,990	4,985		9,835	9,985	10,090	7,500	1,500		5,000	7,975	5,300	67,160
		日本ハムギフト						43,619				44,700			88,319
		梱包材													0
		その他													0
受託収入計…①			33,351	38,892	39,167	40,586	52,621	82,232	46,027	35,783	37,596	77,996	36,769	31,594	552,614
自主生産事業	ショップ	夢工房	1,485	2,550			4,550	1,000	16,450	3,700	11,149	7,451	2,750	1,900	52,985
		なごみ家		150											150
		そば蔵													0
		プラムの里													0
		ウッディなな													0
		うめっこランド													0
	バザー・販売		7,085			12,250	16,080		32,710	6,600	6,100			5,700	86,525
	カタログ販売										6,250				6,250
自主収入計…②			8,570	2,700	0	12,250	20,630	1,000	49,160	10,300	23,499	7,451	2,750	7,600	145,910
仕入	仕入		6,700		3,750	9,750	4,000	4,750	12,650	3,750	9,500	0		2,700	57,550
仕入収入計…③			6,700	0	3,750	9,750	4,000	4,750	12,650	3,750	9,500	0	0	2,700	57,550
実収入合計(①+②+③)			**48,621**	**41,592**	**42,917**	**62,586**	**77,251**	**87,982**	**107,837**	**49,833**	**70,595**	**85,447**	**39,519**	**41,894**	**756,074**
前月残額			9	12	11	10	10	10	10	9	13	13	11	12	130
預金利息															0
運転資金・材料代(前月からの繰越)			15,000	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000	180,000
収入合計(①～③+その他)…Ⅰ			63,630	56,604	57,928	77,596	92,261	102,992	122,847	64,842	85,608	100,460	54,530	56,906	936,204

●支出●

自主	作業材料費	2,064	282	2,376	6,566	1,188	13,409	8,010	0	1,512	9,418	432	0	45,257
自主支出計…④		2,064	282	2,376	6,566	1,188	13,409	8,010	0	1,512	9,418	432	0	45,257
仕入	仕入	5,593		3,145	7,897	3,312	3,987	10,439	3,145	5,185	0	0	5,064	47,767
仕入支出計…⑤		5,593	0	3,145	7,897	3,312	3,987	10,439	3,145	5,185	0	0	5,064	47,767
実支出合計(④+⑤)		**7,657**	**282**	**5,521**	**14,463**	**4,500**	**17,396**	**18,449**	**3,145**	**6,697**	**9,418**	**432**	**5,064**	**93,024**
翌月材料代		15,000	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000	180,000
支出合計(④～⑤+その他)…Ⅱ		22,657	15,282	20,521	29,463	19,500	32,396	33,449	18,145	21,697	24,418	15,432	20,064	273,024

●差引●

差引合計(Ⅰ－Ⅱ)	**40,973**	**41,322**	**37,407**	**48,133**	**72,761**	**70,596**	**89,398**	**46,697**	**63,911**	**76,042**	**39,098**	**36,842**	**663,180**

○工賃支給状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
就労日数	20	21	21	21	20	18	22	21	19	19	19	20	**241**
支給額(合計)	40,961	41,311	37,394	48,126	72,751	70,586	89,389	46,684	63,898	76,029	39,089	36,829	**663,047**
支給額(平均)	1,707	1,721	1,558	2,005	3,031	2,941	3,725	1,945	2,662	3,306	1,700	1,601	**2,325**
支給額(最高)	4,942	3,463	4,175	6,548	10,490	12,431	10,062	4,428	6,248	9,866	3,651	3,256	
支払い人数	24	24	24	24	24	24	24	24	24	23	23	23	**285**

別紙５

１．平成３０年度　実習・視察等受け入れ状況

月	実習・視察等受け入れ内容
５月	１７日：駒ヶ根市福祉課職員見学
６月	４日～１５日：伊那養護学校現場実習１名 ６日：社会福祉法人高水福祉会職員見学 １１日：宮田村サービス事業所連絡会見学 １３日：木曽養護学校見学 ２５日・２７日～２８日：伊那養護学校中学部実習１名
７月	３１日：伊那養護学校寄宿舎職員見学
１１月	５日～１６日：伊那養護・木曽養護学校現場実習２名 １９日：伊那養護学校 PTA 施設見学１名

2．平成３０年度　職員研修等参加状況　（下記表を参照）

月	職員研修等参加状況
5月	17日：法人内研修　第三者評価学習会 22日：自立支援協議会全体会
6月	10日：法人内研修　新任研修 12日：長野県相談支援専門員協会　長野県障害福祉新人研修演習講師
7月	3日：自立支援協議会　重心・要医療的ケア部会 5・6日：長野県社会福祉協議会　中堅職員研修 17日：法人内研修　コンプライアンス研修 23日：長野県知的障がい福祉協会　精神科領域セミナー 30日：よこはま発達相談室　自閉症スペクトラムの理解と支援
8月	9日：法人内研修　一等級職員研修 23日：法人内研修　事例検討会 31日：法人内研修　第三者評価検討会
9月	5日：法人内研修　虐待防止研修 22日：法人内研修　一等級あおぞら教室参加 25日：自立支援協議会　精神障害者地域生活推進部 25日：長野県知的障がい福祉協会　精神科領域セミナー
10月	4日：長野県サービス運営適正化委員会　苦情対応システム研修会 5日：長野県相談支援専門員協会　サービス管理責任者スキルアップ研修講師
11月	1日：自立支援協議会　精神障害者地域生活支援部会 6日：法人内研修　一等級職員研修 14日：長野県　虐待防止・権利擁護研修（管理者向け） 29・30日：日本知的障害者福祉協会　日中活動支援部会全国大会
12月	5日：法人内研修　一等級職員研修 12日：長野県知的障がい福祉協会　精神科領域セミナー 18日：法人内研修　コミュニケーション研修（管理職）
1月	21日：自立支援協議会　サービス管理責任者スキルアップ研修 29日：法人内研修　一般職コミュニケーション研修 29日：長野県相談支援専門員協会　長野県サービス管理責任者研修共通講義講師
2月	6・7日：長野県相談支援専門員協会　長野県サービス管理責任者研修介護分野演習講師 13日：長野県知的障がい福祉協会　精神科領域セミナー 21日：法人内研修　事例検討会 28日：長野県相談支援専門員協会　長野県サービス管理責任者研修介護分野演習講師

３月	１日：長野県相談支援専門員協会　長野県サービス管理責任者研修介護分野演習講師 １・８日：法人内研修　管理職研修 ６日：自立支援協議会　重心・要医療的ケア部会 ９日：法人内研修　メンタルヘルス研修

３．平成３０年度苦情等の状況　…　なし

真北
女子WC
男子WC
身障者WC
男子更衣室
女子更衣室
倉庫（1）
倉庫（2）
多目的ホール
休憩室
訓練・作業室
相談室
玄関
事務室

平成30年度事業報告書

就労継続支援B型事業所　親愛の里シンフォニー

住所：上伊那郡宮田村3306-2

電話／FAX：0265-85-5808

E-mail：symphony@shin-ai1996.org

平成30年度事業報告書

1. 種別・名称：就労継続支援B型　親愛の里シンフォニー
   (1) 事業区分及び定員・契約者(登録者)数
      ① 定員20名　契約者数30名

2. 概要
   (1) 運営の概要
   ① H30年度の利用率は105%となり、平成28年度の利用率91.9%を大きく上回る数値となった。12か月間100%を上回る数値を維持することが出来、H30年度の重点目標であった『利用率95%をキープする』を達成することが出来た。これは新規の利用者を増やしたこと・利用者が安定して通所を行え、利用者の中には精神安定や作業に対する意欲の向上が図られ、前年度より通所日数を増やした方もいることが要因として考えられる。
   ② H30年度の就労収支は、喫茶収入は上がっているが、自主製品と施設外就労の収入が大きく減少している。特に施設外就労に参加する利用者の企業への通勤率が安定せず、全体的に減少している。この要因として、職員の支援技術が利用者のモチベーションや精神安定に繋がっていかず、安定的な通勤が図られなかったことが考えられる。事業所としても大きな問題ととらえており、会議等でのケース確認や支援方法の統一、職員への個別面談等で対応を繰り返している。
   工賃支払総額はH29年度より若干上がっているが、新規利用者を増やし工賃の支払い人数も増えたため、月平均工賃額が前年度実績よりも1000円程下がってしまった。重点目標の一つである『利用率アップ』は目標を達成することが出来たが、利用者が増えたことで工賃の支払い人数も増え、それに就労収入が追い付けず、昨年度の工賃実績にも及ばない数字となってしまった。
   ③ 利用者の中には、少ない日数での通所利用や収入に繋がるほどの作業パフォーマンスを望めない方々が多く、就労収入を上げていくことが難しい。しかし、シンフォニーを自身の居場所としてとらえている利用者が多いので、就労収入や工賃アップをある程度維持しつつも、個々に沿った支援や働き方の提案に努めていき、安定した通所を保っていく。

   (2) 課題と対応策等　… (1)を受け、次年度に向けて主な課題を箇条書き
   ① 工賃の維持
   ・工賃向上計画で戦略を検討。喫茶事業と施設外就労を重点的に検討していき、10,000円を下回らず、前年度よりも増額できるよう進めていく。
   ② 利用者の安定した通所、作業意欲や充実感の向上を図る

・職員全員が利用者一人一人の特性や個人を理解し、適切な支援が出来るようケース検討会や会議、日々のミーティング、等で情報の共有、利用者の変化、支援内容と目的の確認を図っていき、職員の支援技術強化を行う。

・職員一人一人の役割を明確にし、責任を持って支援を行うよう進めていく。

3. 利用実績

事業名	就労継続B				定員		20						
月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
開所日数	20	21	21	21	22	18	23	21	20	19	19	21	246
延べ利用者数	404	440	440	438	448	392	477	458	426	403	415	455	5196
利用率(%)	101.0	104.8	104.8	104.3	101.8	108.9	103.7	109.0	106.5	106.1	109.2	108.3	105.7
3ヶ月平均(%)	94.2	98.4	103.5	104.6	103.6	105.0	104.8	107.2	106.4	107.2	107.3	107.9	104.2

4. 職員配置状況 (H31.3.31 現在)

職種＼雇用形態等	正規総合	正規一般	パート	嘱託職員	計	国家資格等
施設長（管理者）	(1)				1	介護福祉士 1
サービス管理責任者	(1)				1	
職業指導員		1				
生活支援員			4		4	
事務員		(1)			(1)	
合　計	1	1(1)	4		6(1)	

5. 安全防災対策 … 避難訓練等の実施状況と内容

(1) 避難訓練の実施

日時	内容
平成 30 年 11 月 1 日	火災想定避難訓練、職員通報訓練
平成 31 年 3 月 28 日	避難経路確認

6. 公益的取り組みの状況

(1)

7. 主な施設整備等

(1) 改修等 ･･･なし

(2) 固定資産物品 … 10 万円以上のもの

(円)

物品名等	規格等	数量	単価	総額	備考
ハイエース (4WD：10 人乗り)		1	円	3,540,000 円	(補助団体：　　)

8. その他(添付資料)

(1) 重点目標及び5か年計画の評価及び達成状況 … 別紙1

(2) H31.3介護給付費等の算定に係る体制等の状況

(様式第5号(別紙1)…介護給付費等の算定に係る体制等状況一覧表) … 別紙2

(3) 利用者数等実績一覧表 … 別紙3

(4) 実習、ボランティア等の受け入れ状況 … 別紙4

(5) 職員研修参加状況 … 別紙5

(6) 平面図 … 別紙6

2. 重点目標及び評価

(1) 重点目標

目　　標	具体的な取り組み・課題等	評価
工賃アップ 県の平均工賃を目指す	H29 年度の比べ、喫茶は 190,000 円程、受託作業は 110,000 円程の収入増加。施設外就労の収入が 100,000 円程、自主製品が 47,000 円程の収入減少と内容に変動はあったが、実収入合計金額は 110,000 円の増加が見られた。前年度に引き続き、新規の利用者を増やしたことで、工賃支払い人数も増えたこと、実支出合計が 60,000 円程増えたことにより、一人あたりの平均工賃が前年度に比べて 1000 円程下がってしまい、H29 年度の工賃実績額よりも減少している。県の平均工賃にも程遠い結果となってしまった。また、施設外就労の収入が H28 年度から大幅に減少しており、要因として利用者が施設外就労に安定して通勤できていないことが考えられる。職員の支援技術の向上を強化し、利用者の意欲回復につなげていく。	C
障害の特性や利用者のニーズに応じた就労支援を行い、自信を持って働き、本人の可能性を拡げていけるよう支援	会議やケース検討会などで特性や支援内容の確認を進め、職員一人一人が利用者理解を深め、支援につなげていけるよう図っていった。その為、利用者は作業意欲ややりがい、承認の喜び等を感じることが出来、通所の安定と日数の増加が図られた利用者が多くみられるようになった。全体的には利用者の安定が図られてきたが、中には職員の支援技術の差異を敏感に捉える方もおり、会議やミーティングで支援等の確認や統一などの強化を図り、個別の対応などを継続して進めていく。	B
地域とのつながりを大切にし、地域を支え貢献できる事業所を目指す	喫茶事業の『出張喫茶販売』は行政や関係機関の会議やイベント等で安定して依頼が継続している。喫茶店の認知度が上がり、地域や関係機関等様々な方が利用している。優先調達法による作業も安定している。	B
利用率 95%以上をキープ	新規の利用者を増やしたことと、以前よりも利用者が安定して通所が出来、中には通所日数を増やした利用者もいたため、H30 年度平均利用率 105%を達成することが出来た。H29 年度平均利用率 91.9%を大幅に超える結果となり、毎月の利用率も 12 か月間 100%を超えることが出来た。	A

(2) 第2期3か年計画（H27年度～H29年度）の進捗状況

目　　標	具体的な取り組み・課題等	評価
平均工賃2万円以上を目指す	新規利用者を増やし、支払い人数が増えてしまったこととそれに就労での収入が追い付いていかないこと要因となり、H30 年度平均工賃額が前年度よりも 1000 円程減額している。一般就労等への移行や工賃収入を上げたいとの希望よりは、『居場所』や『通所リズムや体力、自信を取り戻す場』等を利用目的とし、少ない日数での通所利用や収入に繋がるほどの作業パフォーマンスを望めない方々が多い。当面は利用者の通所の安定と前年度より平均工賃を増額させることを目指し、長いスパンで課題の検討を行っていく。	C
移転や改装等を視野に、喫茶事業の充実を図る	喫茶事業の収入は年々増加している。出張喫茶サービスを増やしたこと、それに伴い喫茶店の知名度も上がり、新規のお客様も来店するようになったことが要因として挙げられる。 お客様や収入も少しずつ増えている中、喫茶業務に従事する利用者の育成を進めていくことが当面の課題となっている。まずは、喫茶業務人材の育成と増員を図り、準備を進めていく。	C
ニーズを掘り起こし、他事業への拡大を検討	親愛の里シンフォニーの在り方として『居場所』や『通所リズムや体力、自信を取り戻す場』としての事業所を目指したことにより、それを目的にして利用している方々が増えてきている。今のところ、このスタンスでの事業がニーズとして高い印象を受ける。今後もニーズの掘り起こしをしていきながら、地域に必要な事業やサービスの検討を図っていく。	B

※1　評価：A：目標以上　　B：目標をほぼ達成　　C：達成していない

提供サービス	定員数	定員規模	多機能型等 定員区分（※1）	人員配置区分 （※2）	その他該当する体制等		適用開始日
就労継続支援Ｂ型		1．21人以上40人以下 2．41人以上60人以下 3．61人以上80人以下 4．81人以上 5．20人以下	1．21人以上40人以下 2．41人以上60人以下 3．61人以上80人以下 4．81人以上 5．20人以下	1．Ⅰ型(7.5:1) 2．Ⅱ型(10:1)	平均工賃月額区分（※9）	1．平均工賃月額が４万５千円以上 2．平均工賃月額が３万円以上４万５千円未満 3．平均工賃月額が２万５千円以上３万円未満 4．平均工賃月額が２万円以上２万５千円未満 5．平均工賃月額が１万円以上２万円未満 6．平均工賃月額が５千円以上１万円未満 7．平均工賃月額が５千円未満 8．なし（経過措置対象）	
					定員超過	1．なし　2．あり	
					職員欠如	1．なし　2．あり	
					サービス管理責任者欠如	1．なし　2．あり	
					福祉専門職員配置等	1．なし　3．Ⅱ　4．Ⅲ　5．Ⅰ	
					視覚・聴覚等支援体制	1．なし　2．あり	
					重度者支援体制	1．なし　2．Ⅰ　3．Ⅱ	
					就労移行支援体制	1．なし　2．あり	
					就労移行支援体制（就労定着者数）	就労定着者数（　）	
					目標工賃達成指導員配置	1．なし　2．あり	
					送迎体制	1．なし　3．Ⅰ　4．Ⅱ	H30.4.1
					食事提供体制	1．なし　2．あり	
					社会生活支援	1．なし　2．あり	
					福祉・介護職員処遇改善加算対象	1．なし　2．あり	
					福祉・介護職員処遇改善特別加算対象	1．なし　2．あり	
					キャリアパス区分（※3）	1．Ⅲ（キャリアパス要件（Ⅰ又はⅡ）及び職場環境等要件のいずれも満たす） 2．Ⅴ（キャリアパス要件及び職場環境等要件のいずれも満たさない） 3．Ⅳ（キャリアパス要件を満たさない） 4．Ⅳ（職場環境等要件を満たさない） 5．Ⅱ（キャリアパス要件（Ⅰ及びⅡ）及び職場環境等要件のいずれも満たす） 6．Ⅰ（キャリアパス要件（Ⅰ及びⅡ及びⅢ）及び職場環境等要件のいずれも満たす）	
					主たる事業所サービス種類１（※6）	サービス種類コード（　）	
					指定管理者制度適用区分	1．非該当　2．該当	
					地域生活支援拠点等	1．非該当　2．該当	
就労定着支援					就労定着支援利用者数	1．利用者数が20人以下　2．利用者数が21人以上40人以下　3．利用者数が41人以上	
					就労定着率区分	1．就労定着率が９割以上 2．就労定着率が８割以上９割未満 3．就労定着率が７割以上８割未満 4．就労定着率が５割以上７割未満 5．就労定着率が３割以上５割未満 6．就労定着率が１割以上３割未満 7．就労定着率が１割未満	
					職員欠如	1．なし　2．あり	
					サービス管理責任者欠如	1．なし　2．あり	
					就労定着実績	1．なし　2．あり	
					職場適応援助者養成研修修了者配置体制	1．なし　2．あり	
					地域生活支援拠点等	1．非該当　2．該当	
自立生活援助				1．30:1未満 2．30:1以上	サービス管理責任者欠如	1．なし　2．あり	
					標準期間超過	1．なし　2．あり	
					福祉専門職員配置等	1．なし　3．Ⅱ　4．Ⅲ　5．Ⅰ	
					地域生活支援拠点等	1．非該当　2．該当	

参考様式11-2)

生活介護・施設入所支援、療養介護以外用

＊着色セル全てに入力してください。

利用者数実績確認表（前年度の平均値）

事業区分	就労継続支援B型	事業所名	親愛の里シンフォニー

	平成29年度（前々年度）			平成30年度（前年度）											
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
延べ利用者数（人）	344	343	384	404	440	440	438	448	392	477	458	426	403	415	455
（就労B型のみ）Aのうち、障害基礎年金１級受給延利用者数（人）	19	19	23	20	21	21	21	20	18	23	21	20	19	19	22
Aのうち、施設外就労延べ利用者数（人）	17	23	11	13	12	16	18	11	17	19	21	14	15	23	19
開所日数（日）	19	19	22	20	21	21	21	22	18	23	21	20	19	19	21
定員（人）	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20
月平均利用者数（人）	18	18	17	20	21	21	21	20	22	21	22	21	21	22	22
超過減算非該当利用者数（人）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
過去３ヶ月間延利用者数				1,020	1,084	1,192	1,243	1,272	1,281	1,232	1,270	1,270	1,307	1,237	1,192
過去３ヶ月間受入可能者数				1,500	1,525	1,575	1,550	1,575	1,600	1,525	1,575	1,550	1,600	1,500	1,450
定員超過判定（減算月）															

＊「延べ利用者数」
各月欄へは、月ごとに1人の利用者につき、本体報酬が算定された日数を積算し、当該月の利用者全員についてのその総和を入力

計 A（4～3月）	5,196
計 B（4～3月）	245
計 C（4～3月）	198
計 D（4～3月）	246

のない20歳未満の利用者延人数 E ＊ Aの内数 (4月から3月)（人）	238

(就労B型のみ) 障害者基礎年金１級受給者である利用者の延利用者数割合 F [B／(A-E)]	4.9%

＊ 延べ利用者数については障害者自立支援法附則第22条第1項（経過措置による生活介護）の利用者、障害支援区分の認定がない自立訓練等の利用者を除いてください。
＊ 算定期間の実績には、入所等した日を含み、退所等した日は含みません。
＊ 超過減算非該当利用者数は延べ利用者数のうち、①市町村による措置者②地域移行困難者又は離職者（平成18年４月３日付け障障発第0403004号）③災害等やむを得ない理由による入所者④就労継続支援Ｂ型利用のためのアセスメント（就労移行支援のみ）について各月の延べ数を記入してください。
＊ 定員超過判定で○が表示された場合、過去３ヶ月間の利用実績による定員超過減算となります。

1日当たりの平均利用者数(A／D)	21.2 人（小数点第2位以下切上）

実習、視察、ボランティアの受け入れ状況（H30.4.1～H31.3.31）

期　日	氏名・機関名等	人　数	内　容
５月16日(水)	親愛の里ツアー	１名	見学
５月17日(木)	カフェコーデ（伊那市）	１名	コーヒー講座
５月22日(火)・23日(水)	長野県看護大学４年生	２名	精神看護実習
６月11日(月)	宮田村サービス事業所連絡会	21名	見学
６月18日(月)～20日(水)	伊那養護学校中学部３年生	１名	現場実習
６月19日(火)・20日(水)	長野県看護大学４年生	２名	精神看護実習
７月12日(木)	長野支援事業所	12名	法人内見学
７月12日(木)	カフェコーデ（伊那市）	１名	コーヒー講座
７月19日(木)	こころの医療センター駒ヶ根 家族会	７名	見学
７月24日(火)・25日(水)	長野県看護大学４年生	３名	精神看護実習
７月31日(火)	伊那養護学校寄宿職員	18名	見学
８月24日(金)	吉澤さん、平澤さん	２名	喫茶調理
９月13日(木)	カフェコーデ（伊那市）	１名	コーヒー講座
９月28日(金)	吉澤さん、平澤さん	２名	喫茶調理
10月16日(火)	就Ｂたんぽぽの家（駒ヶ根）	２名	見学
11月５日(月)～16日(金)	伊那養護学校高等部３年生	１名	現場実習
11月６日(火)・７日(水)	長野県看護大学３年生	３名	精神看護実習
11月15日(木)	カフェコーデ（伊那市）	１名	コーヒー講座
11月16日(金)	こころの医療センター駒ヶ根 研修医	２名	見学
12月11日(火)・12日(水)	長野県看護大学３年生	３名	精神看護実習
12月11日(火)	こころの医療センター駒ヶ根 デイケア	10名	見学
１月15日(火)	吉澤さん、平澤さん	２名	喫茶調理
２月14日(木)	カフェコーデ（伊那市）	１名	コーヒー講座
３月１日(金)	木曽養護学校　進路指導員	１名	見学
３月12日(火)	宮田村議会議員	７名	見学
３月18日(月)	木曽養護学校　生徒・保護者	３名	見学
３月19日(火)	木曽養護学校　生徒・保護者	３名	見学

職員研修参加状況（H30.4.1～H31.3.31）

期　日	研修名	開催地	出席者
６月22日(金)	工賃向上計画セミナー(Ⅰ)	塩尻市	伊藤
６月28日(木)	法人内研修　事例検討会	松川町	宮澤、中村、小林
７月２日(月)	精神保健福祉担当者基礎研修会	松本市	小林
７月10日(火)	法人内研修　コンプライアンス研修	松川町	佐藤
７月11日(水)	法人内研修　コンプライアンス研修	松川町	飯島、望月
７月17日(火)	法人内研修　コンプライアンス研修	飯島町	宮澤、中村、小林
８月３日(金)	法人内研修　管理者コンプライアンス研修	松川町	伊藤
８月３日(金)	自立支援協議会就業支援部会	伊那市	佐藤
９月５日(水)	法人内研修　虐待防止・権利擁護研修	飯島町	伊藤、佐藤、宮澤、中村、小林
９月27日(木)	法人内研修　虐待防止・権利擁護研修	松川町	飯島、望月
10月10日(水)	食品衛生責任者補修講習会	駒ヶ根市	宮澤
10月24日(水)	サービス事業所連絡会避難所運営ゲーム	宮田村	伊藤
11月14日(水)	障がい者虐待防止・権利擁護研修	飯島町	伊藤
11月28日(水)	食品衛生責任者養成講習会	伊那市	小林
１月９日(水)	法人内研修　コミュニケーション研修	松川町	飯島、望月
１月29日(火)	法人内研修　コミュニケーション研修	飯島町	伊藤、佐藤、宮澤、中村、小林
２月21日(木)	法人内研修　事例検討会	飯島町	伊藤、佐藤、宮澤、中村、小林

H30年度 親愛の里シンフォニー 就労収支資料

●収入●

項目/月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
受託事業	看護大掃除			22,014		33,792		29,688		29,688		7,422		122,604
	牛乳パック			534										534
	月刊かみいな配布	3,190	3,190	3,190	3,190	3,190	3,205	3,205	5,255	3,205	3,205	3,205	3,205	40,435
	ミヤタ													0
	リング検査	1,102		81										1,183
	バネ検査	28,330	29,630	28,170	30,560	28,560	25,460	25,540	31,700	33,920	21,560	26,260	28,520	338,210
	トナーリサイクル	22,565	29,688	23,105	27,256	28,976	63,707	26,989	27,308	31,614	20,553	20,103	29,408	351,272
	広報仕分・配達	15,319	22,729	19,309	24,582	28,144	22,159	25,294	25,294	26,719	27,859	24,724	24,154	286,286
	老福掃除	17,100	13,680	10,260	13,680	13,680	13,680	13,680	13,680	13,680	8,977	13,680	13,680	159,457
	村民会館掃除	10,560	10,560	10,560	7,920	10,560	7,920	5,280	10,560	10,560	7,920	7,920	7,920	108,240
	役場・老福草取り													0
	着物ほどき					7,800						1,600	1,600	11,000
	こぼれどめ	3,600			1,500				3,250				8,250	16,600
	ワッシャー入れ													0
	化粧箱づくり				11,827	11,827			17,892	17,892				59,438
	その他												1,200	1,200
受託収入計…①		101,766	109,477	117,223	120,515	166,529	136,131	129,676	134,939	167,278	90,074	104,914	117,937	1,496,459
自主生産事業	ショップ シンフォニー	850	5,250	8,800	2,350	7,050	850	8,450	1,250	6,800	1,800	5,400	4,800	53,650
	ショップ てづくりや													0
	ショップ 役場												500	500
	ショップ 老福													0
	ショップ 社協	350												350
	ショップ やすらぎ				3,620									3,620
	名刺・チラシ・写真等印刷	750	2,260	2,700	150		4,350		300		1,500	1,500	1,650	15,160
	バザー・イベント販売	9,400	5,650		10,150	12,350	2,100	22,400	8,900	12,550		1,700	21,750	106,950
	カタログ販売										28,250			28,250
	その他													0
自主収入計…②		11,350	13,160	11,500	16,270	19,400	7,300	30,850	10,450	19,350	31,550	8,600	28,700	208,480
喫茶	通常営業	119,660	143,880	149,060	167,440	131,310	132,400	148,280	126,550	117,620	138,460	137,240	124,790	1,636,690
	バザー・出前	71,800	36,650	44,300	51,750	50,050	59,000	141,550	59,950	39,700	33,600	33,750	48,700	670,800
	喫茶店イベント					117,810				143,510			123,430	384,750
喫茶収入計…③		191,460	180,530	193,360	219,190	299,170	191,400	289,830	186,500	300,830	172,060	170,990	296,920	2,692,240
仕入	仕入	33,910	45,580	18,700	14,860	22,540	22,540	37,750	24,540	42,400	22,540	14,860	45,430	345,650
仕入収入計…④		33,910	45,580	18,700	14,860	22,540	22,540	37,750	24,540	42,400	22,540	14,860	45,430	345,650
	施設外就労	16,940	20,020	18,480	24,640	26,180	81,740	26,180	29,260	32,340	21,560	23,100	35,420	355,860
施設外就労収入計…⑤		16,940	20,020	18,480	24,640	26,180	81,740	26,180	29,260	32,340	21,560	23,100	35,420	355,860
実収入合計(①+②+③+④+⑤)		355,426	368,767	359,263	395,475	533,819	439,111	514,286	385,689	562,198	337,784	322,464	524,407	5,098,689
前月残額		12	15	9	14	12	16	14	12	12	15	11	16	158
預金利息														0
運転資金・材料代(前月からの繰越)		85,000	85,000	85,000	85,000	85,000	85,000	85,000	85,000	85,000	85,000	85,000	85,000	1,020,000
収入合計(①～⑤+その他)…Ⅰ		440,438	453,782	444,272	480,489	618,831	524,127	599,300	470,701	647,210	422,799	407,475	609,423	6,118,847

●支出●

自主	作業材料費	12,657	11,505	216	0	13,047	14,499	7,490	756	822	9,707	5,768	15,240	91,707
	消耗品費	0	0	0	108	216	0	6,809	216	527	0	1,570	216	9,662
自主支出計…⑥		12,657	11,505	216	108	13,263	14,499	14,299	972	1,349	9,707	7,338	15,456	101,369
喫茶	喫茶仕入	58,200	66,964	67,455	92,313	114,570	73,189	80,480	81,814	116,703	63,784	76,469	111,208	1,003,149
	消耗品費	3,581	18,068	5,386	9,674	25,508	4,032	5,540	15,582	31,966	4,377	1,007	4,474	129,195
喫茶支出計…⑦		61,781	85,032	72,841	101,987	140,078	77,221	86,020	97,396	148,669	68,161	77,476	115,682	1,132,344
仕入	仕入	37,884	0	56,826	0	18,942	18,942	18,942	37,884	42,114	18,942	0	37,884	288,360
仕入支出計…⑧		37,884	0	56,826	0	18,942	18,942	18,942	37,884	42,114	18,942	0	37,884	288,360
実支出合計(⑥+⑦+⑧)		112,322	96,537	129,883	102,095	172,283	110,662	119,261	136,252	192,132	96,810	84,814	169,022	1,522,073
翌月材料代		85,000	85,000	85,000	85,000	85,000	85,000	85,000	85,000	85,000	85,000	85,000	85,000	1,020,000
支出合計(⑥～⑧+その他)…Ⅱ		197,322	181,537	214,883	187,095	257,283	195,662	204,261	221,252	277,132	181,810	169,814	254,022	2,542,073

●差引●

差引合計(Ⅰ－Ⅱ)	243,116	272,245	229,389	293,394	361,548	328,465	395,039	249,449	370,078	240,989	237,661	355,401	3,576,774

○工賃支給状況　※平成30年度目標工賃　12,000円/月（平成29年度平均工賃実績 11,816円/月）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
就労日数	20	21	21	21	21	18	23	21	20	19	19	21	245
支給額(合計)	246,181	270,696	235,535	294,922	352,294	316,087	398,188	252,519	359,283	242,518	249,970	349,220	3,567,413
支給額(平均)	8,792	9,334	8,412	10,533	12,582	11,289	14,221	9,353	13,307	8,982	9,258	12,934	10,745
支給額(最高)	22,461	19,849	19,934	21,667	2	1,637	25,495	20,836	24,560	17,398	21,744	23,611	

2階平面図

2階床面積 231.50㎡

改修後　1階平面図

1階床面積 288.29㎡　延べ床面積 519.79㎡

平成30年度事業報告書

多機能型事業所　親愛の里紙ふうせん

（就労移行支援・就労継続支援B型・生活介護）

住所：下伊那郡高森町山吹4464－1

電話：0265-35-1883FAX：0265-35-1884

E-mail：kamifusen@shin-ai1996.org

平成30年度事業報告書

1. 種別・名称：多機能型事業所　親愛の里紙ふうせん

(1) 事業区分及び定員・契約者(登録者)数

① 就労移行支援事業：定員6名　契約者数2名

② 就労継続支援B型事業：定員24名　契約者数40名

③ 生活介護事業：定員10名　契約者数10名

2. 概要

(1) 運営の概要

① 昨年度一般就職する方が多く、就労移行の人数が減少している。今後は一般就労を目指している方を増やし、来年度就労に繋げていく予定である。

② 就労継続B型事業では平均工賃のアップを図るため、従前の農業から七久里農園の施設外就労や薬草のヤクモソウを栽培したり、市田柿を製造するなどに変更している。

③ ゆっくり働きたい方と工賃を沢山もらう事を目的にしている方を分けて支援する為に生活介護事業を始める。利用人数は少ないが、午前中作業をし、午後余暇活動を行う支援が定着してきている。

(2) 課題と対応策等

① 就労移行事業では、パソコンなどを利用して更に就職意欲が高まる就労プログラムに変更していく。また、登録が少ない為、就労継続B型事業を利用している利用者で一般企業を希望している方に対しても支援を行っていく。

② 就労継続B型事業では農業をする利用者の工賃は上昇傾向、それ以外の作業の工賃は更に検討が必要である。利用者のニーズに合わせた作業で工賃が上がっていく仕組み作りを行っていく。

生活介護事業の余暇プログラムは増えてきているが、より本人に合わせたプログラムを考えていく必要がある。また、喫茶店を始める予定でいたが、まだ取り組めていない。具体的な構想を考えて再来年度オープンに向けて取り組んでいく必要がある。

3. 利用実績

＜就労移行＞

事業名	就労移行					定員	6						
月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
開所日数	20	20	22	21	22	21	22	20	20	20	20	21	249
述べ利用者数	75	75	82	36	36	40	46	44	35	38	34	39	580
1日平均利用者数	3.75	3.75	3.73	1.71	1.64	2	2.18	2.2	1.75	1.9	1.7	1.9	2.37
利用率(%)	62.5	62.5	62.1	28.6	27.3	31.7	34.8	36.7	29.2	31.7	28.3	31.0	38.9
3ヶ月平均(%)	58.56	61.6	62.4	51.1	39.3	29.2	31.3	34.4	33.6	32.5	29.7	30.3	41.2

社会福祉法人　親愛の里
基本理念：人権の保障と幸福（しあわせ）を共に創る

＜就労継続Ｂ型＞

事業名		就労継続B			定員		30		7月～	24			
月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
開所日数	20	20	22	21	22	21	22	20	20	20	20	21	249
述べ利用者数	551	539	539	532	529	533	544	479	458	486	459	497	6146
1日平均利用者数	27.55	26.95	24.5	25.33	24.05	25.52	25.27	24.45	22.9	24.3	23	23.6	24.79
利用率(%)	91.8	89.8	81.7	105.6	100.2	105.8	103.0	99.8	95.4	101.3	95.6	98.6	97.4
3ヶ月平均(%)	90.1	90.60	87.8	92.4	95.8	103.8	103.0	102.9	99.4	98.8	97.4	98.5	96.7

＜生活介護＞

事業名		生活介護			定員		10						
月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
開所日数				21	22	21	22	20	20	20	20	21	187
述べ利用者数				58	57	71	77	87	77	80	91	91	689
1日平均利用者数				2.76	2.59	3.38	3.5	4.35	3.85	4	4.55	4.33	3.70
利用率(%)				27.6	25.9	33.8	35.0	43.5	38.5	40.0	45.5	43.3	37.0
3ヶ月平均(%)				27.6	26.8	29.1	31.6	37.4	39.0	40.7	41.3	42.9	35.2

4.　職員配置状況

（H31.3.31 現在）

職種＼雇用形態等	正規総合	正規一般	パート	嘱託職員	計	国家資格等
施設長（管理者）・サービス管理責任者	1				1(1)	社会福祉士 1 保育士 1
就労支援員	1				1(1)	ジョブコーチ1
生活支援員			4(3.5)		4(3.5)	保育士 1
職業指導員			5(3.7)		5(3.7)	ヘルパー2 級 1 初任者研修 1
目標工賃達成指導員			2(2)		2(2)	栄養士 1
送迎職員			2(0.4)		2(0.4)	
調理員			1(0.5)		1(0.5)	調理員 1
事務員		1			1(1)	
看護師			1(1)		1(1)	準看護師
合　　計	3	2	11(6.9)	1(1)	17(12)	

5.　安全防災対策　…　避難訓練等の実施状況と内容

(1)　火災想定の避難訓練（9 月 19 日）

(2)　地震想定の避難訓練（3 月 26 日）

6.　公益的取り組みの状況

(1)　元気会（利用者自治会）によるやすらぎ荘の草取り（5 月）

(2)　元気会（利用者自治会）による山吹駅、下平駅までのゴミ拾い（3 月）

7.　主な施設整備等

(1)　改修等

なし

(2) 固定資産物品

(円)

物品名等	規格等	数量	単価	総額	備考
スマイル建物改修工事		1		10,800,000	
スマイル増工事		1		1,710,936	

8. その他(添付資料)

(1) 重点目標及び第2期3か年計画の評価及び達成状況 … 別紙1

(2) H31.3介護給付費等の算定に係る体制等の状況 … 別紙2

(3) 利用者数等実績一覧表 … 別紙5.6.7

(4) 工賃支給状況 … 別紙8.9

(5) 実習、ボランティア等の受け入れ状況 … 別紙10

(6) 職員研修参加状況 … 別紙11

(7) 苦情等の状況 … 別紙12

(8) 平面図 … 別紙3.4

2. 重点目標及び評価

(1) 重点目標

目　　標	具体的な取り組み・課題等	評価
一般就労の実績３名以上	前年度からの支援、実習を契機に 3 名の一般就労。一昨年の就労学習会の実施と、支援センターとの連携により、積極的に企業での短期トレーニングを実施し、就労に結びついている。課題としては、就労移行利用者の就労意欲と経験が不足しているため学習と見学、体験の機会を増やす必要がある。	B
継続して働く力を身に付ける就労支援を行う	生活リズムの安定と、対人関係、体力、意欲が必要になる。目標の確認と、モチベーションの向上のための学習プログラムの確立が必要だが未だ模索中。	C
利用者作業工賃の引き上げ	農業については、新しく事業を見直し、市田柿加工生産、七久里農園への業務実施をする中で、単価の高い農業へと変化をしている。室内作業について単純な作業を必要とするご利用者に向けての工賃アップの仕組みが作り切れていない。	C
社会性を身に着け、働く力を身につける	利用者の自治会である「元気会」活動を通して他者とのかかわりや、ボランティア活動を通じての経験、多様な作業を経験する事で働く力をつけて頂いた。	C
ゆっくり働きたい方の作業の確保と支援	7 月に紙ふうせんスマイル開所した。生活介護の認定が取れない方へのプログラムを検討する必要あり。	B
余暇活動の充実	外出先や、プログラムを多数考案して来ている。 外部講師の登用など一層幅を広げたい。	B
初年度につき、地域の方々に知って頂き、住民との交流を深める。	カフェのオープンをキッカケに交流を考えていたがカフェ自体が計画中で止まっている。今後は、経営も含めて考慮する。	C
利用者主体の個別支援計画の作成と支援の実施	本人の希望に合わせた作業の提案をする事ができた。計画を支援に生かし切れていない所があった。	C
利用者の確保	周辺関係機関を通して、利用希望者を増やしたい。新規の利用者も増えたが、退所方も居た。養護学校からの卒業後の利用を増やしたい。	B
販路の拡大	出来ていない。今後は、市田柿、塩バジル、こんにゃくの販路について法人内、県外、ネット販売それぞれ検討する。	C

(2) 第 3 期 5 か年計画（H30 年度～H34 年度）の進捗状況

目　　標	具体的な取り組み・課題等	評価
就労移行支援事業から、一般企業などへの就労実績毎年３名以上。就労移行支援事業の質の向上	H30 年度は 3 名の実績。学習会の計画が予定の半分以下。プログラムの充実と、就労相談、見学、体験、短トレなどの充実を図り、支援機関と連携を深める。	B
就労継続 B 型として、作業の効率化を図り、工賃アップが図れる作業を開拓する	市田柿、七久里農園、やくも草を導入。単価は上がっている。室内作業についての見直しと高単価作業への移行を目指したい。	C
生活介護事業を単独型事業所に移行する	利用者人数の確保を進め、黒字化を図る。	C

※1　評価：A：目標以上　　B：目標をほぼ達成　　C：達成していない

介護給付費等の算定に係る体制等状況一覧表

提供サービス	定員数	定員規模	多機能型等定員区分（※1）	人員配置区分（※2）	その他該当する体制等		適用開始日
各サービス共通					地域区分	1．一級地　2．二級地　3．三級地　4．四級地　5．五級地 6．六級地　7．七級地　20．その他	
生活介護		1．21人以上40人以下 2．41人以上60人以下 3．61人以上80人以下 4．81人以上 5．20人以下	1．21人以上40人以下 2．41人以上60人以下 3．61人以上80人以下 4．81人以上 5．20人以下	1．Ⅰ型(1.7:1) 2．Ⅱ型(2:1) 3．Ⅲ型(2.5:1) 4．Ⅳ型(3:1) 5．Ⅴ型(3.5:1) 6．Ⅵ型(4:1) 7．Ⅶ型(4.5:1) 8．Ⅷ型(5:1) 9．Ⅸ型(5.5:1) 10．Ⅹ型(6:1)	施設区分	1．一般　2．小規模多機能	
					定員超過	1．なし　2．あり	
					職員欠如	1．なし　2．あり	
					サービス管理責任者欠如	1．なし　2．あり	
					開所時間減算	1．なし　2．あり	
					開所時間減算区分（※5）	1．4時間未満　2．4時間以上6時間未満	
					短時間利用減算	1．なし　2．あり	
					大規模事業所	1．なし　5．定員81人以上	
					医師配置	1．なし　2．あり	
					人員配置体制	1．なし　2．あり	
					福祉専門職員配置等	1．なし　3．Ⅱ　4．Ⅲ　5．Ⅰ	
					常勤看護職員等配置	1．なし　2．Ⅰ　3．Ⅱ	
					視覚・聴覚等支援体制	1．なし　2．あり	
					重度障害者支援体制	1．なし　2．あり	
					リハビリテーション加算	1．なし　2．あり	
					食事提供体制	1．なし　2．あり	
					延長支援体制	1．なし　2．あり	
					送迎体制	1．なし　3．Ⅰ　4．Ⅱ	
					送迎体制（重度）	1．なし　2．あり	
					就労移行支援体制	1．なし　2．あり	
					就労移行支援体制（就労定着者数）	就労定着者数（　）	
					福祉・介護職員処遇改善加算対象	1．なし　2．あり	
					福祉・介護職員処遇改善特別加算対象	1．なし　2．あり	
					キャリアパス区分（※3）	1．Ⅲ（キャリアパス要件（Ⅰ又はⅡ）及び職場環境等要件のいずれも満たす） 2．Ⅴ（キャリアパス要件及び職場環境等要件のいずれも満たさない） 3．Ⅳ（キャリアパス要件を満たさない） 4．Ⅳ（職場環境等要件を満たさない） 5．Ⅱ（キャリアパス要件（Ⅰ及びⅡ）及び職場環境等要件のいずれも満たす） 6．Ⅰ（キャリアパス要件（Ⅰ及びⅡ及びⅢ）及び職場環境等要件のいずれも満たす）	

提供サービス	定員数	定員規模	多機能型等定員区分（※1）	人員配置区分（※2）	その他該当する体制等		適用開始日
就労移行支援		1．21人以上40人以下 2．41人以上60人以下 3．61人以上80人以下 4．81人以上 5．20人以下			施設区分	1．一般型　2．資格取得型	
					就労定着率区分（※9）	1．就職後６月以上定着率が５割以上 2．就職後６月以上定着率が４割以上５割未満 3．就職後６月以上定着率が３割以上４割未満 4．就職後６月以上定着率が２割以上３割未満 5．就職後６月以上定着率が１割以上２割未満 6．就職後６月以上定着率が０割超１割未満 7．就職後６月以上定着率が０ 8．なし（経過措置対象）	
					定員超過	1．なし　2．あり	
					職員欠如	1．なし　2．あり	
					サービス管理責任者欠如	1．なし　2．あり	
					標準期間超過	1．なし　2．あり	
					福祉専門職員配置等	1．なし　3．Ⅱ　4．Ⅲ　5．Ⅰ	
					就労支援関係研修修了	1．なし　2．あり	
					視覚・聴覚等支援体制	1．なし　2．あり	
					就労移行支援体制（6月以上12月未満）	1．なし 2．定着率が５分以上１割５分未満 3．定着率が１割５分以上２割５分未満 4．定着率が２割５分以上３割５分未満 5．定着率が３割５分以上４割５分未満 6．定着率が４割５分以上	
					就労移行支援体制（12月以上24月未満）	1．なし 2．定着率が５分以上１割５分未満 3．定着率が１割５分以上２割５分未満 4．定着率が２割５分以上３割５分未満 5．定着率が３割５分以上４割５分未満 6．定着率が４割５分以上	
					就労移行支援体制（24月以上36月未満）	1．なし 2．定着率が５分以上１割５分未満 3．定着率が１割５分以上２割５分未満 4．定着率が２割５分以上３割５分未満 5．定着率が３割５分以上４割５分未満 6．定着率が４割５分以上	
					精神障害者退院支援施設	1．なし　2．宿直体制　3．夜勤体制	
					食事提供体制	1．なし　2．あり	
					移行準備支援体制（Ⅰ）	1．なし　2．あり	
					送迎体制	1．なし　3．Ⅰ　4．Ⅱ	
					社会生活支援	1．なし　2．あり	
					福祉・介護職員処遇改善加算対象	1．なし　2．あり	
					福祉・介護職員処遇改善特別加算対象	1．なし　2．あり	
					キャリアパス区分（※3）	1．Ⅲ（キャリアパス要件（Ⅰ又はⅡ）及び職場環境等要件のいずれも満たす） 2．Ⅴ（キャリアパス要件及び職場環境等要件のいずれも満たさない） 3．Ⅳ（キャリアパス要件を満たさない） 4．Ⅳ（職場環境等要件を満たさない） 5．Ⅱ（キャリアパス要件（Ⅰ及びⅡ）及び職場環境等要件のいずれも満たす） 6．Ⅰ（キャリアパス要件（Ⅰ及びⅡ及びⅢ）及び職場環境等要件のいずれも満たす）	
					主たる事業所サービス種類１（※6）	サービス種類コード（　）	
					指定管理者制度適用区分	1．非該当　2．該当	
					地域生活支援拠点等	1．非該当　2．該当	

提供サービス	定員数	定員規模	多機能型等 定員区分（※1）	人員配置区分 （※2）	その他該当する体制等		適用開始日
就労継続支援B型		1．21人以上40人以下 2．41人以上60人以下 3．61人以上80人以下 4．81人以上 5．20人以下	1．21人以上40人以下 2．41人以上60人以下 3．61人以上80人以下 4．81人以上 5．20人以下	1．Ⅰ型(7.5:1) 2．Ⅱ型(10:1)	平均工賃月額区分（※9）	1．平均工賃月額が４万５千円以上 2．平均工賃月額が３万円以上４万５千円未満 3．平均工賃月額が２万５千円以上３万円未満 4．平均工賃月額が２万円以上２万５千円未満 5．平均工賃月額が１万円以上２万円未満 6．平均工賃月額が５千円以上１万円未満 7．平均工賃月額が５千円未満 8．なし（経過措置対象）	
					定員超過	1．なし　2．あり	
					職員欠如	1．なし　2．あり	
					サービス管理責任者欠如	1．なし　2．あり	
					福祉専門職員配置等	1．なし　3．Ⅱ　4．Ⅲ　5．Ⅰ	
					視覚・聴覚等支援体制	1．なし　2．あり	
					重度者支援体制	1．なし　2．Ⅰ　3．Ⅱ	
					就労移行支援体制	1．なし　2．あり	
					就労移行支援体制（就労定着者数）	就労定着者数（　）	
					目標工賃達成指導員配置	1．なし　2．あり	
					送迎体制	1．なし　3．Ⅰ　4．Ⅱ	
					食事提供体制	1．なし　2．あり	
					社会生活支援	1．なし　2．あり	
					福祉・介護職員処遇改善加算対象	1．なし　2．あり	
					福祉・介護職員処遇改善特別加算対象	1．なし　2．あり	
					キャリアパス区分（※3）	1．Ⅲ（キャリアパス要件（Ⅰ又はⅡ）及び職場環境等要件のいずれも満たす） 2．Ⅴ（キャリアパス要件及び職場環境等要件のいずれも満たさない） 3．Ⅳ（キャリアパス要件を満たさない） 4．Ⅳ（職場環境等要件を満たさない） 5．Ⅱ（キャリアパス要件（Ⅰ及びⅡ）及び職場環境等要件のいずれも満たす） 6．Ⅰ（キャリアパス要件（Ⅰ及びⅡ及びⅢ）及び職場環境等要件のいずれも満たす）	
					主たる事業所サービス種類１（※6）	サービス種類コード（　）	
					指定管理者制度適用区分	1．非該当　2．該当	
					地域生活支援拠点等	1．非該当　2．該当	

提供サービス	定員数	定員規模	多機能型等 定員区分（※1）	人員配置区分 （※2）	その他該当する体制等	適用開始日

注　網掛けは、変更・追加された項目です。

※１　多機能型事業所または複数の単位でサービス提供している事業所については、一体的な管理による複数サービス種類の利用定員の合計数を利用定員とした場合の報酬を算定することとなるため、「定員区分」には利用定員の合計数を設定する。
ただし、以下の加算については、サービス種類毎または単位毎の利用定員に応じた報酬を算定する。
生活介護・・・人員配置体制加算、常勤看護職員等配置加算、就労移行支援体制加算
施設入所支援・・・夜勤職員配置体制加算
自立訓練（機能訓練・生活訓練）・・・就労移行支援体制加算
就労継続支援A型・・・重度者支援体制加算、就労移行支援体制加算、賃金向上達成指導員配置加算
就労継続支援B型・・・重度者支援体制加算、目標工賃達成指導員配置加算、就労移行支援体制加算

その場合、「多機能型等定員区分（加算）」には、以下の内容を設定する。
生活介護、施設入所支援、自立訓練（機能訓練・生活訓練）・・・各サービス種類の単位毎の利用定員。
就労継続支援A型、就労継続支援B型・・・各サービス種類の利用定員。

なお、「定員区分」と「多機能型等定員区分（加算）」が同一の場合、「多機能型等定員区分（加算）」は設定しない。

※２　「人員配置区分」欄には、報酬算定上の区分を設定する。

※３　「キャリアパス区分」欄は、福祉・介護職員処遇改善加算対象が「2. あり」で設定されていた場合に設定する。

※４　18歳以上の障害児施設入所者への対応として、児童福祉法に基づく指定基準を満たすことをもって、障害者総合支援法に基づく指定基準を満たしているものとみなす特例措置の対象を設定する。

※５　「開所時間減算区分」欄は、開所時間減算が「2. あり」の場合に設定する。

※６　「主たる事業所サービス種類1」欄には、福祉・介護職員処遇改善加算対象、または福祉・介護職員処遇改善特別加算対象が「2. あり」であり、障害者支援施設における日中活動系サービスの場合「32:施設入所支援」を設定する。短期入所については指定共同生活援助事業所（外部サービス利用型指定共同生活援助及び日中サービス支援型指定共同生活援助を含む）において行った場合は「33：共同生活援助」、指定宿泊型自立訓練事業所において行った場合は「34：宿泊型自立訓練」、単独型事業所において行った場合は「22：生活介護」を設定する。

※7　「共生型サービス対象区分」欄が「2. 該当」の場合に設定する。

※8　「主たる事業所施設区分」欄には、福祉・介護職員処遇改善加算対象、または福祉・介護職員処遇改善特別加算対象が「2. あり」であり、共同生活援助事業所にて短期入所を実施する場合、「1:介護サービス包括型」、「2:外部サービス利用型」、または「3. 日中サービス支援型」を設定する。

※9　就労移行支援及び就労移行支援（養成）について、平成30年度報酬改定の基本報酬体系適用後の新規事業所及び指定を受けた日から2年を経過しない既存事業所の場合、「08:無し（経過措置対象）」を設定する。
就労継続支援A型について、平成30年度報酬改定の基本報酬体系適用後の新規事業所及び指定を受けた日から1年を経過しない既存事業所の場合、「08:無し（経過措置対象）」を設定する。
就労継続支援B型について、平成30年度報酬改定の基本報酬体系適用後の新規事業所及び指定を受けた日から1年を経過しない既存事業所の場合、「08:無し（経過措置対象）」を設定する。

※10　「大規模住居」欄の「2. 定員8人以上」は、施設区分が「介護サービス包括型」及び「外部サービス利用型」の場合に限る。また、「4. 定員21人以上（一体的な運営が行われている場合）」は、施設区分が「介護サービス包括型」及び「日中サービス支援型」の場合に限る。

※11　「重度障害者支援職員配置」欄は、施設区分が「介護サービス包括型」及び「日中サービス支援型」の場合に設定する。

別紙3　平面図

工事名 親愛の里 上郷障がい施設サービス改修工事	鈴木建築設計事務所		設計者 城田	担当者 城田	図面名 改修後 1階 平面図	図面No. 3
備考	1級建築士事務所登録(下伊)J第1Z011号 1級建築士登録 第177977号 塩沢 廣 長野県飯田市大王路2-21 TEL0265-22-6501 FAX0265-24-9974		日付	日付	日付 2018.1	縮尺 1/100

（参考様式1）

生活介護・施設入所支援、療養介護以外用

＊着色セル全てに入力してください。

利用者数実績確認表（前年度の平均値）

事業区分	就労継続支援B型	事業所名	親愛の里紙ふうせん

	平成 29年度（前々年度）			平成30年度（前年度）											
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
延べ利用者数（人）	550	535	594	531	538	539	508	528	537	557	489	458	486	458	497
（就労B型のみ）障害基礎年金１級受給利用者延人数（人）	40	39	41	42	45	46	28	25	24	28	26	25	23	19	23
開所日数（日）	23	20	23	20	20	22	21	22	21	22	20	20	20	20	21
定員（人）	30	30	30	30	30	30	24	24	24	24	24	24	24	24	24
月平均利用者数（人）	24	27	26	27	27	25	24	24	26	25	24	23	24	23	24
超過減算非該当利用者数（人）															
過去３ヶ月間延利用者数				1,679	1,660	1,663	1,608	1,585	1,575	1,573	1,622	1,583	1,504	1,433	1,402
過去３ヶ月間受入可能者数				2,475	2,363	2,363	2,325	2,205	2,115	1,920	1,950	1,890	1,860	1,800	1,800
定員超過判定（減算月）															

＊「延べ利用者数」
各月欄へは、月ごとに1人の利用者につき、本体報酬が算定された日数を積算し、当該月の利用者全員についてのその総和を入力

計 A（7～3月）
4,518

計 B（4～3月）
354

計 C（7～3月）
187

のない20歳未満の利用者延人数 C ＊ Aの内数	
（4月から3月）（人）	

（就労B型のみ）障害者基礎年金１級受給者である利用者の延利用者数割合 D ［B／（A－C）］	7.8%

＊ 延べ利用者数については障害者自立支援法附則第22条第1項（経過措置による生活介護）の利用者、障害支援区分の認定がない自立訓練等の利用者を除いてください。
＊ 算定期間の実績には、入所等した日を含み、退所等した日は含みません。
＊ 超過減算非該当利用者数は延べ利用者数のうち、①市町村による措置者②地域移行困難者又は離職者（平成18年４月３日付け障障発第0403004号）③災害等やむを得ない理由による入所者について各月の延べ数を記入してください。
＊ 定員超過判定で○が表示された場合、過去３ヶ月間の利用実績による定員超過減算となります。

1日当たりの平均利用者数(C／F)	24.2 人（小数点第2位以下切上）

（参考様式11-1）

別紙7

生活介護・施設入所支援、療養介護用

利用者数実績確認表（前年度の平均値）

事業区分	生活介護	事業所名	紙ふうせんスマイル

	平成29年度（前々年度）			平成30年度（前年度）													
障害支援区分 A	延べ利用者数(人)（各月欄へは、月ごとに1人の利用者につき、本体報酬が算定された日数を積算し、当該月の利用者全員についてのその総和を入力）															計 B（4～3月）	A×B
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
2							8	8	13	11	15	15	15	15	19	119	238
3							10	30	41	45	54	44	47	59	47	377	1,131
4							20	19	17	20	18	18	18	17	18	165	660
5															7	7	35
6																0	0
計	0	0	0	0	0	0	38	57	71	76	87	77	80	91	91	C 668	D 2,064
開所日数（日）							21	22	21	22	20	20	20	20	21	187	F
定員（人）							10	10	10	10	10	10	10	10	10		
月平均利用者数（人）	######	######	######	######	######	######	2	3	3	3	4	4	4	5	4		
超過減算非該当利用者数（人）																	
過去３ヶ月間延利用者数				0	0	0	0	38	95	166	204	234	240	244	248		
過去３ヶ月間受入可能者数				0	0	0	0	273	559	832	845	819	806	780	780		
定員超過判定（減算月）																	

7　E(区分5・6の人数)

0　G(区分6の人数)

＊ 延べ利用者数については障害者自立支援法附則第22条第1項（経過措置による生活介護）の利用者、障害支援区分の認定がない自立訓練等の利用者を除いてください。
＊ 算定期間の実績には、入所等した日を含み、退所等した日は含みません。
＊ 超過減算非該当利用者数は延べ利用者数のうち、①市町村による措置者②地域移行困難者又は離職者（平成18年４月３日付け障障発第0403004号）③災害等やむを得ない理由による入所者について各月の延べ数を記入してください。
＊ 定員超過判定で〇が表示された場合、過去３ヶ月間の利用実績による定員超過減算となります。

平均障害支援区分(D／C)	3.1　（小数点第2位四捨五入）
区分5・6の者の割合(平均区分5.0未満の場合)(E／C)	1 %（小数点第1位四捨五入）
区分6の者の割合(平均区分5.0以上の場合)(G／C)	0 %（小数点第1位四捨五入）
1日当たりの平均利用者数(C／F)	3.6 人（小数点第2位以下切上）
常勤換算後の従業者人数	2.2 人（小数点第2位以下切捨）
サービス提供職員配置	1.7　：　1

夜勤職員(施設入所支援のみ)
人

＜平成30年度＞親愛の里　紙ふうせんの売上及び工賃

1、収支明細

項目/月		30.4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	30.1月	2月	3月	合　計
自主生産	農菜・産直	187,757	238,288	127,727	241,152	299,565	342,560	252,412	173,107	226,580	208,791	160,616	111,357	2,569,912
	自主加工	88,222	107,743	121,313	59,694	70,003	70,113	94,482	121,401	70,602	142,364	67,113	78,193	1,091,243
	惣菜	132,368	185,271	140,973	167,461	94,350	239,080	181,837	218,141	156,903	119,805	164,353	118,583	1,919,125
	干し柿												280,000	280,000
	ＰＣ関係	37,630	12,100	3,460	21,970	1,330	260	360	6,800	2,160	4,800	5,360	4,800	101,030
	計	445,977	543,402	393,473	490,277	465,248	652,013	529,091	519,449	456,245	475,760	397,442	592,933	5,961,310
受託作業	ジャム加工	0	30,720	0	5,440	23,200	37,760	64,960	139,270	34,880	49,440	43,840	9,120	438,630
	かぼちゃカット	0	0	0	0	4,730			4,635					9,365
	東京シェル	19,800	10,898	5,610	11,128	0								47,436
	木下水引㈱	46,475	69,300	55,309	36,360	64,616	31,852	81,480	77,892	37,440		25,819	13,100	539,643
	しなの工業㈱	816	1,692	1,266	894	2,103		1,659	817	2,765	2,063	826	1,237	16,138
	ユニプリント㈱	34,750	4,950	21,250	6,500	4,600	1,000	4,500	31,500		1,400	8,088		118,538
	㈱サカエ	38,455	30,392	23,270	17,450	17,530	3,000	1,260						131,357
	GOKOシール	4,690	4,900	2,800	5,600	2,800	2,100	700	700	4,200	3,850	4,200	7,000	43,540
	JADM		50,000	65,000	145,000			54,970	45,000				32,400	392,370
	杜の市								5,530			2,887		8,417
	中原農園（干し柿）									62,530	75,271	45,510	35,580	218,891
	高森町花		30,000											30,000
	高森町桐札									11,660				11,660
	ローソン			5,000				5,000						10,000
	関島企画				756	5,413	9,601	8,467	9,450		700			34,387
	天竜産業㈱							2,100	3,395	4,795				10,290
	ケーアイフーズ										47,162	55,088	77,637	179,887
	計	144,986	232,852	179,505	229,128	124,992	85,313	225,096	318,189	158,270	179,886	186,258	176,074	2,240,549
仕入	米	8,000	16,640	45,500	23,750	7,875	7,688	15,000	8,750	23,940	15,000	15,450	17,390	204,983
	ロンドロール		3,840	7,680		3,840	3,840	3,840			7,680	3,840		34,560
	計	8,000	20,480	53,180	23,750	11,715	11,528	18,840	8,750	23,940	22,680	19,290	17,390	239,543
施設外	平栗農園	5,600												5,600
	らんぷ							5,000	7,000			15,000		27,000
	七久里農園						76,485	67,465	65,425	57,555	13,440			280,370
	領法寺					20,000								20,000
	ぷらう（草刈り）								52,010					52,010
	ぷらう（柿）							195,092	79,141					274,233
	宮下　柿							50,050	324,350					374,400
	高野　柿							99,450						99,450
	高森町封入			51,480										51,480
	計	5,600	0	51,480	0	20,000	76,485	417,057	527,926	57,555	13,440	15,000	0	1,184,543
実習	GOKOとまと	57,505	60,945	42,710	61,033	49,955	41,446	40,867	28,698	36,699	51,861	51,301	51,806	574,826
	弥生												42,220	42,220
	計	57,505	60,945	42,710	61,033	49,955	41,446	40,867	28,698	36,699	51,861	51,301	94,026	617,046
授産収入合計		662,068	857,679	720,348	804,188	671,910	866,785	1,230,951	1,403,012	732,709	743,627	669,291	880,423	10,242,991
経費	工賃	493,140	529,231	569,188	533,914	376,136	362,310	654,941	690,948	453,573	501,292	412,167	664,113	6,240,953
	材料他	205,336	268,679	171,414	335,087	276,458	229,671	266,136	375,598	182,671	153,959	127,301	145,463	2,737,773
	電気代	46,695	47,700	47,091	57,947	78,533	63,264	52,938	49,020	52,606	60,507	62,516	53,613	672,430
	水道代	11,664	10,737	12,178	9,940	11,504	11,128	10,823	12,923	12,366	20,127	13,930	9,650	146,970
	ガス代	19,418	15,098	13,327	11,686	11,513	9,569	14,796	17,820	19,678	20,023	24,603	15,703	193,234
	ガソリン代	12,000	12,000	12,000	12,000	12,000	12,000	12,000	12,000	12,000	12,000	12,000	12,000	144,000
	計	295,113	354,214	256,010	426,660	390,008	325,632	356,693	467,361	279,321	266,616	240,350	236,429	3,894,407
経費計		788,253	883,445	825,198	960,574	766,144	687,942	1,011,634	1,158,309	732,894	767,908	652,517	900,542	10,135,360
差引計		-126,185	-25,766	-104,850	-156,386	-94,234	178,843	219,317	244,703	-185	-24,281	16,774	-20,119	107,631

2、利用者工賃

項目/月		30.4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	29.1月	2月	3月	平　均
就労日数		20	20	22	21	22	21	21	21	20	20	20	21	21
就労総日数		623	615	620	556	566	579	606	533	493	524	459	551	560
就労時間		2,533.48	2,526.61	2,589.97	2,295.13	2,208.53	2,296.46	2,084.97	2,205.46	1,832.69	2,155.78	1,719.15	2,086.83	2,211.26
総支給額		493,140	529,231	569,188	533,914	376,136	362,310	654,941	690,948	453,573	501,292	412,167	664,113	520,079
平均工賃	全体　時給	195	209	220	226	170	158	314	313	247	228	223	318	235
	月額	10,959	11,505	13,237	13,022	9,174	8,051	16,793	18,183	12,259	12,922	11,140	17,029	12,856
	移行　時給	192	195	199	253	246	265	269	307	267	238	230	238	242
	月額	15,528	15,286	18,017	19,794	18,172	15,403	14,423	17,721	18,784	17,851	14,857	11,277	16,426
	B型　時給	195	212	223	224	165	149	318	314	246	227	222	324	235
	月額	10,513	11,145	12,747	12,675	8,713	7,526	16,991	18,137	11,886	12,649	10,927	17,508	12,618
最高額工賃		69,005	72,214	53,902	73,129	57,302	47,997	50,295	46,500	46,824	62,986	60,676	63,665	58,708
支払い人数（移行+B型）		45	46	43	41	41	42	39	38	37	36	37	39	40

＜平成30年度＞ 売上及び工賃

1、収支明細

項目/月		30.4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	30.1月	2月	3月	合　計
作業内容	関島企画				6,048	6,804	9,450	12,096	19,127	13,638	14,364	16,623	18,788	116,938
	配達・販売				11,750	10,500	14,750	15,000	15,250	11,500	13,500	8,250	7,500	108,000
														0
														0
														0
														0
														0
収入合計		0	0	0	17,798	17,304	24,200	27,096	34,377	25,138	27,864	24,873	26,288	224,938
経費	工　賃				17,798	17,304	24,200	27,096	34,377	24,438	26,464	24,873	26,288	222,838
	作業委託料									700	1,400			2,100
														0
														0
経費計		0	0	0	17,798	17,304	24,200	27,096	34,377	25,138	27,864	24,873	26,288	224,938
差引計		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

2、利用者工賃

項目/月	30.4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	29.1月	2月	3月	平　均
総支給額				17,798	17,304	24,200	27,096	34,377	24,438	26,464	24,873	26,288	24,760
平均工賃				2,543	2,163	2,689	3,011	3,438	2,444	2,646	2,487	2,390	2,646
支払人数				7	8	9	9	10	10	10	10	11	9

別紙 10

☆実習、ボランティア等の受け入れ状況

期　日	機　関　名　等	人数	内　　容
4月25日（水）、26日（木）		1	採用実習
5月1日（火）	飯田女子短期大学	1	先生の実習
5月22日（火）～25日（金）、29日（火）～31日（木）	飯田女子短期大学	3	精神保健領域実習
6月5日（火）～7日（木）	E.k さん	1	体験
6月12日（火）～16日（土）	養護学校	2	実習
19日（火）～r23日（土）	養護学校	1	実習
6月21日（木）	利用希望者	3	見学
6月26日（火）～29日（金）、7月3日～5日（木）	飯田女子短期大学	4	精神保健領域実習
7月10日（火）～12日（木）	飯田東中学校	3	福祉体験
7月10日（火）	利用希望者	3	見学
8月7日（火）	養護学校	9	先生　スマイル見学
8月8日（水）	養護学校	5	先生　スマイル見学
8月10日（金）	養護学校	1	体験
8月28日（火）～29日（水）	鼎中学校	3	福祉体験
9月7日（金）	あすなろ	3	スマイル見学
9月18日（火）	利用希望者	3	見学
9月21日（金）	親愛の里松川	4	見学
9月21日（金）	養護学校 PTA	22	見学
9月22日（土）	保護者	2	スマイル見学
9月25日（火）～29日（土）	養護学校	1	B型アセスメント実習
9月28日（金）	利用希望者	2	見学
10月4日（木）	養護学校 PTA	18	見学
10月4日（木）	養護学校	2	紙ふうせん・スマイル見学
10月9日（火）～12日（金）、16日（火）～18日（木）	飯田女子短期大学	4	精神保健領域実習
11月1日（木）、2日（金）、13日（火）	利用希望者	1	スマイル体験

～17日（土）			
11月6日（火）～10日（土）	養護学校	スマイル2 紙ふうせん2	実習
11月9日（金）	親愛ツアー	2	見学
11月9日（金）	親愛の里松川	2	見学
11月14日（水）	養護学校	1	見学
11月13日（火）～17日（土）	養護学校	紙ふうせん3	実習
11月27日（火）～12月1日（土）	養護学校	1	準アセスメント実習
12月4日（火）～8日（土）	養護学校	2	準アセスメント実習
12月6日（木）、7日（金）	利用希望者	1	体験
12月21日（金）	利用希望者	2	見学
1月8日（火）	養護学校	1	スマイル見学
1月9日（水）	利用希望者	2	見学
1月15日（火）～17日（木）	養護学校	1	スマイル実習
1月22日（火）～24日（木）	養護学校	1	スマイル実習
1月22日（火）	養護学校	3	見学
1月23日（水）	親愛ツアー	2	見学
2月6日（水）	親愛ツアー	1	見学
2月12日（火）	利用希望者	2	見学
2月15日（金）	養護学校	3	スマイル見学
2月22日（金）	松本短大	2	見学
3月6日（水）	親愛ツアー	1	見学
3月22日（金）	養護学校	3	見学

別紙 11

☆職員研修状況

期　日	研　修　名	主　催	開催地	参加者
4月18日（水）	スマイル立ち上げのための見学	紙ふうせん	夢工房・シンフォニー	矢田
4月27日（金）	スマイル立ち上げのための見学・実習	紙ふうせん	シンフォニー	竹内
6月6日（水）	名古屋・刈谷見学	法人	名古屋・刈谷	吉川
6月10日（日）、	新人研修	法人	松川町	3名
6月16日（土）	新人研修	法人	松川町	4名
6月22日（金）	工賃向上セミナー	セルプ	塩尻市	野上
6月28日（木）	事例検討会	法人	松川町	5名
6月29日（金）	1等級職員研修	法人	松川町	1名
7月3日（火）	相談支援専門員初任者研修	長野県相談支援専門員協会	松本市	朝山
7月10日（火）、17日（火）	コンプライアンス研修	法人	松川町	全職員
7月12日（木）	法人内見学研修	法人		2名
7月24日（火）	法人内見学研修	法人		2名
7月28日（土）	工賃向上セミナー	セルプ	諏訪市	畑中
8月3日（金）	コンプライアンス研修	法人	松川町	1名
8月9日（木）	1等級職員研修	法人	松川町	1名
8月23日（木）	事例検討会	法人	松川町	4名
8月23日（木）	当事者からのメッセージ	くらし部会精神チーム	飯田市	吉川
9月5日（水）	虐待研修	法人		全職員
9月6日（木）	2.3等級研修	法人	高森町	1名
9月26日（水）	安全運転管理者研修	安全運転管理者協会	飯田市	吉川
10月4日（木）	苦情研修	長野県運営適正化委員会	諏訪市	福沢
10月22日（月）	障がい年金研修	法人	松川町	6名
11月21日（水）12	介護職員初任者研修	ニチイ	飯田市	畑中

月5日（水）、12日（水）、19日（水）、1月9日（水）16日（水）23日（水）30日（水）2月6日（水）13日（水）				
11月29日（木）	知的障害者福祉大会	知障協	佐久市	吉川
12月5日（水）	1等級職員研修	法人	松川町	1名
12月18日（火）	コミュニケーション研修	法人	松川町	吉川
12月19日（水）	コミュニケーション研修	法人	紙ふうせん	全職員
1月9日（水）	感染症研修	法人	紙ふうせん	全職員
2月6日（水）	精神障がいについて	紙ふうせん	紙ふうせん	全職員
3月20日（水）	精神障がいについて	紙ふうせん	紙ふうせん	全職員

別紙１２

苦情受付一覧表

No.	期　　日	苦情申出者氏名	苦情の種類		苦情のレベル	原因	内　　容	対　　応	第三者委員立会い
1	平成30年5月1日	ユニプリント	7	受託作業の商品の不備	1	4	丁合作業をもらっていたが、2枚入っていたり、上下逆になっていたりした。再度職員が確認をして欲しい。今後の作業で気をつけて欲しい。	作業の途中でも利用者一人一人の作業内容を確認する 指サックの使用等確実な作業が出来るように考えていく	無
2	平成30年5月10日	木下水引	7	受託作業の商品の不備	1	4	5月2日に納品した商品のひょうたんのかけ方がちがうので、手直しして欲しい	必ず職員が確認をするようにする	無
3	平成30年5月15日	木下水引	7	受託作業の商品の不備	1	4	5月2日に納品した商品の干支替え作業で、イノシシの向きが違っている。また、イノシシの下の赤い紙を1枚入れるのを2枚、3枚入っているものがあった。	必ず職員が確認をするようにする	無
4	平成30年5月23日	ユニプリント	7	受託作業の商品の不備	1	4	封入作業をする中で、3600部の作業のうち200部裏表逆に封入されていたので、気をつけて欲しい。	200部（50部×4）輪ゴム止めで逆になっていたので一人の方がまとめて間違えたと思われる。能員の箱詰めの際に必ず職員が確認する。	無
5	平成30年6月6日	ゴコートマト	7	受託作業の商品の不備	1	4	トマトパックのシール貼りで、上の段だけ出来ているものが入っていて、下の段は出来ていなかった。	全部で来てから箱詰めするようにしている	無
6	平成30年6月14日	ユニプリント	7	受託作業の商品の不備	1	4	冊子の封入のみ3000部の作業で、冊子と袋を100枚セット渡したが、袋に2枚入っていたり、上下逆になっていた。 何セットが間違ったものがあると、全て確認した方がいいのかと思ってしまう。納品前にしっかり確認して欲しい。	作業がいくかあり、手のあいた職員が入ったりすることで責任、やり方が変わってしまう。 担当が変わる時の引き継ぎ等を確実におこなう。	無
6		職員	1	職員の接遇	1	2	職員が利用者に対して遠くから大きな声で注意をした。	対象職員に注意を行った。また、毎日の夕方のミーティングで1日の振り返りをおこなったり、勉強会をして職員の意識を高めた。職員のゆとりを持つために作業の見直しを行った。	無

※苦情の種類
1　サービス内容(職員の接遇)　…　1件
2　サービス内容(質・量)　…　0件
3　事故、被害、損害　…　0件
4　事業所運営　…　0件
5　契約内容　…　0件
6　建物の構造　…　0件
7　その他　…　6件

※苦情のレベル
1　要望(本人の意向、意見、主張など)　…　7件
2　請求（法的責任に基づく権利の主張など）　…　0件
3　責任追及レベル(契約不履行に伴う責任追及など)　…　0件
4　その他　…　0件

※苦情の発生原因
1　説明・情報不足　…　0件
2　職員の態度・言動　…　1件
3　サービス内容　…　0件
4　その他　…　6件

実績総数	7件
苦情受付	7件

平成30年度事業報告書

松川町地域活動支援センター　あすなろ

所在地：下伊那郡松川町元大島2930番地1
電 話：0265-49-0152
Fax：0265-49-0153

平成30年度事業報告書

1. 種別・名称：松川町業務委託事業　松川町地域活動支援センターあすなろ

(1) 事業区分及び定員・契約者(登録者)数

① 地域活動支援センターⅢ型　定員10名・登録者39名

2. 概要

(1) 運営の概要

① 1日あたり10名の利用があり、昨年度より平均利用者数が2名増加した。パンフレットを作成し、ご利用者やご家族、行政、医療機関、相談支援事業所等に配布し、5名の新規登録者があった。

② 福祉サービスの事業所見学や生産活動、学習会などを実施し、次のステップへの支援を行った。今年度は2名が就労系事業所へ移行、1名が一般就労につながった。

③ 地域活動支援センターの機能強化型事業の実施に向けて、松川町保健福祉課と名古屋市へ視察研修等を行った。

(2) 課題と対応策等

① 社会性の向上に向けたプログラムの充実

平均利用者数10名を目指すために、企画から利用者が主体的に関われる仕組み作りや社会資源やボランティアなどを活用してより多くの人たちに利用されるようなプログラムを取り入れていく。

② 安定した経営

平成27年度より業務委託を受けて以降、赤字経営が続いている。松川町と協議し、次年度より機能強化型事業Ⅲ型の補助金交付、地域生活支援給付費の算定が決定し、安定した経営が見込まれている。

③ 人材育成

障がい種別、利用目的も様々な方が利用されているため、幅広い利用者に対応できるように職員のスキルアップを目指す。法人内外の研修へ参加する。また、併設する特定相談支援事業所と連携し、相談支援を強化していく。

3. 利用実績

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
開所日数	20	19	21	21	18	19	21	20	19	19	19	21
延べ利用者数	203	205	263	233	203	190	191	174	175	166	192	201
登録者数	36	36	37	36	36	36	35	35	37	37	38	39
日平均利用者	10.2	10.8	12.5	11.1	11.3	10	9.1	8.7	9.2	8.7	10.1	9.6

4.　職員配置状況

（H30.3.31 現在）

職種＼雇用形態等	正規総合	正規一般	パート	嘱託職員	計	国家資格等
施設長（管理者）	1(1)				1	社会福祉士・精神保健福祉士 1
生活支援員	1		1		2	社会福祉士 1
合　　計	2(1)		1		3	

5.　安全防災対策　…　避難訓練等の実施状況と内容

(1)　10 月 5 日　防災訓練（火災）　避難訓練、消火訓練

(2)　3 月 18 日　防災訓練（地震・火災）　避難訓練、救命訓練

6.　公益的取り組みの状況

(1)　法人公益的事業あおぞら教室　年 12 回（毎月第 4 土曜日）

(2)　まつかわ子ども福祉教室あいむ　年 6 回

7.　主な施設整備等

公用車の購入

8.　その他(添付資料)

(1)　重点目標及び第 3 期 5 か年計画の評価及び達成状況　…　別紙１

(2)　実習、ボランティア等の受け入れ状況及び職員研修参加状況　…　別紙２

(3)　苦情等の状況　…　別紙３

(4)　平面図　…　別紙４

2. 重点目標及び評価

(1) 重点目標

目　　標	具体的な取り組み・課題等	評価
地域活動支援事業の啓発活動	飯島町地域活動支援センターと合同でパンフレットを作成し、見学者や相談支援事業所、行政、医療機関にも配布した。利用に向けた見学者は 13 名おり、5 名が契約した。地域住民への情報発信として、町広報誌の活用やウエルカムデー（施設開放日）を実施した。しかし、まだ地域住民への周知やボランティアの活用は不足している。	B
利用者ニーズに向けての支援強化と人材育成	『働く』ことへのニーズは高く、利用者それぞれの希望に沿って支援を行った。一般企業や就労系事業所の見学、軽作業（自動車部品組み立て、自主製品作り）を提供し、一般就労や就労継続支援 B 型事業所へ 3 名移行した。また、研修会や視察などに参加し地活センターの役割や支援技術の向上を図った。	B
松川町の障がい者福祉の充実	保健師や相談支援専門員と連携をしながら、訪問などによる支援を行った。また、松川町以外での利用者も増え、地活センターの役割が期待されている。	B
法人の公益的事業の充実	継続事業として、まつかわこども福祉教室あいむ(松川町社協合同)の実施をしている。今年度は 18 名の児童が活動した。あおぞら教室は毎月実施し、法人事業所ご利用者中心に生涯学習の場として多様な活動を提供した。また、今年度は高校生と地元企業とを「つなぐ」事業を行い、高校生 8 名が交流、学習をした。	B

(2) 第 3 期 5 か年計画（H30 年度～R4 年度）の進捗状況

目　　標	具体的な取り組み・課題等	評価
地域に開かれた事業活動の展開	パンフレットが完成し、今後関係機関への配布等を行いながら広報活動を進めたい。また、ウエルカムデーを企画したが参加者も少なく、企画内容や周知方法などが課題として挙がっている。ボランティアなどを積極的に活用し、参加しやすい活動内容を検討していく。	B
松川町の利用者ニーズの掘り起こしとつなぎ支援	平成 30 年度より利用者満足度調査を実施した。調査結果をもとに利用者のニーズに沿ったプログラムや支援の提供を行っていく。また、グループワークや個別への支援強化を行い、ひとりひとりに合わせた利用と支援が受けられる体制を整える。	B
地域活動支援センターⅢ型事業の定着	松川町と地域活動支援センターⅠ型の視察研修等を行い、地域活動支援センターの役割、事業継続に必要な運営内容等を協議した。H31 年度より、機能強化事業Ⅲ型の申請及び地域生活支援	B

	給付費の請求が可能となる。事業定着に向けて、平均利用者数 10 名を目指し、地域への普及啓発活動等に取り組む必要がある。	

※1　評価：A：目標以上　　B：目標をほぼ達成　　C：達成していない

(3)　コメント

重点目標および 5 か年計画の内容は、地域活動支援センターの意義とも密接に関連している。これから求められる地域活動支援センターとして定着していくうえでも、行政（とくに松川町保健福祉課）や松川町社会福祉協議会、民生委員をはじめとする地域の方々と連携しながら、障がいを持つ人にとっての活動拠点、次の段階へのステップの場としてより確かな存在としていきたい。

別紙２

ボランティア受け入れ状況

期　日	団体名	内容	延べ人数
４月	個人：宮下氏	将棋	１名
５月	個人：宮下氏、福澤氏（中学生）	将棋	２名
６月	個人：竹村氏 個人：宮下氏	書道 将棋	２名
１２月	個人：馬場氏、横山氏	合唱	２名

視察・見学受け入れ状況

期　日	団体名	内容	人数
４月２３日	Ｉさん	事業所見学	１名
５月１７日	飯田病院他	事業所見学、体験	２名
６月４日	Ｈさん、ご家族	事業所見学	２名
6月8、16日	㈱WING　関島企画　関島社長	作業指導、利用者交流	１名
６月１２日	民生委員	利用者交流	１名
７月９日	松川町保健師	事業所見学	３名
９月１４日	松川町保健師	事業所見学	２名
１０月２０日	Ｏさん、ご家族	事業所見学	２名
１０月２６日	Ｔさん、ご家族	事業所見学	２名
１０月２９日	長野県社会福祉協議会福祉だより信州	職員取材	２名
１１月１９日	飯伊圏域障がい者総合支援センター他	事業所見学	３名
１１月２０日	Ｍさん	事業所見学	１名
１２月１１日	Ｙさん	事業所見学	１名
１２月１７日	こころの医療センター駒ヶ根他	事業所見学	３名
１月１５日	豊丘村他	事業所見学	３名
２月１４日	Ｙさん	事業所見学、体験	１名
２月１８日	民生委員	利用者交流	１名
３月１４日	松川町長、町会議員	事業所見学	１０名

職員研修

期　日	研修名	参加者
毎月	事例検討会（法人主催）	全員
隔月	自立支援協議会　精神チーム	唐澤
４月２０日	地元企業就職者激励会、ビジネスマナー	唐澤

5月～2月	「元気センター（仮称）」検討委員会他	唐澤
6月15日	障がい者権利擁護研修会（自立支援協議会主催）	唐澤
9月、12月	精神科領域実践セミナー（知障協主催）	唐澤
10月9日	（社福）佛子園視察研修（松川町主催）	唐澤
11月5日	ひきこもりサポーター研修（飯島町主催）	久保田

平成30年度苦情受付一覧表

別紙3

No.	期　　日	苦情申出者氏名	苦情の種類		苦情のレベル	原因	内　　容	対　　応	第三者委員立会い
1	平成30年9月29日	Yさん	1	職員の対応	1	2	意見箱に『どうして職員は平等に利用者を見てくださらないんですか？』と投書がある。無記名であったがYさんと判断できたため、詳細を確認するために管理者が面談を行う。内容としては、午後の時間に職員2名が給湯室に入りこそこそと話しをしていた。話したいことがあったが聞いてくれなかったとのこと。	・職員から聞き取りを行う。ちょっとした報告や相談を給湯室で行うことがあったとのこと。今後の対応として、職員の打ち合わせについては利用者のいない時間に行う。緊急性がある場合は、利用者に何時まで打ち合わせをすることを伝えてから席を外すようにする。 ・Yさんにも今後の対応を説明し、了承を得る。	無

※苦情の種類
1　サービス内容(職員の接遇)　…1件
2　サービス内容(質・量)　…　0件
3　事故、被害、損害　…　0件
4　事業所運営　…　0件
5　契約内容　…　0件
6　建物の構造　…　0件
7　その他　…　0件

※苦情のレベル
1　要望(本人の意向、意見、主張など)　…　1件
2　請求（法的責任に基づく権利の主張など）　…　0件
3　責任追及レベル(契約不履行に伴う責任追及など)　…　0件
4　その他　…　0件

※苦情の発生原因
1　説明・情報不足　…　0件
2　職員の態度・言動　…　1件
3　サービス内容　…　0件
4　その他　…　0件

実績総数	1件
苦情受付	1件

	単位M²
建築面積	1,019.02
延べ面積	865.34
敷地面積	1940.97

図名	平面図
縮尺	1/100

平成30年度事業報告書

飯島町障がい者地域活動支援センター　やすらぎ

住所：上伊那郡飯島町飯島７４５番地

電話／FAX：0265-86-6225

E-mail：yasuragi@shin-ai1996.org

平成30年度事業報告書

1. 種別・名称：飯島町指定管理事業　飯島町障がい者地域活動支援センターやすらぎ

(1) 事業区分及び定員・契約者(登録者)数

① 地域活動支援センターⅢ型　定員10名・登録者30名

2. 概要

(1) 運営の概要

① 1日あたり約8.8名の利用があり、前年度よりやや減少している。新規登録者確保に向けてパンフレットを作成し、ご利用者やご家族、行政、医療機関、相談支援事業所等に配布した。2名の新規登録があったが、他の福祉サービスの利用等を理由に7名が退所している。

② ご利用者が希望する生活へのステップの場であることを大切にし、事業所見学や生産活動等を行っている。今年度は3名が就労系事業所へ移行、2名グループホームへ入居された。

③ 飯島町の相談窓口として、6月より法人の相談支援専門員がやすらぎ内で相談日を月1回設置し、当事者やご家族、支援者等の相談を行った。

④ 5年間の指定管理期間が今年度で終了となった。次期指定管理に向けて審査が行われ、継続して親愛の里が3年間の指定管理を受けることとなった。

(2) 課題と対応策等

① 社会性の向上に向けたプログラムの充実

利用者数の増加に向けて、企画から利用者が主体的に関われるような仕組みを作りや社会資源やボランティア等を活用してより多くの人たちに利用されるようなプログラムを実施していく。

② 安定した経営

現在の職員体制による運営を行うには指定管理料では赤字が続いている。指定管理の更新に伴い、指定管理料が年間170万円増額となったが、赤字経営は改善されていない。上伊那圏域の地域生活支援事業の見直し等を要望していく。

③ 人材育成

障がい種別、利用目的も様々な方が利用されているため、幅広い利用者に対応できるように職員のスキルアップを目指す。法人内外の研修へ参加する。また、相談支援専門員と連携し、個別支援を強化していく。

3.　利用実績

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
開所日数	20	21	21	21	22	18	22	21	19	19	19	20
延べ利用者数	189	216	188	184	194	131	198	185	158	154	167	172
登録者数	37	37	37	37	37	34	30	30	30	30	30	30
日平均利用者	9.5	10.3	9	8.8	8.8	7.3	9	8.8	8.3	8.1	8.8	8.6

4.　職員配置状況　　（H30.3.31 現在）

職種＼雇用形態等	正規総合	正規一般	パート	嘱託職員	計	国家資格等
施設長（管理者）	1(1)				1	社会福祉士・精神保健福祉士 1
生活支援員		1	1		2	
合　　計	1(1)	1	1		3	

5.　安全防災対策　…　避難訓練等の実施状況と内容

(1)　2 月 18 日　防災訓練（火災・地震、通報・消火訓練）

6.　公益的取り組みの状況

(1)　法人公益的事業あおぞら教室への参加

7.　主な施設整備等

なし

8.　その他(添付資料)

(1)　重点目標及び第 3 期 5 か年計画の評価及び達成状況　…　別紙 1

(2)　実習、ボランティア等の受け入れ状況及び職員研修参加状況　…　別紙２

(3)　平面図　…　別紙

2. 重点目標及び評価

(1) 重点目標

目　　標	具体的な取り組み・課題等	評価
利用者確保に向けたニーズ把握の強化	継続的な取り組みとして、毎月１回の飯島町健康福祉課地域福祉係、保健師などと障がいを持つ人の情報を共有し、必要に応じた支援を行っている。また、家族の集いを年１回開催し、ニーズの聞き取り交流の機会としている。利用者数が伸び悩んでおり、利用者確保が課題である。取り組みとして今年度はパンフレットをリニューアルし、見学者等に配布した。また、今年度は利用者満足度調査を実施した。調査結果を参考に支援内容や活動プログラム作成を行い、現在の登録者の利用率が上がるように活かしていく。	B
就労等次のステップに向けた支援とネットワークの構築	利用者それどれの希望に沿って支援を行った。特に生産活動へのニーズが高く、関わる利用者も増えたため、新たに自動車部品の委託を受けた。また健康面での課題がある方が多く、定期的に運動プログラムを取り入れた。次のステップにつなげる支援としては、相談支援専門員等と連携し、３名が就労系事業所へ移行し、２名がグループホームへ入居となった。	B
飯島町介護予防拠点施設「コスモス園」の維持管理及び利用者との交流促進	登録団体が活用しやすく管理、運営を行った。また、コスモス園内にやすらぎの活動を掲示し、情報交流や調理活動などにボランティアとして関わってもらい、交流を図った。今後はやすらぎ利用者が各団体にボランティアとして関わる等、交流を広げたい。	B

(2) 第３期５か年計画（H30 年度～R4 年度）の進捗状況

目　　標	具体的な取り組み・課題等	評価
行政機関と連携した地域ニーズへの働きかけの強化	継続して利用が中断しているご利用者に対して訪問や電話等による支援、プログラムを同封した手紙を定期的に発送しているた。また、職員が飯島町のひきこもりサポーター研修を受講し、地域の潜在的ニーズへの働きかけができるように体制を整えた。	B
イベント開催や町内の行事等を活用した地域福祉の啓発活動	ボランティア団体の協力のもと定例の行事（流しそうめん、餅つき）を行った。啓発活動としては、H31 年度にウエルカムデー（施設開放日）の開催、広報誌の活用を実施していく。また、町内行事の健康福祉大会やふれあい広場は自主製品等の販売を通してやすらぎをPRできる良い機会となっているため、継続して参加をしていく。	B
利用者の希望する生活に向けた支援の強化	今年度６月より月１回、相談支援専門員による相談日をやすらぎにて設置し、町の広報誌や掲示等で周知した。職員の力量形成としてはケース検討会を月１回実施し支援技術の向上につなげた。また、法人内外の研修にも参加し支援の強化を図った。	B

※1　評価：A：目標以上　　B：目標をほぼ達成　　C：達成していない

(3)　コメント

重点目標と5か年計画の内容は、地域活動支援センターそのものの意義とも深い関係にある。行政（飯島町健康福祉課）とのかかわりが深く、細かい情報がやりとりできるメリットがある。これまで以上に行政をはじめとして地域の各福祉事業所やボランティア、住民の方々とも手を携えながら、とくに障がいを持つ人にとっての活動拠点としてより確かな存在としていきたい。

ボランティア受け入れ状況

期日	団体名	内容	延べ人数
4月	個人：小林氏、平澤氏、小林(か)氏、坂井氏 飯島町女性情報ネットワーク、町地域福祉係	調理、中国茶、スポーツなど	15名
5月	個人：小林氏、坂井氏、望月氏、市村氏、古田氏 糸ぐるま、町地域福祉係、保健師	調理、運動、音楽療法、製品作りなど	11名
6月	個人：小林氏、扇島氏、古田氏、坂井氏、平野氏、望月氏 町地域福祉係、保健師	調理、運動、音楽療法、製品作りなど	13名
7月	個人：坂井氏、小林氏、望月氏、古田氏 糸ぐるま、町地域福祉係、保健師	調理、音楽療法、製品作りなど	14名
8月	個人：小林氏、市村氏、古田氏、望月氏、坂井氏 町地域福祉係、保健師	調理、音楽療法、製品作りなど	8名
9月	個人：小林氏、望月氏、古田氏、市村氏 町地域福祉係、保健師、栄養士	調理、音楽療法、製品作り、学習会など	7名
10月	個人：小林氏、市村氏、木本氏、扇島氏 町地域福祉係、保健師	調理、音楽療法、運動、製品作りなど	16名
11月	個人：木本氏、小林氏、古田氏、望月氏、坂井氏、平野氏 女性情報ネットワーク、町地域福祉係、保健師	調理、音楽療法、運動、製品作り、抹茶の会など	15名
12月	個人：木本氏、小林氏、古田氏、坂井氏、望月氏 町地域福祉係、保健師	調理、音楽療法、運動、製品作りなど	15名
1月	個人：小林氏、木本氏、古田氏、平野氏、坂井氏 糸ぐるま、町地域福祉係、保健師	調理、音楽療法、運動、お餅つきなど	21名
2月	個人：古田氏、小林氏、望月氏、木本氏、扇島氏 町地域福祉係、保健師	調理、音楽療法、運動、製品作りなど	13名
3月	個人：小林氏、古田氏、小林(か)、木本氏、望月氏、 糸ぐるま、上伊那口腔センター、町地域福祉係、保健師	調理、音楽療法、歯科指導など	22名

視察・見学受け入れ状況

期　日	団体名	内容	人数
9月12日	ほっとグループホーム伊南	施設見学	2名
9月20日	箕輪町精神障がい家族会	施設見学	10名
10月23日	森本行政書士事務所	施設見学	2名
12月28日	株式会社 WING　関島企画社長	施設見学、作業説明等	1名

職員研修

期　日	研修名	参加者
毎月	事例検討会（法人主催）	全職員
11月5日	ひきこもりサポーター研修（飯島町主催）	下澤
12月13、14日	相談支援従事者初任者研修	下澤

※歩行距離(最長ルート): 3.68+10.53+1.42+5.86=21.49
21.49m ≦ 60.00m ∴OK

平　面　図

凡例
―― 防火上主要な間仕切壁：木下地、両面石こうボード張り t=15(小屋裏まで)
【告示1358号 45分準耐火構造】

※延焼のおそれのある部分の外壁は、防火構造とする。

小林建築設計事務所	長野県上伊那郡飯島町飯島3052−16 TEL 0265-86-3599 FAX 0265-86-3150 管理建築士 小林喜美 1級建築士登録 第168040号		場所 飯島町	件名 平成25年度 地域介護・福祉空間整備事業 高齢者障がい者交流センター やすらぎ 建設工事	図面名称 平面図	縮尺 A2:S=1/60 A3:S=1/85	日付 2013/10	図面番号 A-07

平成30年度事業報告書

共同生活援助事業所

コーポヘルメス

住所：下伊那郡松川町上片桐4595-40

電話/ＦＡＸ：0265-34-1130

E-mail：hermes@shin-ai1996.org

- コーポヘルメス
- コーポ原町

  下伊那郡高森町上市田653番地1

  電話／FAX：0265-35-9770
- コーポ宮坂

  下伊那郡松川町元大島1593-1

  電話／ＦＡＸ：0265-34-7130
- コーポ宮田

  上伊那郡宮田村2707-3

  電話／ＦＡＸ：0265-85-4005
- コーポ宗源原

  下伊那郡松川町元大島3025-15

  電話／ＦＡＸ：0265-34-7022
- コーポ新井

  下伊那郡松川町元大島１８５７

  電話／ＦＡＸ：0265-３６-５５６０

平成30年度事業報告書

1. 種別・名称：共同生活援助事業　コーポヘルメス

(1) 事業区分及び定員・契約者(登録者)数

① 共同生活援助事業　定員36名　サテライト2名　　計　38名

契約者34名　サテライト2名　計　36名

2. 概要

(1) 運営の概要

① グループホーム6か所、コーポ宮坂サテライトを1か所増やし定員2名となり、全体の定員が38名となった。9月にコーポ宮坂のご利用者1名が地域生活移行のため退所。10月に年度初めより入院していたコーポ宮田ご利用者1名が退院の目途が立たず退所。11月にコーポ新井のご利用者がご病気のため死去。合計3名の欠員があった。5月にサテライトを1室増やし、ご利用者1名を迎え、31年2月にコーポ宮田に1名男性ご利用者が入所して欠員は2名となる。

入退所を機に、在所しているご利用者の移動を検討し、コーポ原町ご利用者1名をコーポ宮坂へ、3月末現在は、コーポ宗源原ご利用者1名をコーポ新井へ移動することができないか体験を進めている。3月末現在でコーポ原町欠員1名。コーポ新井欠員1名で合計2名の欠員となっている。

② ホームスタッフの私事による退職や療養休暇などが重なり、ホームスタッフの不足が課題となっている。支援員がスタッフ勤務を兼ねる体制に変更して対応している。現場の課題が把握しやすく課題対応が早急にできるなどメリットはあるが、サビ管や支援員の業務に負担がかかり、看護師への負担も増えてきている。スタッフの業務時間を各々働きやすい時間で募集をする。支援員として募集をするに変更するなどしてスタッフ確保の対応をしているが、業務管理の複雑化などが課題となる。

③ 法令改正に伴い、スプリンクラーや火報装置工事を昨年行い、赤字の収支となっている。

(2) 課題と対応策等

① 新体制の検討：グループホーム運営展開の見直しと検討、検討委員会の立ち上げ。既存のグループホームの再編成と新築の検討。将来のホームスタッフの確保を勘案してのご利用者定員の再検討。

ご利用者の状態に合わせた計画的で負担のないホーム内移動と体制構築

② スタッフ確保の課題の改善：(勤務時間の対応や業務の明確化) 研修や会議などで職員のレベルアップを図り、環境改善により魅力的で働きやすい職場を作る。

③ サービス報酬、加算の見直しと洗い出し：職員体制加算を 4：1 にする。看護師体制加算をとれる勤務体制にする。日中支援加算をとれるシステムを作る。ショートステイ利用率を上げる。
定員を埋める。

3. 利用実績

＊平成 30 年度

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
定員数	37	37	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	454
延べ利用者数	36	37	38	38	38	38	36	35	35	35	35	36	437
利用率(%)	97.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	94.0	94.3	94.3	94.3	94.3	94.7	96.9
3ヶ月平均(%)	97	98	99.0	100.0	100.0	100.0	98.0	95.3	94.3	93.3	94.3	94.7	97.0

4. 職員配置状況

（H30.3.31 現在）

職種＼雇用形態等	正規総合	正規一般	パート	嘱託職員	計	国家資格等
施設長（管理者）	1(1)				1	社会福祉士 1
サービス管理責任者 支援員兼任（1）	2				2	介護福祉士・社会福祉士
生活支援員	1	6	3		10	教員 1　介護福祉士6 看護師 1　准看護師 1
ホームスタッフ			15		15	
ナイトスタッフ					15	介護福祉士
看護師 支援員兼任 1 名		1	15		2	
合　計	4（1）	7	33		45	

5. 安全防災対策 … 避難訓練等の実施状況と内容
   (1) 連絡網整備
   (2) 災害時備蓄品配備
   (3) 災害時避難マニュアル整備進行中
6. 公益的取り組みの状況
   (1) 毎月あおぞら教室ご利用者、支援員参加
7. 主な施設整備等
   (1) 改修等

（円）

事　業　名　等	事業費総額	内補助金等	備　考 （竣工月）
コーポ新井舗装工事	900,000 円	なし	3 月
コーポ宗源原消防配管変更	151,200 円	なし	3 月

(2) 固定資産物品

(円)

物　品　名　等	規格等	数量	単　価	総　　額	備　　考
公用車デミオ		1		316,290	
コーポヘルメス温水器		1		129,600	手洗い洗面所
パソコン設置				246,240	宗源原・原町
コーポ原町エアコン設置		1		127,440	スタッフ室
サテライト電化製品				116,208	
ヘルメス　エアコン設置		1		106,704	スタッフ室

8. その他(添付資料)

(1) 重点目標及び第２期３か年計画の評価及び達成状況…　別紙１

(2) H31．３介護給付費等の算定に係る体制等の状況…　別紙２

(3) 利用者数等実績一覧表…　別紙３

(4) 職員研修参加状況　…　別紙５

(5) 苦情等の状況　…　別紙（苦情受付一覧表）

別紙６

平成３０年度苦情受付一覧表

No.	期　　日	苦情申出者氏名	苦情の種類	苦情のレベル	原因	内　　容	対　　応	第三者委員立会い
1	平成30年5月10日	コーポ宮坂 ホームスタッフ	サビ管の対応	要望		連絡の不備により研修に参加できなかった。	サビ管の連絡方法の見直しとチェック表の整備	無

2. 重点目標及び評価

(1) 重点目標

目　　標	具体的な取り組み・課題等	評価
その日地らしい暮らしへの支援（新規ホームの設立・一人暮らし携帯のホームの検討）	重心グループホームを設立し、地域生活への参加、生活の安定と安心の提供を行っている。ショートステイ利用も開始し幅広い地域生活のニーズの受け入れの充実を図っている。サテライト型グループホームの増設を行い、地域生活定着支援を行っている。	A
重度障がいのある方への支援の充実 高齢障がい者への支援体制つくり	加齢に伴う、退行や障がいの重度化に対応できるよう、看護師と連携した支援を行っている。職員の学習会を開催してスキルアップも図っている。それぞれのご利用者に合わせた病院への変更や治療、服薬や生活支援を行い、日中活動先もご利用者の状態に即した事業所を相談支援専門員と検討しながら調整を行っているが、現存のホームの環境的に限界を迎えているご利用者もいる。	B
地域との関係つくり（奉仕活動、防災協力含む）	各自治会の地域事業や災訓練等の参加は継続している。地域に貢献できる事業所としての具体的取り組みができず、課題は残っている。	B
人材確保と育成、権利擁護の風土化した組織	ホームスタッフが欠員している。募集事項では労働条件の時間帯の幅を持たせる。業務軽減のため食材を簡易的に調理できる業者に変更するなど行っている。支援員がホームスタッフ業務に合えて入る体制つくりによって、ホームスタッフとの連携を図り、ご利用者の生活を密にしることで支援の充実を図ることができるよう方向転 換する体制を継続する。 職場環境や、スタッフのスキルを上げることで働く人とご利用者にとって魅力的なグループホーム環境整備が望まれる。	B
災害発生時の対応も強化と設備整備	災害発生時の分かりやすいマニュアルの見直し、ご利用者情報のまとめと地域や通所事業所への情報提供を行っている。災害時の備蓄品の配備を行い、今後はさらに保管方法や情報共有の充実が必要。	B
既存ホームの老朽化への対応の検討	エアコンの整備や温水器設置など、現在の状況に合わせた対応を行っているが、老朽化など具体的全体の方針の検討が行えていない。	C
職員の連携強化と勤務体制整備	毎週のミーティングで各職員の業務や動きの把握、公用携帯を整備、担当支援を配置してホームの連絡ファイルや必要書類の取りまとめを行う等して密な連絡体制をとれるように	B

	努めてきた。	

（2）５か年計画（平成 30 年度～34 年度）の進捗状

目　　標	具体的な取り組み・課題等	評価
ご利用者一人一人に合った「今あるグループホームの生活」に縛られない暮らしの模索 （アパートでの一人暮らし、サテライト型住居等）	新しく、一人暮らしを希望しているご利用者を迎え環境整備を行い、一人暮らしへの希望を叶えるための支援を行っている。支援員の不足などでご利用者の訪問や相談等が密にできていない。	B
重度障害のある方への支援の充実	重心新ホーム設立より、支援員中心の各ご利用者への支援の充実が図れてきた。通所事業所利用も増え、個々に合わせた食事や生活支援を充実させてきたが、年末にはご利用者が帰省中ご病気で亡くなることがあり、入所前のアセスメントの強化や契約の内容の見直しの課題が見えてきた。	B
高齢障がい者への支援体制つくり	出来うる環境設定や、看護師との連携による体調管理を行って、保護者やご利用者の気持ちを聞く機会を設けながら、介護保険を視野に入れた通所先を相談支援専門員と検討し随時変更することも行っていきたいが、住居自体が 2 階であるなど環境的課題があるのでホームでの暮らしが難しくなったご利用者もいる。	B
ご利用者の社会参加の推進	地域や自治会の行事や事業の参加の継続はおこなっている。今後もご利用者が社会参加を行っていくためにも支援者自身が社会参加の視点を持つことができるように促していくことが重要になる。コーポ宮坂のご利用者では電車通勤で就労できるようになった方もいる。	B
自立生活援助事業の検討と展開	現時点で具体的な事業の検討を行うことはできていない。	C
現ホームへの老朽化への対応	重点目標に同じ	C

※1　評価：A：目標以上　　B：目標をほぼ達成　　C：達成していない

介護給付費等の算定に係る体制等状況一覧表

提供サービス		定員数	定員規模	多機能型等定員区分（※1）	人員配置区分（※2）	その他該当する体制等		適用開始日
各サービス共通						地域区分	1．一級地　2．二級地　3．三級地　4．四級地　5．五級地 6．六級地　7．七級地　20．その他	
	共同生活援助				1．Ⅲ型(6:1) 2．Ⅳ型(10:1) 3．Ⅰ型(4:1) 4．Ⅱ型(5:1) 11．日中支援Ⅰ型(3:1) 12．日中支援Ⅱ型(4:1) 13．日中支援Ⅲ型(5:1)	施設区分	1．介護サービス包括型　2．外部サービス利用型　3．日中サービス支援型	
						大規模住居(※10)	1．なし　2．定員6人以上　3．定員21人以上 4．定員21人以上(一体的な運営が行われている場合)	
						職員欠如	1．なし　2．あり	
						サービス管理責任者欠如	1．なし　2．あり	
						福祉専門職員配置等	1．なし　3．Ⅱ　4．Ⅲ　5．Ⅰ	
						視覚・聴覚等支援体制	1．なし　2．あり	
						看護職員配置体制	1．なし　2．あり	
						夜間支援等体制	1．なし　2．Ⅰ　3．Ⅱ　4．Ⅲ　5．Ⅰ・Ⅱ　6．Ⅰ・Ⅲ 7．Ⅱ・Ⅲ　8．Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	
						夜勤職員加配体制	1．なし　2．あり	
						重度障害者支援職員配置(※11)	1．なし　2．あり	
						地域生活移行個別支援	1．なし　2．あり	
						精神障害者地域移行体制	1．なし　2．あり	
						強度行動障害者地域移行体制	1．なし　2．あり	
						医療連携体制加算（Ⅴ）	1．なし　2．あり	
						通勤者生活支援	1．なし　2．あり	
						福祉・介護職員処遇改善加算対象	1．なし　2．あり	
						福祉・介護職員処遇改善特別加算対象	1．なし　2．あり	
						キャリアパス区分(※3)	1．Ⅲ（キャリアパス要件（Ⅰ又はⅡ）及び職場環境等要件のいずれも満たす） 2．Ⅴ（キャリアパス要件及び職場環境等要件のいずれも満たさない） 3．Ⅳ（キャリアパス要件を満たさない） 4．Ⅳ（職場環境等要件を満たさない） 5．Ⅱ（キャリアパス要件（Ⅰ及びⅡ）及び職場環境等要件のいずれも満たす） 6．Ⅰ（キャリアパス要件（Ⅰ及びⅡ及びⅢ）及び職場環境等要件のいずれも満たす）	
						指定管理者制度適用区分	1．非該当　2．該当	
						地域生活支援拠点等	1．非該当　2．該当	
地域相談支援	地域移行支援					施設区分	1．Ⅰ　2．Ⅱ	
						地域生活支援拠点等	1．非該当　2．該当	
	地域定着支援					地域生活支援拠点等	1．非該当　2．該当	
相談支援	計画相談支援					相談支援特定事業所	1．なし　2．Ⅲ　3．Ⅰ　4．Ⅱ　5．Ⅳ	
						行動障害支援体制	1．なし　2．あり	
						要医療児者支援体制	1．なし　2．あり	
						精神障害者支援体制	1．なし　2．あり	
						地域生活支援拠点等	1．非該当　2．該当	

別紙3

入居の状況

ホーム名	定員	実入居者												
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
コーポヘルメス（松川町）	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7.0
コーポ原町（高森町）	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6.0
コーポ宮田（宮田村）	4	3	4	4	4	4	4	3	3	3	3	4	4	3.6
コーポ宗源原（松川町）	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7.0
コーポ新井（松川町）	5	5	5	5	5	5	5	5	4	4	4	4	4	4.6
コーポ宮坂（松川町）	7	7	7	7	7	7	7	6	6	6	6	6	6	6.5
サテライト住居（松川:まつがみ）	1	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	1.9
計	37	36	38	38	38	38	38	36	35	35	35	36	36	36.6

別紙５

職員研修

日にち	研修名	開催地	参加者
毎月第１月曜日	青木理事学習会	紙ふうせん他	全職員
	県介護福祉士会南信支部学習会講師		畔上施設長
毎月	自立支援協議会くらし部会	飯田市	サビ管・支援員
４月23日	重度障碍者フォーラム	飯田市	サビ管
	初任者研修	法人内	対象職員
	強度行動障がい支援研修	松本市	支援員１名
	サビ管研修	松本市	支援員１名
	支援技術向上研修	松川町	希望職員
９月3.4日	全国GH等研修	愛媛県	サビ管・支援員１名
９月21日	飯伊グループホーム世話人研修会	飯田市	希望職員
10月18日	GHサビ管研修	飯田市	サビ管
10月27日	行動援護研修(みらい福祉会)講師	飯田市	畔上
11月	感染症研修	各ホーム	全職員
11月12月	コミュニケーション研修	法人内	全職員

平成30年度事業報告書

居宅介護事業所　障がい者サポートセンター親愛

住所：長野県下伊那郡松川町上片桐4595-40

電話／FAX：0265-48-6133

E-mail：support@shin-ai1996.org

平成30年度事業報告書

1. 種別・名称：行動援護事業所　障がい者サポートセンター親愛

(1) 事業区分及び定員・契約者数

① 行動援護事業：契約者数15名

2. 概要

(1) 運営の概要

① 利用契約者数は、前年度より２名増えて15名。

② 本年度は、常勤職員２名とパート職員１名(親愛の里松川より異動)の３名体制(実質2.8名)でスタートした。男性ご利用者の利用が全体の３分の２を占めている中、新たに短時間勤務の男性職員が配属になったことで、短時間利用のご利用者や、利用希望が重複していた時間帯の支援などに配置することができた。このことにより５月より新規２名の受入れができた。

③ サービス提供責任者の介護福祉士取得に伴い、特定事業所加算Ⅰ（20/100）を取得した。また前述した新規ご利用者増で前年度に比べ収入額が2,046千円(216H分)増加し、開所時から続いた厳しい赤字経営は概ね解消することができた。

④ 女性職員の入院、治療等により７月から９月まで女性ご利用者の支援については緊急措置として男性職員が対応した。１名の利用をお断りする形となったが、個々に応じて支援内容を工夫することで、その他のご利用者はこれまでとほぼ同様の支援を提供することができた。

⑤ 行動援護のニーズの多様化を受け昨年度同様、外部施設への通所サポート・マンツーマンならではのショートステイ先での夜間付添い等にも取り組んだ。

⑥ 訪問系サービスのニーズを受け、移動支援サービスのH31年度開始に向けて準備を進めた。上下伊那の移動支援のニーズをまとめ準備を進めたが、職員体制が整わず来年度の移動支援の開始については見送りとした。

(2) 課題と対応策等

① ご利用者の緊急連絡カード・ヘルプカードの整備

② 男女職員共に複数職員体制づくり

③ 訪問系事業の拡充(移動支援事業の開始に向けた支援体制づくり)

3. 利用実績

平成30年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
延べ人数	61	63	68	58	57	58	56	60	61	69	65	70	746
利用時間数	222.5	261.8	276	214	231.3	213.8	207.3	209.5	265.0	283.3	274.5	288.3	2,947
利用契約数	13	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	

社会福祉法人　親愛の里

基本理念：人権の保障と幸福(しあわせ)を共に創る

4. 職員配置状況

（H31.3.31 現在）

職種＼雇用形態等	正規総合	正規一般	パート	計	国家資格等
施設長（管理者）	1（1）			1（0.1）	社会福祉士1
サービス提供責任者		1		1	介護福祉士 1
サービス提供職員		1	1（0.8）	2(1.8)	精神保健福祉士1 訪問介護養成研修（ヘルパー2級）2
合　計	1	2	1	4(2.9)	

5. 安全防災対策

H30 年度中に作成した災害マニュアルを改めて確認し、ご利用者の外出先の多様化に応じ、通所先の災害対策、外出先や公共交通機関での災害時の行動・備えを盛り込んだ災害マニュアルを作成した。

6. 公益的取り組みの状況

なし

7. 主な施設整備等

(1) 改修等 … なし

(2) 固定資産物品 … 固定電話、複合機

8. その他(添付資料)

(1) 重点目標及び第 3 期 5 か年計画の評価及び達成状況 … 別紙 1

(2) H31.3 介護給付費等の算定に係る体制等の状況 … 別紙 2

(3) 利用者数等実績一覧表 … 別紙 3

(4) 職員研修参加状況 … 別紙 4

≪重点目標及び評価≫

(1)　重点目標の評価

目　　標	具体的な取り組み・課題等	評価
ご利用者（ご家族）の希望に沿ったサービスの提供（サービスの質の向上）。	・ご利用者(ご家族)の希望に対して事業所としての役割を明確にして、個別支援計画に取り入れ支援に活かしている。 ・ご利用者の好きな事・得意な事を把握し、外出先で地域の一員としてより良く過ごせるよう、個々に応じたプランを計画している。支援終了後はご家族に引き継ぎを行い、逐一、希望やアドバイスをいただくことを心がけている。 ・グループホームのご利用者に対しては、ご家族との面談機会が少なく同じ支援の繰り返しになりがちになってしまうため支援に関して関係者と相談できる機会を更に設けたい。	C＋
相談支援事業所や関係機関、地域社会との連携。	・ご利用者の状況に応じて、相談支援専門員に対してサービス内容の変更を提案した。 ・相談支援専門員を中心に関係機関が集まり、定期的にケア会議等を行い情報の共有を図った。サポートセンターとしての視点と役割を意識して情報提供した。 ・通所援護として、外部の施設へご利用者に同行支援する際には、安全で楽しく過ごせるよう通所先の職員と綿密な会議や情報共有を行っている。またご利用者のノート等を事業所間で共有する事で日常的に情報共有し、連携に努めている。 ・外出支援では、地域のイベント等に積極的に参加できるよう計画を作成している。必要に応じて外出先やご家族と事前に打ち合わせを行い、ご本人が楽しめるように工夫している。	B
職員の確保及び研修を充実させ、専門性を高める。 （人材の確保と育成・収支のバランス）	・H30 年度は男性パート職員を配置することができ、新規ご利用者を増やすことができたが、年度中盤より女性職員の入院・治療により一部限定した支援となったが、概ね同様の支援体制を組むことができた。 ・法人内及び職場内研修は実施できた。外部の研修については、パート職員が移動支援サービス開始に伴う職員体制を見込んだ「介護職員初任者研修」に参加。資格取得することで、職員体制を整えた上に支援力の向上に繋がった。またサービス提供責任者が相談支援専門員ならびにサービス管理責任者研修に参加し、個別支援計画の作成について学ぶことができた。一部の職員に対しては外部の研修への参加ができず十分な学習ができなかった。	C＋

※評価　A：目標以上　　B：目標をほぼ達成　　C：達成していない

(2) 第3期5ヶ年計画(平成30年度～平成34年度)の評価

目　　標	具体的な取り組み・課題等	評価
一人ひとりの障がいやニーズに合った支援プログラムの作成と実施（個別の多様なニーズに対応）	個別のニーズに対して、実際のサービスに反映させながら取り組むことができた。 支援プログラム（支援のタイムスケジュール）の見直し・支援手順書の作成は作成した。 個々に応じた手順書を職員間で確認しながらの支援ができている。	B
地域の必要としているニーズに合った新規事業の立ち上げ	移動支援事業のニーズがあり、上下伊那のニーズ調査を基に開所の準備を行った。 職員体制が整わず立ち上げまでには至らなかったものの、サービス開始の準備はできた。	C＋
相談支援事業所や関係機関等とのネットワークの強化	関係機関とは小まめに連絡を取りながら情報共有を図っている。	B
人材確保と収支バランス	パート職員の配置により短時間支援にピンポイントに配置することができ、人件費の抑制・新規ご利用者増ができ、収支を上げることができている。またサービス提供責任者が介護福祉士を取得したことにより、加算を取得し収入を伸ばすことができた。	B

※評価　A：目標以上　　B：目標をほぼ達成　　C：達成していない

(3) コメント

① 支援内容については、ご利用者(ご家族)の希望に対して臨機応変に取り組んだ。

② 兼務職員体制によりご利用者増などに繋げられたが、年度後半は兼務職員の事業所との調整が難しくなり勤務体制を整えることができなかった。
結果、常勤職員の休み確保が厳しくなり、現状の利用人数から考えると兼務職員体制より専従の非常勤職員の配置が望ましい。

別紙2

介護給付費等の算定に係る体制等状況一覧表

提供サービス	定員数	定員規模	多機能型等 定員区分（※1）	人員配置区分 （※2）	その他該当する体制等		適用開始日
各サービス共通					地域区分	1．一級地　2．二級地　3．三級地　4．四級地　5．五級地 6．六級地　7．七級地　(20)．その他	
行動援護					特定事業所	1．なし　(2)．Ⅰ　3．Ⅱ　4．Ⅲ　5．Ⅳ	
					福祉・介護職員処遇改善加算対象	1．なし　(2)．あり	
					福祉・介護職員処遇改善特別加算対象	(1)．なし　2．あり	
					キャリアパス区分（※3）	1．Ⅲ（キャリアパス要件（Ⅰ又はⅡ）及び職場環境等要件のいずれも満たす） 2．Ⅴ（キャリアパス要件及び職場環境等要件のいずれも満たさない） 3．Ⅳ（キャリアパス要件を満たさない） 4．Ⅳ（職場環境等要件を満たさない） (5)．Ⅱ（キャリアパス要件（Ⅰ及びⅡ）及び職場環境等要件のいずれも満たす） 6．Ⅰ（キャリアパス要件（Ⅰ及びⅡ及びⅢ）及び職場環境等要件のいずれも満たす）	
					地域生活支援拠点等	(1)．非該当　2．該当	

≪利用実績≫

平成29年度実績　　行動援護事業所

	H29.4	H29.5	H29.6	H29.7	H29.8	H29.9	H29.10	H29.11	H29.12	H30.1	H30.2	H30.3	計
男性利用回数	25	35	37	35	36	39	36	38	42	29	32	43	427
女性利用回数	24	30	20	21	22	21	21	21	20	13	24	19	256
回数合計	49	65	57	56	58	60	57	59	62	42	56	62	683
													平均
男性利用時間	101	115	128.3	131.8	128.8	143.45	136	149	170	111.5	129.5	174.8	134.91
女性利用時間	89.5	89.25	72	109.5	107.5	98	99.5	91.75	95	59	102.8	100	92.813
時間合計	190.5	204.3	200.3	241.3	236.3	241.5	235.5	240.8	265	170.5	232.3	274.8	227.73
予定時間	194.5	206.5	205.5	239.5	250.8	249.5	250	247	273.8	252.8	248.3	281.5	241.64
実施率	97.94%	98.93%	97.45%	100.75%	94.22%	96.79%	94.20%	97.49%	95.80%	67.44%	94.36%	97.62%	94.42%

平成30年度実績　　行動援護事業所

	H30.4	H30.5	H30.6	H30.7	H30.8	H30.9	H30.10	H30.11	H30.12	H31.1	H31.2	H31.3	計
男性利用回数	45	44	54	46	45	47	45	48	42	50	46	48	560
女性利用回数	16	19	14	12	12	11	11	12	19	19	19	22	186
回数合計	61	63	68	58	57	58	56	60	61	69	65	70	746
													平均
男性利用時間	152.3	169	204	173.8	192	177.8	174	173.8	186.5	208.5	197.8	195.8	183.78
女性利用時間	70.3	92.8	72	40.3	39.3	36	33.3	35.8	78.5	74.8	76.8	92.5	61.867
時間合計	222.5	261.8	276	214	231.3	213.8	207.3	209.5	265	283.3	274.5	288.3	245.61
予定時間	224.3	255.3	288.5	246.8	224.8	204	218	242.8	296	288.8	276.8	298.8	255.41
実施率	99.20%	102.50%	95.70%	86.70%	102.90%	104.80%	95.10%	86.30%	89.50%	98.10%	99.20%	96.50%	96.38%

利用時間合計比較

≪コメント≫

(1) H30 年度のサービス予定時間に対するサービス実施率は平均で約 96%。前年度はインフルエンザ流行時(1 月)の利用率が低下したが、H30 年度は概ね予定通り支援が実施できた。

(2) 契約者数増により、H30 年度の平均利用時間は前年度に比べ約 18 時間／月増加している。

基本理念：人権の保障と幸福(しあわせ)を共に創る

別紙４

≪職員研修参加状況≫

（1）職場外研修等参加状況

期　日	研　修　名　等	開　催　地	参　加　者
４月～８月	介護福祉士初任者研修	ニチイ	三島
8/20・21	相談支援専門員初任者研修	松本	市村
12/6	知的障害福祉協会 第３回代表者会	塩尻	市村
12/7	地域で暮らそうフォーラム	長野市	市村
1/29	障がい者サービス管理責任者研修	松本市	市村
2/6・7	障がい者サービス管理責任者研修 介護分野	松本市	市村
2/28・3/1	障がい者サービス管理責任者研修 就労分野	長野市	市村

（2）法人内・職場内研修参加

期　日	研　修　名　等	参　加　者
5/17	第三者評価研修	市村
6/28	精神分野事例検討会	市村
7/10・17	コンプライアンス研修	市村・三島
8/9	一等級研修	市村
8/23	事例検討会	市村・三島
10/22	障がい者年金学習会	市村
10/25	リスクマネジメントセミナー	市村
11/27	ほっとハート合同 リスクマネジメント研修	市村・赤羽目・三島
12/5	一等級研修	市村・赤羽目
1/9	コミュニケーション研修	市村・赤羽目・三島
2/21	事例検討会	市村・赤羽目

平成30年度事業報告書

放課後等デイサービス　エコール親愛

住所：下伊那郡松川町元大島５２３０-９
松川町老人福祉センター内
電話：0265-36-2700
ＦＡＸ：0265-48-6553
E-mail：echol@shin-ai1996.org

平成30年度事業報告書

1. 種別・名称：放課後等デイサービス事業　エコール親愛

(1) 事業区分及び定員・契約者(登録者)数

① 定員10名　契約者数28名

2. 概要

(1) 運営の概要

① 平成30年度、報酬改定が実施され、市町村が行なう「指標にもとづく判定」に該当する障害児（以下、「指標該当児」）の割合によって、事業所が報酬区分された。それに伴い、報酬が大幅に引き下げられた。市町村の判定による「指標該当児」が半数を超えるかどうかという結果にもとづいて、事業所の報酬区分が決まるため、事業所の存続に関わる重大問題が事業所自身で決められない。経営的にも大変厳しく、職員の雇用不安をあおっている状況。

② 延べ人数は、2,880人　と昨年度より243人の減少。平均利用児童数は、10人。利用実績となる。特に長期休暇(夏季休暇・春季休暇)の利用ニーズは高く、8月·3月の利用平均は11.6人。長期休暇がない月は、利用平均が9.7人。比較すると、長期休暇のニーズが高いことが分かる。

② 活動提供では、子ども達が人や地域との繋がりを感じ、いきいきと暮らしていける支援や活動を提供を行うために、松川町の素晴らしい自然を活かし、自然の中で、学校や家庭では体験できない活動をしてきた。地域の社会資源を活用、屋外での活動提供を中心に提供し、森林浴、散策、昆虫採取、デイキャンプ、野外炊飯など自然の中で、自然とひととを交え学習的な要素を交えた活動の中で、子ども達は、自分たちで決まりを守ることの大事さ、仲間と協力する体験、成功体験、また色々な出会いを体験してきた。

③ 今年度はこの中でも特に「安心できる居場所」として、多くの子どもたちが、学校の不満・ストレス・悩みを吐き出せる場所、学校へ行けない子どもがエコールなら行けるなど、子どもたちにとって、学校と家との「中間の居場所」の場所として、「安心でき、自分を出せる居場所」となっている。

④ 職員による不適切な行為に対して、マニュアルの整備を進めている。

⑤ 地域との関わりや交流として、ボランティア活動への参加、社会福祉協議会さんとの交流事業等を実施してきた。

(2) 課題と対応策等　… (1)を受け、次年度に向けて主な課題を箇条書き

① 報酬等については、国の動向を見守ることとなる。収入減少に伴い、経費削減を進めていく。

② マニュアルの整備を随時進めていく。

③ 更なる社会資源の開拓を進める。

3. 利用実績

月	H30.4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
稼働日数	24	24	26	25	24	23	26	23	23	23	23	25	289
利用児数	22	19	20	24	25	19	21	19	24	24	20	26	—
延人数	249	237	229	235	268	204	257	199	235	231	242	294	2,880
平均利用者数	10.4	9.9	8.8	9.4	11.6	8.9	9.9	8.6	10.2	10	10.5	11.7	10

4. 職員配置状況

（H31.3.31 現在）

職種＼雇用形態等	正規	パート	計	国家資格等
施設長（管理者）	(1)		1	
サービス管理責任者	1		1	
児童指導員・指導員	1	5	6	保育士1
事務員	(1)※		(1)※	
合　計	3	5	9	

※他サテライト兼務

5. 安全防災対策 … 避難訓練等の実施状況と内容

(1) 防災計画の見直し

(2) 避難訓練・学習会の実施

日　時	内　容
6月19日	避難訓練
11月10日	焼き芋を兼ねて防災学習会(児童向け)
3月28日	避難訓練
3月29日	

6. 公益的取り組みの状況

日時	実施内容
7月	あおぞら教室　「夏祭り」のお手伝い 児童：6
10月7日(日)	ボランティア横づな 利用児童3名・その兄弟1名・地域の子ども1名・職員1名

主な施設整備等

(1) 改修等 ･･･なし

(2) 固定資産物品 … 10万円以上のもの

(円)

物品名等	規格等	数量	単価	総額	備考

7. その他(添付資料)

(1) 重点目標及び第2期3か年計画の評価及び達成状況 … 別紙1

(2) 自立支援給付費等の算定に係る体制等の状況
(様式第5号(別紙1)…介護給付費等の算定に係る体制等状況一覧表) … 別紙2

(3) 利用者数等実績一覧表 … 別紙3

(4) 実習、ボランティア等の受け入れ状況 … 別紙4

(5) 職員研修参加状況 … 別紙5

(6) 平面図 … 別紙6

2. 重点目標及び評価

(1) 重点目標

目　　標	具体的な取り組み・課題等	評価
利用児童のニーズや発達段階、障がい特性に応じたサービスの提供	ライフステージに別け、小学生の低学年と高学年の活動と中高生の活動と３つに別け活動を提供してきた。 ・小学生は、集団活動を通して自己を表現したり、他者と協調したり、リーダーシップを発揮したりするなど、集団活動の中で対人関係のスキルや社会性の学習をしてきた。また、順番で打ち合わせの司会や各活動でリーダーとなり、集団をまとめる経験などを積むことができた。 ・中高校生は、様々なスポーツ活動を通して、ストレスの発散や対人関係や社会性の学習。また、社会人マナー学習やＰＣ学習などの将来を見据えた活動支援を実施。 ・高校生については、希望者に職業体験を実施。果樹園での収穫体験を行う。	B
地域の社会資源の有効活用	・地域の社会資源を利用し活動提供を行う中で、地域で生きる、地域の人たちと関わりながら活動提供の実施ができた。 ・職員が地域の情報を知り、地域と共に事業展開(活動展開)していけるように様々な機関と関わりを持ってきた。 ・コミュニティーカフェご利用者の高齢者との交流事業を実施。夏季休暇中に児童が豚汁を作り食事の提供を行うと共に、一緒に食事をとる。 ・地域のボランティア活動に参加。子どもでも地域のために出来る事はあるはずという子ども達の想いを受け、料理ボランティアに参加。 ・社会福祉協議会ひまわり荘のご利用者さんに、手作りのポプリを作成し、プレゼントを行う。	A
放課後等デイサービスガイドラインに基づいた適切な運営	・毎月の会議で利用状況や経営的な報告を行い、全職員に経営面についても周知し、経営的な感覚(利用料や加算等)についても理解を求めた。 ・子ども達の希望を反映させた活動提供や定期的に子ども達の希望を聞き、活動に反映させ、安定した利用の実現に向け取り組んだ。 ・保護者会を年２回開催し、保護者の要望等を聞きながら事業運営に生かす。	B
保護者、学校、関係機関等との連携の強化相談等の充実	・各学校行事(文化祭見学・スポーツ大会応援・参観日)に参加し、学校での様子や授業内容を見学した。 ・必要に応じ、学校と支援会議を開催。また、連絡ノートや電話での情報交換を実施。 ・松川町福祉を考える集会では、子どもを取り巻く環境や支援について、地域の課題や今後の展望について話し合いを行う。	B

事業所の収益を子ども達の支援や活動の充実、環境整備費への有効活用へ	・子ども達の希望を聞きながら、優先順位をつけ、計画的に必要な活動備品購入を行う。備品が増えたことで活動がスムーズに行えることにも繋がった。	B
人材育成・職員間の連携、コミュニケーションアップ	・各職員、自分の学びたい研修を受講。伝達研修を行うと共に、日々の実践で生かすことができている。 ・各職員が担当児童を持ち、個別支援計画の原案の作成を行い、個別支援計画の作成のスキル、個別支援計画に沿った支援スキルの向上を行う。 ・日々のミーティングでは、児童の支援について話し合い、統一した支援の提供を目指す。	B
エコール親愛卒業生との交流や相談支援	・卒業生２名については、継続して土曜日や平日に来所があり、職員が本人からの相談に応じ、また下級生との交流の機会を持つ。 ・卒業しても「心の居場所」としての機能を担っている。	A

(2) 第１期３か年計画(平成 30 年度～平成 34 年度)の基本方針

目　　標	具体的な取り組み・課題等	評価
方針１：安心・安全、居心地のよい事業所の環境整備を進める ① 事業所の移築に向け、利用児童たちが安心して過ごせる環境の整備を進める。 ② 共生社会を実現するための環境整備を進める。	・老人福祉センターの耐震の課題と町として、地域共生社会の実現に向け、旧ハローミヤさんへの移転・統合の計画がスタートした。松川町地域福祉連絡協議会や元気センター(仮称)検討委員会に出席し、地域共生社会の実現に向け検討を進めてきた。また、元気センター(仮称)への放課後等デイサービス提供事業所の公募に応募し、１次、２次審査を受け、提供事業所と決まる。	A
方針２：上伊那圏域への事業展開の検討と準備 ① 上伊那圏域への事業展開を視野に入れ、児童発達支援センターの知識を深める。 ② 事業展開に向け、人材の育成を行う。 ③ 上伊那圏域への事業展開について具体的な構想、事業計画の検討を進めていく。 ④ 将来的を見据え、安定した運営を行うために、ニーズ、社会変化、国の方針などを含め、法人の今後の進むべき方向性を見ながら、事業展開については慎重に進めていく。	・上伊那圏域における放課後等デイサービスのニーズは継続してある。 ・今年度、法人として当面新規事業を行わないという方針となるが、地域のニーズの調査を進めると共に、法人の今後の進むべき方向性を見ながら、事業展開については慎重に進めていく。 ・エコール親愛として、上伊那圏域の自立支援協議会の療育部会に参加し、上伊那圏域のニーズの把握等を行ってきた。	C

方針３：地域に開かれた信頼される事業所作り 福祉サービスの枠を超えた事業展開 ・不登校児の居場所作りや自然体験型の活動を通じた地域の教育力向上への支援。 ・世代間交流を含め、人と人が繋がる事業提供。	・不登校児の居場所作りとして、午前から受け入れを行っている。 ・地域共生社会の実現に向け、コミュニティーカフェさんとの交流事業や社会福祉協議会さんとの交流企画を実施。 ・地域のボランティア活動に参加。	B
針４：定員の見直しを含めた新たな事業展開 この期間の利用実績を見ながら、定員の拡大、新たな事業展開など様々な方向性を検討を行い、必要に応じ事業を進める。	利用実勢に見合った職員配置を行ってきたが、利用児童の増加やニーズの多様化により、随時見直しを行う必要がある。女性児童の増加に伴い、女性職員の配置が今後の課題	

※1　評価：A：目標以上　　B：目標をほぼ達成　　C：達成していない

障害児通所・入所給付費の算定に係る体制等状況一覧表

提供サービス	特例による指定の有無（※1）	定員規模（※2）	施設等区分	主たる障害種別	その他該当する体制等		適用開始日
各サービス共通					地域区分	11. 一級地　12. 二級地　13. 三級地　14. 四級地　15. 五級地 16. 六級地　17. 七級地　18. その他	
放課後等デイサービス				1．重症心身障害以外 2．重症心身障害	障害児状態等区分	1．非該当　2．区分１の１　3．区分１の２　4．区分２の　5．区分２の２	
					児童指導員等配置	1．なし　2．あり	
					定員超過	1．なし　2．あり	
					開所時間減算	1．なし　2．あり	
					開所時間減算区分（※3）	1．４時間未満　2．４時間以上６時間未満	
					職員欠如	1．なし　2．あり	
					児童発達支援管理責任者欠如	1．なし　2．あり	
					自己評価結果等未公表減算	1．なし　2．あり	
					児童指導員等加配体制（Ⅰ）	1．なし　2．専門職員（理学療法士等）　3．児童指導員等　4．その他従業者	
					児童指導員等加配体制（Ⅱ）	1．なし　2．専門職員（理学療法士等）　3．児童指導員等　4．その他従業者	
					看護職員加配体制	1．なし　2．Ⅰ　3．Ⅱ　4．Ⅲ	
					看護職員加配体制（重度）	1．なし　2．Ⅰ　3．Ⅱ	
					福祉専門職員配置等	1．なし　3．Ⅱ　4．Ⅲ　5．Ⅰ	H31.4.1
					特別支援体制	1．なし　2．あり	
					強度行動障害加算体制	1．なし　2．あり	
					送迎体制（重度）	1．なし　2．あり	
					延長支援体制	1．なし　2．あり	
					福祉・介護職員処遇改善加算対象	1．なし　2．あり	
					福祉・介護職員処遇改善特別加算対象	1．なし　2．あり	
					キャリアパス区分（※5）	1．Ⅲ（キャリアパス要件（Ⅰ又はⅡ）及び職場環境等要件のいずれも満たす） 2．Ⅴ（キャリアパス要件及び職場環境等要件のいずれも満たさない） 3．Ⅳ（キャリアパス要件を満たさない） 4．Ⅳ（職場環境等要件を満たさない） 5．Ⅱ（キャリアパス要件（Ⅰ及びⅡ）及び職場環境等要件のいずれも満たす） 6．Ⅰ（キャリアパス要件（Ⅰ及びⅡ及びⅢ）及び職場環境等要件のいずれも満たす）	
					指定管理者制度適用区分	1．非該当　2．該当	
					共生型サービス対象区分	1．非該当　2．該当	
					共生型サービス体制強化（※6）	1．非該当　2．Ⅰ　3．Ⅱ　4．Ⅲ	
					地域生活支援拠点等	1．非該当　2．該当	

別紙３

利用児童数等実績一覧表

(1)　契約児童：28名

(2)　学年別

	小学生						中学生			高校生・高等部			
学年	1	2	3	4	5	6	1	2	3	1	2	3	
男	1	2	1	1	1	2	0	0	6	2	2	1	19
女	0	1	0	1	1	4	0	1	0	0	0	1	9
計	1	3	1	2	2	6	0	1	6	2	2	2	28

(3)　地域別

	松川町	中川村	大鹿村	喬木村	飯島町	計
合計	22	2	1	2	1	28

別紙４

実習・ボランティアの受け入れ状況

日にち	氏名・所属	内容
８月～１１月	飯田女子短期大学幼児教育科学生５名	実習
毎月１回程度	エコール卒業生　藤田様	活動ボランティア

別紙５

職員研修

月	研修名	開催地	参加者
４月	新任職員研修	飯田市	福沢
５月	飯伊圏域自立支援協議会子ども部会	飯田市	関
６月	法人内研修　事例検討会	松川町	田中・関
	障がい者の権利擁護研修	飯田市	福沢
	上伊那圏域自立支援協議会	伊那市	関
	飯伊圏域自立支援協議会子ども部会	飯田市	関
	法人内研修　事例検討会	松川町	全職員
	法人内研修　１等級研修	松川町	福沢
７月	全国知的障がい者施設長会議	東京	関
	コンプライアンス研修	松川町	全職員
	飯伊圏域自立支援協議会子ども部会	飯田市	福沢・関
８月	法人内研修　自閉症分野事例検討会	松川町	田中・関
９月	飯伊圏域自立支援協議会子ども部会	飯田市	福沢・関
	法人内研修　虐待防止研修	松川町	全職員
10月	飯伊圏域自立支援協議会子ども部会	飯田市	福沢・関
	法人内研修　障がい年金学習会	飯田市	田中・関
11月	飯伊圏域自立支援協議会子ども部会	飯田市	福沢・関
	法人内研修　１等級研修	松川町	福沢
	感染症研修	飯田市	福沢
	子ども応援　プラットホーム	飯田市	関
	事業所　感染症研修	松川町	全職員
12月	法人内研修　１等級研修	松川町	福沢
	飯伊圏域自立支援協議会子ども部会	飯田市	福沢・関
１月	法人内研修　コミュニケーション研修	松川町	全職員
	飯伊圏域自立支援協議会子ども部会	飯田市	福沢・関
	発達障がい者サポーター養成研修講師	飯田市	関
２月	飯伊圏域自立支援協議会子ども部会	飯田市	福沢・関

別紙６

平成30年度苦情受付一覧表

No.	期　　日	苦情申出者氏名	苦情の種類	苦情のレベル	原因	内　　容	対　　応	第三者委員立会い
1	2018.7.22	利用児童	職員の対応	相談		職員に注意された際に、叩かれた、怖い等の訴えがある。	エリアマネージャーに報告、法人の判断で松川町虐待防止センターへ通報。最終的に不適切な行為と判断が下り、事業所として、児童への心理的面でのサポート(個別面談等)や保護者説明会を開催し、状況と対応について説明。再発防止に向け、事業所として、各種マニュアルの整備を進めると共に、日々の職員ミーティングで支援の統一を図る。	無

松川町老人福祉センター（松川町元大島 5230-9）

昭和 50 年 4 月開設　鉄筋コンクリート造

敷地面積		2,792 ㎡	・ゲートボール場（1 面）
建築面積	1F	351.54 ㎡	・駐車場（23 台）
	2F	192.69 ㎡	
	計	544.23 ㎡	

平成30年度事業報告書

相談支援事業所　松川町障がい者相談支援センター

住所：下伊那郡松川町元大島2930－1
電 話：0265-36-7580
ＦＡＸ：0265-49-0153
E-mail：soudan@shin-ai1996.org

平成30年度事業報告書

1. 種別・名称：相談支援　松川障がい者相談支援センター

(1) 事業区分及び定員・契約者(登録者)数

① 特定相談支援事業：　契約者数152名

② 障害児相談支援事業：　契約者数20名

2. 概要

(1) 運営の概要

① 専従の相談支援専門員を2名配置し、下伊那・上伊那圏域に対応できる職員体制をとった。しかし、重層的・複雑化するケースが増加し、新規契約者を制限せざるを得ない状況があった。

② 松川町より受託している自殺対策・精神福祉相談窓口事業では専用ダイヤルによる相談窓口を開始した。（週1回）

③ 飯島町障がい者地域活動支援センターやすらぎ内にて、障がい者や家族等を対象にした基本相談窓口を開設した。（月1回）

(2) 課題と対応策等

① 相談支援事業の在り方

新規契約や困難ケースに対応していく体制を作るために、実態に沿った相談支援専門員の配置ができる事業運営、仕組みを圏域と連携し整えていく必要がある。

② 相談支援専門員のスキルアップ

困難ケースや自殺対策・精神福祉窓口等に対応できるよう、各種研修会やケース検討会等に参加し、各相談支援専門員のスキルアップを図っていく。

3. 利用実績

月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	合計
サービス等利用計画	特定	7	3	21	16	7	8	4	8	4	6	9	16	109	142
	障害児	1	0	15	1	0	0	1	0	0	0	0	15	33	
モニタリング	特定	8	13	12	10	12	16	14	10	30	13	12	5	155	171
	障害児	1	0	0	0	0	4	1	0	1	3	0	6	16	

4.　職員配置状況

（H31.3.31 現在）

職種＼雇用形態等	正規総合	正規一般	パート	嘱託職員	計	国家資格等
施設長（管理者）	1(1)				1	社会福祉士
所長･相談支援専門員	1(1)				1	社会福祉士・精神保健福祉士
相談支援専門員	1				1	社会福祉士・介護支援専門員
合　計	3(2)				3	

5.　安全防災対策　…　避難訓練等の実施状況と内容（松川町地域活動支援センターと合同）

(1)　10 月 5 日　防災訓練（火災）　避難訓練、消火訓練

(2)　3 月 18 日　防災訓練（地震・火災）　避難訓練、救命訓練

6.　公益的取り組みの状況

(1)　法人公益的事業への参加

7.　主な施設整備等

(1)　改修等

なし

(2)　固定資産物品

なし

8.　その他(添付資料)

(1)　重点目標及び第 3 期 5 か年計画の評価及び達成状況　…　別紙 1

(2)　職員研修参加状況　…　別紙 2

2. 重点目標及び評価

(1) 重点目標

目　　標	具体的な取り組み・課題等	評価
地域の相談窓口としての機能充実を図る	身近な地域で障がい種別や課題別によらない総合的な相談窓口の設置に向けて、今年度は飯島町に月 1 回相談窓口を設置した。計画相談だけでなく、地域ケア会議や医療機関のカンファレンス等にも出席し、関係機関との連携を図った。	B
相談者の希望に沿った包括的且つ継続的な支援の実施	家庭や事業所への訪問やケア会議を設定して支援の統一を図り、目標に向けた支援が継続して受けられるように丁寧なモニタリングを行った。専従相談支援専門員を 2 名配置し、広いエリアに対応できるように体制を整えた。	B
相談支援専門員の力量形成	圏域の自立支援協議会への参加や事業所内でのケース検討会、月 1 回の飯島町や松川町の保健師等とケース検討等は継続して行った。また、今年度は各種研修参加により専門性の高い支援を実施できる体制を整えることができ、加算を取得できた。	B
こころの健康相談窓口の体制作り	松川町から自殺対策相談窓口の委託を受け、H29 年度に開設し、H30 年度からは専用ダイヤルによる相談窓口を毎週水曜日に設置し、1件の相談があった。担当職員の研修等は今年度実施するこができなかった。	C

(2) 第 3 期 5 か年計画（H30 年度～R4 年度）の進捗状況

目　　標	具体的な取り組み・課題等	評価
困難ケースへの対応強化	H30 年度は職員の退職等により困難ケースや新規ケースへの対応を見合わせた。職員のスキルアップとしては事例検討会や研修等に参加することで、体制加算の取得にもつながっている。H 30 年度は県内での主任相談支援専門員研修の開催がなかった。	C
地域の実情に合わせた相談支援専門員の体制作り	飯島町での障がい福祉相談窓口の開設をH30 年 6 月より開始した。専従の相談支援専門員 2 名を配置してる。H31 年度は非常勤の相談支援専門員が配置され、特定事業所加算Ⅳを申請する見込みである。計画相談だけでなく、地域ケア会議や医療機関のカンファレンス等にも出席している。	B
こころの健康相談窓口の体制作り	H29 年度より松川町から自殺対策相談窓口の委託を受け、H30 年度からは専用ダイヤルによる相談窓口を毎週水曜日に設置した。松川町自殺対策関係機関連絡会に出席し、松川町自殺対策基	B

	本計画の策定等を行った。	

※1　評価：A：目標以上　　B：目標をほぼ達成　　C：達成していない

(3)　コメント

①　H29 年自殺対策・精神保健相談窓口開設により、地域の相談窓口として更なる相談員のスキルアップや関係機関との連携が必要となる。

別紙２

職員研修

期　日	研修名	参加者
毎月	事例検討会（法人主催）	全職員
隔月	飯伊自立支援協議会　人材育成部会、専門員の会	藤澤、中原
５月～２月	「元気センター(仮称)」検討委員会他	藤澤
５月23日	信州子どもカフェ　プラットフォーム交流会（松本市）	大澤 EM、藤澤
５月29日	上伊那自立支援協議会　相談支援部会	藤澤
６月15日	障がい者権利擁護研修会（自立支援協議会主催）	中原
６月21日	知障協　相談支援部会（塩尻市）	藤澤
６月28日	福祉を考える企業の会後援会	大澤ＥＭ、藤澤
６月28日、 11月５日	松川町自殺対策関係者連絡会	大澤ＥＭ、藤澤
７月30日、31日	地域移行・地域定着研修	藤澤
８月29日、 ９月６，７日	相談支援従事者現任者研修	大澤ＥＭ、中原
９月、12月	精神科領域実践セミナー	中原
10月９日	（社福）佛子園視察研修（松川町主催）	藤澤
１月30日	南信州プラットフォーム全体会議	大澤ＥＭ、藤澤
２月８日	相談支援専門分野研修（児童）	中原
３月26日	駒ヶ根市相談支援専門員の会	藤澤

平成30年度事業報告書

（名古屋エリア・刈谷エリア）

1. 法人本部
2. 親愛の里松川
3. ほっとハート親愛
4. 親愛の里夢工房
5. 親愛の里シンフォニー
6. 親愛の里紙ふうせん
7. 松川町地域活動支援センターあすなろ
8. 飯島町障がい者地域活動支援センターやすらぎ
9. コーポヘルメス
10. 障がい者サポートセンター親愛
11. エコール親愛
12. 松川障がい者相談支援センター
13. 親愛の里そよかぜ … P1～11
14. ハートランド森 … P13～22
15. クオーレ … P23～32
16. ジョブサポートフォルテ … P33～47
17. ぱれっとハウス … P49～62
18. 中村区障害者基幹相談支援センター … P63～71
19. 熱田区障害者基幹相談支援センター … P73～83
20. 南区障害者基幹相談支援センター … P85～95
21. 運営改善委員会 … P97～101
22. 防災委員会 … P102～103
23. 親愛の里保育園 … P105～120

社会福祉法人親愛の里

平成30年度事業報告書

親愛の里そよかぜ
＜精神障害者地域活動支援センターⅠ型＞

住　　所：名古屋市中村区豊国通3-10
電話番号：052-462-9300

平成30年度事業報告書

1. 種別・名称：地域活動支援センター　親愛の里そよかぜ

(1) 事業区分及び定員・契約者(登録者)数

① 地域活動支援事業Ⅰ型：定員20名　契約者数84名

2. 概要

(1) 運営の概要

① 当事業所の利用者は就労継続支援事業など他施設と併用して利用している人や一般就労している人が約9割を占めている。そのため今年度は仕事後に利用できるよう夕方のプログラムを充実させてきた。土曜日の利用は多く、夕食サービスを利用する者も増えている。人と交流したり余暇を楽しむ場所としての役割を担っている。

② そよかぜふくしフェスタを年2回開催した。内容は障がい者スポーツのボッチャ、折り紙やカード、お菓子づくり、利用者のコンサートなど気軽に参加できて楽しめるものとした。地域の方々も子供連れでの参加があり利用者との交流ができていた。親愛ニュースやパンフレットも配布し障がい理解につながった。その他、学生の実習や見学、中高生ボランティアなども積極的に受け入れを行なった。

(2) 課題と対応策等

① 利用者確保に向けて1日のプログラム数や、人気のある調理プログラムを増やすなどしてきたが利用率の増加にはつながっていない。来年度はプログラム以外の時間に利用者が談話室で過ごしやすい環境をつくるため職員も談話室にいる時間を増やしていく。

② 地域啓発のため親愛の里そよかぜの概要やプログラムなどのPR文を作成し地域の大学にボランティアを呼び掛けたがまだ継続して参加する学生はいない。来年度は専門学校にも広報していく。地域の高齢者サロンの方々がイベント時にはボランティアとして参加している。

3. 利用実績

・登録、利用状況

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
登録者数	78	89	90	81	84	82	83	83	84	89	90	83
平均利用人数	13.6	13.3	14.0	14.0	15.0	15.0	15.0	13.0	13.0	14.0	14.6	15.0

・年齢（延べ人数）

	20代	30代	40代	50代	60代	計
男	4	4	17	12	7	44
女	7	8	12	10	3	40
計	11	12	29	22	10	84

・居住区

	中村区	中川区	千種区	昭和区	西区	北区	中区	緑区	港区	東区
人数	52	12	1	1	2	1	2	2	5	1

	清洲市	春日井市	伊賀市	大治町	合計
人数	2	1	1	1	84

4. 職員配置状況

（H30.3.31 現在）

職種＼雇用形態等	正規総合	正規一般	パート	嘱託職員	計	国家資格等
施設長（管理者）	1(1)					精神保健福祉士 1
サービス管理責任者						
生活支援員		2	1			精神保健福祉士 1
合　計	1	2	1			

5. 安全防災対策 … 避難訓練等の実施状況と内容

(1) 9/26　防災訓練　ハザードマップを使用し、避難所の確認をした。

(2) 3/16　避難訓練　そよかぜクッキングにて防災食を作り食べ、避難訓練に関する DVD を観てそよかぜ１階入り口付近に避難した。

6. 公益的取り組みの状況

(1) プログラムを地域の方にも開放しており、手話、ヨガ、書道教室などに地域の方々が参加している。そよかぜのパンフレットや親愛ニュースなどを渡したり利用者とのふれあいを通して障がい理解にもつながっている。

7. 主な施設整備等

(1) 改修等

事　業　名　等	事業費総額	内補助金等	備　考（竣工月）
エアコン室外基板 2 台分 (4316V385)交換	109,296 円	円 (補助団体　)	9 月
食洗機修理(内部カゴ)	9,396 円	円 (補助団体　)	12 月

食洗機修理	49,759 円	円 (補助団体　　)	H31 年 2 月
建物修理(3 階電気)	129,600 円	円 (補助団体　　)	H31 年 2 月

(2) 固定資産物品　：　記載事項　特になし

8. その他(添付資料)

(1) 重点目標及び評価　…　別紙　1

(2) 実習、ボランティア等の受け入れ状況　…　別紙　2

(3) 職員研修参加状況　…　別紙　3

(4) 苦情等の状況　…　別紙　4－1

(5) 平面図　…　別紙　4－2

重点目標及び評価

(1)　重点目標

目　　標	具体的な取り組み・課題等	評価
支援の充実 ①利用者アンケートをもとに過ごしやすい環境作り ②プログラム利用の仕方などについてマニュアルを作成する ③幅広い利用者に対応できる力をつけるための学習を行う	①利用者の多い土曜日に調理プログラムの要望があったり本の貸し出し希望があったため、取り入れた。また談話室で利用者のみだと過ごしにくいという声もあったためなるべく職員が事務的なこともしつつ利用者と過ごせるように環境を整えた。 ②職員のミーティングにて手順や決まりなどを確認し記録に残してあるがマニュアルとしてはまとめられていない。 ③利用者の言動で気になったことがあった時には全職員が仕事の手を止めて 5 分間、どう対応したらいいのか意見を出し合うというルールを設け実行した。法人内の親愛の里学習会、若葉学習会社会福祉協議会の研修等にも積極的に参加した。	B
地域における公益的な活動の推進 ①地域に向けての行事を行う ②プログラムの地域開放 ③法人の他事業所と協働し講演会を行う	①そよかぜふくしフェスタを年 2 回開催しボッチャ、お菓子や折り紙でカードづくりなど利用者と地域の方が交流し楽しんだ。広報に力を入れ近隣の商店にもチラシを掲示していただいた。地域にポスティングも行い地域の方の参加者が増加した。 ②書道や手話教室など継続的に地域の方の参加があった。親愛ニュース等を手渡し啓発活動に繋がっている。 ③各事業所にて地域への啓発活動は行ったが協働して講演会を開催することはできなかった。	B
健全な運営と安定した経営の確立 ①利用者ニーズに応じた柔軟なプログラムを行う	①他事業所と併用している利用者が 90%いるため、夕方の時間帯にプログラムを入れ柔軟に対応した。しかし利用率の改善が見られないため課題が残る。来年度は談話室に職員がいる時間を増やし始めての利用者でも過ごしやすい環境を作る。	C

(1)　中長期展望の進捗状況

目　　標	具体的な取り組み・課題等	評価
地域とのつながりを大切にする。当事者だけではなく家族、支援者、関係機関など多くの人たちが集い、学び、活動する場とし誰もが役割をもって主体的に活動することを支援し、地域福祉の拠点としての機能の充実を図る。	・家族・支援者・関係機関と連携を図りながら利用者支援に務め、また基幹センターと協力をしながらサービス担当者会議やケース会議などに参加した。地活としての役割を再確認し支援にあたることができた。 ・学生実習、看護学生見学、中高生ボランティアなどの受け入れを行なった。そよかぜふくしフェ	B

	スタを行い地域啓発に努めた。地域の店舗にチラシを掲示したり各戸にポスティングをしたりして地域の方の参加が増加した。	

※1　評価：A：目標以上　　B：目標をほぼ達成　　C：達成していない

(2)　コメント

そよかぜふくしフェスタを年２回開催し地域啓発に力を入れた。しかし利用率の向上には課題が残っている。地域活動センターには初めて福祉施設を利用する方も多数いる。そういった方々が安心して来られる居場所として、談話室をより利用しやすいよう職員が談話室にいる時間を確保し環境を整えていく。

別紙　2

実習・ボランティア等の受入状況

日 程　および　日 時	氏 名　もしくは　人 数	内　　容
週２回（火曜日・金曜日）	磯野さん	談話室での利用者対応
3/20,23,27,30, 4/3,10,13,17,20,24	磯野さん	利用者対応（談話室・プログラム）
4/17	野津さん、唐木さん	プログラム対応
4/19	中央看護学生（７名）	事業所説明、建物内見学
4/20	中央看護学生（４名）	事業所説明、建物内見学
5/1,8,11,15,18,22	磯野さん	利用者対応（談話室・プログラム）
5/29 6/1,5,8,12,15,19	磯野さん	利用者対応（談話室・プログラム）
6/22 7/3,6,10,13,20	磯野さん	利用者対応（談話室・プログラム）
6/16　7/6	日本福祉大：大津さん	利用者・プログラム対応
6/26	南山中学福祉体験	利用者・プログラム対応
7/6,7	たちばな学園（栗山さん）	利用者・プログラム対応
7/11	小田さん（職員採用のための見学）	施設見学
7/26,27	たちばな学園（桐山さん）	施設・プログラム見学
8/16	日本福祉大学（東野さん）	利用者・プログラム対応
7/19	野津さん、唐木さん	プログラム対応
7/24	磯野さん	利用者対応（談話室・プログラム）
8/21～23	夏休み中高生ボランティア	利用者対応（談話室・プログラム）
8/16	野津さん、唐木さん	プログラム対応
8/30～31	愛知医療福祉専門学校　（近藤さん）	利用者対応（談話室・プログラム）
9/11	野津さん、唐木さん	プログラム対応
10/2～4	日本福祉大学実習服部さん	利用者対応、プログラムの参加など
10/3	医師会看護学生見学６名	施設見学
10/16	野津さん、唐木さん	プログラム対応
10/2,5,12,16,19,23	磯野さん	利用者対応（談話室・プログラム）
10/30 11/2,6,9,13,16, 20,30	磯野さん	利用者対応（談話室・プログラム）
10/25～27	同朋大学実習生後藤さん	利用者対応、プログラムの参加（中村区区民祭りステージ発表など）
11/8～10	同朋大学実習生小黒さん	利用者対応、プログラムの参加
11/22～24	愛知淑徳大学実習生板津さん	利用者対応、プログラムの参加
11/20	野津さん、吉田先生	ソフトバレーボール

日 程　および　日 時	氏 名　もしくは　人 数	内　　容
12/4,7,8,11,14,18,21	磯野さん	利用者対応、プログラムの参加など
12/8～12	愛知淑徳大学実習生戸田さん	利用者対応、プログラムの参加
12/13～15	愛知淑徳大学実習生永田さん	利用者対応、プログラムの参加
12/13	吉田先生、野津さん	ソフトバレーボール
12/25,28, 1/4,8,11,15,18,22	磯野さん	利用者対応、プログラムの参加など
1/16	吉田先生、野津さん	ソフトバレーボール
1/29 2/1,8,12,19,22	磯野さん	利用者対応、プログラムの参加など
2/5	吉田先生、野津さん	ソフトバレーボール
2/26 3/1,5,8,12,15,19,22, 26	磯野さん	利用者対応（談話室・プログラム）
3/5	吉田先生、野津さん、唐木さん	ソフトバレーボール

別紙　3

職員研修参加状況

期　日	研修名	主催	参加者
4/19	フラワー学習会	親愛の里	中野
4/25	親愛の里学習会	親愛の里	小林
5/2	若葉学習会	親愛の里	小林
5/16	第三者評価学習会	親愛の里	小林・中野
5/23	親愛の里学習会	親愛の里	小林・中野
6/20	フラワー学習会	親愛の里	中野
6/27	親愛の里学習会	親愛の里	中野
7/18	フラワー学習会	親愛の里	中野
8/22	親愛の里学習会	親愛の里	中野
8/24	若葉学習会	親愛の里	小林
9/14	若葉学習会	親愛の里	小林
9/26	親愛の里学習会	親愛の里	小林・中野
10/24	フラワー学習会	親愛の里	小林
11/28	親愛の里学習会	親愛の里	中野
12/6	若葉学習会	親愛の里	小林
12/13	福祉大会実行委員会	親愛の里	中野
12/14	M.N さんケース会議	ゆたか福祉会	小林・中野
12/19	親愛の里学習会	親愛の里	小林
1/23	親愛の里学習会	親愛の里	小林・中野
2/27	親愛の里学習会	親愛の里	中野

平成30年度苦情受付一覧表

別紙　4－1

No.	期　　日	苦情申出者氏名	苦情の種類		苦情のレベル	原因	内　　容	対　　応	第三者委員立会い
1	平成30年11月24日	本人	1	サービス内容(職員の接遇)	1	2	利用者名簿に印鑑を押すところに行ったら職員に「これ書いて」と言われた。目上であり社会経験もある。その光景を見ていた職員も何も言わないなら障がい者を下に見ているのと同し。職員の机の上に置いてある自分の作品を触ろうとしたら職員に「触らないで」と言われた。他のものには触らないことが分かっているがそうしているというような「決めつけ」があると感じた。名古屋市に抜き打ちで見に来てもらえるよう言う。市役所へは。本人、市、職員を含めて面談の場を設けてほしいとの意向。	名古屋市障害者支援課より電話があり状況を説明すると特段問題なく対応しているので利用者がきたら対応してくださいとのこと。その後、利用者の希望で利用者、常務、エリアマネージャー、職員と話し合った。職員の机上には個人情報があるかもしれないので皆さんに机にはあまり近づかないように伝えていることを再度説明し謝罪した。現在は以前と同様にそよかぜを利用している。	なし

※苦情の種類
1　サービス内容(職員の接遇)　…　1件
2　サービス内容(質・量)　…　0件
3　事故、被害、損害　…　0件
4　事業所運営　…　0件
5　契約内容　…　0件
6　建物の構造　…　0件
7　その他　…　0件

※苦情のレベル
1　要望(本人の意向、意見、主張など)　…　1件
2　請求（法的責任に基づく権利の主張など）　…　0件
3　責任追及レベル(契約不履行に伴う責任追及など)　…　0件
4　その他　…　0件

※苦情の発生原因
1　説明・情報不足　…　0件
2　職員の態度・言動　…　1件
3　サービス内容　…　0件
4　その他　…　0件

実績総数	1件
苦情受付	1件

別紙　4－2

平面図

２Ｆ

３Ｆ

2F　事務所
各プログラムなどは　3F　多目的室を使用

平成30年度事業報告書

ハートランド森
〈精神障害者地域活動支援センターⅠ型〉

住　所：名古屋市熱田区横田２丁目４番16号
電話：052-682-7877　FAX:052-681-7052

平成30年度事業報告書

1. 種別・名称：地域活動支援センター　ハートランド森

(1) 事業区分及び定員・契約者(登録者)数

① 地域活動支援事業Ⅰ型：定員20名　契約者数名49名

2. 概要

(1) 運営の概要

① 30年度の月平均利用者数は12.7人であった。男性利用者が多く、年齢は50代以上が一番多い。男女合わせて40代以上が約8割を占めている。過ごす場所が2階地活スペースしかなく、昨年度より1日の平均利用人数が増えてきているため、座る場所やロッカーが足りないなどの問題が出てきている。12～13 人くらいになると圧迫感を感じ、過ごしにくさがある。

② プログラム活動としては、「自分たちでプログラムを考えたい」「以前のように日帰り旅行に行きたい」という声をもとに、「利用者発案企画プログラム」を開始。H30年度は「日帰り旅行」と「バイキング」を利用者主体で行った。

(2) 課題と対応策等

① 定員の20名を見据え、大人数でも過ごせる環境を整えていく必要がある。地活スペースに置いてあるものでたまにしか使わないものを倉庫に片づけたり、会議室が未使用の際は壁を取り払うなどできる対策からとっていく。

② 昨年度のプログラム人気投票やミーティング等における利用者の意見や要望を取り入れながらプログラムを行い、おおむね好評を得ている。しかし、H30年度内には人気投票を行う事が出来ず、来所していない利用者の意見や要望を聞く機会が少なかった。（利用者発案企画プログラムにおいて簡単なアンケートは実施している）次年度は人気投票を行い、来所できていない利用者の要望も取り上げて行けるようにしたい。

3. 利用実績

・登録、利用状況

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
登録者数	50	51	51	49	48	49	48	49	48	48	49	49
平均利用人数	**12.6**	**10.7**	**10.8**	**11.2**	**14.2**	**13.6**	**12.6**	**12.5**	**12.7**	**13.5**	**14.4**	**14.4**

・年齢（延べ人数）

	20～24	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～	計
男	0	1	3	4	4	6	4	11	33
女	0	0	1	1	1	4	3	6	16
計	0	1	4	5	5	10	7	17	49

・居住区

	熱田区	中村区	中川区	港区	南区	合計
人数	31	2	5	6	5	49

4. 職員配置状況

（H31.3.31 現在）

職種＼雇用形態等	正規総合	正規一般	パート	嘱託職員	計	国家資格等
施設長（管理者）	1(1)				1(1)	精神保健福祉士 1
サービス管理責任者						
生活支援員		2	1(0.5)		3(2.5)	精神保健福祉士 2 看護師 1
合　計	1(1)	2	1(0.5)		4(3.5)	

5. 安全防災対策 … 避難訓練等の実施状況と内容

(1) ・9/19…火災を伴う地震が起こったことを想定し、避難訓練を行う。

熱田消防署から水消火器を借りて消化訓練を行う。その後、地震が起きた際の避難の仕方について意見交換を行う。また、電気やガスが止まったことを想定して、カセットコンロを使用し事業所にある食材を使ってカレーを作るなど、災害時を想定した調理を行う。

・3/11…津波を伴う地震が起こったことを想定し、避難訓練を行う。

熱田消防署から DVD を借りて鑑賞後、意見交換をする。その後、日本特殊陶業市民会館にて行われた「楽しみながら学べる！防災・減災コンサート」に参加。演奏中に地震が起こった場合の対応を学んだり、災害時の衣食住体験コーナーにて体験をする。

6. 公益的取り組みの状況

(1) 熱田区役所、イオン千年店、イオン熱田店での物品販売

「あった○（まる）」として、毎月第 1 火曜にイオン千年店での物品販売、5/11、7/27、11/9、2/25、3/22 に熱田区役所での物品販売、8/31 にイオン熱田店にて物品販売を行う。

(2) 地域のイベントへの出店

毎年 4 月の「ライトハウス福祉まつり」にてバザーの出店、10 月の「あったかあつた・

福祉フェスタ 2018」「教会バザー」にてバザー出店（長野県からの果物、小池商品、パン、焼き菓子等の販売）を行う。

(3) 親愛の里学習会の実施

第 4 水曜日に福祉事業所職員向けの学習会（親愛の里学習会）実施。他事業所と顔合わせの機会ともなり、ネットワークを構築することが出来た。

7. 主な施設整備等

(1) 改修等　：　記載事項　特になし

(2) 固定資産物品　：　記載事項　特になし

8. その他(添付資料)

(1) 重点目標及び評価　…　別紙　1

(2) 実習、ボランティア等の受け入れ状況　…　別紙　2

(3) 職員研修参加状況　…　別紙　3

(4) 苦情等の状況　…　別紙　4－1

(5) 平面図　…　別紙　4－2

重点目標及び評価

(1)　重点目標

目　　標	具体的な取り組み・課題等	評価
支援の充実： ①　利用者アンケートをもとに過ごしやすい環境作り ・　様々な利用者がいることを理解しその人の存在が認められる環境を作っていく。 ・　その日の体調に合わせた過ごし方の提案をしていく。 ②　プログラム利用の仕方などについてマニュアルを作成する ・　どの職員でも利用の目的やプログラムにおいて同じ説明ができるようにするためマニュアルを作成する。 ③　幅広い利用者に対応できる力をつけるための学習を行う ・　課ごと毎月事例検討会を開催する。 ・　福祉事業所向けの学習会(親愛の里学習会)を実施する。 ・　外部研修にも積極的に参加し知識の向上とネットワーク構築を図る。	・より充実した暮らしへの提案や工夫などができるよう、セカンドハーベストの食材を積極的に活用した調理プログラム（今日はカレーの日♪、気軽にランチ会、簡単☆お菓子作り）を実施。 ・「目指せ!1 UP!」との名称で社会生活力向上を目指したプログラムを前年度から継続して行った。 ・社会の問題や現状に合わせ、身近なテーマ（障害者差別解消法、健康教室、家庭ごみの分別について）の学習会を開催した。学習会では、障害者差別相談センター職員、名古屋市薬剤師会薬剤師、熱田環境事業所職員の方を招き、専門の方にお話して頂いた。 ・第４水曜日に福祉事業所職員向けの学習会（親愛の里学習会）実施。他事業所と顔合わせの機会ともなり、ネットワークを構築する機会になった ・外部研修にも参加した。	B
地域における公益的な活動の推進： ①地域に向けての行事を行う ・各地活で行っている地域向けの行事の充実。 (そよかぜフェスタ、火曜市バザー、くるくるデー、作品展、エコキャップ活動など) ②プログラムの地域開放 ・一部のプログラムを一般公開し、地域の人たちの参加を積極的にすすめる。 ・プログラムや来所することを通して施設の役割や障がいの理解につなげていく。 ③法人の他事業所と協働し講演会を開催する ・基幹相談支援センターと協働し講演会を開催する。	・もちつき大会を一般開放し、地域の人たちの参加を積極的にすすめ障がい理解・啓発に努めた。 ・火曜市などのバザーでは中部リサイクルの商品のラインナップをかえるなどの工夫をし、常連客も増えてきている。 ・不特定多数の方に知って頂く機会としイオン熱田や名古屋学院大学でのアート展を開催。開催時には、こころの健康についてのパネル展示なども併せて行い精神障がいの理解と啓発を促す機会とした。地域のイベントではバザーを積極的に出店した。 ・月２回基幹センターと合同で「かよういちサロン」を開催。地域の方とプログラムを通して自然な形で交流が図れる場を意識し障がい理解や啓発を促していく機会にしている。	B

健全な運営と安定した経営の確立： ①利用者ニーズに応じた柔軟なプログラムを行う。 ・プログラムの人気投票を継続実施し利用者のニーズや希望に合わせたプログラムを実施する。	・毎月の会議以外にも必要に応じて、職員間で各事業所での取り組み状況や方向性の確認し支援の統一を図った。 ・地活の合同プログラムを開催し職員が必要に応じて、それぞれのセンター間を行き来することで支援体制を整えた。 ・利用者の「日帰り旅行に行きたい」という声から、利用者発案企画プログラムを行った。第１回「ハートランド森日帰り旅行@まるは食堂南知多豊浜本店」、第２回「☆バイキング☆」を企画、実行する。利用者主体で企画をし、どんな内容が良いのかや予算などを話し合い、また必要なことを調べるなど協力し合うことにより社会性を高め、店の予約や当日の司会進行等も利用者が行うことにより社会経験を広げる場とした。	B

(2) 中長期展望の進捗状況

目　　標	具体的な取り組み・課題等	評価
地域とのつながりを大切にする。当事者だけではなく家族、支援者、関係機関など多くの人たちが集い、学び、活動する場とし誰もが役割をもって主体的に活動することを支援し、地域福祉の拠点としての機能の充実を図る。	親愛の里学習会を実施したり、家族会の活動支援、基幹センターと合同で行っているサロンを通して様々な方が来所し集う機会が増加している。また、バザーのチラシのポスティングや果物販売等も積極的に行ない、商品の配達先を新たに開拓する等、利用者が地域の中で役割を持てるよう取り組んだ。今後も地活の場だけにとどまらず、情報発信や外部との連携をより活発に行い、地域での役割を深め、主体的に活動することを支援できるようにしていく必要がある。	B

※1　評価：A：目標以上　　B：目標をほぼ達成　　C：達成していない

(3) コメント

① 利用者の不安・相談に適切に対応するため、利用者の障がい特性に応じた支援をするにあたって、外部の関係機関や職員間での情報共有を図り、支援の方向性の統一をすることができた。

② ウェルカム day 親愛を毎月行っていたが、見学者が来ない月もあった。今後、ウェルカム day 親愛の活性化を図る為、掲示版の活用、バザーや外部へ出た際に案内の配布を行なう等、広報の仕方について検討していく必要がある。

③ 一日の平均利用者数が増えたこともあり、椅子やロッカーの数が足りないなどの問題が起きている。場所が狭いこともあり、利用者が過ごしやすい場所となるよう工夫が必要。

別紙　2

実習・ボランティア等の受入状況

日 程　および　日 時	氏 名　もしくは　人 数	内　　容
4/17	おひさまくらぶ　４名	ボッチャ
4/12	個人ボランティア　１名	気軽にランチ会♪
5/15	おひさまくらぶ　５名	ボッチャ
6/14	個人ボランティア　１名	気軽にランチ会♪
6/19	おひさまくらぶ　６名	ボッチャ
7/19	おふさまくらぶ　17名	第７回ミニミニボッチャ大会
7/26	個人ボランティア　１名	暑気払い（BBQ）
8/16	個人ボランティア　１名	お菓子作り
8/21	おひさまくらぶ　４名	ボッチャ
9/18	おひさまくらぶ　３名	ボッチャ
10/16	おひさまくらぶ　５名	ボッチャ
11/2	個人ボランティア　１名	お菓子作り
11/16,19	同朋大学　１名	精神保健福祉士実習
11/20	おひさまくらぶ　６名	ボッチャ
11/26,27　12/3,4 12/17,18,19,20	淑徳大学　３名	精神保健福祉士実習
1/15	おひさまくらぶ　３名	ボッチャ
1/18	おひさまくらぶ、地域の方　６名	もちつき大会
2/7	おひさまくらぶ、 社協ボランティア　18名	第９回地域交流ボッチャ大会
2/28	個人ボランティア　１名	お菓子作り
3/19	おひさまくらぶ　５名	ボッチャ
3/25	個人ボランティア　１名	お菓子作り

別紙　3

職員研修参加状況

期　日	研修名	主催	参加者
4/28	親愛の里学習会 「高齢者と障害分野の連携について～8050問題～」	親愛の里	内野、今井、後藤
5/16	第三者評価研修	親愛の里	内野、今井、後藤
5/24	親愛の里学習会 「～難病当事者の生活を考える～かけ橋の上から見える景色～」	親愛の里	内野、今井
6/20	親愛の里学習会 「インシデント方式による事例検討」	親愛の里	内野、今井
7/4	法人コンプライアンス研修	親愛の里	内野、今井
7/10	地域活動支援センターⅠ型交流会	地域活動支援センター かたつむり	今井
7/25	親愛の里学習会 「WRAP～元気回復行動プラン～」	親愛の里	内野、今井
8/22	親愛の里学習会 「生活保護について」	親愛の里	内野、今井
9/26	親愛の里学習会 「企業から見た福祉について」	親愛の里	内野
9/26	対人援助技術研修	名古屋市社会福祉協議会	今井
10/24	親愛の里学習会 「インシデント方式による事例検討	親愛の里	内野、今井
10/29	発達障害研修	名古屋市社会福祉協議会	内野
11/28	親愛の里学習会「すぐに使える！SST」	親愛の里	内野、今井
12/19	親愛の里学習会 「障がい特性～高次脳機能障害～」	親愛の里	内野、今井
1/17	救命救急研修	名古屋市社会福祉協議会	今井
1/17	コミュニティ研修	親愛の里	内野、後藤
1/23	親愛の里学習会 「『子どもを取り巻く環境や親の置かれる状況について』」	親愛の里	内野、今井
2/27	親愛の里学習会「愛着障がいについて」	親愛の里	内野、今井

平成30年度苦情受付一覧表

別紙　4－1

No.	期　　日	苦情申出者氏名	苦情の種類		苦情のレベル	原因	内　　容	対　　応	第三者委員立会い
1	平成30年4月17日	匿名男性	4.6	事業所運営 建物の構造	1	1	3～4か月前から突然大きな声を上げられる人がいて、最近行きづらくなっている。実際自分以外にも女性の利用者が怖がっている。行けなくなって顔を見ない人が3名くらいいる。地活として利用制限できないのはわかっているが、運営管理上何とかしてもらえないか。	ワンフロアーしかないため、気になる利用者がいない日を伝えて行く。その日に安心して参加ができるかは、連絡をもらえれば事前に伝えて行くなど今までと変わらない対応をする。25（水）に再度、福祉サービス苦情相談センターに相談者から電話がある予定であったが、27（金）になっても電話は無かったと苦情相談センターからは連絡が入る。基幹職員と面談をしている状況など伝える。	無

※苦情の種類
1　サービス内容(職員の接遇)　…　0件
2　サービス内容(質・量)　…　0件
3　事故、被害、損害　…　0件
4　事業所運営　…　1件
5　契約内容　…　0件
6　建物の構造　…　1件
7　その他　…　0件

※苦情のレベル
1　要望(本人の意向、意見、主張など)　…　1件
2　請求（法的責任に基づく権利の主張など）　…　0件
3　責任追及レベル(契約不履行に伴う責任追及など)　…　0件
4　その他　…　0件

※苦情の発生原因
1　説明・情報不足　…　0件
2　職員の態度・言動　…　0件
3　サービス内容　…　0件
4　その他　…　1件

実績総数	1件
苦情受付	1件

平面図

別紙　4－2

平成30年度事業報告書

クオーレ
＜精神障害者地域活動支援センターⅠ型＞

住　　所：名古屋市南区西桜町31
電　　話：052-883-9258
ＦＡＸ：052-883-9259

平成30年度事業報告書

1. 種別・名称：地域活動支援センター クオーレ

(1) 事業区分及び定員・契約者(登録者)数

① 地域活動支援事業Ⅰ型：定員20名　契約者数27名

2. 概要

(1) 運営の概要

① 平成30年度の月平均利用者数は7.1人と、昨年度に比べて約1名程度低下した。（平成29年度は7.8)。理由として、昨年度ほぼ毎日来所していた利用者のB型事業所への通所、傷病による自宅療養の利用者数が若干増えたことなどが挙げられる。プログラムのみに参加して帰る利用者は少なく、終了後はフリースペースで談笑している利用者が多い。

② プログラム活動としては、今年度より「気軽にお茶会」「クオーレミーティング」など利用者のニーズに合わせ新たに取り組むことで定例プログラムとなった。南区の特色を活かし「春日野学区防災訓練・芸能祭・文化祭」の他、南区社協主催のさわやかウォーク、南障会主催のパチンコ感謝デー景品準備や納品も継続して実施。会場設営・撤収も含め、地域の中で利用者が主体的に役割を持って活動できるよう、プログラムとして組み込んだ。

③ 長野県からの野菜・果物販売等の売り上げは、プログラム料金を格安にすることで還元。季節ごとに目玉となるイベントも企画した。今年度は利用者からの希望をとり、2月にクオーレ初の日帰り旅行（篠島）を実施した。大変好評であった。

④ 他機関との関わりとして、併設するNPO法人 中部リサイクル運動市民の会が運営するリユースショップ『Re☆創庫さくら』（以下、中リ）での定点販売やフェアなどの値付け、POP作成を通し、地域との繋がりを感じてもらえるよう取り組んだ。

(2) 課題と対応策等

① 利用者間のトラブル・職員の接遇についての苦情の多発

必要に応じて利用者と面談を行い、相手との適切な距離の取り方や、コミュニケーションの方法を一緒に考えていく。職員の接遇については、説明力を強化していく。

② 業務分担とマニュアル化

プログラム前に地活職員間での情報共有、担当の確認と引継ぎ、事務時間確保の相談を行った。秋以降は地活のヘルプ職員の来所に伴い、マニュアル化できる業務については文書で残すこととした。

③ 利用者新規開拓

毎月のプログラムやニュース親愛 NAGOYA を各関係機関に紹介する。南基幹本部やサテライト、南HCからの見学・体験が若干増えている。

3.　利用実績

・登録、利用状況

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
登録者数	24	25	26	26	26	26	26	26	26	26	26	27
平均利用人数	8.1	6.0	6.0	6.9	7.2	6.1	7.0	6.7	8.2	8.1	8.3	7.5

・年齢（延べ人数）

	20～24	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～	計
男	0	1	2	3	3	2	2	5	18
女	1	2	2	0	1	1	0	2	9
計	1	3	4	3	4	3	2	7	27

・居住区

	中村区	中川区	千種区	昭和区	西区	北区	緑区	港区	南区	天白区
人数	2	0	0	0	0	0	0	0	24	0
	東区	瑞穂区	大府市	合計						
人数	0	1	0	27						

4.　職員配置状況

（H31.3.31 現在）

職種＼雇用形態等	正規総合	正規一般	パート	嘱託職員	計	国家資格等
施設長（管理者）	1(1)					社会福祉士 精神保健福祉士
サービス管理責任者						
生活支援員	1	2				精神保健福祉士 2　社会福祉士 1
合　　計	2	2				

5.　安全防災対策　…　避難訓練等の実施状況と内容

(1)　平成 30 年 7 月 7 日(土)　春日野学区防災訓練参加

地域の方々とともに春日野小学校体育館へ移動し、避難場所を確認。防災食の受け取り。

(2)　平成 30 年 9 月 12 日(土)　防災訓練①　～防災センターに行こう～

名古屋市港防災センターに赴き、地震・台風・火事の体験コースに申し込みをして参加。

(3)　平成 30 年 9 月 22 日(土)　防災訓練②　～地震・火災～

南消防署より地震による火災の DVD を鑑賞後、2 階調理場からの火災を想定し、避難訓練を実施。水消火器を使い、的に向けて的確に消火器を噴射する練習を行う。

(4)　平成 31 年 3 月 2 日(土)　防災訓練③　～水害～

昼食時にセカンドハーベストで頂いた防災食を食べながら防災意識を高めた。午後のプログラムで南消防署より津波水害に関する DVD を鑑賞後、緊急避難場所の春日野小学校まで徒歩で向かう。クオーレに戻り、ハザードマップで避難場所を改めて確認した。

6. 公益的取り組みの状況

(1) 併設するリユースショップ『Re☆創庫さくら』での物品販売

長野県の野菜や果物、小池農産のジャム等を定点販売した。特に果物は好評でリピーターも多く、入荷の問い合わせも多かったため、その都度掲示をして周知した。また、関係機関への配達や販売先の新規開拓を行ったため、その分売上も向上した。

(2) 3NPO 法人合同 南海トラフ巨大地震に備える！防災炊き出し試食体験

昨年度に引き続き、『セカンドハーベスト名古屋』、『レスキューストックヤード』、中リの合同イベントに場所の提供・協賛団体として参加。今回は「体験」に主眼を置き、防災食の作り方を学ぶというコンセプトで実施。みなみ家族会からも炊き出しにご協力を頂いた。2 階フリースペースでは防災釣りや地震体験などに参加していた子どもたちと触れ合ったり、防災食を食べながら地域住民と交流したりする機会が持てた。

(3) 地域のバザーへの出店、景品提供

4 月には名古屋キリスト教社会館主催の「第 2 回スプリングバザー」、南区社協主催の「第 37 回さわやかウォーク」（大江川緑地公園）に参加。ウォーキングの景品を事前に準備し、当日に納品した。ウォーキングとバザーの出店を一日のプログラムとし、売り上げは 8 万円を超えた。11 月には「南区区民まつり」にてバザー出店を行った。南区障害者関係団体連絡会より受注したパチンコ遊戯場組合の景品 980 個を利用者とともに納品した。

7. 主な施設整備等

(1) 改修等

事　業　名　等	事業費総額	内補助金等	備　考 (竣工月)
トイレ詰まり修理費	7,776 円	円 (補助団体　　)	11 月
トイレ修繕費	43,740 円	円 (補助団体　　)	H31 年 1 月

(2) 固定資産物品　：　記載事項　特になし

8. その他(添付資料)

(1) 重点目標及び評価　…　別紙　1

(2) 職員研修参加状況　…　別紙　2

(3) 苦情等の状況　…　別紙　3

(4) 実習、ボランティア等の受け入れ状況　…　別紙　4－1

(5) 平面図　…　別紙　4－2

重点目標及び評価

(1)　重点目標

目　　標	具体的な取り組み・課題等	評価
支援の充実： ①　利用者アンケートをもとに過ごしやすい環境作り ・　様々な利用者がいることを理解しその人の存在が認められる環境を作っていく。 ・　その日の体調に合わせた過ごし方の提案をしていく。 ②　プログラム利用の仕方などについてマニュアルを作成する ・　どの職員でも利用の目的やプログラムにおいて同じ説明ができるようにするためマニュアルを作成する。 ③　幅広い利用者に対応できる力をつけるための学習を行う ・　課ごと毎月事例検討会を開催する。 ・　福祉事業所向けの学習会(親愛の里学習会)を実施する。 ・　外部研修にも積極的に参加し知識の向上とネットワーク構築を図る。	・　毎月２回「社会生活力プログラム」を企画。生活リズム、セルフケア、地域生活・社会参加など、利用者ニーズに合わせたテーマで実施。 ・　「クオーレミーティング」を３ヶ月に１回の割合で実施。利用者の考えるプログラムや皆でクオーレをどう作り上げていきたいかを話し合えた。 ・　「気軽にお茶会」ゆったりと気楽に発言できる場を作るために週１回実施。コミュニケーション訓練の目的や、プログラム準備の一部を行うことができた。 ・　プログラムの締め切り・内容を試行的に変更（締切を直前にする、当日参加 OK など）した結果、「参加しやすい」「今後も続けてほしい」などの声が上がり、利用者に定着した。 ・　プログラムのマニュアル作成までは及ばなかったが、職員用のクオーレミーティングのレジュメに一部を記載済み。 ・　毎月の事例検討会を行う事が出来なかった。 ・　親愛の里学習会に参加するとともに、学習会担当として機能。外部研修にも参加した。	B
地域貢献・地域づくり： ①　地域に向けての行事を行う ・　各地活で行っている地域向けの行事の充実。 (そよかぜフェスタ、火曜市バザー、くるくるデー、作品展、エコキャップ活動など) ②　プログラムの地域開放 ・　一部のプログラムを一般公開し、地域の人たちの参加を積極的にすすめる。 ・　プログラムや来所することを通して施設の役割や障がいの理解につなげていく。 ③　法人の他事業所と協働し講演会を開催する ・　基幹相談支援センターと協働し講演会を開催する。	・　スプリングバザーへの参加（名古屋キリスト教社会館主催）。各事業所に小物などバザー用品の寄付付を呼びかけた他、Re☆創庫さくらより衣類・陶器を協賛品としていただく。 ・　あつたつながるフェア・ステージ発表に３地活合同として参加。 ・　地域の方の自宅へ、随時エコキャップの受け取りに伺った。 ・　平和美術展、ここバリ作品展、春日野学区文化祭に共同作品や個人作品の展示を行った。 ・　Re☆創庫さくらでの物品販売に加え、８月以降に果物・野菜を利用者と共に配達。 ・　昨年に引き続き３つの NPO 法人・みなみ家族会と協働し、地域における防災炊き出し試食体験を実施。 ・　地域開放プログラム「歌声カフェ」を開催。地域住民からの問い合わせや参加もあった。 ・　Re☆創庫さくら４周年フェアにて、クオーレ２階を貸し出し。AM 布ぞうり作り、PM ヨガ教室を開催。一般の方々も 15 名ほど参加。 ・　南区ささえあい事業の映画上映会のポスティング・ビラ配りを利用者とともに行った。	B

	・ 親愛の里学習会において、福祉事業所・関係機関を中心に講師の依頼を行った。 ・ 内外の研修・講義等に積極的に参加し、知識・相談能力の向上を目指した。 ・ 基幹相談支援センターと協働しての講演会開催までには至らなかった。	
安定した経営と事業運営： ① 利用者ニーズに応じた柔軟なプログラムを行う。 ・ プログラムの人気投票を継続実施し利用者のニーズや希望に合わせたプログラムを実施する。	・ 毎月来所日数の少ない利用者に予定表とニュースレターの送付を継続。(電話での問い合わせがあった際には、最近の様子を聞くとともに、面談や様々な利用の仕方の提案をした) ・ 月 1 回の部会議開催。情報共有や意見交換を行い、利用者の最近の様子や支援についてのポイント、声掛けの仕方について検討。 ・ 人気プログラムの暑気払い BBQ の告知を早めに行い、月末のプログラム発送者にも手紙でお知らせ。昨年度果物の売り上げを一部還元し、無料での参加とした。 ・ 2 年ぶりに大好評の流しそうめん＆かき氷を復活。竹は Re☆創庫さくらに買い物に来られる地域の方（南区在住）より提供。「とても楽しかった」と大好評であった。 ・ 【国際交流】:11 月 24 日(土)そよかぜにて『韓国編』、H31 年 3 月 15 日(金)クオーレにて『タンザニア編』を開催。質疑応答の数も多く、講師との交流も活発に行われた。(タンザニア編) ・ クオーレ初の外食での新年会、初の日帰り旅行（篠島）を企画。利用者の希望をもとに行なう。 ・ 桜の開花に合わせてプログラムを一部変更し、「お弁当を作ってお花見に行こう」を実施。 ・ プログラム人気投票を継続して行うことができなかった（前年度は 3 地活合同で実施）。	B

(2) 中長期展望の進捗状況

目　　標	具体的な取り組み・課題等	評価
当事者だけでなく家族、支援者、関係機関など多くの人達が集い、学び、活動する場とし、誰もが役割を持って主体的に活動することを支援し、地域福祉の拠点としての機能の充実を図る。	「地域福祉の拠点」として 2 階フリースペースを家族会、基幹学習会や中リ会議・学習会で活用してもらうことができた。昨年に引き続き 3NPO 法人協働の防災炊き出し試食体験も取り組んだ。他分野他職種との関わりを通して、地域に根ざすことに力を入れることが出来た。自立支援協議会から依頼されたポスティングや果物販売等も積極的に行ない、利用者が地域の中で役割を持てるよう取り組んだ。しかしまだ地域との繋がりが限定的であることは否めない。今後は情報発信や外部との連携をより活発に行い、地域の中での役割を強化することに努めていきたい。	B

※1　評価：A：目標以上　　B：目標をほぼ達成　　C：達成していない

(3) コメント

① 利用者間のトラブル・苦情があった際には利用者の不安・相談に適切に対応するため、職員間で情報共有を強化した。地活職員だけで対応が難しい場合においては、基幹職員やマネージャーに利用者の相談に乗っていただくなど、連携しながらより良い支援の方法を模索した。

② バザーや地区の多種多様なイベントをプログラムに取り入れ、利用者が地域の中で役割を持てるよう取り組めた。また、利用者の希望をもとに新たなプログラムを企画・実施することができた。プログラムのマニュアル作成については一部の文章化されているものを活用し、来年度形にしていく。

別紙　2

職員研修参加状況

期　日	研修名	主催	参加者
4/25	親愛の里学習会（8050 問題）	親愛の里	瀬川　松本　海野
5/16	親愛の里オープン学習会（第三者評価）	親愛の里	瀬川　松本　海野
5/23	親愛の里学習会（難病について）	親愛の里	瀬川　海野
6/20	フラワー学習会	親愛の里	松本　海野
6/27	親愛の里学習会（事例検討）	親愛の里	瀬川　松本
7/4	平成 30 年度親愛の里職員研修	親愛の里	瀬川　松本　海野
7/18	フラワー学習会	親愛の里	海野
7/25	親愛の里学習会（WRAP）	親愛の里	瀬川　海野
8/22	親愛の里学習会（生活保護）	親愛の里	瀬川
8/29、30	相談初任者研修　合同講義		瀬川
9/14	若葉学習会	親愛の里	瀬川
9/26	親愛の里学習会（企業から見た福祉）	親愛の里	瀬川　海野
10/3	初任研フォローアップ研修		瀬川
10/17	初任者研修　地区別研修		瀬川
10/24	親愛の里学習会（事例検討）	親愛の里	瀬川
11/11	第 10 回　親愛の里福祉大会	親愛の里	瀬川　海野
11/28	親愛の里学習会（SST）	親愛の里	瀬川　海野
12/6	若葉学習会	親愛の里	瀬川
12/19	親愛の里学習会（高次脳機能障害）	親愛の里	海野
H.31/1/10	アンガーマネジメント研修	名古屋市 社会福祉協議会	海野
1/17	職員全体研修（コミュニケーション）	親愛の里	瀬川　海野　佐々
1/23	親愛の里学習会（児童・母子支援施設）	親愛の里	瀬川
2/20	精神障害勉強会	南区自立支援 連絡協議会	佐々
2/27	親愛の里学習会（愛着障がい）	親愛の里	瀬川
3/7	若葉学習会	親愛の里	瀬川

平成30年度苦情受付一覧表

別紙　3

No.	期　　日	苦情申出者氏名	苦情の種類		苦情のレベル	原因	内　　容	対　　応	第三者委員立会い
1	平成30年7月	本人	1・2	サービス内容（職員の接遇） サービス内容（質・量）	要望	1・2	7月4日（水）「昨日のプログラムは利用者1名だったのになぜ行ったのか」と電話にて質問あり。以前、外出プログラムの際に本人1名で中止になったこと、その際の職員の対応に納得できず。職員よりプログラム実施の原則を伝えるも、以前の職員のやり方と今とでルールが異なることに腹を立て、声を荒げる。その後、菅木理事・所長、名古屋市、みなみ家族会の方にも電話で訴えている。	2日後に本人来所、電話対応をした職員から言葉掛けや十分な説明が不足していたことを謝罪。本人からは「簡潔に話してほしい」と要望。本人が興奮状態で話ができない様子であれば、本人にその状態を伝え、時間を置いてもらうか、地活の職員と話ができない場合は所長へ連絡をしてほしい旨を伝えた。また、クオーレミーティングにて来所や各種プログラムの目的を説明。	無
2	平成30年10月	本人	2・4	サービス内容（質・量） 事業所運営	要望	3	10月の予定表で、31日（水）分の記載漏れがあったことについて、本人からマネージャーに苦情の電話あり。「職員としてどうなんですか？」とのこと。	謝罪をするとともに、早急にお知らせを掲示して周知する他、来所した利用者に声掛けを行った。予定表作成の際は先月のものをコピーしてから編集を行うが、曜日・日にち漏れがないよう、職員間でダブルチェックを行った。	無
3	平成31年1月	本人	1・2	サービス内容（職員の接遇） サービス内容（質・量）	要望	4	12/28（金）のプログラムにて利用者Aさんに言われたことがずっと頭に残り、モヤモヤしたまま正月を越したとの訴えあり。職員に、Aさんの物言いについて注意してほしいとの事 。個別に増田マネージャー、基幹職員にも相談をしている。職員より、Aさんが来所された際に職員も入り3人で話をするのはどうかと提案すると、本人了承。しかし、Aさんの来所のタイミングもあり、話し合いまでの日数が延びるにつれて焦り・イライラ感が増し、訴えの頻度が増加。	Aさんの意向もあることなので、話し合いのタイミングは相手次第であるということを伝え続けた。その間、両者の気持ち・考えを整理するため、それぞれと個別に面談する場を２回ほど設けた。各自の考えや思いから、折り合いをつけられる点を模索した上で、1月26日（土）に職員同席のもと、話し合いを実施。お互いに言いすぎてしまった分があったことや、言葉の受け取り方には個人差があることを確認し合い、和解。	無
4	平成31年2月	複数	1・2	サービス内容（職員の接遇） サービス内容（質・量）	要望	4	11月から利用開始となったBさんに対して「ここの利用の仕方やルールについて本人に注意してください」との要望あり。また、「Bさんが自分の悪口を言っている」とBさんと親しいCさんから内容を聞き出している。また、Bさんからも苦情を申し出た方への態度について職員に相談がある。	双方が適切な距離を保ちながら地活利用を継続できるよう見守った。また、他利用者に対しても皆が気持ちよくクオーレを利用していけるよう、場にそぐわない発言・行動が見られた場合には、その本人が気づくことのできるような声掛けを継続。Bさんについてはクオーレで孤立しないよう必要に応じて関わり、他の活動場所の提案を行う。	無
5	平成31年3月	本人	1・2	サービス内容（職員の接遇） サービス内容（質・量）	要望	1・2	①苦情申立ての窓口の件で苦情解決責任者・苦情受付担当者が産休職員の名前のままになっていたことについて「すぐに訂正し再掲示を」との要望あり。 ②3月14日（木）プログラム中、職員の言葉に対して感情的になり、その後所長と面談している。	①翌日に訂正済み（訂正後に第三者委員会に苦情申立てを行っている） ②職員の言葉掛けが分かりにくかったことや、返答の言葉の意味を知りたいとの事。後日増田マネージャー同席の元、職員2名とそれぞれ面談し、解決している。	有

※苦情の種類
1　サービス内容(職員の接遇)　…　4件
2　サービス内容(質・量)　…　5件
3　事故、被害、損害　…　0件
4　事業所運営　…　1件
5　契約内容　…　0件
6　建物の構造　…　0件
7　その他　…　0件

※苦情のレベル
1　要望(本人の意向、意見、主張など)　…　5件
2　請求（法的責任に基づく権利の主張など）　…　0件
3　責任追及レベル(契約不履行に伴う責任追及など)　…　0件
4　その他　…　0件

※苦情の発生原因
1　説明・情報不足　…2件
2　職員の態度・言動　…2件
3　サービス内容　…　1件
4　その他　…　0件

実績総数	5件
苦情受付	5件

別紙　４－１

実習・ボランティア等の受入状況

日程　および　日時	氏名　もしくは　人数	内　　容
月１回	田中さん	将棋クラブ利用者対応
6/2（土）	みなみ家族会（６名）	防災炊き出し試食体験
7/5（木）	ニコニコハウス（２名）	ニコニコハウス実習生
7/10（火）	橘学園　栗山さん	精神保健福祉士現場実習
8/24（金）	岩手県立大学（５名）	コミュニティ福祉サービス実習
10/5（金）～9（火）	日本福祉大学（１名）	精神保健福祉士現場実習
11/13（火）、14（水）	同朋大学（１名）	精神保健福祉士現場実習
11/28(水)～12/18(火)	愛知淑徳大学（計３名）	精神保健福祉士現場実習
1/24（木）	ワークルーム・ぐるっぺ(10名)	クオーレ見学

平面図

別紙　４－２

使用部分
（事務室及び相談室：相談支援事業共用）

平成30年度事業報告書

多機能型事業所　ジョブサポートフォルテ
＜就労移行支援事業、就労継続支援事業B型、
自立訓練事業（生活訓練）、就労定着支援事業＞

住所：名古屋市中村区竹橋町３８－８
電話：052-446-5880　FAX:052-446-5989

平成30年度事業報告書

1. 種別・名称：多機能型事業所　ジョブサポートフォルテ

(1) 事業区分及び定員・契約者（登録者）数

① 就労移行支援事業：定員10名　契約者数10名

② 就労継続支援事業B型：定員39名　契約者数61名

③ 自立訓練事業（生活訓練）：定員6名　契約者2名

④ 就労定着支援事業：定員なし　契約者5名

2. 概要

(1) 運営の概要

① 4月から事業所を移転し、ワークショップ虹とも統合し、事業所の環境も大きく変わった。前年度にフォルテ、虹に在籍していた職員の異動が少なかったため、移転後の事業運営も職員や利用者ともに大きな混乱がなく行うことができた。移転・統合により、利便性の向上や職員の連携のしやすさ、作業環境の改善等、良い変化も多かった。今年度の運営を土台に、利用者支援の質や実績の向上を目指していきたい。

② 就労移行支援事業は、今年度定員が増加したため、年度当初は定員に満たない状況が続いた。その後、新規利用者や当事業所の就労継続支援事業B型からのステップアップの利用者もいて、定員を満たす状況になった。1年間で6名の利用者が一般就労することができた。

③ 就労継続支援事業B型は、新規登録者も多く、季節による利用率の低下もなかった。利用者が増加することで、様々な障がいや状況に合わせた個別支援が求められた。それと同時に、3フロアで分かれた作業活動を職員間で協力しながら、スムーズに運営できるように努めた。

④ 登録者が利用期限を迎えることで、登録者がいない状況もあった。復職支援、訪問型支援を新規で始めることで、ニーズを把握しながら利用者確保に努めた。

⑤ 平成30年12月1日から事業開始。対象となる就職者への説明と登録を行った。新設の福祉サービスではあったが、就職者への定着支援は以前から行ってきたこともあり、説明や申請など利用には大きな混乱はなかった。

(2) 課題と対応策等

① 移転による初期費用が必要なこともあり、年間の収支は赤字であった。福祉サービス等事業収入の確保がさらに求められる。新規登録者の確保による利用者の増加を目指す。また、報酬単価や加算は、就職者や実績等が求められるため、積極的な就労支援による就職者の増加と工賃の向上を目指す。

② 就職者の一般就労が継続していることが基本報酬に大きく影響する。そのために

は、就職者の実績と新規登録者の確保を目指す。事業所内外の作業活動では就労のための準備として限界があるため、事業見学や企業実習を積極的に行う。それに併せての企業開拓も必要になる。

③　新規利用者の確保が必要であり、相談支援事業所等の中間ユーザーへの働きかけを積極的に行う。平均工賃を少しでも上げていく取り組みが必要で、作業内容の見直しや企業開拓、施設外就労先の開拓や物品販売等、工賃向上の新たな取り組みが必要になる。

④　法改正により、自立訓練独自であった復職支援が他の就労系福祉サービスでも支援が可能になった。本来の通所での利用や訪問型支援のニーズを、関係機関とも探りながら事業運営を行う必要がある。

⑤　一般就労が継続する中で、順次利用登録を進める。就職者向けの行事等の交流の機会を設けることも必要だが、支援者の企業や関係機関への調整や支援のスキルが今後さらに必要になる。

3.　利用実績

事業名	就労継続B				定員		39						
月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
開所日数	20	21	21	21	20	17	22	21	19	20	20	20	242
述べ利用者数	735	694	663	656	599	561	711	735	623	593	617	708	7895
利用率(%)	94.2	84.7	81.0	80.1	76.8	84.6	82.9	89.7	84.1	76.0	79.1	90.8	83.7
3ヶ月平均(%)				81.9	79.3	80.5	81.4	85.7	85.6	83.3	79.7	82.0	82.2

事業名	就労移行				定員		10						
月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
開所日数	20	21	21	21	20	17	22	21	19	20	20	20	242
述べ利用者数	112	138	190	196	171	161	231	207	196	159	148	135	2044
利用率(%)	56.0	65.7	90.5	93.3	85.5	94.7	105.0	98.6	103.2	79.5	74.0	67.5	84.5
3ヶ月平均(%)				83.2	89.8	91.2	95.1	99.4	102.2	93.7	85.6	73.7	90.4

事業名	自立訓練				定員		6						
月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
開所日数	20	21	21	21	23	17	22	21	19	20	20	20	245
述べ利用者数	31	17	16	9	0	0	0	0	2	16	15	14	120
利用率(%)	25.8	13.5	12.7	7.1	0.0	0.0	0.0	0.0	1.8	13.3	12.5	11.7	8.2
3ヶ月平均(%)				11.1	6.6	2.4	0.0	0.0	0.6	5.0	9.2	12.5	5.3

事業名	就労定着				定員		なし						
月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
利用者数									1	4	4	5	

・利用者の状況：年齢（延べ人数）

		～19	20～24	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～	計
就労移行支援事業	男	1		2	2	2	1				8
	女					1	1				2
就労継続支援事業Ｂ型	男	1	2	3	6	6	7	8	5	2	40
	女			2	4	3	4	3	3	2	21
自立訓練事業(生活訓練)	男			1	1						2
	女										0
就労定着支援事業	男						1	1	1		3
	女			2							2
	計	2	2	10	13	12	14	12	9	4	78

・利用者の状況：居住区

	中村区	中川区	熱田区	昭和区	南区	北名古屋市	大治町
人数	49	10	2	1	6	1	1
	清須市	大治町	あま市	西区	港区	春日井市	計
人数	1	2	2	1	1	1	78

4. 職員配置状況

（H31.3.31 現在）

職種＼雇用形態等	正規	パート	計	国家資格等
施設長（管理者）	1(1)		1(1)	精神保健福祉士 1
サービス管理責任者	1		1	社会福祉士 1 精神保健福祉士 1
職業指導員 就労定着支援員	1		1	社会福祉士 1 作業療法士 1
就労支援員	1			
職業指導員	1		1	社会福祉士 1
生活支援員	5		5	社会福祉士 2 精神保健福祉士 1
目標工賃達成指導員	1	1	2	社会福祉士 1
事務員	1	1	1	社会福祉士 1 精神保健福祉士 1
合　計	12(1) 4	2	14(1)	

5. 安全防災対策 … 避難訓練等の実施状況と内容

(1) 消防計画関連の訓練：年に 2 回実施

・9 月：火災を中心に ＜ 避難訓練（誘導）、消火訓練、講話 ＞

・3 月：地震、津波を中心に ＜ 避難訓練（誘導）、DVD での学習 ＞

(2) 防犯関連

・さすまたの講習会を実施し、全職員で使用方法の共有を行い、安全対策に努めた。

6. 公益的取り組みの状況

(1) 事業計画の中での「地域貢献（地域づくり）」の取り組みとして

・事業所の開放（主に 2 階：フリースペースと自立訓練の調理場の活用）
物品販売の活動を通して、地域の状況やニーズを探ったが、開放するまでのイベント等は開催できなかった。

・高齢者世帯などへの生活支援（お手伝い）も含めた「地域へのボランティア活動」
対象となる自立訓練の登録者がいない状況だったため、実施できなかった。

7. 主な施設整備等

(1) 改修等 ： 平成 30 年 4 月のジョブサポートフォルテとワークショップ虹との統合・移転に伴い、移転先の物件の大規模な改修を行った。

(2) 固定資産物品 ： 記載事項 特になし

8. その他(添付資料)

(1) 重点目標及び評価 … 別紙 １－１

(2) H30.3 介護給付費等の算定に係る体制等の状況 … 別紙 １－２

(3) 利用者数等実績一覧表 … 別紙 ２－１

(4) 工賃支給状況 … 別紙 ２－２

(5) 実習、ボランティア等の受け入れ状況 … 別紙 ３

(6) 職員研修参加状況 … 別紙 ４

(7) 苦情等の状況 … 別紙 ５－１

(8) 平面図 … 別紙 ５－２

重点目標及び評価

(1)　重点目標

目　　標	具体的な取り組み・課題等	評価
支援の充実 ①就労移行支援：プログラムの充実・支援環境の整備・定着支援の充実 ②就労継続支援Ｂ型：幅広いニーズに対応し、就労支援および生活支援を行う。 ③自立訓練(生活訓練)：生活リズムの安定を図り、ステップとして支援を行う。	①移転により、事業所の環境も大きく変わった。事務訓練や学習会等のグループワークを行える部屋もできて、就労への支援を行える機会が増えた。平成30年12月から、就労定着支援事業を新規開始し、定着支援も積極的に行っている。 ②事業所内外での作業活動を通して、利用者の方の生活支援を併せて行うため、関係機関との連携や調整を積極的に行った。必要であれば、関係者会議の開催や参加等、役割を果たした。 ③継続Ｂ型等へのステップアップの支援を行った。新規利用者の確保ができず、利用者が大幅に減ってしまい、利用の対象を広げる（復職支援・訪問型支援）取り組みを行った。	A
地域のおける公益的な活動の推進 ①事業所の開放(主に２階：フリースペースと自立訓練の調理場の活用) ②高齢者世帯などへの生活支援(お手伝い)も含めた「地域へのボランティア活動」	①物品の販売活動を通して、地域の状況やニーズを探ったが、開放までの取り組みは行えなかった。移転してからの事業運営に終始してしまい、新たな取り組みを検討できなかった。 ②主な対象となる自立訓練の利用者の登録が少なく、取り組みが行えなかった。	C
安定した経営と事業運営 ①就労支援と生活支援の総合的な支援ができる職員の育成 ②利用者確保と利用率の向上に向けた取り組み	①職場適応援助者養成研修への参加、地域職業センター等の専門機関の就労支援研修等に積極的に参加して学ぶ機会を作った。また利用者支援を通して、就労の安定のための生活支援の視点を常に持ちながら、関係機関との連携や調整を積極的に行った。 ②移転に伴い、新規利用者の確保も行いながら、利用率は80%を超える程度であった。月１回の休日開所等、新たな取り組みも行ったが、今後さらに新規利用者の確保を行う。相談支援事業所等の中間ユーザーへの働きかけを行う。	B

(2)　中長期展望の進捗状況

目　　標	具体的な取り組み・課題等	評価
障害者雇用促進法の改正により、精神障がい者の雇用が義務化される。そのため、障がい特性に配慮しつつ、職域開発や職場での環境整備、補助ツールの開発にこれまで以上に努め、「働く」ことを通しての社会参加を促進する。就労支援の中心的役割を果たすため、関係機関や企業との連携を深め、新しい働き方に積極的に取り組むことを目指す。	事業所内での職業準備性の向上のための支援は行っているが、企業と連携するような外部にそのノウハウを十分に伝えられていない。また、一般就労だけでなく、施設外就労等、利用者の様々な状況や希望に合わせた柔軟な働き方が可能な取り組みも行えていない。今後の就労支援、定着支援の中で、関係機関や企業との連携をさらに増やしていく必要がある。	C

※1　評価：A：目標以上　　B：目標をほぼ達成　　C：達成していない

(3) コメント

① 人材育成や個別支援の充実として、利用者担当の職員を新人・若手と中堅・管理職での二人体制にすることで、日常的な声掛けや面談、関係機関との連携、マネジメントを学ぶ機会とした。

② 本人への就労支援だけでなく、生活支援、両親や兄弟等の家族支援も視点に入れながら、関係機関との連携を特にはかってきた。

③ 移転・統合してからの１年間で事業運営の土台が作れてきたが、来年度はさらに利用者の増加や新たな取り組みを積極的に行っていく必要がある。

別紙　１－２

介護給付費等の算定に係る体制等の状況

(1) 訓練等給付：就労移行支援

①　定員規模：41 人以上 60 人以下(定員 10 人)　②その他該当する体制等

地域区分：三級地	施設区分：一般型	定員超過：なし	職員欠如：なし	標準期間超過：なし	就労移行・定着実績区分：なし
福祉専門職員配置等：Ⅰ	就労支援関係研修修了：あり	視覚・聴覚等支援体制：なし	就労定着率区分：1.就職後 6 月以上定着率が 5 割以上		
精神障害者退院支援施設：なし	食事提供体制：なし	移行準備支援体制(Ⅰ)：あり	送迎体制：なし	福祉・介護職員処遇改善加算対象：あり	福祉・介護職員処遇改善特別加算対象：なし
キャリアパス区分：Ⅱ					

(2) 訓練等給付：就労継続支援 B 型

①　定員規模：41 人以上 60 人以下(定員 39 人)　②人員配置区分Ⅰ型(7.5：1)　③その他該当する体制等

地域区分：三級地	施設区分：B 型	定員超過：なし	職員欠如：なし	福祉専門職員配置等：Ⅰ	視覚・聴覚等支援体制：なし
重度支援体制：なし	就労移行支援体制：あり	平均工賃月額区分：5.平均工賃月額が 1 万円以上 2 万円未満	目標工賃達成指導員配置：あり	送迎体制：なし	食事提供体制：なし
福祉・介護職員処遇改善加算対象：あり	福祉・介護職員処遇改善特別加算対象：なし	キャリアパス区分：Ⅱ			

(3) 訓練等給付：自立訓練（生活訓練）

① 定員規模：21 人以上 40 人以下(定員数 6 人) ②その他該当する体制等

地域区分：三等級	施設区分：生活訓練	訪問訓練：なし	視覚障害機能訓練専門職員配置：なし	定員超過：なし	職員欠如：なし	標準期間超過：なし
福祉専門職員配置等：Ⅰ	地域生活移行個別支援： なし	視覚・聴覚等支援体制：なし	地域移行支援体制強化：なし	リハビリテーション加算：なし	短期滞在：なし	精神障害者退院支援施設：なし
通勤者生活支援：なし	福祉・介護職員処遇改善特別加算対象：なし	キャリアパス区分：Ⅱ	食事提供体制：なし	看護職員配置：なし	送迎体制：なし	福祉・介護職員処遇改善加算対象：あり

(4) 訓練等給付：就労定着支援

① その他該当する体制等

地域区分：三等級	就労定着支援利用者数：1.利用者数が 20 人以下	就労定着率区分：1.就労定着率が９割以上	職員欠如：なし	サービス管理責任者欠如：なし	就労定着実績：なし
職場適応援助者養成研修修了者配置体制：あり	地域生活支援拠点：なし				

別紙　2－1

利用者数実績一覧表

【平成30年度】

事業名	就労継続B				定員		39						
月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
開所日数	20	21	21	21	20	17	22	21	19	20	20	20	242
述べ利用者数	735	694	663	656	599	561	711	735	623	593	617	708	7895
利用率(%)	94.2	84.7	81.0	80.1	76.8	84.6	82.9	89.7	84.1	76.0	79.1	90.8	83.7
3ヶ月平均(%)				81.9	79.3	80.5	81.4	85.7	85.6	83.3	79.7	82.0	82.2

事業名	就労移行				定員		10						
月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
開所日数	20	21	21	21	20	17	22	21	19	20	20	20	242
述べ利用者数	112	138	190	196	171	161	231	207	196	159	148	135	2044
利用率(%)	56.0	65.7	90.5	93.3	85.5	94.7	105.0	98.6	103.2	79.5	74.0	67.5	84.5
3ヶ月平均(%)				83.2	89.8	91.2	95.1	99.4	102.2	93.7	85.6	73.7	90.4

事業名	自立訓練				定員		6						
月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
開所日数	20	21	21	21	23	17	22	21	19	20	20	20	245
述べ利用者数	31	17	16	9	0	0	0	0	2	16	15	14	120
利用率(%)	25.8	13.5	12.7	7.1	0.0	0.0	0.0	0.0	1.8	13.3	12.5	11.7	8.2
3ヶ月平均(%)				11.1	6.6	2.4	0.0	0.0	0.6	5.0	9.2	12.5	5.3

事業名	就労定着				定員		なし						
月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
利用者数									1	4	4	5	

【平成29年度】

事業名	就労継続B				定員		19						
月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
開所日数	20	21	22	20	20	20	21	20	20	19	19	20	242
述べ利用者数	316	327	337	367	339	387	399	382	385	347	367	352	4305
利用率(%)	83.2	82.0	80.6	96.6	89.2	101.8	100.0	100.5	101.3	96.1	101.7	92.6	93.8
3ヶ月平均(%)				86.4	88.8	95.9	97.0	100.8	100.6	99.3	99.7	101.7	96.7

事業名	就労移行				定員		6						
月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
開所日数	20	21	22	20	20	20	21	20	20	19	19	20	242
述べ利用者数	128	114	144	108	98	117	128	153	117	112	114	123	1456
利用率(%)	106.7	90.5	109.1	90.0	81.7	97.5	101.6	127.5	97.5	98.2	100.0	102.5	100.2
3ヶ月平均(%)				96.5	93.6	89.7	93.6	108.9	108.9	107.7	98.6	100.2	99.8

【コメント】
① 移転・統合に伴い、定員増の事業もあったが、一定の就職者を出しながら、新規利用者の確保を同時に行っていく必要があり、利用実績としては不十分な結果であった。

別紙　2－2

工賃支給状況　（授産収入）

ジョブサポートフォルテ（就労移行支援）　H30年度（H30.4～H31.3）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
施設内作業	ゲインズ	1,720	4,449	7,412	18,582	26,520	24,457	42,419	37,673	39,728	24,881	33,966	31,353	293,160
	名古屋メッ	80,244	65,213	90,101	70,633	36,046	54,579	69,044	82,090	32,708	29,257	30,025	25,609	665,549
	三国電気	4,792	11,091	14,736	11,895	7,042	4,661	19,459	1,482	2,102	1,197	409	258	79,124
	井高		6,220	11,475	15,187	6,101	9,947	11,571	8,130	12,174	13,847	10,509	0	105,161
	TIY		554	797	1,932	2,295	3,874	3,474	5,715	3,658	1,521	2,207	0	26,027
	サンクストゥ		805	629	2,237	586	403	566	2,005	1,151	152	164	0	8,698
	タンゲ		1,838	2,593	1,197	1,295	940	393	731					8,987
	ゴトウ容器		532	2,428	2,816	2,126	354	786	339	759	564	341	0	11,045

	TOKUICHI							4,276	5,787	1,679	2,562	0	827	15,131
施設外作業	中部リサイ	17,100	14,250	17,100	19,950	19,950	17,100	17,100	31,350	31,350	14,250	19,950	22,800	242,250
	Re☆創輝熱	30,250	34,875	35,925	73,325	63,775	62,850	67,600	63,400	63,400	58,700	56,350	60,850	671,300
	駐輪場	15,810	12,090	25,110	14,880	15,810	21,390	24,180	22,320	15,810	18,600	24,180	24,180	234,360
	物品販売	210	230	220	120	54	725	2,464	1,579	1,434	1,360	1,068	0	9,464
	中村区民まつり							5,798						5,798
	地域福祉講演会バザー										1,025			1,025
	看護学生へ	1,500	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	500	2,000
	水道光熱費	3,000	2,222	3,236	2,940	2,941	2,887	3,173	2,947	2,456	2,829	2,884	2,796	34,311
	燃料費	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	24,000
	収入合計	156,626	156,369	213,762	237,694	186,541	206,167	274,303	267,548	210,409	172,745	184,053	171,173	2,437,390
	利用者工賃支払額	151,626	152,147	208,526	232,754	181,600	201,280	269,130	262,601	205,953	167,916	179,169	166,377	198,257
	支給人数	6	8	11	10	10	10	11	11	9	10	10	11	117
	最高支給額	32,378	36,057	39,546	64,221	59,193	56,713	62,080	40,643	59,495	56,459	54,308	61,962	623,055
	最低支給額	19,073	4,768	1,845	4,139	380	4,198	10,765	817	9,543	604	900	143	57,175
	平均工賃	25,271	19,018	18,957	23,275	18,160	20,128	24,666	23,873	22,884	16,792	17,917	15,125	246,066

※最低支給額　0円は除外

ジョブサポートフォルテ（就労継続支援）　H30年度（H30.4～H31.3）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
施設内作業	ゲインズ	74,883	87,148	56,958	63,354	63,547	60,611	78,070	65,344	63,814	56,474	63,253	54,794	788,250
	名古屋メッ	86,217	128,915	98,793	100,552	55,097	152,039	135,943	226,399	136,086	114,349	165,077	242,493	1,641,960
	三国電気	12,030	39,238	37,674	21,503	25,722	15,969	54,591	5,097	17,959	7,458	10,320	8,045	255,606
	井高		12,361	15,565	20,636	12,933	24,545	22,214	29,226	32,772	36,385	29,629	39,715	275,981
	TIY		11,006	18,458	13,468	12,918	11,526	12,050	13,747	11,746	9,963	13,166	19,395	147,443
	サンクストゥ		10,233	5,935	17,267	15,412	1,666	3,437	17,122	13,141	2,580	5,482	5,550	97,825
	タンゲ		8,397	8,197	9,582	7,728	7,460	3,433	5,682					50,479
	ゴトウ容器		5,611	16,064	14,394	14,532	11,715	8,178	10,404	11,777	5,866	2,829	8,027	109,397
	TOKUICHI							19,707	25,569	6,691	26,452	0	44,790	123,209
施設外作業	中部リサイ	34,200	34,200	19,950	25,650	17,100	19,950	22,800	17,100	14,250	17,100	17,100	22,800	262,200
	Re☆創輝熱	17,325	15,400	15,400	7,700	5,775	7,700	6,750	5,400	5,400	5,400	5,400	5,400	103,050
	Re☆創輝さ	21,125	19,625	22,250	18,625	15,000	17,500	22,000	19,496	16,500	18,000	18,250	18,000	226,371
	駐輪場	38,130	45,570	32,550	33,480	41,850	35,340	39,060	35,340	40,920	39,060	29,760	33,480	444,540
	物品販売	1,130	1,570	1,580	2,328	2,025	4,662	2,946	4,077	9,575	2,965	2,880	2,220	37,958
	謝礼		3,000											3,000
	中村区民まつり休憩処							14,384						14,384
	熱田教会バザー							4,500						4,500
	地域福祉講演会バザー										4,090			4,090
	看護学生へ	4,500	0	6,000	3,000	18,000	3,000	12,000	6,000	9,000	9,000	27,000	51,500	149,000
	水道光熱費	12,500	12,778	11,764	12,060	12,059	12,113	11,827	12,053	12,544	12,171	12,116	12,204	146,189
	燃料費													0
	収入合計	302,040	435,052	367,138	363,599	319,698	385,796	473,890	498,056	402,175	367,313	402,262	568,413	4,885,432
	利用者工賃支払額	289,540	422,274	355,374	351,539	307,639	373,683	462,063	486,003	389,631	355,142	390,146	556,209	394,937
	支給人数	31	51	44	45	46	46	45	50	51	47	47	53	556
	最高支給額	36,192	41,082	44,911	36,160	32,772	30,895	39,846	40,620	39,428	29,876	36,336	53,624	461,742
	最低支給額	440	374	501	583	69	27	214	394	51	55	198	97	3,003
	平均工賃	9,340	8,280	8,077	7,812	6,688	8,124	10,268	9,360	7,640	7,556	8,301	10,495	101,941

※最低支給額　0円は除外

就労移行・継続合計工賃

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
就労移行	151,626	152,147	208,526	232,754	181,600	201,280	269,130	262,601	205,953	167,916	179,169	166,377	2,379,079
就労継続	289,540	422,274	355,374	351,539	307,639	373,683	462,063	486,003	389,631	355,142	390,146	556,209	4,739,243
合　計	441,166	574,421	563,900	584,293	489,239	574,963	731,193	748,604	595,584	523,058	569,315	722,586	7,118,322

別紙　3

実習・ボランティア等の受入状況

日程　および　日時	氏名　もしくは　人数	内　　容
4/19・20	11名	中央看護専門学校　精神科実習
6/7・13	10名	名古屋市医師会看護専門学校　精神科実習
6/12	4名	同朋大学　福祉施設実習
7/24～	1名	保育・介護・ビジネス名古屋専門学校 精神保健福祉士実習
8/20～	1名	あいち福祉医療専門学校 精神保健福祉士実習
8/10	1名	日本福祉大学　精神保健福祉士実習
8/21	5名	岩手県立大学　福祉コミュニティ実習
8/28・29・30	12名	中央看護専門学校　精神科実習
9月～	12名	名古屋市新任職員　福祉施設研修
9/3	1名	あいち福祉医療専門学校 精神保健福祉士実習
9/10・11・12	2名	名古屋大学　地域作業療法学
9/25	1名	日本福祉大学　精神保健福祉士実習
10/3・25	13名	名古屋市医師会看護専門学校　精神科実習
10/17	1名	同朋大学　精神保健福祉士実習
11/5～	1名	同朋大学　精神保健福祉士実習
11/19～	1名	愛知淑徳大学　精神保健福祉士実習
12/5	1名	愛知淑徳大学　精神保健福祉士実習
12/10～	1名	愛知淑徳大学　精神保健福祉士実習
1/23・24・25	13名	名古屋市医師会看護専門学校　精神科実習
2/5～25	38名	中京病院附属看護専門学校　精神科実習
2/15・19・20	14名	名古屋市医師会看護専門学校　精神科実習

別紙　4

職員研修参加状況

期　日	研修名	主催	参加者
4/12	就労移行事業所事例検討会	中村区自立支援連絡協議会	石川・赤井
4/13	新会計の決算のポイントと社会福祉充実財産の算定と法人経営について	日本システム・クリエート㈱	鬼頭
4/24～	職場適応援助者養成研修	障害者職業総合センター	赤井
4/25	親愛の里学習会「高齢者と障がい分野との連携について・8050 問題」	親愛の里	石川・川崎・武藤・新開山口・松本・岡部・久田
5/23	親愛の里学習会「難病の方の支援　実態と課題」	親愛の里	石川・川崎・新開山口・松本・岡部・久田
6/27	親愛の里学習会「事例検討」	親愛の里	石川・川崎・赤井・山口松本・岡部・久田
7月	就業支援基礎研修	愛知障害者職業センター	新開・松本
7/25	親愛の里学習会「WRAP・元気回復プラン」	親愛の里	川崎・武藤・山口新開・久田
8/3	コンプライアンス研修	親愛の里	片桐
8/17	知的障害者就労支援説明会	愛知労働局	山口
8/22	親愛の里学習会「生活保護について」	親愛の里	川崎・武藤・新開・山口松本・岡部・久田
9/24	若葉学習会	親愛の里	石川
9/26	親愛の里学習会「企業から見た福祉について」	親愛の里	石川・川崎・武藤・新開山口・松本・久田
9/26	対人援助技術研修	市社協	岡部
9/28	ファシリテーション研修	市社協	武藤
10/24	親愛の里学習会「事例検討」	親愛の里	石川・川崎・武藤・山口松本・岡部・久田
10/10	相談支援技術研修	市社協	久田
10/15	スーパービジョン研修	市社協	武藤
10/29	発達障害研修	市社協	松本
11/9	労務管理研修	市社協	鬼頭

期　日	研修名	主催	参加者
11/28	親愛の里学習会 「すぐに使える！SST」	親愛の里	武藤・新開・山口 松本・岡部・久田
11/28	権利擁護研修	市社協	川﨑
12/6	若葉学習会	親愛の里	片桐・石川・山口・岡部
12/18	コミュニケーション研修	親愛の里	片桐
12/19	親愛の里学習会 「障害特性について・高次脳機能障害について」	親愛の里	片桐・武藤・山口 松本・岡部・久田
12/21	ギャンブル依存症研修	ワンネスグループ	岡部
1/23	親愛の里学習会 「児童の施設、母子支援施設について」	親愛の里	武藤・松本・岡部・久田
1/29	精神障害研修	市社協	久田
1/31	若葉学習会	親愛の里	片桐・石川・久田・山口 松本・岡部
2/4	就労支援研修	市社協	松本
2/14	若葉学習会	親愛の里	
2/27	親愛の里学習会 「事例検討」	親愛の里	石川・川崎・武藤・山口 松本
3/14	若葉学習会	親愛の里	片桐・石川・久田・山口 松本
3/21	ストレスチェック実施者養成研修	㈱チーム医療	吉牟田
3/22	若葉学習会	親愛の里	片桐・石川・久田・山口 松本

平成30年度苦情受付一覧表

別紙　5－1

No.	期　　日	苦情申出者氏名	苦情の種類		苦情のレベル	原因	内　　容	対　　応	第三者委員立会い
1	苦情受付なし	記載なし		記載なし					

※苦情の種類
1　サービス内容(職員の接遇)　…　0件
2　サービス内容(質・量)　…　0件
3　事故、被害、損害　…　0件
4　事業所運営　…　0件
5　契約内容　…　0件
6　建物の構造　…　0件
7　その他　…　0件

※苦情のレベル
1　要望(本人の意向、意見、主張など)　…　0件
2　請求（法的責任に基づく権利の主張など）　…　0件
3　責任追及レベル(契約不履行に伴う責任追及など)　…　0件
4　その他　…　0件

※苦情の発生原因
1　説明・情報不足　…　0件
2　職員の態度・言動　…　0件
3　サービス内容　…　0件
4　その他　…　0件

実績総数	0件
苦情受付	0件

平面図

別紙　5－2

4 F

2 F

3 F

1 F

平成30年度事業報告書

グループホーム「ぱれっとハウス」

住　　所：名古屋市中村区小鴨町64
さんこおるこがも105・202・205号
電話・FAX：052－411－9611

第二共同住居　「アウェエテ」

住　　所：名古屋市中村区東宿町1-12-1
ハイツ第二起登宇201・202・203号
電話・FAX：052－413－1655

第三共同住居　「コーポ本陣」

住　　所：名古屋市中村区本陣通5-88-1
コーポうちふじ501号

平成30年度事業報告書

1. 種別・名称：共同生活援助　ぱれっとハウス

(1) 事業区分及び定員・契約者(登録者)数

① 共同生活援助事業：定員14名　利用者数14名

2. 概要

(1) 運営の概要

① 今年度は2名の退所があった。1名は一人暮らしを始めヘルパーを利用して支援を受けながら大きな問題はなく過ごせている。日中は当法人の事業所を継続利用し各事業所で地域での生活を見守っている。もう1名は交友関係などで生活が乱れたため、24時間職員配置のある宿泊型自立訓練に移り仕切り直しとなった。

② 障害支援区分更新時には受診同行を行い主治医に生活状況を伝えたり認定調査の同席をした。そのため区分が上がった利用者が数名いる。また入院や退去などの空室期間も少なかったため経営状況が改善できた。

(2) 課題と対応策等

① 40～50代の利用者が多くなり高血圧、脂肪肝、無呼吸症候群などの生活習慣病を抱えている利用者が多い。受診同行して本人の自覚が持てるよう支援しているが生活習慣を変えていくことは難しく課題が残る。

② ホームスタッフが1名欠員になっており募集を続けているが応募があまりない。ポスティングをして募集していたが今後は募集方法等を検討し早めに確保していきたい。

3. 利用実績

・障がいの程度

障害支援区分	1	2	3	4	5	6	計
ぱれっとハウス		2	2	2			6
アウェエテ	1	4		1			6
コーポ本陣		2					2
計	1	8	2	3			14

・年齢（延べ人数）

年齢	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～60	60～64	計
男性	1		1	2	2	2	2		10
女性		1			1	1	1		4
計	1	1	1	2	3	3	3		14

・利用率

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
開所日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	30.4
利用者延べ数	377	366	359	366	403	412	429	418	422	408	358	372	390.8
利用率	89.8	84.3	85.4	84.3	92.9	98.1	98.9	99.5	97.2	94.0	91.3	85.7	91.7

・退所者

退所日	氏名	年齢・性別	退所者の状況およびサービス利用等
2018/4/24	KMさん	30代・男性	宿泊型自立訓練施設へ入所
2019/2/19	OSさん	50代・男性	一人暮らしするため/ヘルパーなどを利用

・コメント

(1) 利用率は 87.2 から 91.7 へ向上した。また利用者の障害支援区分も上がっている。内部疾患も含め体調不良を見逃さず治療につなげる、そして利用者に対し健康への意識付けを行い入院等を防ぐことが利用者支援の向上、引いては運営改善にもつながる。

4. 職員配置状況 (H30.3.31 現在)

職種＼雇用形態等	正規総合	正規一般	パート	嘱託職員	計	国家資格等
施設長（管理者）兼サービス管理責任者	1				1	精神保健福祉士 1
生活支援員		1		1	2	社会福祉士 1　精神保健福祉士 1
世話人			4（2.1）		4（2.1）	
合　計	1	1	4	1	7	

5. 安全防災対策 … 避難訓練等の実施状況と内容

(1) 3/20 避難訓練実施　火事・地震が起きたことを想定して行った。利用者を屋外に誘導し避難場所である近隣の小学校まで実際に移動して説明をした。

6. 公益的取り組みの状況

(1) 自立支援連絡協議会にて防災の取り組みについて意見交換を行った。地域住民との協働までは至らなかった。

7. 主な施設整備等

(1) 改修等 ： 記載事項　特になし

(2) 固定資産物品 ： 記載事項　特になし

8. その他(添付資料)

(1) 重点目標及び評価 … 別紙 1

(2) H30.3 介護給付費等の算定に係る体制等の状況 … 別紙 2

(3) 実習、ボランティア等の受け入れ状況 … 別紙 3

(4) 職員研修参加状況 … 別紙 4

(5) 苦情等の状況 … 別紙 5

(6) 平面図 … 別紙 6

重点目標及び評価

(1)　重点目標

目　　標	具体的な取り組み・課題等	評価
（1）支援の充実 ①個別支援の充実 ②健康管理 ③職員の研修	①個々の課題に合わせて取り組んだ。冬にエアコン温度を 30 度にして薄着をしているので下着やルームウェアの買い物支援をして適温で過ごす、一人で DVD を購入する、バランスの取れた食事をするよう買い物支援、など取り組んだ。余暇の充実のため食事会も行った。 ②脂肪肝、高血圧などの生活習慣病を抱える利用者が多い。受診同行を行い主治医の病状説明を本人にわかるよう紙面にした。カロリーの低い食品の買い物支援を行い食生活の見直しを試みたがなかなか改善には至らなかった。幼少期より歯を磨く習慣のない利用者もおり最近になって虫歯ができた。習慣化していくことの難しさを感じているが改めて一人ひとりが健康について考えられるよう支援したい。 ③自立支援連絡協議会のグループホーム部会主催の研修会「利用者への支援について」にホームスタッフが参加した。改めて自分たちの支援の在り方について振り返り、また他の事業所職員と意見交換ができた。その他、毎月 1 回の会議にて利用者の対応についてグループワークを行った。	B
（2）地域における公益的な活動の推進 ①地域における防災を考える。	①自立支援連絡協議会のグループホーム部会にて各事業所の防災の取り組みについて意見交換をした。しかしながらグループホームが被災した時の具体的な対応策までは検討できていない。	C
（3）安定した経営と事業運営 ①利用率の低下を防ぐ	①障害支援区分更新時には認定調査や受診時に同席をし、調査員や主治医に生活状況を伝え区分が上がった者が数名いる。また一人暮らしのための退所に伴い法人内の事業所と連携し早めの新規入所に繋がった。	B

(2)　中長期展望の進捗状況

目　　標	具体的な取り組み・課題等	評価
自立生活援助事業などを活用し、地域移行に積極的に取り組む。そのための検討をする。またグループホームの利用率向上のためスムーズな新規入居者確保のためのシステムづくりを図る。	H30 年度は 1 名一人暮らしを始め継続できている。一人暮らしを始める前は不安が強かったがヘルパーの支援を受けスムーズに地域移行することができた。空室についても法人内の事業所との連携により体験期間を含めた 1 か月にて入居となった。	B

※1　評価：A：目標以上　　B：目標をほぼ達成　　C：達成していない

(3)コメント

・30 年度は 1 名一人暮らしを始めその後の空室もスムーズに入居が決まったこと、障害支援区分が上がった者が数名いることなどから運営状況が改善された。
・生活習慣病を抱える利用者の意識を変えていくことが難しくどう健康を保っていくのか課題が残る。

別紙 2

介護給付費等の算定に係る体制等状況一覧表（共同生活援助）

事業所名称：ぱれっとハウス

この一覧表は対象サービス分のみ添付で可

新規・変更・廃止となる加算の「適用開始日」欄には、その年月日を記入すること。

提供サービス	定員数	定員規模	多機能型等定員区分	人員配置区分（※2）	その他該当する体制等 ★：前年度実績に基づいて算定される加算		適用開始日
・サービス共通					地域区分	1．一級地　2．二級地　③ 三級地　4．四級地　5．五級地　6．六級地　7．七級地　20．その他	
共同生活援助	14　人			①．Ⅰ型（4：1） 2．Ⅱ型（5：1） 3．Ⅲ型 6：1） 4．Ⅳ型（10：1） 11. 日中支援Ⅰ型(3:1) 12. 日中支援Ⅱ型(4:1) 13. 日中支援Ⅲ型(5:1)	施設区分	①. 介護ｻｰﾋﾞｽ包括型　2. 外部ｻｰﾋﾞｽ利用型　3. 日中ｻｰﾋﾞｽ支援型	
					職員欠如	①．なし　2．あり	
					サービス管理責任者欠如	①．なし　2．あり	
					福祉専門職員配置等 (別紙7)	1．なし　②．Ⅰ　3．Ⅱ　4．Ⅲ	
					視覚・聴覚等支援体制 (別紙10)★	①．なし　2．あり	
					看護職員配置 (別紙21)	①．なし　2．あり	
					重度障害者支援職員配置（※11） (別紙43)	①．なし　2．あり　← 重複算定不可	
					地域生活移行個別支援 (別紙35)	①．なし　2．あり	
					精神障害者地域移行体制 (別紙42)	1．なし　②．あり　← 重複算定不可	H30. 4. 1
					強度行動障害者地域移行体制 (別紙43)	①．なし　2．あり	
					医療連携体制 (別紙17)	1．加算（Ⅴ）なし　②．加算（Ⅴ）あり	
					通勤者生活支援 (別紙19)★	①．なし　2．あり	
					福祉・介護職員処遇改善加算対象	1．なし　②．あり	
					福祉・介護職員処遇改善特別加算対象	①．なし　2．あり	
					キャリアパス区分（※3）	1．Ⅰ（キャリアパス要件（要件Ⅰ～Ⅲのすべて）及び職場環境等要件のいずれも満たす） ②．Ⅱ（キャリアパス要件（要件Ⅰ・要件Ⅱの両方）及び職場環境等要件のいずれも満たす） 3．Ⅲ（キャリアパス要件（要件Ⅰ・要件Ⅱのいずれか）及び職場環境等要件のいずれも満たす） 4．Ⅳ（キャリアパス要件を満たさない） 5．Ⅳ（職場環境等要件を満たさない） 6．Ⅴ（キャリアパス要件及び職場環境等要件のいずれも満たさない）	
					指定管理者制度適用区分	①．非該当　2．該当	
					地域生活支援拠点等	①．非該当　2．該当	

共同生活住居の名称	住居の定員（サテライト除く）	サテライトの定員数	大規模住居等（該当のいずれかに○）（※10） 大規模住居非該当	定員8人以上の住居	定員21人以上の住居	一体的な運営が行われている住居の定員の合計が21人以上	適用開始日	夜勤職員加配体制 (別紙50)（日中ｻｰﾋﾞｽ支援型のみ設定）	適用開始日	夜間支援等体制（※12） (別紙16)★ なし	Ⅰ	Ⅱ	対象人数	Ⅲ	適用開始日
ぱれっとハウス	6							1. なし　2. あり						○	
アウェエテ	6							1. なし　2. あり						○	
コーポ本陣	2							1. なし　2. あり						○	
								1. なし　2. あり							
								1. なし　2. あり							
								1. なし　2. あり							
								1. なし　2. あり							
								1. なし　2. あり							

2　「人員配置区分」欄には、報酬算定上の区分を設定する。
3　「キャリアパス区分」欄は、福祉・介護職員処遇改善加算対象が「2．あり」で設定されていた場合に設定する。
10　「大規模住居」欄の「2．定員8人以上」は、施設区分が「介護サービス包括型」及び「外部サービス利用型」の場合に限る。
　また、「4．定員21人以上（一体的な運営が行われている場合）」は、施設区分が「介護サービス包括型」及び「日中サービス支援型」の場合に限る。
11　「重度障害者支援職員配置」欄は、施設区分が「1.介護サービス包括型」及び「日中サービス支援型」の場合に設定する。
12　「夜間支援等体制」欄は、日単位で、あるいは住居ごとに異なる区分の算定ができるため、住居ごとに該当する区分すべてに○を付け、Ⅰ又はⅡの場合は対象人数欄に右欄に掲げる設定値を記載する。

【対象人数の設定値】
2人以下
3人　} Ⅰのみ可
4人(以下)　（Ⅱは4人以下以降）
5人，6人，7人
8人以上10人以下、11人以上13人以下、

別紙　3

実習・ボランティア等の受入状況

日 程　および　日 時	氏 名　もしくは　人 数	内　　容
4/19・20	名古屋市中央看護専門学校１１名	アウェエテ見学
6/7	名古屋市医師会６名	アウェエテ見学
6/13	名古屋市医師会４名	アウェエテ見学
8/23	長野職員 16 名	ぱれっとハウス見学
9/5	一宮看護学校	アウェエテ見学
10/3	名古屋市医師会看護学生６名	アウェエテ見学
10/25	名古屋市医師会看護学生７名	アウェエテ見学
1/23～25	名古屋市医師会看護学生 13 名	アウェエテ見学
2/5～7	中央看護学校学生 18 名	アウェエテ見学
2/12～14	中央看護学校学生 21 名	アウェエテ見学
2/15	名古屋市医師会看護学生４名	アウェエテ見学
2/19・20	名古屋市医師会看護学生 10 名	アウェエテ見学
3/5～8	名古屋市医師会看護学生 16 名	アウェエテ見学
3/12	名古屋市医師会看護学生４名	アウェエテ見学

別紙　4

職員研修参加状況

期　日	研修名	主催	参加者
4/11	中村地域支援課事例検討	親愛の里	佐藤所長　加藤　佐々
4/25	親愛の里学習会　8050 問題	親愛の里	佐藤所長
5/9	中村地域支援課事例検討	親愛の里	佐藤所長　加藤　佐々
5/16	第三者評価学習会	親愛の里	加藤　佐々
5/23	親愛の里学習会　難病の方の支援	親愛の里	佐々
6/13	中村地域支援課事例検討	親愛の里	佐藤所長　加藤　佐々
6/27	親愛の里学習会　事例検討	親愛の里	佐々
7/4	コンプライアンス研修	親愛の里	加藤　佐々
7/10	中村地域支援課事例検討	親愛の里	佐藤所長　加藤　佐々
7/25	親愛の里学習会　WRAP	親愛の里	佐々
8/3	社協研修（障害福祉制度研修）	愛知県社会福祉協議会	佐々
8/3	管理職コンプライアンス研修	親愛の里	佐藤所長
8/7	GHコンプライアンス研修	親愛の里	天春　谷　福野
8/8	中村地域支援課事例検討	親愛の里	佐藤所長　加藤　佐々
8/31	第三者評価研修	親愛の里	佐藤所長
9/12	中村地域支援課事例検討	親愛の里	佐藤所長　加藤　佐々
10/25	GH世話人研修	中村区自立支援連絡協議会	佐藤所長　加藤 天春　谷　福野
11/11	親愛の里福祉大会	親愛の里	佐藤所長　加藤
11/14	中村地域支援課事例検討	親愛の里	佐藤所長　加藤
11/22	GH世話人研修	中村区自立支援連絡協議会	佐藤所長　加藤 天春　谷　福野
12/18	長野研修	親愛の里	佐藤所長
1/17	社協　世話人研修	愛知県社会福祉協議会	加藤
1/17	親愛職員研修・職員全体会議	親愛の里	佐藤所長
2/27	親愛の里学習会　愛着障害について	親愛の里	佐藤所長

平成30年度苦情受付一覧表

No.	期　　日	苦情申出者氏名	苦情の種類		苦情のレベル	原因	内　　容	対　　応	第三者委員立会い
1	平成30年8月24日	本人	2	サービス内容(質・量)	1	2	職員が頓服薬の服用済みが３本置いてあると思い1日分の頓服を新たに３本置いたが、1本は飲んでいなかった。1日3本の頓服を渡すところ結果的に4本渡したことになり利用者から指摘があった。	職員の確認不足によりミスが発生したためマニュアルを作成し服薬管理ミスがないよう徹底した。	無
4	平成31年3月22日	本人	6	建物の構造	1	4	隣室の大きな笑い声など生活音が大きく気になるという訴えがあった。	ぱれっとハウス205号室の居室に間仕切りを作った。（2019年4月24日工事終了）その後、音と光を遮断出来るようになり納得された。	無

※苦情の種類
1　サービス内容(職員の接遇)　…　0件
2　サービス内容(質・量)　…　1件
3　事故、被害、損害　…　0件
4　事業所運営　…　0件
5　契約内容　…　0件
6　建物の構造　…　1件
7　その他　…　0件

※苦情のレベル
1　要望(本人の意向、意見、主張など)　…　2件
2　請求（法的責任に基づく権利の主張など）　…　0件
3　責任追及レベル(契約不履行に伴う責任追及など)　…　0件
4　その他　…　0件

※苦情の発生原因
1　説明・情報不足　…　0件
2　職員の態度・言動　…　1件
3　サービス内容　…　0件
4　その他　…　1件

実績総数	2件
苦情受付	2件

平面図

（1）ぱれっとハウス（第１共同住居）

①建物

建物	構造	鉄筋コンクリート３階建て（うち１階及２階各１室）
	延べ床面接	91　㎡
	利用定員	４名（各部屋２名づつ）
敷　地　面　積		552　㎡

②　主な設備

設備の種類	室　数	１ヵ所面積	一人当り面積	備　　品
居　　室	2	8.2 ㎡	8.2 ㎡	クローゼットもしくは衣装ケース、エアコン、扇風機、照明器具
	1	8.3 ㎡	8.3 ㎡	
	1	9.8 ㎡	9.8 ㎡	
ダイニング 食堂	2	18.6 ㎡ 17.5 ㎡	9.3 ㎡ 8.7 ㎡	冷蔵庫、クーラー、食卓セット、厨房設備一式、給湯器、電気ポット、扇風機
便　　所	2	1.08 ㎡	—	掃除用具一式
洗　面　所	2	2.4 ㎡	—	全自動洗濯機、整理棚、掃除機、掃除用具一式
風　　呂	1	1.76 ㎡	—	
自転車置場	1			

③　施設平面図

2）アウェエテ（第２共同住居）

①施設

建物	構造	鉄筋コンクリート２階建て（うち２階）
	延べ床面接	150.66 ㎡（50.22 ㎡×3）
	利用定員	６名（各戸２名ずつ）
敷　地　面　積		235.44 ㎡

②主な設備

設備の種類	室　数	１ヶ所面積	１人当り面積	備　　品
居　　室	6	9.72 ㎡	9.72 ㎡	エアコン、扇風機、ベッド、カーペット、タンス、照明器具
ダイニング食　　堂	3	15.75 ㎡	7.88 ㎡	石油ファンヒーター、扇風機、冷蔵庫、厨房設備一式、給湯器、電気ポット、炊飯器、ガスレンジ、照明器具、食器棚
便　　所	3	1.62 ㎡	—	掃除用具一式
洗面所、風呂	3	6.66 ㎡	—	全自動洗濯機、整理棚、掃除機、掃除用具一式

③　施設平面図

3）コーポ本陣

①施設

建物	構造	鉄筋コンクリート７階建て（うち５階）
	延べ床面接	51 ㎡
	利用定員	２名
敷　地　面　積		51 ㎡

②主な設備

設備の種類	室　数	1ヵ所面積	一人当り面積	備　　品
居　　室	1	8.0 ㎡	8.0 ㎡	クローゼットもしくは衣装ケース、エアコン、扇風機、照明器具
	1	8.5 ㎡	8.5 ㎡	
ダイニング食堂	1	19.73 ㎡	9.86 ㎡	冷蔵庫、クーラー、食卓セット、厨房設備一式、給湯器、電気ポット、扇風機
便　　所	1	1.08 ㎡	—	掃除用具一式
洗　面　所	1	2.72 ㎡	—	全自動洗濯機、整理棚、掃除機、掃除用具一式
風　　呂	1	1.92 ㎡	—	
自転車置場	1			

③施設平面図

平成30年度事業報告書

中村区障害者基幹相談支援センター

住　所：名古屋市中村区豊国通３－１０
電　話：０５２-４６２-１５００
ＦＡＸ：０５２-４６２-９６４０

平成30年度事業報告書

1. 種別・名称：中村区障害者基幹相談支援センター

2. 概要

(1) 運営の概要

① 基幹支援センターの委託を受け満期5年目が経過。翌年度以降の委託契約を目指し事業計画作成しプロポーザルに対応し来年度以降継続受託することとなる。新たな提案として今年度より情報収集を開始している「地域で支える子育てシステムづくり」を挙げた。

② 地域移行支援については「名古屋市における精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築に向けて」の取り組みと協力しながら進めた。地域移行支援サービスの紹介を行い、地域の相談支援事業所の協力を得て中村区内で年間10名の方がサービス利用に至った。

③ いきいき支援センターや保護観察所、弁護士等様々な機関からの相談が継続している。それぞれに連携すると同時に、各機関だけでなく地域の方も含め基幹センターの役割を知ってもらえるよう働きかけた。

(2) 課題と対応策等

① 障がいや病気だけでなく、家庭環境や経済環境、成育歴など複合的な問題を抱える方が多く、複雑さが本人のコミュニケーションの苦手さや人との関わりづらさにつながっており、支援を利用するにあたっても大きく影響が出ている。このような様々な状況に置かれる方に対してより適切な支援を行うためのスキル向上を図っていく必要がある。

② 複合的な課題を持つ方の支援などを通して、地域の課題になっていないかという視点を持ち、それぞれを整理していく。また連携先の状況を把握し基幹センターとしてできることを明確にすることでより良い連携ができるよう提案していく。

3. 利用実績　（添付資料内にて：詳細記載）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
延べ相談者数	438	417	507	435	458	406	407	391	378	379	306	361	4883
認定調査数	27	30	21	22	33	37	27	33	33	30	32	35	360

4. 職員配置状況　（H30.3.31現在）

職種＼雇用形態等	正規総合	正規一般	パート	嘱託職員	計	国家資格等
センター長	1				1	精神保健福祉士1
副センター長	1(1)				1	社会福祉士1
相談支援専門員	4				4	社会福祉士2

	(2)					精神保健福祉士 2
合　計	6				6	常勤換算 6.0

5. 安全防災対策

・3月16日　利用者と共に避難訓練を行う。

6. 公益的取り組みの状況

(1) 「そよフェス」の開催　地域に開放したイベント。
地域活動支援センター、グループホームと合同で実施

7. 主な施設整備等

(1) 改修等　：　記載事項　特になし

(2) 固定資産物品　：　記載事項　特になし

8. その他(添付資料)

(1) 重点目標及び評価　…　別紙　1
(2) 職員研修参加状況　…　別紙　2
(3) 苦情等の状況　…　別紙　3－1
(4) 平面図　…　別紙　3－2

重点目標及び評価

(1)　重点目標

目　　標	具体的な取り組み・課題等	評価
支援の充実 ①すべての職員が処遇困難事例の対応ができるようにする。 ②拡大する対象（障がい、難病、高齢者、児童）への支援知識・技術の向上 ③幅広い社会資源との連携づくり	①について ・相談の基本と困難ケースになりやすい人格障害に対する対応についての学習会を2度に分けて開催。 ・こまめに事例共有や検討をする時間を持ち、なぜそのように対応するかなどを表現することを心掛けて整理をする機会を持った。また、適宜スーパーバイザーを依頼し、外部講師も招いて実施した。 ②について ・親愛の里学習会を活用し、幅広い対象者に対する知識向上に努めた。（難病の方の支援等） ・特に幼少期や児童の支援についての学習に力を入れ、保健センターの保健師や子ども応援委員会の職員を講師に招き区内の特性を踏まえ支援内容を学んだ。また実際に西部療育センターへの見学に行った。 ・児童相談機関連絡会へ出席、児童にかかる支援機関支援状況を知ることができた。 ③について 新たに地域のスーパーとの連携ができるように挨拶へ行き、協議会を活用しイベントへの協力を得ることができた。イベントでは企業だけでなく学生等との交流の場にもなった	B
地域における交易的な活動の推進 ①自立支援連絡協議会の中心的な役割を果たし、活動を充実させる。	①について ・区の協議会活動については構成員と協力をしながら取り組んだ。基幹センターとして区内の地域課題の整理や市への報告、取り組みについて他区の情報提供を行い活性化に努めた。 ・協議会で毎年開催している「地域福祉講演会」を参加型としボッチャ大会も合わせて開催することになった。企業や子ども会、高齢者等様々な立場の方が参加するイベントとして開催できた。	B
健全な運営と安定した経営の確立 ①再受託に向けて課題を整理し、機能を高めていく ②ニーズの掘り起こしを行い、潜在化している相談を顕在化していく	①について プロポーザルで挙げた取り組みを昨年度に引き続き確認し、年間計画を立てて実施した。 幼少期の生活環境が大人になって大きく影響し、二次障害や人間関係の構築の苦手さにつながっている方が多く存在することを感じる中で、基幹センターとしてどのような支援体制があればよいかを考えるため、第一段階として幼少期の支援体制の実状を知ることを開始した。 ②について ・家族会への出席や地域移行制度など制度の紹介を行うことで相談しやすい関係づくりを心掛けた。 ・サービスが必要な状態でありながら福祉につながっていない方に情報が届くようにするために地域に基幹センターの存在を知ってもらえるように、サロンやそよフェスを開催し周知に取り組んだ。 ・生活保護係やいきいき支援センターからの依頼に応じて基幹センターの役割についての講演を行った。	B

(2) 中長期展望の進捗状況

目　　標	具体的な取り組み・課題等	評価
地域福祉の取り組みを通して、人や制度などをコーディネートする役割を担い、新たなサービスの創設や仕組みづくりを行うマネジメント機能を持つ障害者基幹相談支援センターを目指す。	新たなつながりを作り、地域の企業やサロンなど幅広い方がイベント等に協力が得られることができた。区の特性をテーマを決めて情報収集を行え、方向性を統一できた。今後具体的な制度や区内の状況を知ることでより具体的にしていく必要がある。	B

※1　評価：A：目標以上　　B：目標をほぼ達成　　C：達成していない

(3) コメント

・精神科病院から退院をするにあたり地域移行支援サービスを利用する方が増加し地域の一般相談支援事業所と協力し取り組み進めることができた。一方で福祉事業所の方に対する精神障害の理解啓発の必要性があることが再確認された。

利用実績

事業内容報告書
中村区障害者基幹相談支援センター　（計）

平成30年度

【平成 30 年度】

（当月分・相談支援を利用している障害者等の人数）

	実人数	身体障害	重症心身障害	知的障害	精神障害	発達障害	高次脳機能障害	その他	難病患者（その他の再掲）
障害者	437	86	1	82	201	6	0	14	2
障害児	19	2	0	10	3	1	0	0	0
計	456	88	1	92	204	7	0	14	2
内、新規	189	25	0	21	84	2	0	12	0

（年度累計・相談支援を利用している障害者等の人数）

	実人数	身体障害	重症心身障害	知的障害	精神障害	発達障害	高次脳機能障害	その他	難病患者（その他の再掲）
障害者	437	86	1	82	201	6	0	14	2
障害児	19	2	0	10	3	1	0	0	0
計	456	88	1	92	204	7	0	14	2

支援内容・方法

		福祉サービスの利用等に関する支援	障害や症状の理解に関する支援	健康・医療に関する支援	不安の解消・情緒安定に関する支援	保育・教育に関する支援	家族関係・人間関係に関する支援	家計・経済に関する支援	生活技術に関する支援	就労に関する支援	社会参加・余暇活動に関する支援	権利擁護に関する支援	その他	計	虐待相談（権利擁護の再掲）
訪問	訪問	114	5	9	4	0	4	1	7	0	1	3	17	165	0
	同行	21	0	1	0	0	1	0	2	9	0	1	1	36	0
	個別支援会議	33	1	1	4	0	2	0	1	0	0	3	11	56	1
	関係機関調整	98	2	19	3	0	8	3	2	10	0	2	32	179	0
	その他	12	0	2	5	0	5	0	1	0	0	2	14	41	0
	小計	278	8	32	16	0	20	4	13	19	1	11	75	477	1
来所	来所	184	8	8	169	1	15	22	7	18	7	19	30	488	0
	電話	797	44	110	1891	5	143	54	48	44	10	29	197	3372	4
	電子メール	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	981	52	118	2060	6	158	76	55	62	17	48	227	3860	4
計		1259	60	150	2076	6	178	80	68	81	18	59	302	4337	5
ﾋﾟｱｶｳﾝｾﾘﾝｸﾞ（再掲）		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

	総会（全体会）	部会	研修会	その他	計
地域自立支援協議会	3	33	6	26	68

事業運営費外

障害支援区分認定調査	ｻｰﾋﾞｽ等利用計画（案）	ｻｰﾋﾞｽ等利用計画	継続サービス利用支援	入居成立
484 件	16 件	12 件	21 件	0 件

【コメント】

(1) 前年度比で実人数が 50 名強、認定調査件数が 100 件以上、障害種別では精神障害の方の割合が増加した。（障害種別の内、発達障害及び高次脳機能障害は精神障害の区分に含まれています）

別紙　2

職員研修参加状況

期　日	研修名	主催	参加者
5/23	親愛の里学習会（難病）	親愛の里	関戸C長、河村、水野
6/12	中村区基幹相談支援センター学習会（支援者の関わりと障がい特性）	中村区基幹相談支援センター	関戸C長、河村、水野
6/13	中村地域支援部　事例検討会	中村地域支援部	関戸C長、水野
6/27	親愛の里学習会（事例検討）	親愛の里	河村、水野
7/4	親愛の里職員研修（人権について）	親愛の里	河村、水野
7/25	親愛の里学習会（WRAP）	親愛の里	水野
8/10	スーパービジョン基礎研修１	名古屋市社会福祉協議会	水野
8/22	一般相談支援事業所研修（措置入院者への支援）	中川区自立支援連絡協議会	水野
9/18	中村地域支援部　事例検討会	中村地域支援部	河村、水野
9/26	親愛の里学習会（企業から見た福祉）	親愛の里	河村・水野
10/18	西養護支援学校　見学会	中村区自立支援連絡協議会	水野
11/9	名身連・親愛の里連絡会議（保健師の役割）	名身連 親愛の里	関戸C長、河村
11/11	親愛の里福祉大会	親愛の里	関戸C長、河村
11/14	中村地域支援部　事例検討会	中村地域支援部	関戸C長、河村
11/22	グループホーム部会（世話人研修）	中村区自立支援連絡協議会	水野
11/28	親愛の里学習会（ＳＳＴ）	親愛の里	水野
12/19	名古屋市相談支援従事者研修　中堅者クラス研修Ⅱ（相談事例）	名古屋市	河村、水野
1/17	親愛の里職員研修（コミュニケーション力）	親愛の里	関戸C長、河村、水野

期　日	研修名	主催	参加者
1/23	親愛の里学習会(児童施設・乳児院)	親愛の里	関戸C長、河村、水野
1/25	名身連・親愛の里連絡会議（境界性人格障がいの対応）	名身連 親愛の里	関戸C長、河村
2/4	アルコール問題関係者研修(アルコール問題がある方や家族へのアプローチ)	名古屋市精神保健福祉センター	河村
2/6	事例検討会(生活全体の支援をする連携)	中村区自立支援連絡協議会	関戸C長
2/19	四区合同相談支援事業所学習会（地域移行支援）	西ブロック協議会	関戸C長、河村
2/20	中村区基幹相談支援センター学習会(中村区子ども応援委員会の現状と課題)	中村区基幹相談支援センター	関戸C長、河村、水野
2/27	グループホーム部会　「みんなのいえ」見学会	中村区自立支援連絡協議会	関戸C長
2/27	西部療育センター見学	中村区基幹相談支援センター	水野
2/27	親愛の里学習会（愛着障がい）	親愛の里	水野
3/4	地域移行四ブロック合同報告会及び研修会(地域包括システム構築に向けて)	名古屋市	関戸C長、水野
3/15	グループホーム部会　「べにしだの家」見学会	中村区自立支援連絡協議会	水野
3/16	児童デイ部会　学習会(検討ケースの振り返り)	中村区自立支援連絡協議会	河村

平成30年度苦情受付一覧表

別紙　３－１

No.	期　　日	苦情申出者氏名	苦情の種類		苦情のレベル	原因	内　　容	対　　応	第三者委員立会い
1	平成30年8月	本人	2	サービスの内容（質・量）	1	3	電話をした際に相談員がいないことについて、職務怠慢ではないかと名古屋市（認定支払係・指導係）及び苦情センターへ連絡される。職員が区内の人口に対して少ない、増員の要望も言われる。	各苦情申し立て先より状況確認があり、勤務状況等の説明を行う。時間帯によって相談員が不在の場合もまれにあるが、本人の希望相談員が不在な場合も「相談員がいない」と表現されている状況も加えて報告をする。	無
2	平成31年1月	本人	2	サービスの内容（質・量）	1	2	特定相談支援事業所として支援をしている方から名古屋市指定指導係及び区役所福祉課へモニタリング時期にそれを行っていないことからネグレクトをされているとの申し出がされた。	区役所からの求めに応じ年度内の記録を提出し、事実はなかったとの判断を受ける。その方への支援の在り方について名古屋市、区役所と複数回打ち合わせを実施している。	無

※苦情の種類
1　サービス内容(職員の接遇)　…　0件
2　サービス内容(質・量)　…　2件
3　事故、被害、損害　…　0件
4　事業所運営　…　0件
5　契約内容　…　0件
6　建物の構造　…　0件
7　その他　…　0件

※苦情のレベル
1　要望(本人の意向、意見、主張など)　…　2件
2　請求（法的責任に基づく権利の主張など）　…　0件
3　責任追及レベル(契約不履行に伴う責任追及など)　…　0件
4　その他　…　0件

※苦情の発生原因
1　説明・情報不足　…　0件
2　職員の態度・言動　…　1件
3　サービス内容　…　1件
4　その他　…　0件

実績総数	2件
苦情受付	0件

別紙　３－２

平面図

1F

3F　多目的室を地域交流活動としても使用

3F

階段

平成30年度事業報告書

熱田区障害者基幹相談支援センター

住所：名古屋市熱田区横田二丁目４番16号
電話：052-678-5505
FAX：052-681-7052

平成30年度事業報告書

1. 種別・名称：熱田区障害者基幹相談支援センター

2. 概要

(1) 運営の概要

① 基幹支援センターの委託を受け5年目となり、来年度からの再受託に向け今までの取り組みなど整理した。

② 相談件数は昨年度に比べて年間で265件増加。年度後半では、今まで1日に数回または毎日相談のある方からの相談が減ってきている。認定調査に関しては他区の調査を行っているため約60件増加している。

③ 地域移行支援のシステムについては連絡会の中で毎月共有をし、実践を通してマニュアルの作成を行った。今後も実践を通してブラッシュアップしていく。

④ 基幹支援センターとして地域に根差すための活動として行っている「かよういちサロンや行事」を継続して取り組み、幅広い世代が交流できる機会を継続して作ることができた。

(2) 課題と対応策等

① 対応の難しいケースが増えている中で、明確な主訴が分りにくい方や相談の中で職員が振り回されたり、暴言への対応等困難に感じ疲弊しないよう、相談スキルの向上が不可欠となっている。継続して事例共有や検討をする機会を増やし、スキル向上に努めていく。

② 地域でのイベントの継続開催を通して学生ボランティアを募るなどしているが、呼びかけなど甘い部分があった。今後は計画的に行事に向けボランティアの募集を行う中で人材育成や障がい福祉の理解・啓発が進むような取り組みを検討していく。

3. 利用実績 （添付資料内にて：詳細記載）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
延べ相談者数	302	348	319	261	281	194	202	217	178	166	203	156	2827
認定調査数	17	20	22	25	21	14	21	18	27	21	27	27	260

4. 職員配置状況 （H31.3.31現在）

職種＼雇用形態等	正規総合	正規一般	パート	嘱託職員	計	国家資格等
センター長	1(1)				1	社会福祉士1　介護福祉士1
副センター長	1				1	精神保健福祉士1
相談支援専門員	4 (3)				4	社会福祉士3 精神保健福祉士1 介護福祉士2
合　計	6				6	常勤換算5.5

5. 安全防災対策

(1) 9/11 名身連本部会館全体と名身連第 1 ワークス第一デイサービズと合同で地震を想定した防災訓練、3/14 に火災を想定した避難訓練を実施。非常持ち出し袋の用意なども行った。

6. 公益的取り組みの状況

(1) 「熱田区障害者基幹相談支援センターかよういちサロン」の開催。(月 2 回)
誰でも参加できるサロンを実施。講師として学生に活動の場を提供。また地域支え合い事業によりサロン参加者の人数が学区にポイントとして付与され還元されている。

(2) 「あつたつながるフェア(イオン熱田)」の開催(年 1 回)

(3) 「こころの講座」の開催(年 1 回)
心の健康、精神障がいについて知ってもらう機会として地域一般の方向けの講座を開催。

(4) クッキング講座の開催(年 5 回)

7. 主な施設整備等

(1) 改修等 : 記載事項 特になし

(2) 固定資産物品 : 記載事項 特になし

8. その他(添付資料)

(1) 重点目標及び評価 … 別紙 1

(2) 実習、ボランティア等の受け入れ状況 … 別紙 2

(3) 職員研修参加状況 … 別紙 3

(4) 苦情等の状況 … 別紙 4－1

(5) 平面図 … 別紙 4－2

重点目標及び評価

(1)　重点目標

目　　標	具体的な取り組み・課題等	評価
支援の充実 ①すべての職員が処遇困難事例の対応ができるようにする。 ②拡大する対象（障がい、難病、高齢者、児童)への支援知識・技術の向上 ③　幅広い社会資源との連携づくり	①について 毎月開催の名身連・親愛の里学習会、毎日行うミーティングや基幹打ち合わせ（毎月開催）を活用し情報交換を行った。 外部研修や法人内研修に積極的に参加しスキルアップを目指した。困難事例に関しては、その都度事例検討や研修会を開催。 ②について 名身連・親愛の里連絡会として両法人基幹センター職員が集まる会議を開催。職員のスキルアップが必要とされた母子保健に関わる保健師の業務についての学習会を開催。スーパーバイザーを招いての事例検討会、職員同士でのケーススタディを行った。 南養護学校の見学会に参加し今年度は学校にて協議会の行事の開催を行った。高齢者施設の見学会なども実施した。 ③について 子ども応援委員会熱田・港ブロックスクールソーシャルワーカーや養護学校教頭先生が児童連絡会に参加することとなった。	B
地域貢献 ①　立支援協議会の中心的な役割を果たし、活動を充実させる。	①について 協議会で開催されるイベントに関して、それぞれのイベントごとに実行委員会を立ち上げた。その結果部会では、課題などについて話し合うことができた。 児童連絡会において新しく『あつたはらぺこ展覧会』を企画。イオンモール熱田にて作品展を開催し、区内の児童の事業所の作品発表の場と福祉、障がい啓発を行うことができた。 西ブロック会議では課題を共有し、熱田からは人材不足、18 歳以降の生活支援について、親の高齢化、防災、性と生に関する事柄、福祉教育・障がい啓発について挙げる。	B

安定した経営と事業運営 ①再受託に向けて課題を整理し、機能を高めていく。 ②ニーズの掘りおこしを行い、潜在化している相談を顕在化していく。	①　ついて プロポーザル内容を振り返り、達成度を確認した。また未達分野について計画を立てて実施しおおむね達成することができた。また、再受託となった。 ②　ついて いきいき支援センターや保健師などからつながることが多く、多機関との連携において今まで福祉サービスに繋がっていなかったケースが顕在化してきている。 かよういちサロンやあつたつながる等の行事を通して基幹センターの存在を知ってもらえる機会に努めた。 家族会である熱田しろとり会に参加することで、家族の抱えている課題を知りサービスの提案など行ってきた。	B

(2)　中長期展望の進捗状況

目　　標	具体的な取り組み・課題等	評価
地域福祉の取り組みを通して、人や制度などをコーディネートする役割を担い、新たなサービスの創設や仕組みづくりを行うマネジメント機能を持つ障害者基幹相談支援センターを目指す。	・地域開放したサロンや、地域でのイベントの継続開催を通して基幹センターの存在の周知を行う。さらに行事等においては大学生にボランティアとしてきてもらう等、未来の人材育成や障がい福祉の理解が進むように取り組んでいる。	B

※1　評価：A：目標以上　　B：目標をほぼ達成　　C：達成していない

(3)　コメント

・かよういちサロンを継続して開催。児童発達支援事業所の方の演奏や名古屋学院大学の学生に講師として参加してもらうことで様々な世代が　集まる機会にもなっている。「こころの講座」も開催。図書館や役所以外にも区内の心療内科にもパンフレット等を持っていき幅広く参加者を募った。また、あつたつながるフェアの継続実施により基幹センターの存在を地域の方へ伝え、気軽に立ち寄れる地域に根差したセンターを目指して進めることができた。

利用実績

【平成 30 年度】

（第3号様式）
事業内容報告書
熱田区障害者基幹相談支援センター　（計）

平成30年4月分

（当月分・相談支援を利用している障害者等の人数）

	実人数	身体障害	重症心身障害	知的障害	精神障害	発達障害	高次脳機能障害	その他	難病患者（その他の再掲）
障害者	306	55	0	83	128	10	1	16	4
障害児	11	0	0	5	1	1	0	2	0
計	317	55	0	88	129	11	1	18	4
内、新規	99	22	0	16	41	0	0	12	3

（年度累計・相談支援を利用している障害者等の人数）

	実人数	身体障害	重症心身障害	知的障害	精神障害	発達障害	高次脳機能障害	その他	難病患者（その他の再掲）
障害者	306	55	0	83	128	10	1	16	4
障害児	11	0	0	5	1	1	0	2	0
計	317	55	0	88	129	11	1	18	4

支援内容・方法

		福祉サービスの利用等に関する支援	障害や症状の理解に関する支援	健康・医療に関する支援	不安の解消・情緒安定に関する支援	保育・教育に関する支援	家族関係・人間関係に関する支援	家計・経済に関する支援	生活技術に関する支援	就労に関する支援	社会参加・余暇活動に関する支援	権利擁護に関する支援	その他	計	虐待相談（権利擁護の再掲）
訪問	訪問	83	22	12	6	0	6	7	13	0	0	4	45	198	2
	同行	34	1	4	1	0	0	3	0	3	3	1	35	85	0
	個別支援会議	8	9	2	0	0	1	4	1	1	0	3	6	35	2
	関係機関調整	14	3	4	0	0	0	2	1	0	0	1	12	37	0
	その他	8	4	0	1	0	1	1	0	0	87	0	2	104	0
	小計	147	39	22	8	0	8	17	15	4	90	9	100	459	4
来所	来所	109	17	10	136	1	13	103	18	16	8	3	31	465	1
	電話	416	124	54	981	2	36	47	40	40	5	0	166	1911	0
	電子メール	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	525	141	64	1117	3	49	150	58	56	13	3	197	2376	1
計		672	180	86	1125	3	57	167	73	60	103	12	297	2835	5
ﾋﾟｱｶｳﾝｾﾘﾝｸﾞ（再掲）		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

	総会（全体会）	部会	研修会	その他	計
地域自立支援協議会	2	30	4	13	49

事業運営費外

障害支援区分認定調査	ｻｰﾋﾞｽ等利用計画（案）	ｻｰﾋﾞｽ等利用計画	継続サービス利用支援	入居成立
262 件	16 件	8 件	25 件	0 件

【コメント】

(1) 年度初めは電話相談が多く月の相談件数が 300 件を超えていた。新しい職員が入り、記録システムのチェックの仕方を改めて共有し減少した。

(2) 1 日に何度も相談がある方や毎日相談のある方も徐々に回数が減っていった為、年度後半では昨年度より件数が減っている。全体としては昨年度より件数が増えている。

(3) 他区からの認定調査を行っているため昨年度より 60 件ほど増えている。

別紙　2

実習・ボランティア等の受入状況

日程　および　日時	氏名　もしくは　人数	内　　容
8/30	日本福祉大学１名	行事ボランティア
9/11	名古屋学院大学３名	防災ボランティア
11/13	愛知淑徳大学３名	サロンボランティア
12/25	愛知淑徳大学２名	サロンボランティア
2/26	名古屋学院大学1名	サロンボランティア

別紙　3

職員研修参加状況

期　日	研修名	主催	参加者
4/24	名古屋市相談支援従事者研修	名古屋市	小野原Ｃ長,中村
4/25	親愛の里学習会（8050 問題）	親愛の里	小野原副Ｃ長
4/26	認定調査研修	名古屋市	小野原副Ｃ長
5/14	障害者差別「地域の相談窓口」従事職員	名古屋市	中村
5/15	基幹職員向け研修（精神障がい対応）	熱田・中村基幹	小野原副Ｃ長
5/16	第三者評価研修	親愛の里	小野原副Ｃ長・中村
5/23	難病当事者の生活を考える～かけ橋の上から見える風景～	親愛の里	小野原副Ｃ長・中村
6/12	支援者の関わりと精神障がいの特性	熱田・中村基幹	小野原副Ｃ長
6/27	インシデント方式による事例検討	親愛の里	中村
7/19	相談支援員スキルアップ研修	西ブロック会	小野原副Ｃ長
7/25	障害者差別「地域の相談窓口」従事職員研修	名古屋市	中村
8/3	法人コンプライアンス研修	親愛の里	小野原副Ｃ長
8/7	法人コンプライアンス研修	親愛の里	中村
8/22	親愛の里学習会（生活保護について）	親愛の里	中村
9/18	瀧先生によるケースのスーパーバイズ	親愛の里	小野原副Ｃ長
9/19	高齢者・障害者虐待研修（精神基礎編）	名古屋市	中村
9/26	親愛の里学習会（企業から見た福祉）	親愛の里	中村

期　日	研修名	主催	参加者
10/10	相談支援技術研修	名古屋市 社会福祉協議会	中村
１０/24	熱田区家族のつどい ～GHでの生活～【講師】	熱田HC	小野原副Ｃ長
10/２４	親愛の里学習会（事例検討）	親愛の里	中村
１１/１６	瀧先生によるケースのスーパーバイズ	親愛の里	小野原副Ｃ長
11/30	中堅者研修ファシリテーター	名古屋市	小野原副Ｃ長
12/13	相談支援部会事例検討	自立支援連絡 協議会	中村
12/14	新規参入事業所説明会【講師】	名古屋市	小野原副Ｃ長
12/18	管理職研修『福祉職におけるコミュニケーション術』	親愛の里	小野原副Ｃ長
12/19	親愛の里学習会 （障がい特性について～高次脳機能障害～）	親愛の里	中村
12/27	瀧先生によるケースのスーパーバイズ	親愛の里	小野原副Ｃ長
1/9	福祉サービス苦情相談事業所研修	名古屋市 社会福祉協議会	中村
１/１６	地域の相談窓口従事職員合同研修	名古屋市	中村
１/１７	コミュニティ研修	親愛の里	中村
１/２３	岡崎医療刑務所視察研修	名古屋市	小野原副Ｃ長
１/２３	親愛の里学習会（子どもを取り巻く環境や親の置かれる状況について）	親愛の里	小野原副Ｃ長・中村
１/２５	瀧先生の事例検討会（人格障がい）	熱田・中村基幹	小野原副Ｃ長
１/２８	他職種連携研修	名古屋市 社会福祉協議会	中村
２/１８	地域の相談窓口研修	名古屋市	小野原副Ｃ長
2/25	児童連絡会学習会「障害を抱えた子どもたちの思春期、性について」	自立支援連絡 協議会	小野原副Ｃ長
2/27	親愛の里学習会（愛着障がいについて）	親愛の里	小野原副Ｃ長・中村
3/6	初任者クラス１年間の振り返り 講義「メンタルヘルス」	名古屋市	中村
３/１１	各区における多機関の協働による包括的支援を考える	名古屋市自立 支援連絡会	中村

平成30年度苦情受付一覧表

別紙　4－1

No.	期　　日	苦情申出者氏名	苦情の種類		苦情のレベル	原因	内　　容	対　　応	第三者委員立会い
1	6月27日	本人	4	事業所運営	1	4	9時開所であるにもかかわらず、9時に打ち合わせを行っていて職員が電話に出られないことに対する要望。本人からは打合せ時間をもっと早めることなどの要求があった。	8時45分からのミーティングは変わらず行い、終了時間に関しても意識して時間内に終えられるようにすることとした。また、基幹打合せの後には地活の打ち合わせを基幹の親愛職員も一緒に行っていたが、もし電話があれば優先して出ることになった。 本人には、その旨を伝え、一定の理解を得られている。また、誰宛の電話であるかを言ってもらえるように話をした。	無
2	9月20日	本人	1	サービスの内容（質・量）	1	2	電話相談にて株が止められない。仕事にも影響して今日も早退してきた。株を辞めたら暇が襲ってくる。暇を埋める代償行為の提案の中での話。自分はインドア派だと言っているが、アウトドアを強要された。障がい者も健常者も一緒だと言われたとの訴え。	名古屋市と苦情センターに電話。名古屋市には電話の意図を説明し理解を得られた。苦情センター職員からはセンター長から本人に電話を入れるように言われ、意図が伝わらなかったことに対して電話にて謝罪。しばらくその職員は電話には出ない。少しでも褒められる材料（仕事に行けたなど）が出てきたときに対応し、意図が伝わらなかったことに対して謝罪。	無
3	11月20日	本人	1	サービスの内容（質・量）	1	2	同じ職員がその日2回目の電話対応。電話に出た時からまたお前か…との発言もあり攻撃性も強く、他の相談員に変わることを伝えても変わらず。慎重に話を聞いていたが「笑わない」「愛想もない」など個人的な思いを言われたため、「〇〇さんはそう思ったのですね」と返答したことに引っかかり、思ったことを言っているのにその言い方はないと名古屋市と苦情センターに苦情をあげる。双方には、自分の思いを分かってもらえなかった。センター長に伝えておいてくださいとだけ伝える。	センター長と話をして落ち着く。思ったことを言ったにもかかわらず、そう思ったんですねと言うのはおかしいし、そうやって言うのは止めて欲しいと話している。センター長からは職員も人間で口調が強くなったら辛い。その時には、職員の気持ちの状況を伝えて電話を切らせて頂きますと本人に伝えている。また、相談の中で職員が振り回されたり、暴言への対応等困難を感じ足りるため職員が疲弊してしまう。法的知識と相談スキルの向上と目的に中村区と共通での学習会の開催を調整している。	無

※苦情の種類
1　サービス内容(職員の接遇)　…　2件
2　サービス内容(質・量)　…　0件
3　事故、被害、損害　…　0件
4　事業所運営　…　1件
5　契約内容　…　0件
6　建物の構造　…　0件
7　その他　…　0件

※苦情のレベル
1　要望(本人の意向、意見、主張など)　…　3件
2　請求（法的責任に基づく権利の主張など）　…　0件
3　責任追及レベル(契約不履行に伴う責任追及など)　…　0件
4　その他　…　0件

※苦情の発生原因
1　説明・情報不足　…　0件
2　職員の態度・言動　…　2件
3　サービス内容　…　0件
4　その他　…　1件

実績総数	3件
苦情受付	3件

平面図

別紙　4－2

(屋外階)
倉庫
EV
(11人乗)
手洗
ホール
(収納)
冷
湯沸
(10人乗車)
(打合せテーブル)
装飾型
相談支援センター
(29名)
(事務室)
(ボランティア
コーナー)
エントランス
ホール
相談室1
(6名)
相談室2
(6名)
多目的トイレ
多目的トイレ
トイレ
(W)

平成30年度事業報告書

南区障害者基幹相談支援センター

住所：名古屋市南区西桜町31番地
電話：052-883-9257
FAX：052-883-9259

平成30年度事業報告書

1. 種別・名称：南区障害者基幹相談支援センター

2. 概要

(1) 運営の概要

① 相談においては、いきいき支援センター、HC、HPからの連携依頼や名古屋市からの触法ケースなど、より広い分野での連携依頼があり専門機関の関わりが必要となるケースが多かった。

サテライトでは名古屋市から連携依頼の住所不定の触法ケース2件に携わり、どちらも終了している。

② 自立支援連絡協議会内の6WGについては、5年間の活動を経て一定の評価が認められている。また、今年度で1WGは終息となり、新たに地域拠点WGの準備を始めた。各WGが研修会や地域啓発活動など、それぞれ実践の中から必要に応じて行ってきた。サテライトでは地域福祉力WGを主に担当している。今年度は「第18回精神保健福祉ボランティア全国のつどいinあいちpart2」にWGとして参加した。

(2) 課題と対応策等

① 基幹としては関わる機関それぞれの役割や特徴を把握しコーディネート能力が必要とされる。ニーズや支援方法に対して、それぞれの領域内で専門性を活かせる支援体制が組めるように相談員自体が他職を理解し、それに伴う説明力も必要とされるため、今後も幅広い分野の研修に参加する事や顔つなぎをしていく。

② 各WGの活動内容や研修等、似た傾向になっており、事務局内で活動内容や継続の有無も含めて再度見直しを行い、更なる地域ニーズに応えられるようにしていく事が必要とされる。

地域福祉力WGでは、固定メンバーでの活動のみとなっており、メンバーに行き詰まり感もあり、活動内容の見直しとともに、医療、地域内の事業所への参加を積極的に呼びかけていく。

3. 利用実績　（添付資料内にて：詳細記載）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
延べ相談者数	302	357	309	287	316	264	300	234	230	288	278	289	3454
認定調査数	62	50	51	64	52	30	39	47	49	43	45	29	561

4. 職員配置状況　（H30.3.31現在）

職種＼雇用形態等	正規総合	正規一般	パート	嘱託職員	計	国家資格等
センター長	(1)				(1)	社会福祉士1、介護福祉士1

副センター長	(1)				(1)	社会福祉士 1 介護支援専門員 1
相談支援専門員	(3)	1			1 (3)	社会福祉士 2 精神保健福祉士 1 介護福祉士 4
相談員	(0.9)				(0.9)	介護福祉士 1
合　計	5.9 (5.9)	1			6.9(5.9)	

※　(　) はコンソーシアムを組む他法人の職員。

5. 安全防災対策　…　避難訓練等の実施状況と内容

(1)　平成 30 年 9 月 22 日(土)「地震・火災」、平成 31 年 3 月 2 日(土)「水害」
地活・サテライト合同での避難訓練を実施。

6. 公益的取り組みの状況

(1) みなみ家族会主催行事へ必要に応じて参加。

(2) 併設するリユースショップ『Re☆創庫さくら』に来店のお客様より、「知り合いに困っている家庭がある」など相談があり、基幹・地活パンフレットなどをお渡しした事で、相談に繋がるケースがあった。

(2) 3 つの NPO 法人、セカンドハーベスト名古屋、レスキューストックヤード、中部リサイクル運動市民の会との合同企画として、南海トラフ巨大地震に備える！防災炊き出し試食体験が行われた。当日の炊き出しにはみなみ家族会から 6 名の方に協力して頂いた。

(3) H30 年 10 月 28 日(日)　「さわやかウォーク」に高齢分野と共同ブースを設け、パンフレットなどの配布を行った。

7. 主な施設整備等

(1) 改修等　：　記載事項　特になし

(2) 固定資産物品　：　記載事項　特になし

8. その他(添付資料)

(1) 重点目標及び評価　…　別紙　1

(2) 職員研修参加状況　…　別紙　2

(3) 苦情等の状況　…　別紙　3－1

(4) 平面図　…　別紙　3－2

重点目標及び評価

(1)　重点目標

目　　標	具体的な取り組み・課題等	評価
支援の充実 ①　すべての職員が処遇困難事例の対応ができるようにする。 ②　拡大する対象（障がい、難病、高齢者、児童)への支援知識・技術の向上 ③　幅広い社会資源との連携づくり	①　について ・南区基幹学習会を毎月第３木曜に開催。実際に担当しているケースで、困難ケースや支援員自体の行き詰まりなど事例検討を通して振返りを行っている。 ・南区基幹職員会議を毎週金曜に開催し、本部・サテライトそれぞれに入った相談内容を会議の際に情報共有し、複数名での対応を心がけてきた。また、第２週の会議では、担当ケースを１事例ずつ検討し困っている事や今後の方針など意見交換を行っている。 ②　について ・いきいき支援センター交流会を実施し、北・南両センターとの情報交換・勉強会を実施している。また、8050 問題についていきいき支援センターと定期的に会議を実施し、情報共有を行うとともに必要に応じて情報提供などを行っている。 ③　について ・相談支援事業所 WG を月１回実施。相談員１名体制の事業所も多く、支援に困っているケースを募り事例検討にて方向性を出している。また、ケースだけでなく制度への対応の仕方や、社会情勢、ヘルパーや GH など需要の多い事業所の空き状況などの情報交換も行っている。 ・障害福祉関係だけでなく、医師会代表、高齢、教育関係を始め、地域の方へも協議会等への参加を呼びかけ地域全体で考えていく体制作りを行うとともに、顔の見える関係作り情報共有に努めている。	B
地域における公益的な活動の推進 ①　自立支援協議会の中心的な役割を果たし、活動を充実させる。	①　について ・南区自立支援協議会事務局会議を毎月第一金曜日に開催し、各 WG からの報告を始め、地域課題などその都度抽出している。 ・南ブロック連絡会(南、瑞穂、天白、緑)で交流会を行い、各区の取り組みなど情報共有する事で、南区での今後の取り組みや方向性についての検討する機会となっている。 ・サテライトでは地域福祉力 WG を主に担当し、精神障がいに対しての理解の機会となるよう地域啓発活動を行っている。メンバーは社協、HC、基幹職員、家族会、ボランティアグループとなっており、以前メンバーであった HP　CW は業務多忙の為、近年の参加は無い状態。メンバー固定での活動になっている事や内容についても見直しが必要になっている。	B

健全な運営と安定した経営の確立 ① 再受託に向けて課題を整理し、機能を高めていく。 ② ニーズの掘りおこしを行い、潜在化している相談を顕在化していく。	① について ・年４回運営会議にて運営状況について３法人が随時把握してきた。次年度も再受託となったため、これまでの課題等について再度振返りを行い、課題については期間を決め実行していく必要がある。 ② について ・地域の特定事業所をはじめ、民生委員、いきいき支援センターからの連携依頼が継続的にあり、本人がサービスを必要・希望する場合には情報の提案など必要に応じ支援を行っている。また、サテライトと同じ建物内にある、Re☆創庫さくらに来店する地域の方からも、身近に困っている方がいるなどの問い合わせもあり、潜在ケースの把握に努めており、相談に繋がるケースもある。	B

(2) 中長期展望の進捗状況

目　　標	具体的な取り組み・課題等	評価
地域福祉の取り組みを通して、人や制度などをコーディネートする役割を担い、新たなサービスの創設や仕組みづくりを行うマネジメント機能を持つ障害者基幹相談支援センターを目指す。	自立支援連絡協議会の事務局として、各 WG の活動が円滑に行えるようサポートしており、活動については一定の評価が認められている。また、運営に関しては、事務局のみではなく、地域で活動している人たちの声をきちんと反映し、常に地域課題と向き合えるような体制作りを心がけている。	B

※1　評価：A：目標以上　　B：目標をほぼ達成　　C：達成していない

(3) コメント

① 地域福祉力を伸ばそう WG の代表を務め、保健所、社協、南基幹、南家族会、ボランティアグループがメンバーとなり啓発活動を行っている。今年度は 9/28 に「第 18 回精神保健福祉ボランティア全国のつどい in あいち」に参加。ボランティアグループあいの会が行う分科会にて、協議会の成り立ちや現在までの取り組み、家族会、ボランティアグループあいの会と共同で取り組む事になった経緯などを発表し、参加者の称賛を得る事が出来た。

② 基幹センターの次年度の受託が決定した。今までの取り組みを振返り、課題や評価できる事を確認しながら、南基幹として特化出来る活動イメージを共有していく。

利用実績

【平成 30 年度】

（第3号様式）
事業内容報告書
南区障害者基幹相談支援センター　本部（計）

平成30年4月～平成31年3月分

（当月分・相談支援を利用している障害者等の人数）

	実人数	身体障害	重症心身障害	知的障害	精神障害	発達障害	高次脳機能障害	その他	難病患者（その他の再掲）
障害者	297	78	3	121	108	4	2	5	1
障害児	21	1	1	16	4	0	0	1	0
計	318	79	4	137	112	4	2	6	1
内、新規	93	17	0	25	50	0	0	1	0

（年度累計・相談支援を利用している障害者等の人数）

	実人数	身体障害	重症心身障害	知的障害	精神障害	発達障害	高次脳機能障害	その他	難病患者（その他の再掲）
障害者	297	78	3	121	108	4	2	5	1
障害児	21	1	1	16	4	0	0	1	0
計	318	79	4	137	112	4	2	6	1

支援内容・方法

		福祉サービスの利用等に関する支援	障害や症状の理解に関する支援	健康・医療に関する支援	不安の解消・情緒安定に関する支援	保育・教育に関する支援	家族関係・人間関係に関する支援	家計・経済に関する支援	生活技術に関する支援	就労に関する支援	社会参加・余暇活動に関する支援	権利擁護に関する支援	その他	計	虐待相談（権利擁護の再掲）
訪問	訪問	48	33	36	84	6	38	17	116	23	4	22	14	441	1
	同行	35	15	66	23	5	9	15	33	21	7	7	13	249	1
	個別支援会議	9	9	9	10	2	9	7	7	14	1	8	5	90	5
	関係機関調整	12	18	5	2	0	15	8	2	2	1	14	7	86	7
	その他	12	1	1	4	0	0	6	9	2	2	1	8	46	0
	小計	116	76	117	123	13	71	53	167	62	15	52	47	912	14
来所	来所	57	19	7	52	1	16	121	39	55	22	6	11	406	0
	電話	300	87	181	484	74	178	191	266	165	32	69	101	2128	17
	電子メール	0	0	3	0	0	1	1	1	0	0	1	1	8	0
	小計	357	106	191	536	75	195	313	306	220	54	76	113	2542	17
計		473	182	308	659	88	266	366	473	282	69	128	160	3454	31
ﾋﾟｱｶｳﾝｾﾘﾝｸﾞ（再掲）		0	0	1	0	0	0	0	14	0	17	0	0	32	0

	総会（全体会）	部会	研修会	その他	計
地域自立支援協議会	2	31	5	19	57

事業運営費外

障害支援区分認定調査	ｻｰﾋﾞｽ等利用計画（案）	ｻｰﾋﾞｽ等利用計画	継続サービス利用支援	入居成立
561 件	30 件	31 件	63 件	0 件

【コメント】

(1)　相談の傾向として、関係機関や行政、HP からの相談が増えている。また、名古屋市より住所不定の触法ケースに対する地域支援として連携依頼があり、サテライトでは２件受託し終了している。

(2)　基幹内でも複数対応や職員会議でのケース共有などチーム支援を心がけている。

(3)　基幹センター運営の各法人の得意分野を活かし、複数支援を行う事でより相談者のニーズに幅広く対応できるように心掛けたと同時に必要に応じて専門機関につなぎ連携し支援を行った。

別紙　2

職員研修参加状況

期　日	研修名	主催	参加者
4/12	相談支援連絡会 「H30 年度　法改正について」	南区自立支援 協議会	加納
5/10	相談支援連絡会　事例検討 「今頭を悩ませているケースについて」	南区自立支援 協議会	加納
6/14	基幹職員学習会　事例検討 「双極性障がい」 スーパーバイザー 親愛の里　青木邦子氏	南区基幹 センター	加納
6/15	相談支援連絡会＆児童 WG 合同研修 「療育の中で大切にしていること」 ～子どもの育ち・家族の受け止め～ 南部地域療育センターそよ風 CW　山下氏	南区自立支援 協議会	加納
7/3	地域移行南ブロック研修会 八事 HP・瑞穂区基幹のケースについて	南ブロック	加納
7/4	親愛の里職員　コンプライアンス研修 講師：宮本法律事務所　宮本曜爾弁護士	親愛の里	加納
7/6	北部いきいき支援センター・基幹合同研修 「精神の特性について」 講師：親愛の里　青木邦子氏	北部いきいき 支援センター	加納
7/12	相談支援連絡会　事例検討 「３才から養護学校３年の今になるまで状態像が分からない児童の今後の支援」	南区自立支援 協議会	加納
8/16	基幹職員学習会　事例検討「親亡きあと」 スーパーバイザー 親愛の里　青木邦子氏	南区基幹 センター	加納
9/13	相談支援連絡会　事例検討 「特定の困っているケース」	南区自立支援 協議会	加納
9/13	基幹職員学習会　事例検討「愛着障がい」 スーパーバイザー 親愛の里　青木邦子氏	南区基幹 センター	加納

10/11	相談支援連絡会　事例検討 「特定の困っているケース」	南区自立支援 協議会	加納
11/8	基幹職員学習会　事例検討 「親亡き後の将来について」 スーパーバイザー 親愛の里　青木邦子氏	南区基幹 センター	加納
11/9	H30 年度障害者虐待相談担当者研修会 「障害者虐待事例を通したグループ演習及び講義」 助言者：椙山女学園大学　手嶋　雅史教授 たみ法律事務所　舟橋民江弁護士	名古屋市社会 福祉協議会	加納
11/11	第 10 回　親愛の里福祉大会 基調講演「調子わるいくらいがちょうどいい」 ～うつ病の闘病と家族～ 講師：細川貂々氏、望月昭（ツレ）氏	親愛の里	加納
11/15	相談支援連絡会　事例検討「支援困難」 スーパーバイザー 日本福祉大学　木全和巳教授	南区自立支援 協議会	加納
11/30	相談支援従事者研修（中堅者クラス） 「地域づくり（協議会等）事例を基にしたグループスーパービジョン」	名古屋市	加納
12/13	相談支援連絡会 精神障がいに関する勉強会　「依存」 講師：親愛の里　青木邦子氏	南区自立支援 協議会	加納
12/18	地域移行ブロック会議 「桶狭間 HP の事例」	南ブロック	加納

12/20	基幹職員研修　事例検討 スーパーバイザー 親愛の里　青木邦子氏	南区基幹 センター	加納
1/10	相談支援連絡会　事例検討 「支援困難事例」	南区自立支援 協議会	加納
1/10	基幹職員研修　事例検討「自己覚知」 スーパーバイザー 親愛の里　青木邦子氏	南区基幹 センター	加納
1/17	親愛の里職員全　第１回コミュニティー研修 講師：㈱ウェルケアーズ　皆本昌尚氏	親愛の里	加納
2/14	相談支援連絡会「サービス等利用計画の “そもそも”と“これから”」 講師：名東区基幹センター 小島一郎センター長	南区基幹 センター	加納
3/4	地域支援ブロック調整会議合同研修会 「精神障がいにも対応した地域包括ケアシステム の構築について」 ～保健・福祉・医療の連携強化による実践～ 講師：精神障がいにも対応した地域包括 ケアシステムの構築支援事業 広域アドバイザー　CW　名雪和美氏	名古屋市	加納

平成30年度苦情受付一覧表

別紙　３－１

No.	期　　日	苦情申出者氏名	苦情の種類		苦情のレベル	原因	内　　容	対　　応	第三者委員立会い
1	苦情受付なし	記載なし		記載なし					

※苦情の種類
1　サービス内容(職員の接遇)　…　0件
2　サービス内容(質・量)　…　0件
3　事故、被害、損害　…　0件
4　事業所運営　…　0件
5　契約内容　…　0件
6　建物の構造　…　0件
7　その他　…　0件

※苦情のレベル
1　要望(本人の意向、意見、主張など)　…　0件
2　請求（法的責任に基づく権利の主張など）　…　0件
3　責任追及レベル(契約不履行に伴う責任追及など)　…　0件
4　その他　…　0件

※苦情の発生原因
1　説明・情報不足　…　0件
2　職員の態度・言動　…　0件
3　サービス内容　…　0件
4　その他　…　0件

実績総数	0件
苦情受付	0件

別紙　３－２

平面図

１Ｆ

２Ｆ

平成30年度事業報告書

運営改善委員会／防災委員会

運営改善委員会：平成30年度事業報告書

1　目的・趣旨

運営改善委員会は、社会福祉法人親愛の里名古屋支援事業所において全事業所利用者対象の「サービス満足度調査」（アンケート）を行い、調査結果をもとに私たちが提供する福祉サービス業務の内容や日々の関わり方などを振り返る機会とする。なお、調査結果をふまえ、今後のサービス内容の向上を目的とする職員研修などの取り組みも行う。

2　構成員

５名：各事業所にて委員を募り、１名～2名選出。（職員代表も兼ねる）

【活動報告】

・毎月一回の開催（基本）の「運営改善委員会」において、下記の内容にて取り組んだ。

	日にち	内容
第１回	5/2(水)	昨年度の取り組み確認、今後の取り組み内容・実践方法の確認
第２回	6/6(水)	各事業所でのアンケート内容の精査を踏まえた検討
第３回	7/19(木)	各事業所でのアンケート内容の精査を踏まえた検討（全体を通しての質問事項の文章を確認）
第４回	8/9(木)	アンケート実地方法の詳細確認（9月からの実施に向けて）
第５回	9/26(水)	進捗状況（配布・回収状況）確認と共有
第６回	10/31(水)	アンケート結果の確認、精査
第７回	11/30(火)	アンケートを委員間での共有、分析 研修内容検討
第８回	12/26(金)	アンケートの分析、共通項目について洗い出し 研修内容決定
	1/17(水)	コミュニケーション研修（人材育成部と協力して）
第９回	2/6(水)	各事業所の取り組み、研修の振り返り
第10回	3/6(水)	各事業所の取り組み、今年度の振り返り、来年度に向けて共有、確認

【アンケート実施期間】：平成30年9/10　～　平成30年10/10（約1か月）

【実施状況】：平成30年度（第３回）サービス満足度調査

配布数：285部　　回収数：183部　　回収率：64.2%

（※参考：平成29年度（第２回）　配布数：316　回収数：229　回収率72.5%）

【「サービス満足度調査」アンケート実施事業および事業所名】：今回、各事業にて実施。

事業名	事業所名
地域活動支援事業	親愛の里そよかぜ（中村区）　ハートランド森（熱田区） クオーレ（南区）
就労移行支援事業	ジョブサポートフォルテ
就労継続支援Ｂ型事業	ジョブサポートフォルテ
共同生活援助事業	ぱれっとハウス
相談支援事業	障害者基幹相談支援センター：中村区、熱田区、南区（サテライト）

【調査結果に対しての考察および対応】

昨年同様、共通項目（３問）に対して、話し合いの機会を設け改善対策を講じる。

問２　あなたは職員の言葉遣い、態度が適切だと思いますか

１：はい（83%）　２：いいえ（6%）

３：どちらともいえない（8%）　４：わからない（1%）　５：無回答（2%）

問６　職員の対応にゆとりが感じられますか

１：はい（64%）　２：いいえ（9%）

３：どちらともいえない（16%）　４：わからない（6%）　５：無回答（5%）

問７　不満や苦情など職員に相談できない場合は、職員以外の人（第三者委員など）に相談談出来る事を知っていますか

１：はい（46%）　　２：いいえ（36%）
３：どちらともいえない（4%）　　４：わからない（9%）　　５：無回答（5%）

問２、問６の対策としては、職員間でコミュニケーションが取れ、働きやすい職場環境ができれば「職員の態度、ゆとり」にも変化が現れるのではないかとのことで、人材育成部と協力してコミュニケーション研修を行った。

問７の対策としては改めて苦情の流れを掲示し、契約時に苦情の流れのパンフレットを渡す。

なお、上記以外の意見などに関しては、各事業にて「調査結果：（利用者の自由筆記の部分も含め）」の検証を行い、改善すべきことに対して速やかに対応を行った。

【課題および今後の取組みなど】
・課題として：
名古屋支援事業所は精神障がいのある方々を中心に支援しており、アンケートに答える利用者の精神状態によってもアンケートの記載内容、特に自由筆記部分が変わってくることが考えられる。そのことを踏まえどう実施していくのか検討する必要がある。
・今後（平成 31 年度）に向けた取り組み：
来年度は当法人内の事業所でも第三者評価を受けることとなっている。第三者評価の設問内容を参考にしてアンケート内容を見直し、利用者支援の向上に活かしていく。

防災委員会：平成30年度事業報告書

1　目的・趣旨

　これまで名古屋支援事業所では、各事業所で防火管理者を選任して、消防計画を作成し、消防署に届け出ていた。しかし職員の異動や退職等に併せて、防火管理者を変更していなかったことや、消防計画自体も現状と合っていなかったことがあった。今年度の防災委員会においては、消防計画を名古屋全体で見直すことと、各事業所の防災対策の検討、合わせて国から策定があがっている「非常災害対策計画」の作成することを、主な目的としている。

2　構成員

委員長：ジョブサポートフォルテ：片桐課長、
就労支援事業所：赤井、新開　ばれっとハウス：加藤、佐々　熱田地域支援課：中村
南地域支援課：松本（純）
※異動等により、委員はその都度変更あり（計７名）

【活動報告】

・３ヶ月に一回の開催（基本）の「防災委員会」において、下記の内容にて取り組んだ。

回数	日にち	内容
第１回	6/1(金)	・上記構成員が各課の事業所の防火管理者となる。各委員は必要に応じて、防火管理講習を受講しに行く。 ・今年度の活動予定と内容の確認 年２回の各事業所での防災訓練についての共有、相談、報告 ・各事業所での消防計画と届け出等 職員の異動等のより、防火管理責任者の受講状況や届け出の確認
第２回	9/7(金)	・各事業所での消防計画と届け出等の状況 ・非常持ち出し用具と備蓄品について 各事業所の状況を改めて確認　不足等あり購入を検討 ・９月の防災訓練について 計画内容の共有と確認、相談 ・職員の緊急連絡網について システムや方法等の検討
第３回	12/7(金)	・非常持ち出し用具と備蓄品の購入について 各事業所での不足品の購入状況の確認　今後の購入予定

		・9月の防災訓練の報告 各事業所からの報告を受けて、課題や次回への方法を検討 ・職員緊急連絡網について 年末年始に向けての見直しと年度内での訓練の実施を検討
第４回	3/1(金)	・3月の各事業所の防災訓練の実施について ・職員緊急連絡網の訓練について

【課題および今後の取組みなど】

・平成30年度の防災委員会においても、消防計画の見直し、事業所備品の検討、非常災害対策計画の策定など、おおよその目的を達成できた。

・毎年４月と１０月に消防計画の見直し、確認を行う。各事業所で必要に応じて防火管理者の解任、選任を行う。

・課題として、職員の緊急連絡網のシステムについては、具体的な方法まで検討できなかった。また、災害時の具体的な職員の動きや事業所の運営について、まだまだ検討する必要がある。今後、長野エリアの防災委員会で先行して検討している「連絡手段のシステム導入」「災害時の事業継続」等について、相談をしながら名古屋エリアでも検討していきたい。

平成30年度事業報告書

親愛の里保育園

住所：愛知県刈谷市熊野町４丁目8-7番地

電話：0566-21-0893

FAX：0566-21-0956

E-mail：hoiku@shin-ai1996.org

平成30年度事業報告

1 種別・名称　親愛の里保育園

2 概況

（1） 重点目標　別表 1

（2） 現状

① 園児の定員は、135名である。月によって入所・退所する園児がおり、月々に園児数は異なる。特別支援を必要とする園児(16 名)も他園より多く、加配・臨時保育士含め40名の職員で保育を進めてきた。

② 食事に関しては、アレルギー児(13名)の対応に細心の注意をはらい、給食・おやつの誤飲誤食のないよう担任、調理員が連携をとり対応出来ていたため誤りなく過ごす事が出来た。献立に関しても、園長、主任、栄養士で話し合いの時間を設けることで発注の誤りが生じる事が殆どなくなった。

③ 行事に関し昨年度の保護者のアンケートより改善できる点は取り入れ実施してきた。しかし保護者の意見もまちまちであることから、どの保護者にも納得いく取り組みは難しく今後も職員間で話し合っていく。

④ 一時保育、子育て支援、病児保育の三事業を併設し、保育支援を行っている。一時保育に関しては、利用者の増加が見られるが、子育て支援・病児保育に関しては、減少しているため、対策を講じていく必要を感じている。

⑤ 職員の勤務体制の見直しを行い、週休 5 日制・8 時間勤務となった。又、土曜日代替保育士の採用も行った為、代休は取り易くなった。ただ、思うように有給を消化し切れていないのが現状である。

⑥ 職員の資質向上のため、外部より講師を招き研修を行なった。希望者には、研修・講演会に出向いてもらった。又園内でも自分たち(保育士)の日頃の言動に対し、グループ討議など行い見直しを行ってきたが、今一つ成果はっきり見えてこない。

（3） 課題と対応

① 特別支援の園児を含め、保育時間の延長(午後7時)に伴い、長時間園で生活する子が多くなっている。安全確保のねらいからも、職員を増やした事で今のところ、大きな怪我もなく過ごしている。ただ今後まだ延長保育の希望者が増えてくると職員の増員も必要になってくる。又、有給の消化を進めていく上でも代替保育士は必要であるため職員の採用は随時していく。

② 市からの献立自体が、卵、牛乳を除去した献立になった事で誤食は殆どない。しかし他のアレルゲンの園児もいるため今後も職員の連携や献立に細心の注意をはらい対応していく。

③ 行事については、保護者へのアンケートを参考にしながら、保護者のニーズに合わせ行事の内容、参加方法など考慮していく。

④ 他の施設の利用者の増減の理由や保育内容などの見直しを行い、気軽に利用しやすい施設にしていく。

⑤ 保育者の仕事内容を軽減するために、ノーコンタクトタイムを取り入れ書類整理や行事の準備等に時間を当てるようにしている。また有休についても出来るだっけ計画的に消化出来るよう考慮していく。

⑥ 保育者の資質向上を目指し、主任を 2 人体制にするなど職員構成を見直しすると共に、職員の指導や保育経験に合わせ、実技研修や園内研修を充実させる。またインシデント・プロセス法を取り入れ、自分の保育を客観視するなど、子どもの発達にあった保育の見直しのため話し合いの機会を持ち、全職員の資質向上を目指していく。

3 利用実績

（1） 月別保育実施　　別表2

（2） 3事業利用状況　別表3

4 職員の状況

（1） 職種及び職員数　　H31・3・31現在

職種	員数	常勤	非常勤	保有資格
園長	1	1		保育士32名 幼稚園教諭２級 29名
主任	2	2		
保育士	29	16	13	
保育補助	2	0	2	
調理員	3	2	1	栄養士1名
看護師	2	1	1	看護師・準看護師
事務員	1		1	
計	40	22	18	

（2） 職員の勤務体制

早番・遅番を含め数パターンの勤務時間帯になって入る。　　別紙4

（3） 組・職員編成

○園長１名　　○主任　2名

○臨時（早朝　6・延長　5名）○調理員　3名　　○嘱託医（内科1名・歯科1名）

31・3・31現在

年齢別	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
組名	ひよこ	うさぎ	こあら	たんぽぽ・すみれ	なのはな	ひまわり	
男	5	7	8	13	11	15	59
女	2	11	14	15	17	12	71
計	7	18	22	28	28	27	130
担当職員	3	4	4（加1）	2（加1）	1（加1）	1（加1）	15（臨4）

5 主な施設整備など

遊戯室クリーニング（高い部分・扇風機などの掃除）

6 活動内容

（1） 主な行事　　年間　約29の行事を行っている。　　別紙5

（2） 保育者の記録（年間を通し子どもの生活の記録を記入している。）

（3） 職員研修は、年間に（園外 37 件　園内　8件）の研修に参加。　　別紙6

7 安全・防災対策

(1)避難訓練実施状況　　年間に13回の訓練を行った。　　別紙7

(2)防犯訓練実施状況　　年間に3回の防犯訓練を行っている。　　別紙8

8 健康管理

(1)子どもの集団検診　全園児対象

・内科健康診断年2回(4 月・10月)

・歯科検診年2回　　(6月・3月)

・検尿・ぎょう虫卵検査(5月)　　検尿検査(10月)

・身長　体重　胸囲　測定(未満児毎月・幼児3か月毎)

(2)職員の健康　全職員対象

・年1回　健康診断　一般検診と任意のがん検診他

・毎月　検便　と　隔月の　0ー157検査

・子どもと一緒に集団検診を受ける。

9 園地・園舎・教具等

別紙9

10 苦情(要望)などの状況

・保護者への対応が冷たい保育者がいる。又子どもに対しても厳し過ぎる保育者がいる。表情や態度に気をつけ子どもや保護者に接してもらえるよう職員全員に周知させて欲しい。

ある特定の保育士への苦情ではあったが、本人には勿論、職員会でも保護者への言動には、十分に気をつけ保育を行って欲しいことを話し職員に周知させる。

別紙１

重点目標及び評価

（1） 重点目標

目　　標	具体的な取り組み・課題等	評価
1 子どもの発達に応じた援助を行い、安全で情緒の安定した生活が送れるようにする。	・年間計画、クラス月案、個別指導計画、処遇、日誌ディリープログラムなど一人ひとりに適した指導計画を作成し5領域（健康、人間関係、環境、言葉、表現）が満遍なく発達出来るよう保育者は援助を考え保育にあたる。保育者はゆったりと子ども達に関わる。	B
2 子どもたちが安全で意欲的に遊ぶことが出来る環境づくりをする。	・クラス担任は、室内外の安全点検を週に1度は行う。 ・園外保育の場合は、事前に下見をおこなう。また計画書の提出をする。 ・子ども達の興味関心を把握し環境の構成を考え援助する。 ・安全会議を設け、職員間で話し合い園内マニアルの周知をする。 ・業者による砂場や遊具の点検整備を委託。	B
3 幼児に運動や音楽又造形遊びを通し表現する楽しさを知らせるため基礎的な指導を計画的に行う。	・外部〈カワイ体操教室・造形教室〉より指導員を招き定期的に機会を設 け運動や音楽又造形遊びを通し表現する楽しさを知らせる。	B
4 地域、家庭と連携を持ち保育園との相互理解を深め信頼関係を築いていく。	・園だより、クラス便りを毎月家庭に配布し、園の様子を知らせする。 ・園の行事ごとにアンケートを行い、保護者の方々の要望、ご意見など頂き今後の保育に生かしていく。大きな行事には、地域の方々にも参加や協力を頂くなど地域との交流をはかる。 ・地域の行事への参加を行っていく。	B

（2） 第3期5か年計画 H30 年度～H35 年度）

目　　標	具体的な取り組み	
職員構成の見直し及び働きやすい職場を目指す。	1）主任2人制にし、仕事量の軽減と保育士の指導の充実をはかる。 2）一人ひとりの役割を明確にし、やりがいを感じられるようにする。 3）保育士の仕事量の軽減を図る。（勤務時間内での書類作成時間の確保など）	B

	4)専門的な資格(社会福祉士、介護福祉士、児童指導員等)を有した職員の配置(障がい児加配) 5)土曜出勤の代休・休憩時間の確保・研修や有給消化のための代替要員の確保。	
職員の資質向上を目指し、幅広い教養と専門的知識を深める。	1)経験年数に応じた研修計画を立て実施。 ①初任研修・中堅研修 ・講師による研修(園に講師を招き幅広い知識を得る)主任が計画 ② 園外研修 ・保育士協会による研修・私保連による研修・その他(研修案内より)個人選択で参加。	B
保護者支援、地域子育て、家庭支援に努める。	1)保育園行事の見直しを行っていく。(保護者アンケートや意見箱より) ・行事ごとに保護者にアンケートを実施し要望など、保育者間で話し合い 参加しやすい行事にして行く。 2)三事業の充実を図る。 ①保育内容を充実させる。(親子で楽しめる遊びの提供・地域の方に参加して頂き遊びを楽しむ等)	B
選ばれる園になるための独自性を図る。	1)障がい児を受け入れ子ども達が共に育ち合う保育を目指す。(専門的な資格を有した職員の配置) 2)三事業(子育て支援、一時保育、病児保育)を併設し地域や家庭支援に努める 3)地域の方々との交流を図る。(地域清掃、廃品回収、運動会参加、老人クラブへの呼びかけなど)	C

※1　評価：A：目標以上　　B：目標をほぼ達成　　C：達成していない

3 利用実績

別紙２

（1） 月別保育実施　　30・4・1～31・3・31

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
月保育日数	24日	24日	26日	25日	26日	23日
初日在籍児童数	126人	126人	127人	129人	132人	134人
月給食実施日数	23日	24日	26日	25日	26日	22日
延在籍児童数	3024人	3038人	3315人	3251人	3446人	3082人
延出席児童数	2291人	2419人	2653人	2474人	2229人	2172人
延給食日数	2898日	3038日	3315日	3251日	3446日	2948日
延給食実施数	2256回	2419回	2653回	2474回	2250回	2299回
出席率	75. 7%	79. 6%	80. 0%	76. 0%	64. 6%	70. 4%
給食率	77. 8%	79. 6%	80. 0%	75. 3%	64. 6%	77. 9%

月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
月保育日数	26日	24日	23日	23日	23日	25日
初日在籍児童数	134人	135人	135人	132人	131人	130人
月給食実施日数	26日	24日	23日	23日	23日	25日
延在籍児童数	3484人	3240人	3105人	3036人	3013人	3250人
延出席児童数	2941人	2673人	2483人	2134人	2382人	2557人
延給食日数	3484日	3240日	3105日	3036日	3013日	3250日
延給食実施数	2941回	2673回	2483回	2134回	2382回	2557回
出席率	84. 1%	82. 5%	79. 9%	70. 2%	79. 0%	78. 7%
給食率	84. 1%	82. 5%	79. 9%	70·2%	79. 0%	78. 7%

（2） 3 事業利用状況

別紙３

平成30年度三事業利用状況

子育て支援センター　くまっこルーム　利用数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
子ども	215	267	289	285	267	216	282	252	265	248	243	212	3041
保護者	201	247	255	238	204	169	210	202	207	185	212	177	2507

一時保育　さくらそう　利用数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
子ども	148	135	180	162	151	144	176	162	145	141	154	157	1855

病児・病後児　こすもす　利用数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
子ども	12	19	19	14	10	7	1	7	7	22	2	9	129

（2） 職員の勤務体制

別紙　4

職　種	勤務体制
園　長	正規の勤務時間帯(8:30～17:15)常勤で勤務
保育士	早番 ①(7:30～16:15) 早番 ②(8:00～16:45) 日勤　(8:30～17:15) 遅番 ①(9:45～19:00) 遅番 ②(9:30～18:30) 遅番 ③(9:00～18:00) 土曜 早番 (7:30～16:15) 遅番 (9:45～19:00)

調理員	日勤(8:30～17:15) 早番(8:00～13:15)
臨時保育士	早番(7:30～9:00)・(7:30～9:30)・(7:30～10:00) (8:00～9:00)・(8:00～16:15) (9:00～16:15)・(9:30～16:15) 遅出(9:00～17:15)・(16:00～19:00) (14:30～18:30) 土曜 早番(7:30～9:30) 遅番(12:30～19:00)
嘱託医師	年 2 回受診有

6 活動内容　　別紙 5

(1)主な行事　　30・4・1～31・3・31

日時	行事名	内容等
4月 4日	入園式・進級式	親子で参加(リズム室・保育室)
4月中旬	家庭訪問(～5月)	在園児は個別懇談をする。
5月16日	春の遠足	未満児は園周辺。3歳児は熊野公園 4歳児は山池公園・5歳児中手公園
6月16日	保育参加(幼児)	クラス別保育。親子で楽しめる内容。
6月19日	交通安全教室(5歳児)	生活安全課より交通安全指導を受ける。 (信号の見方。横断歩道の渡り方など)
7月 6日	七夕会	七夕の話を聞いたり、幼児が楽器あそびや歌の発表をしたり、他年齢の発表を見たりする。
7月20日	カレー作り	収穫した野菜を使って5歳児が野菜を切ったり炒めて料理する。
8月7日	夏祭り	保育者と一緒に4・5歳児手作りの屋台をまわりお買物やゲームを楽しむ。
9月 3日	防災訓練、引渡し訓練	地震・火災の総合訓練や市へ通報をする。 子ども達を保護者に安全・確実に引き渡す。
9月 14日	祖父母を祝う会	祖父母を招待し子どもの歌や遊びを見て頂いたり、一緒に触れ合いあそびを楽しむ。
9月中旬	3歳児親子給食	食事中の様子・食事の内容・味をみて頂き、食事に関心を持ってもらう。
10月1,2日	5歳児知能検査	就学に向け園内で実施。
10月 4日	秋の遠足	未満児は園周辺・3歳児は宝公園。4・5歳児のみ親子でハイウェイオアシスへ遠足。
10月20日	親子運動会	熊野公園グランドで実施。

10月 9日	年中児交通安全教室	生活安全課より、歩道の渡り方、信号の見方など分かり易く指導を受ける(4歳児)
11月 6日	5歳児プラネタリウム	刈谷科学館にてプラネタリウムや科学の不思議を体験。
12月 8日	生活発表会	お客様をお招きしクラス毎に日頃の保育の一場面を見ていただく。(楽器・歌・表現・劇他)
12月中旬	個別懇談(幼児)	保護者と担任と話し合い今後の保育の参考にする。要望等も聞く。
12月21日	クリスマス会	サンタさん(父2名)からプレゼントを頂いたり、お話を聞いて楽しむ。
12月26日	餅つき	保護者(数人)の方にもお手伝いして頂き餅つきをする。搗き立てのお餅を食べたり、鏡餅を作ったりした。
1月23日	保育参加及び講演会	保育参加と父母の会の講演会を行なう。 一緒に過ごす中で、子ども達の成長を感じて頂く。
2月 1日	豆まき	手作りお面をつけて、自分の癖を追い出すよう豆まきをする。大きな鬼に追いかけられ逃げ回る子・泣く子もいた。
2月 5日	記念撮影	クラス単位で撮影する。
2月26日	就学児交通安全教室	学校へ行くための交通ルールを学ぶ
2月15日 ～16日	作品展	一年間の生活や経験した中で、描いたり製作した物等を作品として展示し観て頂く。
3月 1日	ひなまつり会	抹茶を立ててもらいお運びしたり戴いたりして、日本の文化を知る。
3月 5日	移動動物園 (アクティブ)	沢山の小動物(ウサギ、ヘビ、カメ、イヌ、ロバなどに、触れたり、乗ったりして楽しんだ
3月 12日	お別れ会食会(5歳児)	親子でお赤飯を戴き元気に育ったことや、思いやりのある子に育っていくことを祝う。
3月30日	卒園式・修了式	5歳児親参加、卒園証書を授与式 4歳児以下クラスにて担任から保護者への挨拶など

※毎月 25 日前後誕生会をおこなう。

(2)保育者の記録状況(子どもの生活の記録)

年齢ごとに保育過程に基づき、園のこどもの発達に合った指導計画を作成し実践し評価反省をする。

○指導計画として

・デイリープログラム(クラス年齢毎に一日の生活のリズム表)

・年間計画表(年齢別に領域毎に一年間の計画を立てる)

・月、週指導計画(子どもの姿・養護と教育のねらいと内容・活動・配慮・援助等記載する。)

・保育日記(毎日)

・未満児は、個別指導記録を作成する。また、一日の生活の記録を保護者に知らせる。

・全園児、保育の処遇を作成(発達の段階・援助・配慮すべき事項等を記載する。)

(3)職員研修

別紙6

年間　　園外37件

30・4・1～31・3・31

日時・場所	研修名・講師名	内容・(参加者)
4月3日(火) ひかりの家	ひかりっこ職員研修	・自閉症スペクトラム障害とは (熊澤、近藤)
4月6日(金) 亀城小学校	アナフィラキシーショック対応研修	・食物アレルギー緊急時の対応を知る。 (佐口、原田、竹尾、清水ぁ)
4月21日(土) 中央図書館	保育協会講演会 自己尊重トレ-ニング・トレ-ナ- 北村　年子氏	・幸せな保育士になるために (石川秀、鈴木、岡本、佐口、熊澤、小笠原、田村、谷口、辰巳、坂、原田、竹尾、清水ぁ)
5月8日(火) 東三河総合庁舎	療育支援研修会 愛知県コロニー　森田　浩正氏	・障害の理解と支援 (辰巳)
5月24日(木) 亀城小学校	救急法講習会 亀城小学校	・一次救命処置の流れ (岩本、葛野)
5月26日(土) 東刈谷保育園	保育協会実技研修 花育士・花育セラピスト 牧野　恵己氏	・五感を使って心を育む花育体験 (鈴木、橘、小笠原、田澤)
5月28日(月) 中央子育て 支援センター	障害児等療育支援事業 支援者向き研修会 愛知県コロニー　森田　浩正氏	・気になる子の保護者へのアプローチ (橘)
5月31日(木) ウインクあいち	新任保育者研修会 保育カウンセラー企画部 本田　幸太郎氏	・保育者として大切なこと～基本の“き”～ (竹尾、清水)
6月7日(木) 高浜市 体育センター	運動会実技研修 日本游育研究所専任講師 山田　宏史氏	・「うんとこどっこい運動会」に基づき、体操・歌・手遊びを学ぶ。 (橘、熊澤)
6月12日(火) 西三河総合庁舎	療育支援研修会 愛知県コロニー中央病院 作業療法士　小松　則登氏	・こどもの支援で大切なこととは何か (橘)
6月16日(土) 名古屋文理大学	保育所新規職員セミナー 東京家政大学　子ども学部 教授　加藤　繁美氏	・保育の中の子どもの声 ―子どもの声に保育者はどう寄り添えばいいのか― (竹尾、清水ぁ)
6月23日(土) 富士松南保育園	保育協会実技研修 名古屋短期大学　准教授 高須　裕美氏	・乳児期の発達に合わせた歌、 手遊び歌、ふれあい遊び (岩本、近藤、織田、竹尾、清水ぁ)
6月28日(木) 熱田文化小劇場	保育スクールin名古屋 城東よつば保育園 園長　瀧　薫氏	・保育と絵本　要領、指針と発達の道筋に合った絵本 (葛野、橘、田澤)

7月3日(火) 熱田文化小劇場	保育スクール in 名古屋 乳幼児教育実践研究家 井桁　容子氏	・人としての根っこを力強く育てる保育 (葛野、橘、田澤)
7月3日(火) アイリス愛知	社会福祉施設職員セミナー (株)シノハラ　篠原　正行氏	・職員の接遇 (田村、織田)
7月10日(火) ひかりの家	支援者向け研修会 愛知県心身障害者コロニー 中央病院　加藤　智浩氏	・ことばの育ちについて (石飛、岡部)
7月12日(木) 名古屋ガーデンパレス	保育部会保育所長セミナー 名寄市立大学　猪熊　弘子氏	・保育現場の事故防止危機管理について ・保育現場の事故防止危機管理 (石川)
7月12日(木) 桜華会館	発達障害児・被虐待児に係わる研修 子ども発達相談室みどり 今本　利一氏	・発達障害のある子どもの理解と支援について ・発達障害のある子どもとの関わり方について (熊澤)
7月18日(水) 日高保育園	日高保育園　園内研修 赤松　妙子氏	・実践を通して、乳児とのふれあい遊びの意義と関わり方を知る。 (岩本、葛野)
7月19日(木) ウインク愛知	主任・リーダー研修会 臨床心理士　大竹　直子氏	・リーダー職として「気持ち」に向き合う (鈴木)
8月1日(水) 名古屋東桜会館	明日の保育にすぐ役立つ ワークショップ そうま　ゆきね氏	・リズムで遊ぼう～楽しもう～ ・できた！できた！のくりかえし (佐口)
8月17日(金) ウインク愛知	幼児のことば遊びの会 村石　昭三氏　ケロポンズ 鈴木　翼氏　福田　翔氏 新沢　としひこ氏	・またあしたあそぼ～子どものすてきな想い～ ・子どもは遊びから学ぶ　・いないいないわお！ ・毎日が新しいはじめの一歩！ (織田)
8月23日(木) 社会教育センター	CAP おとなワークショップ あいち CAP プラス	・CAP プログラム「おとなワークショップ」 (田澤)
8 月 29 日(水) 県三の丸庁舎	療育支援研修会 心身障害者コロニー中央病院 理学療法士　石原　美智子氏	肢体不自由児の理解と支援 (佐口)
9月1日(土) 刈谷市総合 文化センター	保育士研修会 カワイ音楽教室 愛知学泉大講師　本多　峰和氏 名古屋短大准教授　山下　直樹氏 桜花学園大准教授　田端　智美氏 名古屋学芸大講師　林　麗子氏	・合奏指導　(見崎、織田) ・表現遊び　(石川、葛野、清水ぁ) ・事例検討　(岡本、田村、谷口) ・手作り玩具　(鈴木、岩本、橘) ・集団遊び　(佐口、熊澤、小笠原、原田)

9月6日(木) 日高保育園	日高保育園　園内研修 元桜花学園大学 客員教授　杉浦　渉氏	・子どもの探求心を深めるため、 昆虫について様々な知識を得る。 (橘、小笠原)
9月12日(水) 県三の丸庁舎	療育支援研修会 療育フリーメンター 森長　研治氏	・発達障害　とりわけ自閉症についての理解と ユニバーサルデザインによる支援 (石飛)
10月15日(月) (株)ホシザキ東海	調理員研修 (株)ホシザキ東海スタッフ	・スチ-ムコンベクションを使った調理実習と意見交換会 (吉永)
10月27日(土) 小垣江公民館	保育協会実技研修会 同志社女子大教授　竹井　史氏	・凧を作ってあげよう (竹尾、清水ぁ)
11月6日(火) 日高保育園	園内研修 音楽講師　夏目　礼子氏	・生活発表会にむけて子どもが意欲的に取り組める音楽指導のあり方を学ぶ　(佐口、谷口)
11月8日(木) 愛教大附幼稚園	公開保育・保育を語る会	・体と心を十分に動かして遊ぶ幼児の育成 (佐口)
11月29日(木) 県社会福祉会館	児童虐待対応研修 刈谷児童相談センター 臨床心理士　杉本一正氏	・愛知県における児童虐待の状況 (橘)
1月12日(土)～ 1月14日(祝) 名古屋文化学園 保育専門学校	保育士等キャリアアップ研修 安部　孝氏　渡辺　桜氏 川合　真由美氏　林　幸氏 布施　佐代子氏　佐々木　昌代氏	・乳児保育の意義　・乳児保育の環境 ・乳児への適切な関り　・乳児の発達に応じた保育内容 ・乳児保育の指導計画、記録及び評価 (葛野)
1月18日(金) 知立市公民館	療育支援研修会 愛知県コロニー　掛野　由聖氏 増田　憲子氏	・障害の理解と支援 ・気になる子どもと関わる先生のための家族支援 (清水き)
1月26日(土) さくら保育園	さくら・さくらんぼのリズム 恵の実保育園 園長　尾崎　恵理子氏	・子どもの発達を促す「さくら・さくらんぼのリズム」を 実践を通して学ぶ (竹尾、清水ぁ)
2月5日(火) 県社会福祉会館	保育における心の発達支援研修 桜花学園大教授　寺田　恭子氏 准教授　勝浦　眞仁氏	・心を育てる～配慮の必要な子どもの発達を考えよう～ (小笠原)
3月4日(月) ウインク愛知	全職員研修会 岡崎女子大 教授　矢頭　誠慈郎氏	・これからの保育のあり方と組織的な質の向上について (鈴木、佐口)

7 安全･防災対策

別紙７

(1)避難訓練実施状況

30･4･1～･31･31

実施日	人員	目標	場所	想定及び状況
4月16日	１４２人	火災地震についての話 合図を知る。	保育室	年齢ごとに火災や地震の危険性や避難の仕方を分かりやすく話す。合図のベルや鐘の音を聞かせて知らせる。
5月18日	１５１人	避難経路･集合の仕方 避難場所を知る。	第一避難所	火災の合図の音を聞いて保育者のもとに集まる。速やかに避難する。保育者は初期消火をする。
6月25日	１３７人	地震時の避難の仕方	第一～ 第二避難場所	保育者の指示に従い机の下に入る。防災ズキンを被って避難させる。
7月30日	１２７人	昼寝時の避難の仕方	第一避難場所	部屋の中央に集める。布団をかけたりし、様子を見て避難させる。 保育士間の連携を密にする
8月22日	１５５人	風水害時の避難の仕方	保育室	風水害時の注意や避難の仕方を話す。安全な場所に集合する。
9月3日	１４５人	防災訓練 引き渡し訓練	第一～ 第三まで	防災ズキンを着用して、靴を持って避難する。交通に注意し誘導する。市へ状況報告の訓練をする。 子ども達を保護者に安全･確実に引き渡す。
10 月 30 日	26人	時間外保育時の避難の仕方	第一避難所	火災の合図を聞き、父母の協力も得て避難する。 保育者は初期消火をする。
11 月 14 日	１５３人	自由遊び中の避難の仕方	第一～ 第二避難所	近くにいる子どもを避難させる。室内に子どもが残っていないか確認する。 初期消火をする。
11 月 17 日	10 人	土曜保育の火災時の避難の仕方	第一避難所	側にいる保育者と一緒に園庭に避難する。
12 月 25 日	１４５人	自由遊び時の地震の避難の仕方	第一避難所～ 第三避難所	合図を聞いて机の下に入る。又は安全な場所に揺れがおさまるまで待つ。園庭に避難後人数確認次第第三避難所へ避難する。
1月25日	１４７人	地震、火災時の避難の仕方	第一～ 第二避難所	側にいる保育者の指示に従い避難する。第一避難所で人数確認の上第二避難所まで避難する。
2月27日	１５４人	おやつ中の避難の仕方	第一避難所	合図を聞いて直ちに第一避難所へ避難する。
3月13日	１４５人	地震、火災の避難の仕方	第一～ 第三避難所	合図を聞いて机の下に入る。又は安全な場所に揺れがおさまるまで待つ。 ズキンをかぶり一番近い出口から避難する。

別紙８

(2)防犯訓練実施状況　　30･4･1～31･3･31

実施日	人員	目標	場所	想定及び状況
5月17日	１５０人	不審者に対する話を聞く。	保育室	知らない人が近づいたり、声をかけられたとき、どうするか話安全に遊べるようにする。警報ブザーの音を聞き安全な場所へ集合する。
7月　3日	１４１人	不審者からの避難の仕方（園の様子を伺っている場合）	保育室	子どもの安全を確保し避難誘導をする。不審者と判断した時子どもを入室させ鍵をかける。状況により警察へ通報する。
10月22日	１５８人	不審者が侵入した場合の避難の仕方	園庭から室内	子どもの安全を確保し避難誘導する。 不審者がいることを知らせる。侵入者より離れた場所に誘導する。警察へ通報の訓練をする。

９　園地･園舎･教具等

別紙９

（1）　園地･園舎の利用状況

○　園地面積　1963.13㎡　○　建築面積　990.00㎡　○　床　面積　1620.61㎡

（2）　保育室･調理室･事務室等の面積･便所の便器数等の状況

区分	室数	面積	区分	室数	面積
保育室	7	413.08	事務室	1	55.50
遊戯室	1	173.21	更衣室	2	6.60
乳児室･ほふく室	2	103.61	便所	11	97.86
給食室	1	89.39	多目的室	2	84.20
医務室	1	7.07	その他		590.09
便所の便器数　乳児(大３　)　幼児(大 15 小 14　)　職員　(大 12 小 2)					

(3)教具等の状況

机	紙芝居	ステレオ	集合(物･形)	五月人形
椅子	マット	オーバーヘッド	ストップウォッチ	ひな壇
ホワイトボード	跳び箱	綱引き綱	こいのぼり一式	
楽器一式	平均台	CDプレイヤー	雛人形一式	
ピアノ	時計	玉入れ一式	五月人形一式	
ベット	テレビ	プール	乳母車	
指人形	幻灯機	絵具用具	ビデオカメラ	
らくがきボード	カメラ	木工用具	ビデオ	
スチール黒板	テープレコーダー	絵本	カラーベンチ	

(4)遊具等の状況

鉄棒	クライミング ウォール	なわとび・まり	人形・ぬいぐるみ
滑り台		ネット付滑り台	カラーベルト
網	カラーボックス	砂場	ブロック類
三輪車	積み木	室内鉄棒	砂遊び一式
サッカーゴール	エス棒	総合遊具	ままごとセット